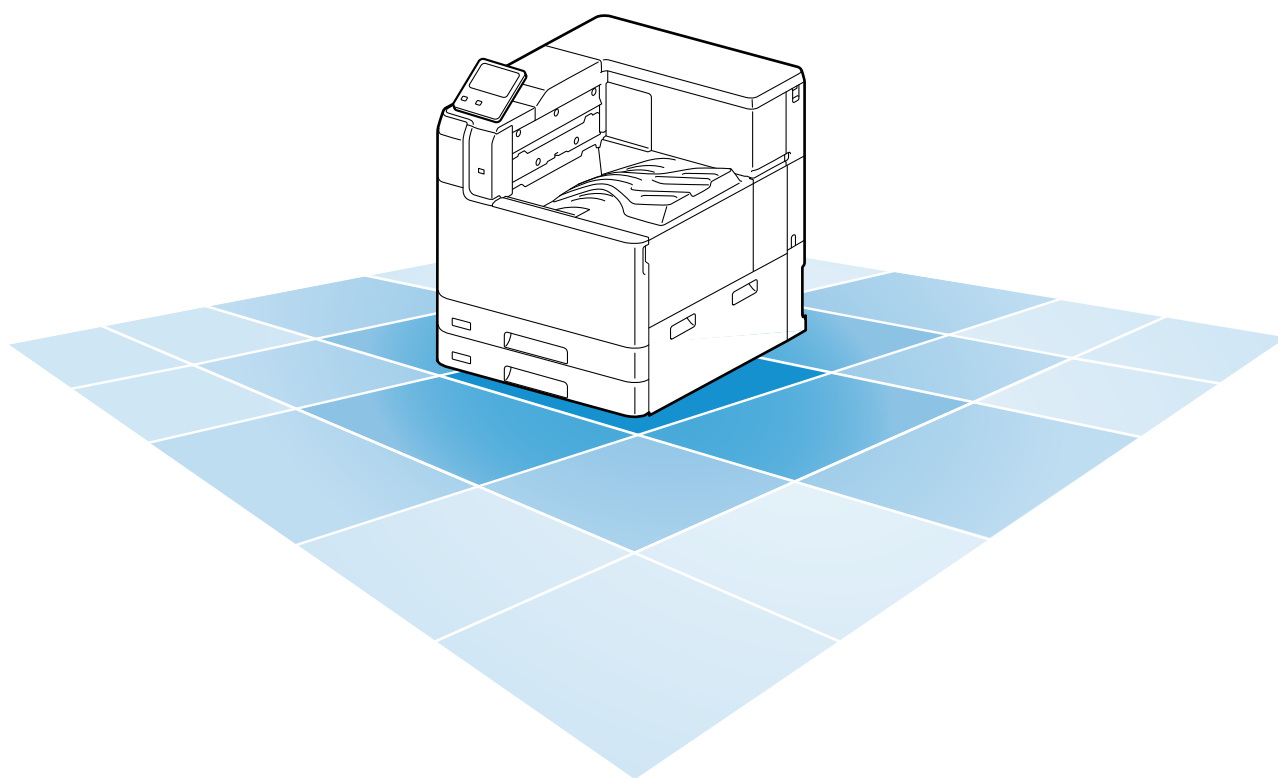


Color MultiWriter 3C751A

カラーページプリンタ



リファレンスガイド

目次

1 はじめに	7
2 お使いになる前に	8
2.1 本機のマニュアル	8
セットアップガイド (冊子)	8
リファレンスガイド (本書) (公式サイト)	8
2.2 マニュアルの表記	8
2.3 本機について	9
2.4 機械管理者情報の変更	10
2.5 各部の名称と働き	11
前面	11
左側面と背面	12
内部	13
大容量トレイモジュール (オプション)	14
2トレイモジュールモデル (オプション)	14
タンデムトレイモジュールモデル (オプション)	15
フィニッシャ (オプション) / 中とじフィニッシャ (オプション)	16
操作パネル	17
2.6 本機で使用している記号	19
3 本機のセットアップ	22
3.1 セットアップの流れ	22
3.2 電源について	23
電源を入れる	23
電源を切る	26
3.3 本機をコンピューターに接続する	26
有線 LAN で接続する	26
USB で接続する	27
無線 LAN で接続する	28
Windows 用のソフトウェアをインストールする	32
Mac 用のソフトウェアをインストールする	36
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする	37
メール機能の設定	37
IP アドレスを変更する	40
3.4 NPDL プリンタードライバーと ART EX プリンタードライバーの機能の比較	41
4 本機の基本操作	42
4.1 タッチパネルディスプレイ	42
画面の操作	42
文字の入力	43
ログイン	43
画面のカスタマイズ	44
オンライン / オフラインの切り替え	46
4.2 ジョブの操作	47
実行中ジョブの一時停止	47
ジョブの確認 / 中止 / プリント	47
4.3 本機の状態の確認	49
[詳細情報]	49
[メーター確認]	49
[消耗品確認]	51
[通知]	52

[用紙トレイ]	52
[レポート / リストの出力]	52
[インターネットサービスの接続先]	55
[プリンターモード]	55
[無線 LAN の接続状態]	55
4.4 節電機能について	55
節電状態に移行する	55
節電状態から復帰する	55
4.5 用紙について	56
推奨する用紙	56
各トレイの給紙性能	57
使用できない用紙	57
用紙の保管と取り扱い	58
4.6 用紙をセットする	58
用紙をさばく	58
トレイ 1 ~ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする	59
トレイ 1 ((小サイズ給紙トレイ) (オプション)) にセットする	62
トレイ 3 ((タンデムトレイモジュール) (オプション)) に用紙をセットする	64
トレイ 4 ((タンデムトレイモジュール) (オプション)) に用紙をセットする	66
トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする	67
長尺サイズ of 用紙をセットする	69
トレイ 6 (大容量トレイモジュール (オプション)) に用紙をセットする	70
用紙の設定を変更する	73
自動トレイ選択について	73

5 プリント 75

5.1 コンピューターからプリントする	75
コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する	75
5.2 封筒 / はがきにプリントする	75
5.3 定形外サイズの用紙にプリントする	78
定形外サイズを登録する	78
定形外サイズの用紙にプリントする	81
5.4 大量・連続プリントする	84
リレー給紙の設定	84
グループトレイの設定	85
5.5 USB メモリーに保存されたデータをプリントする	86
文書プリント	86
USB メモリーの取り外し	87
機能リスト	88
5.6 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	89
サンプルプリントについて	89
サンプルプリントをする	89
5.7 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -	91
時刻指定プリントについて	92
時刻指定プリントをする	92
時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする	93
5.8 機密文書をプリントする - セキュリティプリント -	93
セキュリティプリントについて	93
セキュリティプリントをする	94
5.9 機密文書をプリントする - プライベートプリント -	96
プライベートプリントについて	96
プライベートプリントの設定をする	97
プライベートプリントをする	99
5.10 機密文書をプリントする - 認証プリント -	100
認証プリントについて	100
認証プリントの設定をする	101
認証プリントをする	102
5.11 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -	103
メール受信プリントについて	103

メール受信プリントをする	103
6 モバイル機器からのプリント	105
6.1 本機をモバイル機器と接続する	105
Wi-Fi で接続する	105
Wi-Fi Direct で接続する	105
6.2 Print Utility を使ってプリントする	108
QR コードで接続する	108
6.3 その他のサービスを利用する	108
AirPrint	108
7 本機の設定	110
7.1 本機の設定について	110
[用紙トレイ設定]	111
[システム設定]	113
[アプリ設定]	123
[監査ログ設定]	129
[ネットワーク設定]	130
[認証 / 集計管理]	145
[保守]	152
[リセット]	156
7.2 NPDL の設定について	157
NPDL パネル設定モード	157
NPDL プリント設定	158
フォントについて	166
8 便利な使い方	167
8.1 インターネットサービスを使う	167
8.2 本機のソフトウェアを使う	167
Print & Scan Hub (Windows)	168
ContentsBridge Utility (Windows)	168
8.3 暗号化機能を設定する	168
証明書の種類	168
暗号化機能について	169
HTTP の通信を暗号化するための設定	169
IPsec を使用して暗号化するための設定	171
無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定	173
8.4 認証と集計管理機能	174
概要	174
ユーザー認証機能を有効にする	177
IC カード読み取り装置（オプション）で認証するための設定	183
9 日常管理	186
9.1 消耗品を交換する	186
消耗品の取り扱い	187
9.2 ホチキス針を交換する	188
平とじ用ホチキス針を交換する	188
中とじ用ホチキス針を交換する	189
9.3 パンチダストボックスのパンチくずを捨てる	192
9.4 画質調整	192
階調を補正する	192
アライメント調整を行う	196
転写出力調整	200
出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）	203

9.5	フィニッシャ（オプション）の調整	204
	紙折り位置の調整	204
	折りを補助する筋の設定	210
9.6	清掃する	211
	本体外部を清掃する	211
	本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃	211
10	困ったときには	215
10.1	紙詰まりの処置	215
10.2	ホチキスカートリッジの針が詰まった場合	215
	平とじホチキスカートリッジの針詰まり	215
	中とじホチキスカートリッジの針詰まり	217
10.3	トラブルを解決する	218
	機器本体のトラブル	219
	画質のトラブル	220
	トレイや用紙送りのトラブル	224
	プリントのトラブル	225
	無線 LAN 接続時のトラブル	226
	外部認証（LDAP）の設定	228
10.4	エラーコード	229
11	オプション製品の取り付け	280
11.1	無線 LAN アダプタの取り付け	280
11.2	2トレイモジュール、タンデムトレイモジュール、専用スタンド、専用キャスト台の取り付け	281
11.3	小サイズ給紙トレイの取り付け	288
	小サイズ給紙トレイを取り付ける	288
	小サイズ給紙トレイを取り外す	289
11.4	長尺用紙セットガイドの取り付け	291
11.5	ストレージの取り付け	292
11.6	セカンダリーイーサネットカードの取り付け	294
11.7	ソフトウェアオプションの有効化	296
12	付録	298
12.1	主な仕様	298
	大容量トレイモジュール（オプション）	301
	小サイズ給紙トレイ（オプション）	301
	サイドトレイ（オプション）	302
	フィニッシャ / 中とじフィニッシャ（オプション）	302
	無線 LAN アダプタ（オプション）	303
	動作環境（OS 対応状況）	304
12.2	保証について	305
	保証書について	305
	保守サービスについて	305
	プリンターの耐久性について	306
12.3	消耗品、定期交換部品の寿命について	307
	消耗品の寿命について	307
	使用済み消耗品の回収	307
	有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について	308
	消耗品および補修用性能部品について	309
	使用済みカートリッジ回収について	309
	その他の消耗品について	310
12.4	情報サービスについて	310
	MultiWriter サポート窓口について	310
12.5	最新ソフトウェアを入手する	310
12.6	エミュレーションについて	310

エミュレーションモード	311
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項.....	314
設定項目	321
12.7 ダイレクトプリント	332
12.8 ライセンス	334
13 [設定] 項目一覧	335

1 はじめに

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

- このマニュアルのなかで▲と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
- プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
- 万一、本体の補助記憶装置に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標

Adobe、Acrobat、PostScript、および PostScript 3 は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、iPhone、AirPrint、iPad、Bonjour、macOS、OS X、Mac、and Macintosh are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android および Google Play は、Google LLC の商標です。

この製品は、eT-Kernel を利用しています。eT-Kernel は、イーソル株式会社の日本およびその他の国における商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

MULTIWRITER、PDF Bridge、ContentsBridge、ApeosWare、および DocuWorks は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

NEC および NEC ロゴは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

2 お使いになる前に

2.1 本機のマニュアル

セットアップガイド（冊子）

本機の基本的な操作手順や、本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

リファレンスガイド（本書）（公式サイト）

プリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルの項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

補足

- 本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

2.2 マニュアルの表記

- 説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。
「」	• 本書内にある参照先を表しています。 • 機能の名称や入力文字などを表しています。 • 参照するマニュアルを表しています。
[]	• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
<>	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
>	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 用紙の向きを、次のように表しています。
□、よこ置き：本機を正面から見て、用紙をよこ長□にセットした状態を表しています。
□、たて置き：本機を正面から見て、用紙をたて長□にセットした状態を表しています。
- オプション製品のソリッドステートドライブを「ストレージ」と表記します。
- オプション製品の IC カードリーダーを「IC カード読み取り装置」と表記します。
- ステープルを「ホチキス」、ステープル針を「ホチキス針」と表記します。

- 特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft Windows 10 および macOS 11 を例に説明しています。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- このマニュアルに記載されているプリントスピード、給紙容量などは、C² 紙 (70 g/m²) を使用した場合の値です。
- 「長尺」用紙とは、よこ：488.1 mm 以上の用紙を示します。

2.3 本機について

- プリンター設置時には、モノクロ印刷のみでお使いになる場合でも、カラートナーカートリッジを含めてセットが必要です。カラートナーカートリッジを抜いたままプリンターを使用することはできません。
- モノクロ印刷のみを長期間使用した後、カラー印刷をする場合は、試し印刷をして出力結果をご確認ください。かすれ、色筋、白抜けなど画質のトラブルが発生した場合は、「画質のトラブル」(P.220) を参照してください。本機に付属の「階調補正用色見本」を画質調整に使う場合がありますので、紛失しないように大切に保管してください。運用環境によっては、保守員 (CE) による保守部品交換 (有償) が必要になる場合があります。
- モノクロ印刷には NPD L プリンタードライバーを推奨します。
 - NPD L プリンタードライバーはモノクロ印刷専用です。
 - ART EX プリンタードライバーを使ってモノクロ印刷をする場合は、カラーモードを白黒に設定してください。カラーモードをカラー (自動判別) のまま使用すると、モノクロ文書でもカラートナーを消費しますのでご注意ください。
- 連続走行時のセットアップ動作について
 - 性能維持のために、連続走行中でも 120 ページごとに印刷を 10 秒程度一時停止し、セットアップ動作が入ります。
 - 連続走行中にトレイ 1 から 2 に切り替える場合、印刷を 11 秒程度一時停止し、トレイの切り替えとセットアップ動作が入ります。

補足

- セットアップ動作とは、印刷画質性能および動作品質維持のために行われる制御です。現像器内を正常状態に保つ動作や、転写ベルトのクリーニング動作などがあります。セットアップ動作は、お客様の印刷条件や設置環境によって、発動する動作およびタイミングが決定します。セットアップ動作を無効にすることはできません。
- 機能によっては、オプション製品の追加または保守員 (CE) の設定が必要になります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
- フィニッシャーを使用するにはストレージ (オプション) と、2 トレイモジュール (オプション) またはタンデムトレイモジュール (オプション) が必要です。
- 認証状態や取り付けられているオプションによって、タッチパネルディスプレイに表示される項目は異なります。
- OHP フィルムをカラーでプリントしたものを反射型プロジェクターで投影すると、映像が黒っぽく映し出されることがあります。輝度の高いプロジェクターを使用すると、解消されることがあります。
- 水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
- ジョブ履歴利用時は次のことに注意してください。
 - ジョブ履歴で取得したページカウントと機械本体のメーターおよびカウンターは、一致しないことがあります。取得したデータは目安としてご利用ください。
 - 機械本体のトラブルやストレージの交換・初期化で、ジョブ履歴が消失する場合があります。消失したジョブ履歴は復旧できません。
 - 既定の数を超えると、古いジョブ履歴は削除されます。ジョブ履歴の取りこぼしを防ぐには、収集間隔を短くしてください。
- 最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。

2.4 機械管理者情報の変更

本機の設定変更の抑止やセキュリティ確保のために、機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をおすすめします。

参照

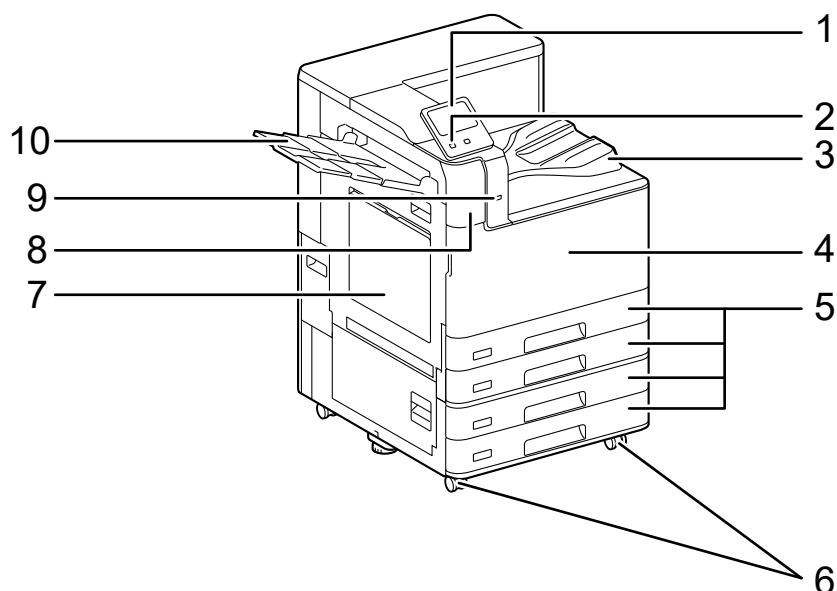
- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。
- 設定方法については、「[[機械管理者情報の設定]]」(P.147) を参照してください。

2.5 各部の名称と働き

前面

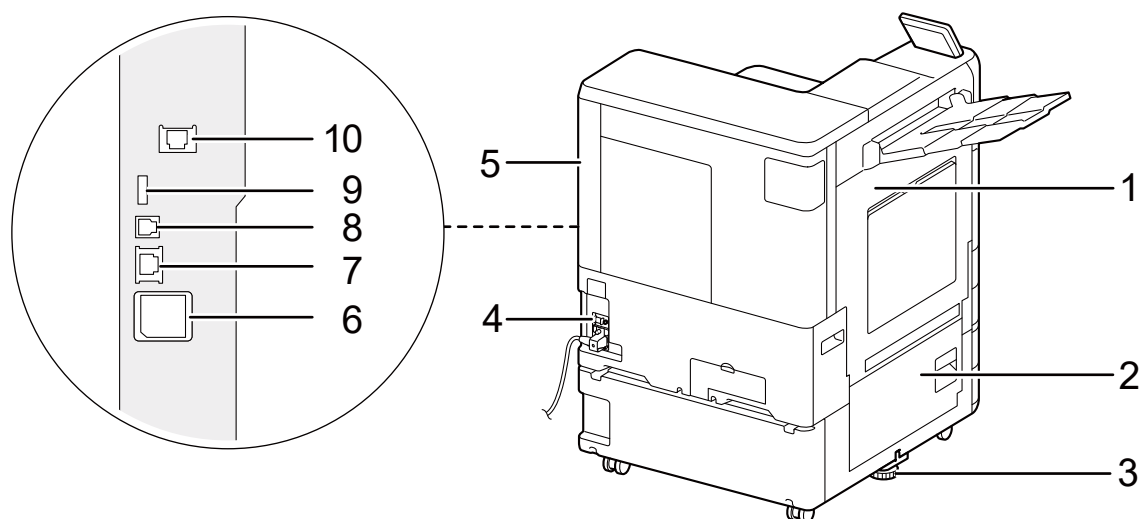
補足

- 2 トレイモジュール（オプション）を取り付けた例です。



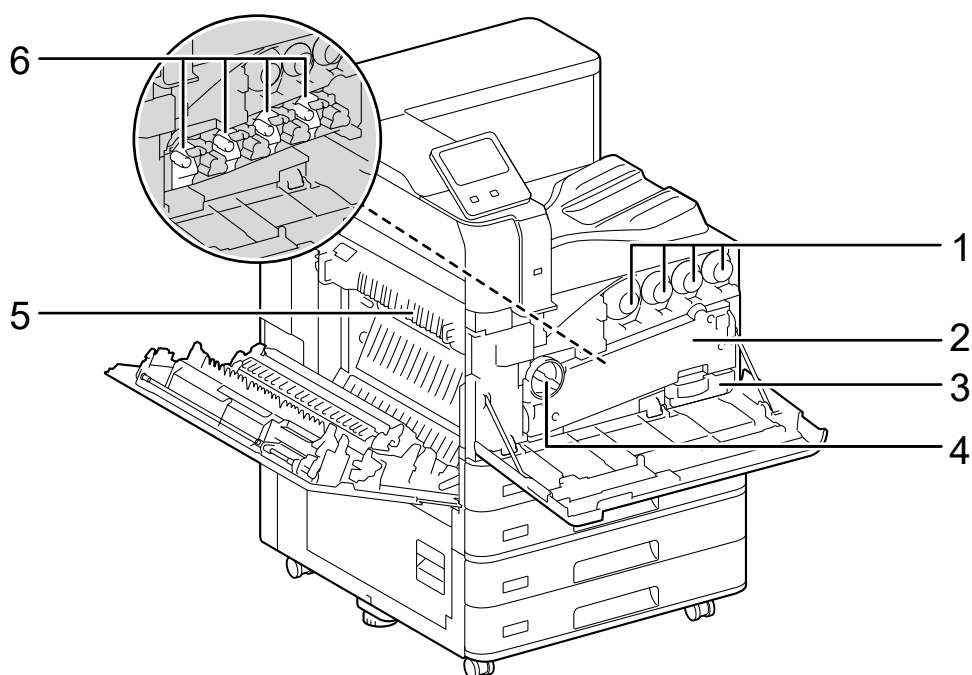
No.	名称	説明
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。
2	〈電源 / 節電〉ボタン	本機の電源を入 / 切します。本機の節電状態を解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは点滅します。
3	センタートレイ（排出トレイ）	プリントされた用紙が排出されます。
4	正面カバー	消耗品を交換するときに開けます。
5	トレイ 1、2、3、4（3、4 はオプション）	用紙をセットします。
6	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
7	トレイ 5（手差し）	トレイ 1、2、3、4（3、4 はオプション）にセットしていない用紙、またはできない用紙（OHP フィルムや、厚紙などの特殊用紙）をプリントするときに使用します。
8	本体内蔵型 IC カード読み取り装置（オプション）	IC カードをタッチすると、登録されたユーザー情報が本体に読み込まれます。
9	USB メモリー差し込み口	USB メモリーに保存されている文書をプリントするときに USB メモリーを差し込みます。 補足 • USB メモリーの延長ケーブルは接続できません。
10	サイドトレイ（オプション）	プリントされた用紙が印字面を上にして、排出されます。

左側面と背面



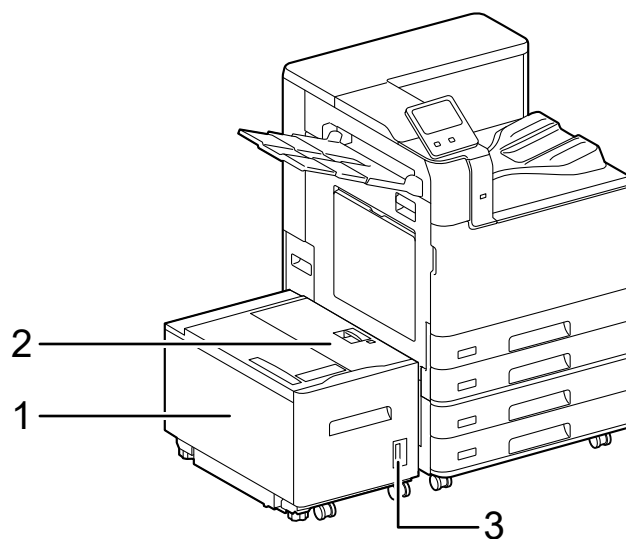
No.	名称	説明
1	左側面上部カバー	紙詰まりを処置するときに、リリースレバーを上げながら開けます。
2	左側面下部カバー	紙詰まりを処置するときに開けます。 トレイ 6 (大容量トレイモジュール) (オプション) が取り付けられている場合は、トレイ 6 を前面から見て左に移動してから開けます。
3	アジャスターフット	本機の転倒を防止します。本機の設置後に、床に接するまで時計回りに回転させます。
4	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。
5	右奥カバー	インターフェースケーブルを接続するときに開けます。
6	無線 LAN アダプタ (オプション)	本機を無線 (Wi-Fi) に接続するときに取り付けます。
7	イーサネットコネクタ	ネットワークケーブルを接続します。
8	USB3.0 インターフェイスコネクタ	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
9	USB2.0 インターフェイスコネクタ	USB 接続のオプション製品や関連商品のケーブルを接続します。
10	セカンダリーイーサネットコネクタ (オプション)	セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合に、ネットワークケーブルを接続します。

内部



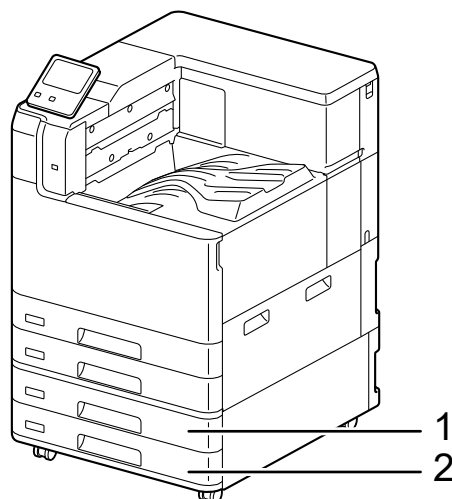
No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナーがセットされています。本機に向かって左側からブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) です。
2	搬送ボックス	ドラムカートリッジを交換したり、内部を清掃したりするときに取り外します。
3	トナー回収ボトル	使用済みのトナーが回収されます。
4	ハンドル	搬送ボックスのロックを解除します。
5	定着ユニット	トナーを用紙に定着させます。高温なので触れないように注意してください。
6	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。本機に向かって左側からブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) です。

大容量トレイモジュール（オプション）



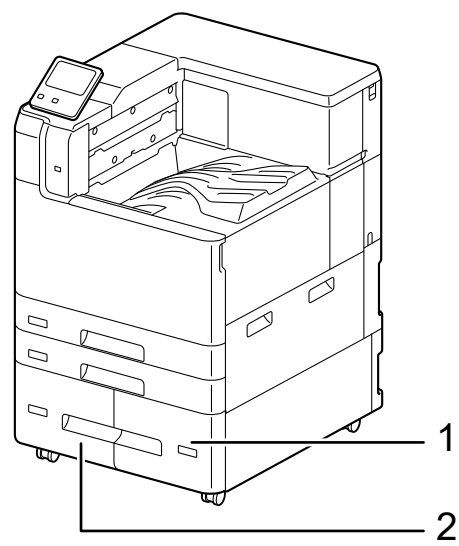
No.	名称	説明
1	大容量トレイ（用紙トレイ 6）	用紙をセットします。
2	上面カバー	紙詰まりの処置をするときに開けます。
3	残量表示	用紙の残量を確認できます。

2 トレイモジュールモデル（オプション）



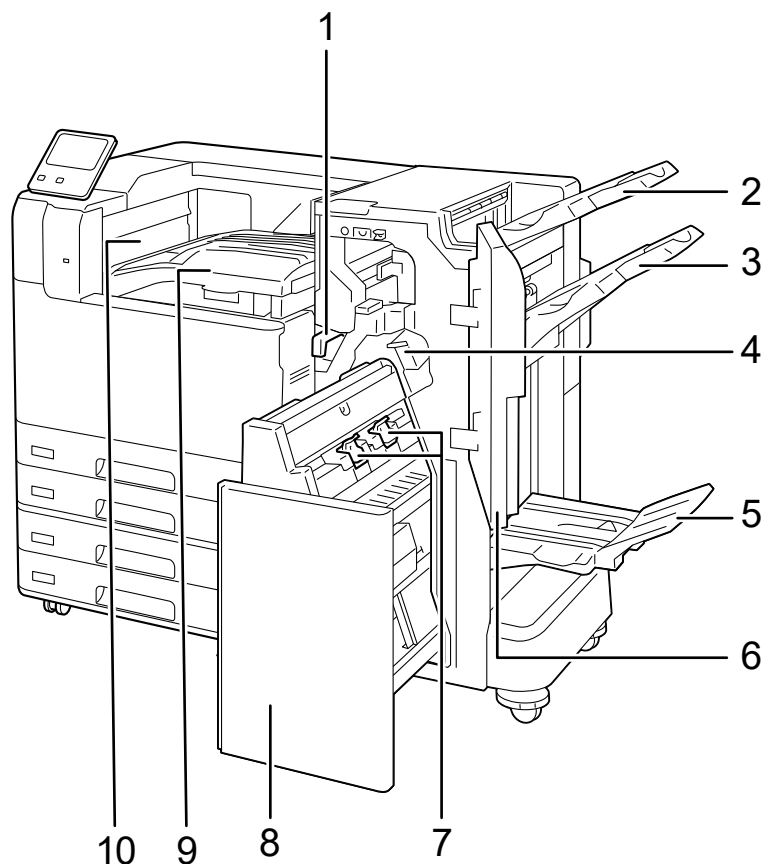
No.	名称	説明
1	トレイ 3（2 トレイモジュール）（オプション）	用紙をセットします。
2	トレイ 4（2 トレイモジュール）（オプション）	用紙をセットします。

タンデムトレイモジュールモデル（オプション）



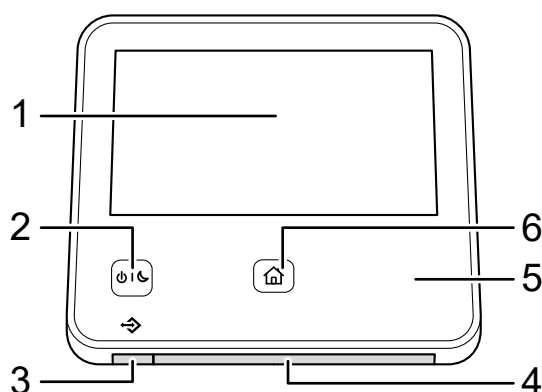
No.	名称	説明
1	トレイ 4（タンデムトレイモジュール）（オプション）	用紙をセットします。
2	トレイ 3（タンデムトレイモジュール）（オプション）	用紙をセットします。

フィニッシャ（オプション） / 中とじフィニッシャ（オプション）



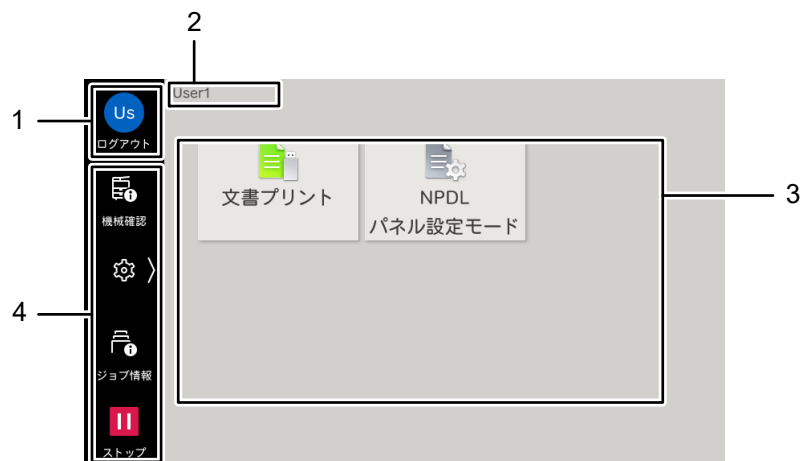
No.	名称	説明
1	パンチダストボックス	パンチくずが入ります。パンチくずを捨てる時に取り出します。
2	排出トレイ	用紙が排出されます。
3	フィニッシャトレイ	用紙が排出されます。
4	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置のときに取り出します。
5	製本トレイ	中とじ製本された冊子が排出されます。
6	正面カバー	紙詰まりの処置、ホチキス針の交換、針詰まりの処置、パンチくずを捨てる時に開けます。
7	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置のときに取り出します。
8	中とじユニット	用紙を二つ折りにしたり、二つ折りしたものにホチキスを留めたりする装置です。
9	フィニッシャ接続キット（オプション）（フィニッシャ接続部上面カバー）	用紙を搬送します。紙詰まりを処置するときは、上に開けます。
10	センタートレイ（排出トレイ）	用紙が排出されます。排出トレイやフィニッシャトレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。

操作パネル



No.	名称	説明
1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	〈電源 / 節電〉ボタン	本機の電源を入 / 切します。本機の節電状態を解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは点滅します。
3	データランプ	本機からデータを送信中や、コンピューターからのデータを受信中に、点滅します。
4	状態表示ランプ	操作を受け付けたときに、緑色で短く光ります。システムエラーや、紙詰まり、用紙切れ、トナー切れなどで機械に異常が発生している間は、オレンジ色で点滅します。
5	NFC タッチエリア	NFC 対応モバイル機器をかざすエリアです。 補足 - 相互通信するには、本機の NFC 機能が有効になっている必要があります。NFC 機能は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。 参照 - インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。
6	〈ホーム〉ボタン	ホーム画面を表示するときに押します。

ホーム画面



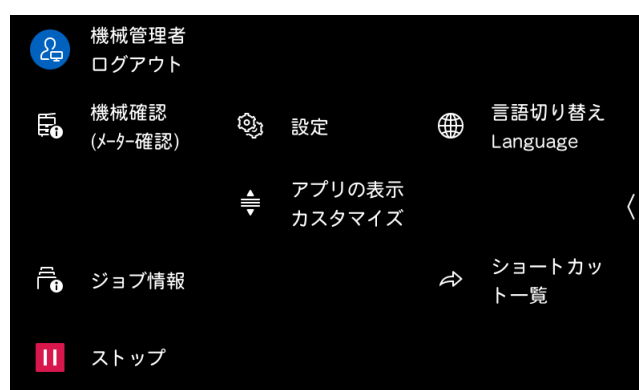
No.	名称	説明
1	認証情報の表示エリア	タップすると、ユーザー ID の入力画面が表示され、ログインできます。認証中にタップすると、ログアウトします。 参照 詳しくは、「ログイン」(P.43) を参照してください。
2	ログインユーザー名	ログインユーザー名が表示されます。
3	アプリの表示エリア	アプリのアイコンをタップして、各機能を使用します。 機械管理者または認証ユーザーでログインしている場合は、アプリの表示エリアをロングタップして、表示するアプリや配置をカスタマイズできます。 参照 - カスタマイズについては、「ホーム画面のカスタマイズ」(P.44) を参照してください。 - アプリについては、「アプリ」(P.18) を参照してください。
4	コントロールタブ	をタップすると、コントロールメニューが開きます。閉じるときは、画面右端の をタップします。 補足 - コントロールタブに表示されている機能は、コントロールメニューを閉じた状態でもタップできます。 「[画面の設定]」(P.114) の「コントロールメニューの機能配置」で、表示する機能や配置を変更できます。 参照 - コントロールメニューについては、「コントロールメニュー」(P.19) を参照してください。

アプリ

アプリ名	機能の概要	参照先
[文書プリント]	USB メモリーに保存されている文書をプリントします。	[文書プリント] (P.86)
[プライベートプリント]	プライベートプリント文書をプリントします。	[機密文書をプリントする - プライベートプリント -] (P.96)
[セキュリティープリント]	セキュリティープリント文書（パスワードを設定した文書）をプリントします。	[機密文書をプリントする - セキュリティープリント -] (P.93)

アプリ名	機能の概要	参照先
[サンプルプリント]	サンプルプリント（試しに 1 部だけプリント）に指定した文書の残りの部数をプリントします。	「出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」 (P.89)
[時刻指定プリント]	時刻指定プリント文書（プリント時刻が指定された文書）を、指定時刻より前にプリントできます。	「指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」 (P.91)
[認証プリント]	認証プリント文書をプリントします。	「機密文書をプリントする - 認証プリント -」 (P.100)
[NPDL パネル設定モード]	NPDL パネル設定モードになり、NPDL 設定を変更できます。	「NPDL の設定について」 (P.157)

コントロールメニュー

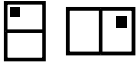
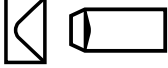


機能名	参照先 / 説明
[ジョブ情報]	「ジョブの確認 / 中止 / プリント」 (P.47)
[ストップ]	「実行中ジョブの一時停止」 (P.47)
[設定]	「本機の設定」 (P.110)
[アプリの表示カスタマイズ]	「機能リストのカスタマイズ」 (P.88)
[機械確認 (メーター確認)]	「本機の状態の確認」 (P.49)
[言語切り替え Language]	表示される言語とキーボードのレイアウトを切り替えます。 補足 電源を入れたときの初期表示言語は、[システム設定] > [画面の設定] > [初期表示言語] で設定します。
[ショートカット一覧]	ショートカットに登録した機能の一覧が表示されます。 補足 - 機械管理者でログインすると、各機能の をタップして、一覧内の機能の並び順を変更したり、一覧から削除したりできます。 - 登録できる機能の画面で、右上に表示される [ショートカット作成] をタップすると、[ショートカット一覧] に追加されます。

2.6 本機で使用している記号

記号	説明	記号	説明
	注意、危険、警告		高温注意

記号	説明
	指挟み注意
	接触禁止
	指示に従うこと
	アース線を接続すること
	トナーカートリッジを火中に投じないこと
	トナー回収ボトルを火中に投じないこと
	〈電源 / 節電〉ボタン
	ホーム
	インクジェット紙を使用しないこと
	折り目のある用紙を使用しないこと
	しわのある用紙を使用しないこと
	カールしている用紙を使用しないこと
	はがきを使用しないこと
	封筒を使用しないこと

記号	説明
	用紙
	はがき
	封筒
	用紙のプリント面を上セット
	用紙のプリント面を下にセット
	最大積載量
	用紙補給
	紙詰まり
	針詰まり
	ホチキスカートリッジ交換
	LAN
	USB
	ロック
	ロック解除
	重量

記号	説明
	冷却
	経過時間

3 本機のセットアップ

3.1 セットアップの流れ

1. 同梱品を確認する

参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

2. ロック部材を取り外す

参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

3. オプション製品を取り付ける

参照

- 「オプション製品の取り付け」(P.280)

4. 搬送ボックスをロックする

参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

5. トナーカートリッジをセットする

参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

6. 電源コードを接続する

参照

- 本機に付属の「セットアップガイド」

7. コンピューターまたはネットワークに接続する

参照

- 「有線 LAN で接続する」(P.26)
- 「USB で接続する」(P.27)
- 「無線 LAN で接続する」(P.28)

8. 用紙をセットする

参照

- 「用紙をセットする」(P.58)

9. ソフトウェアをインストールする

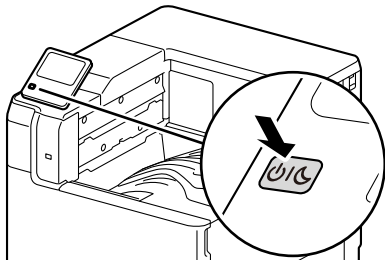
参照

- 「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.32)
- 「Mac 用のソフトウェアをインストールする」(P.36)

3.2 電源について

電源を入れる

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



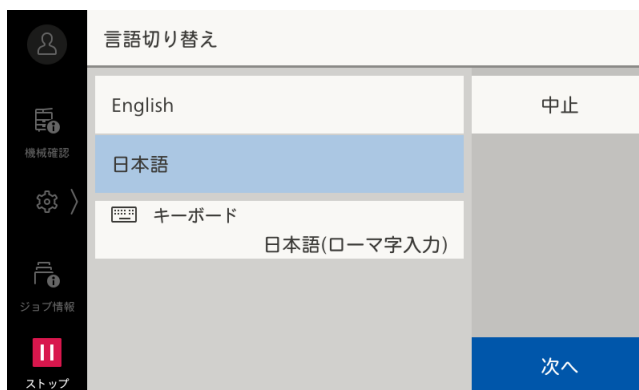
本機の初期設定をする

初めて電源を入れたときは、本機の初期設定をする画面が表示されます。

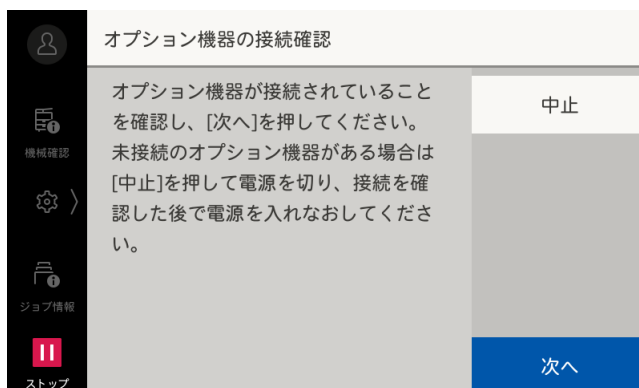
補足

- 初期設定の項目は、あとから変更することもできます。

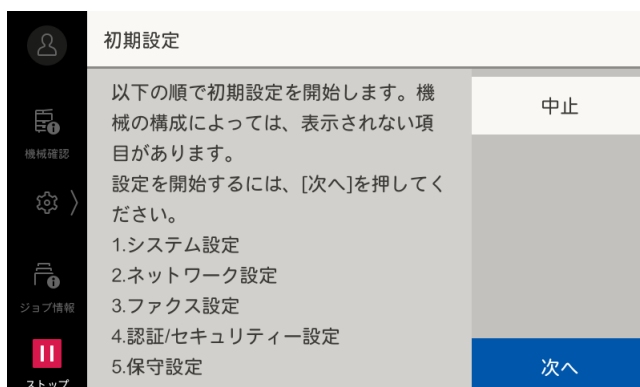
1. 言語を設定し、[次へ] をタップします。



2. 画面の指示に従って設定を進めます。ここでは [次へ] をタップします。



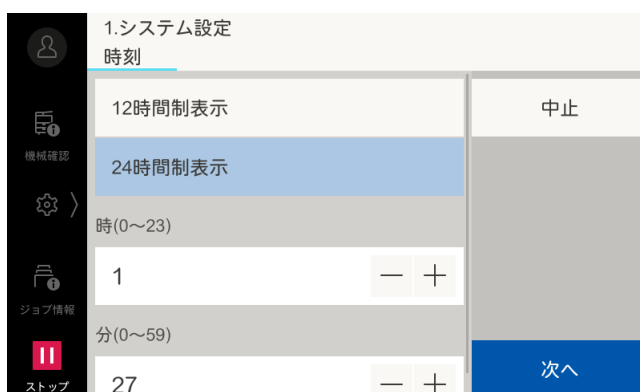
3. [次へ] をタップします。



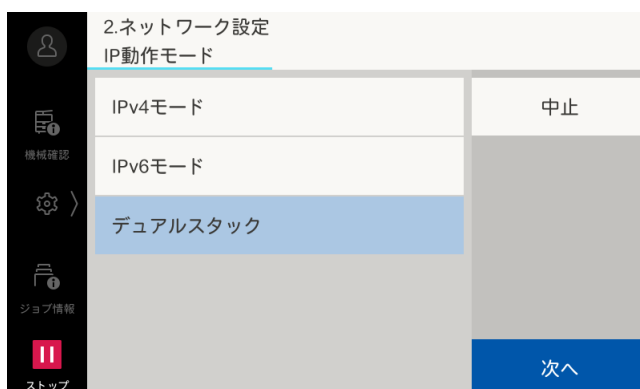
4. [日付] を設定し、[次へ] をタップします。



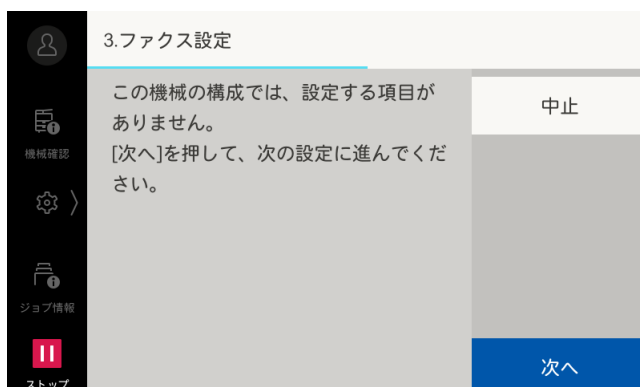
5. [時刻] を設定し、[次へ] をタップします。



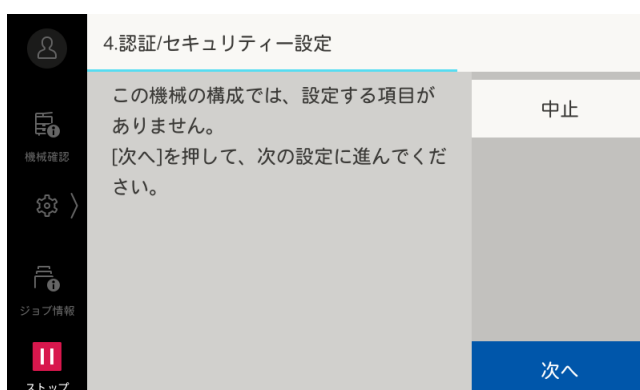
6. [2. ネットワーク設定] 画面の内容に従い、それぞれの画面で [次へ] をタップして設定を進めます。



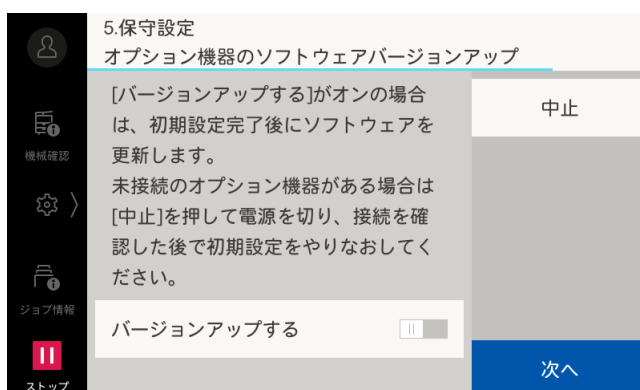
7. [次へ] をタップします。



8. [次へ] をタップします。



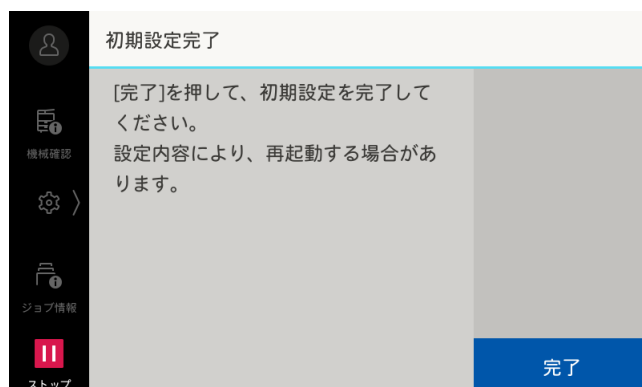
9. [5. 保守設定] 画面の内容に従い、それぞれの画面で [次へ] をタップして設定を進めます。



補足

- [ソフトウェアオプションの設定] では、パスワードを入力する必要はありません。入力欄になにも入力せずに [次へ] をタップします。

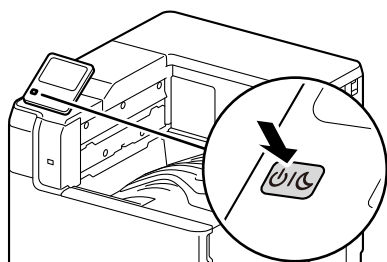
10. [初期設定完了] が表示されたら、[完了] をタップします。



11. ✕をタップすると、ホーム画面が表示されます。

電源を切る

1. ㊦(電源 / 節電) ボタンを押します。



2. タッチパネルディスプレイで、[電源を切る] をタップします。

注記

- 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

補足

- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、少し時間をおいてから入れてください。

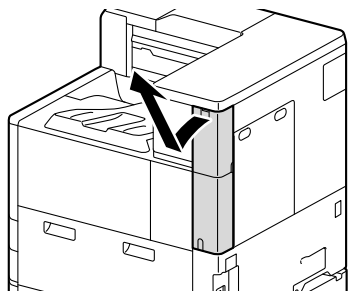
3.3 本機をコンピューターに接続する

本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

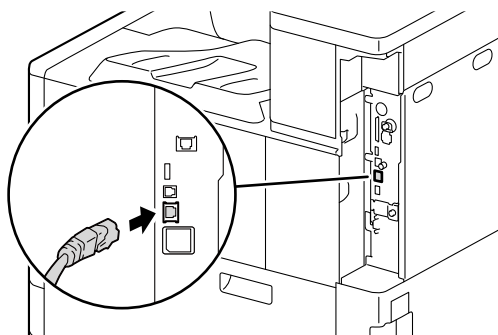
有線 LAN で接続する

1. ㊦(電源 / 節電) ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。

2. 本機の右奥カバーを外します。



3. ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクタに差し込みます。



補足

- セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続することもできます。

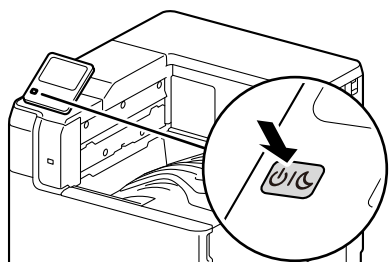
4. 本機の右奥カバーを取り付けます。

5. ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。

6. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

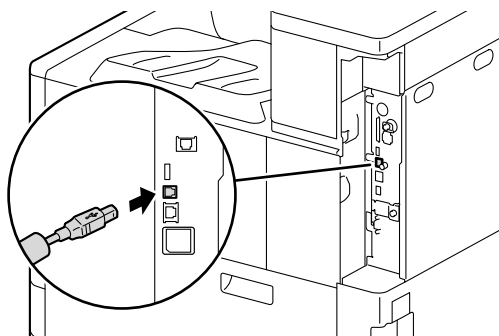
USB で接続する

1. 電源 / 節電 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. 本機の右奥カバーを外します。

3. USB ケーブルを本体の USB コネクタ（下側）に差し込みます。



4. 本機の右奥カバーを取り付けます。

5. USB ケーブルの他方のコネクタを、コンピューターに接続します。

6. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

7. プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

補足

- USB 接続の場合、「ソフトウェア / 製品マニュアル」でプリンタードライバーをインストールするときは、[お好みインストール] > [ドライバー] を選びます。詳しくは、「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.32) を参照してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN を設定する前に、無線 LAN アダプタ（オプション）が本機に取り付けられていることを確認します。

参照

- 詳しくは、「無線 LAN アダプタの取り付け」(P.280) を参照してください。

1. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

参照

- 詳しくは、「電源を入れる」(P.23) を参照してください。

2. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

3. ホーム画面で [設定] をタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [確認] をタップします。

本機が再起動します。

8. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

9. ホーム画面で をタップします。

10. [設定] をタップします。

11. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



12. 次のどれかの方法で、無線ネットワークに接続します。

- 「無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する」(P.30)
- 「手動で SSID を入力して接続する」(P.30)

- 「WPS（プッシュボタン方式）で接続する」(P.31)
- 「WPS（PIN コード方式）で接続する」(P.32)

補足

- 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、認証情報（WEP キー、パスフレーズなど）が必要になります。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する

1. 接続するアクセスポイントをタップします。

アクセスポイントにセキュリティーが設定されていない場合は、これで完了です。

アクセスポイントにセキュリティーが設定されている場合は、次の手順に進みます。



補足

- 一覧に表示される無線 LAN アクセスポイントは、電波が強いものから順に 5 台までです。
- ほかのアクセスポイントと接続中の場合は、接続解除の確認画面が表示されます。
- アクセスポイントが一覧に表示されない場合は、手動で SSID を入力します。詳しくは、「手動で SSID を入力して接続する」(P.30) を参照してください。

2. 必要な情報を入力して、[OK] をタップします。



3. 設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。

本機が再起動して、設定が有効になります。

手動で SSID を入力して接続する

1. 「手動設定」をタップします。

2. 各項目を設定して、[OK] をタップします。



設定項目	設定内容
[SSID]	無線ネットワークを識別する名前を設定します。32 文字以内の英数字を入力できます。
[暗号化設定]	暗号化の方式を設定します。
[暗号化なし]	暗号化を設定しません。
[WPA3 Personal]	パスフレーズを設定します。
[WPA2/WPA3 Personal]	
[WPA2 Personal]	
[WPA/WPA2 Personal]	
[WPA3 Enterprise]	認証方式を設定します。 PEAP を選んだ場合は、さらに [Identity]、[ユーザー名]、[パスワード] を設定します。 EAP を使用する場合は、インターネットサービスで証明書を設定したり、認証方式の詳細設定をしたりする必要があります。
[WPA2/WPA3 Enterprise]	
[WPA2 Enterprise]	
[WPA/WPA2 Enterprise]	
	参照 インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。
[WEP]	WEP キーは、4 つまで登録できます。[送信キー] で、その中から使用する WEP キーを選びます。

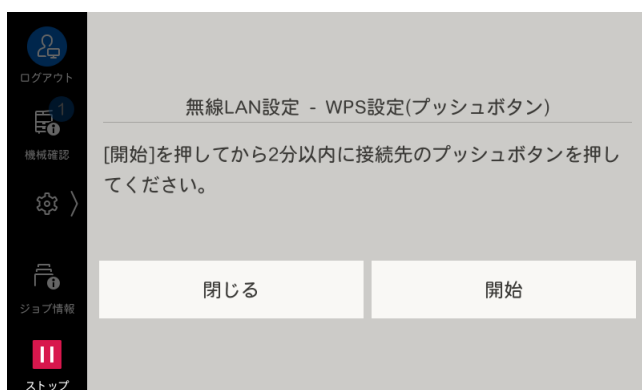
3. 設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。

本機が再起動して、設定が有効になります。

WPS（プッシュボタン方式）で接続する

1. [WPS 設定 (プッシュボタン)] をタップします。

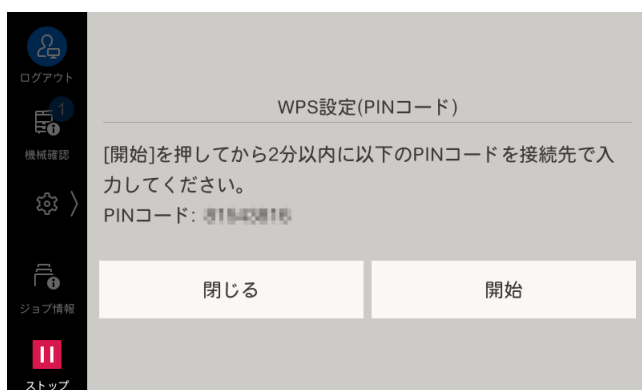
2. [開始] をタップしてから 2 分以内に、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押します。



3. 本機の画面で設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。
本機が再起動して、設定が有効になります。

WPS (PIN コード方式) で接続する

1. [WPS 設定 (PIN コード)] をタップします。
2. [開始] をタップしてから 2 分以内に、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。



3. 本機の画面で設定が更新されたことを確認して、[OK] をタップします。
本機が再起動して、設定が有効になります。

Windows 用のソフトウェアをインストールする

補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P.26)
 - 「USB で接続する」(P.27)
 - 「無線 LAN で接続する」(P.28)

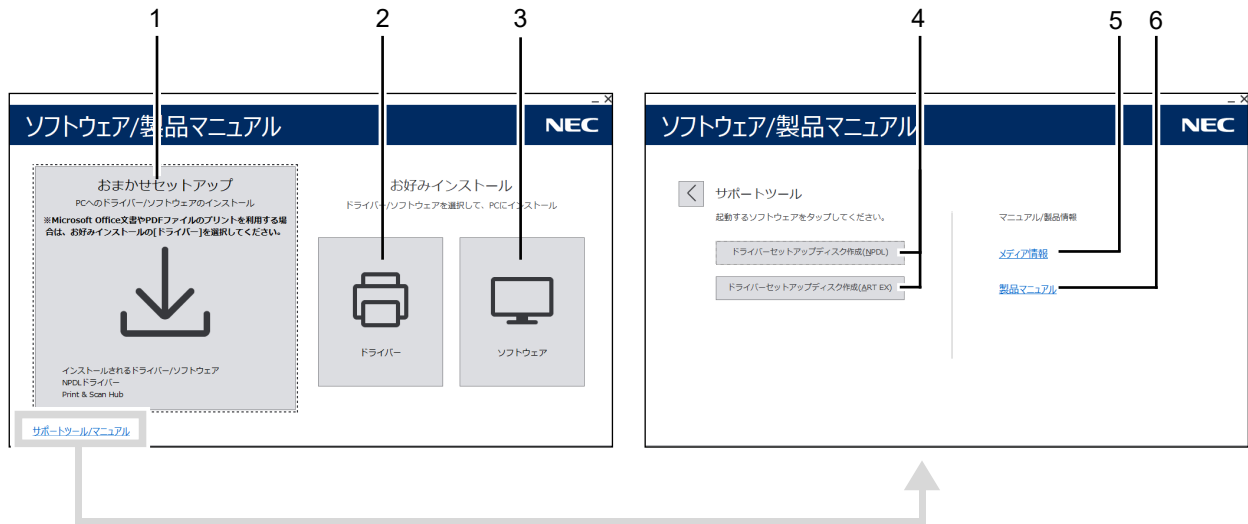
「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使って、次の機能を利用できます。

最新版の Windows 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/>



1 【おまかせセットアップ】

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- NPDN プリンタードライバー
- Print & Scan Hub

補足

- NPDN プリンタードライバーはモノクロプリント専用です。カラープリントをする場合は、【お好みインストール】 から ART EX プリンタードライバーなどをインストールしてご利用ください。

参照

- インストール方法については、「【おまかせセットアップ】 でインストールする」(P.34) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.167) を参照してください。

2 【お好みインストール】 > 【ドライバー】

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- NPDN プリンタードライバー
- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2 (PostScript ソフトウェアキット (平成 2 書体) 用)

参照

- インストール方法については、「【お好みインストール】 でインストールする」(P.34) を参照してください。

3 【お好みインストール】 > 【ソフトウェア】

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility

参照

- インストール方法については、「【お好みインストール】 でインストールする」(P.34) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.167) を参照してください。

4 [サポートツール / マニュアル] > [ドライバーセットアップディスク作成 (NPDL)] / [ドライバーセットアップディスク作成 (ART EX)]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負担を軽減できます。

補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [サポートツール / マニュアル] > [メディア情報]

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの収録内容を確認できます。

6 [サポートツール / マニュアル] > [製品マニュアル]

マニュアルを表示できます。

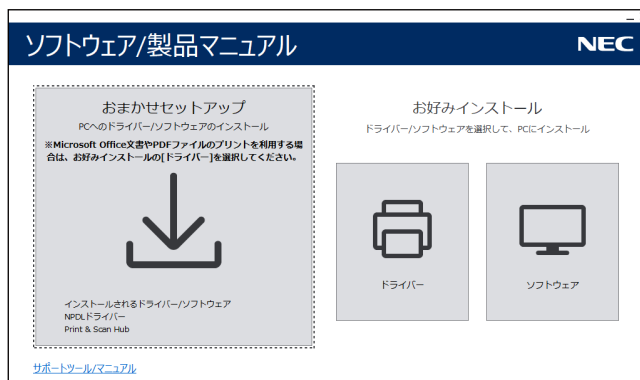
[おまかせセットアップ] でインストールする

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。

補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. [D:¥Launcher.exe] ([D] はドライブ名) を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。

補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. [D:¥Launcher.exe] ([D] はドライブ名) を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。
[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。
4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。
5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

プリンタードライバーでオプション製品の設定をする

ネットワーク接続されているプリンターのオプション製品の情報を、プリンタードライバーの設定に反映します。

NPDLD の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンタ構成] タブをクリックし、[プリンタ情報取得] をクリックします。
4. [適用] > [OK] をクリックします。

補足

- [プリンタ情報取得] をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合や、プリンターを USB 接続している場合は、[プリンタ構成] タブで設定してください。

ART EX の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブをクリックし、[プリンターとの通信設定] > [プリンター本体から情報を取得] > [OK] をクリックします。
4. [適用] > [OK] をクリックします。

補足

- [プリンター本体から情報を取得] をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合や、プリンターを USB 接続している場合は、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] で設定してください。

Mac 用のソフトウェアをインストールする

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使ってソフトウェアをインストールできます。

最新版の Mac 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
3. フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

本機を Mac に登録する

USB 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4. [プリンタ] に本機が表示されていれば、登録は完了です。
本機が表示されない場合は、手順 5 以降に従って本機を追加します。
5.  をクリックします。
6. [種類] 列に [USB] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。
7. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
8. [追加] をクリックします。
9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
10. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

LPD 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4.  をクリックします。
5.  をクリックします。
6. [プロトコル] から [LPD (Line Printer Daemon)] を選びます。

7. 本機の IP アドレスを [アドレス] に入力します。
8. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. [追加] をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
11. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

Bonjour 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
4.  をクリックします。
5. [種類] 列に [Bonjour] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。
6. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
7. [追加] をクリックします。
8. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。
9. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。

1. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
2. [プリンタ] から本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックします。
3. [オプション] をクリックします。
4. 本機に装着済みのオプション製品を選び、[OK] をクリックします。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/os/linux/download/>

メール機能の設定

メール通知サービスやメール受信プリントなど、メールを使う機能を利用するには、次の設定が必要です。

- メールポート
- TCP/IP アドレス
- サブネットマスク（必要に応じて設定）
- ゲートウェイアドレス（必要に応じて設定）

- DNS サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- 本体メールアドレス
- メール受信プロトコル
- SMTP サーバーアドレス
- SMTP AUTH ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）
- POP3 サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- POP3 ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）

参照

- TCP/IP アドレスの設定については、「IP アドレスを変更する」(P.40) を参照してください。

メール送信の設定をする

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. 本機のメールアドレスを設定します。

1) [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。

2) メールアドレスやホスト名を設定します。

参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.135) を参照してください。

3) をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

5. 送信の設定をします。

1) [メール送受信設定] をタップします。

2) [SMTP サーバー設定] をタップし、SMTP サーバーの設定をします。

補足

- メールの送信には、SMTP サーバーの設定が必要です。詳しくは、「[SMTP サーバー設定]」(P.138) を参照してください。

3) をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6. ボタンを押します。

メール受信を設定する

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. ポートを起動します。

- 1) [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール受信] > [メール受信 - ポート] をタップします。
- 2) [起動] をタップします。
- 3) < をタップして、[ポート設定] 画面まで戻ります。
- 4) メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、同様に [メール通知サービス] の [メール通知サービス - ポート] を [起動] に設定します。
- 5) < をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

5. 受信プロトコルを設定します。

- 1) [その他の設定] > [メール受信プロトコル] をタップします。
- 2) [SMTP] または [POP3] をタップします。
- 3) < をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6. 本機のメールアドレスを設定します。

- 1) [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。
- 2) メールアドレスやホスト名を設定します。

参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.135) を参照してください。

- 3) < をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

7. [メール送受信設定] をタップして、受信の設定をします。

[メール受信プロトコル] で [SMTP] を選んだ場合
特別な設定は不要です。

[メール受信プロトコル] で [POP3] を選んだ場合
POP3 サーバーの設定をします。

補足

- POP3 サーバー設定で POP over SSL を ON にすると、メールの受信が暗号化されます。POP over SSL はインターネットサービスを使用して設定できます。

参照

- POP3 サーバーの設定については、「[POP3 サーバー設定]」(P.138) を参照してください。
- POP3 受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.135) を参照してください。
- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

8. < をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

9. 𐀀(ホーム) ボタンを押します。

IP アドレスを変更する

IP アドレスの変更方法について IPv4 を例に説明します。

補足

- IPv6 環境の IP アドレスを手動で割り当てるときは、付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクまたはインターネットサービスを使用します。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- 共通設定] をタップします。

5. [IP 動作モード] をタップし、お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4 モード]、または [IPv6 モード] をタップします。

補足

- 使用するネットワークが IPv4 および IPv6 の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選んでください。

6. < をタップして、[プロトコル設定] 画面に戻ります。

7. [TCP/IP- ネットワーク設定]、または [TCP/IP 設定 (LAN1)] / [TCP/IP 設定 (LAN2)] / [TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] をタップし、お使いの環境に合わせて IP アドレスの取得方法を設定します。

補足

- ネットワークの接続方法によって、表示される項目が異なります。

ここでは手順 5 で [IPv4 モード] を選んだ場合を例に説明します。

8. [IPv4-IP アドレス取得方法] をタップします。

9. IP アドレスの割り当て方法を設定します。

IP アドレスを自動で設定する場合

- 1) [DHCP/AutoIP から取得]、[BOOTP から取得]、[DHCP から取得] のどれかを選び、[OK] をタップします。

IP アドレスを手動で設定する場合

- 1) [手動で設定] を選び、[OK] をタップします。
- 2) [IPv4-IP アドレス] をタップします。
- 3) IP アドレスを入力し、[OK] をタップします。
- 4) [IPv4- サブネットマスク] をタップします。
- 5) サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。
- 6) [IPv4- ゲートウェイアドレス] をタップします。
- 7) ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。

10. < をタップして、[プロトコル設定] 画面に戻ります。

11. 戻る(ホーム) ボタンを押します。

3.4 NPDL プリンタードライバーと ART EX プリンタードライバーの機能の比較

NPDL プリンタードライバーと ART EX プリンタードライバーの代表的な機能を比較します。

○：機能あり ×：機能なし

機能		ART EX	NPDL	補足
基本	カラー印刷	○	×	—
	モノクロ印刷	○	○	ART EX プリンタードライバーではカラーモード：白黒を選択します。
	製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転	○	×	—
		○	×	—
トレイ / 排出	用紙トレイ選択	○	○	NPDL プリンタードライバーでは、用紙トレイ選択ではなく給紙選択と呼びます。
	トレイの用紙種類	○	○	—
	手差し用紙種類	○	○	—
	手差し用紙の給紙方向	○	×	NPDL プリンタードライバーでは封筒印刷などで給紙の向きが変更できません。
	排出方法	○	○	—
	ソートする [1 部ごと]	○	○	—
	フィニッシャ	○	×	—
		○	×	—
	サイズ混在原稿の出力設定	○	×	—
プリントの種類	リレー給紙	×	○	「大量・連続プリントする」(P.84)
	グループトレイ	×	○	「大量・連続プリントする」(P.84)
	サンプルプリント	○	○	「出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P.89)
	時刻指定プリント	○	×	「指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P.91)
	セキュリティープリント	○	○	「機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P.93)
	プライベートプリント	○	○	「機密文書をプリントする - プライベートプリント -」(P.96)
	認証プリント	○	○	「機密文書をプリントする - 認証プリント -」(P.100)
	メール受信プリント	○	○	「電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -」(P.103)

4 本機の基本操作

4.1 タッチパネルディスプレイ

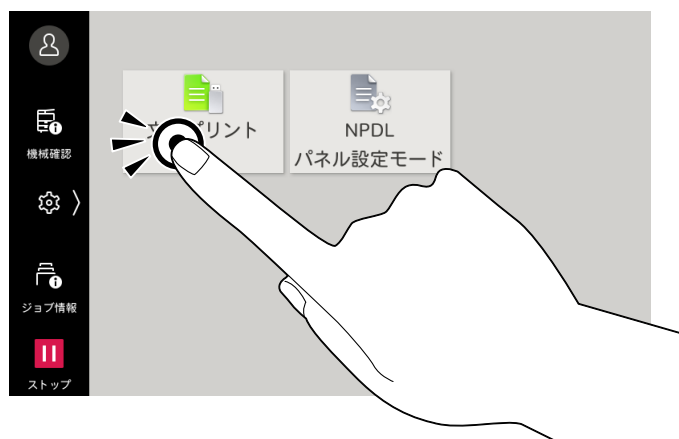
画面の操作

補足

- プレビュー画面以外では、ピンチイン（2本の指で画面をつまむように動かして縮小する操作）とピンチアウト（2本の指で画面を広げるように動かして拡大する操作）はできません。

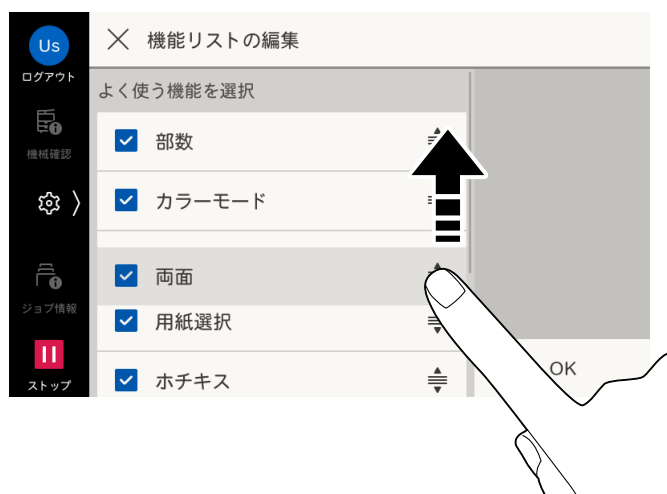
タップ

タッチパネルディスプレイに軽く触れ、すぐに指を離します。



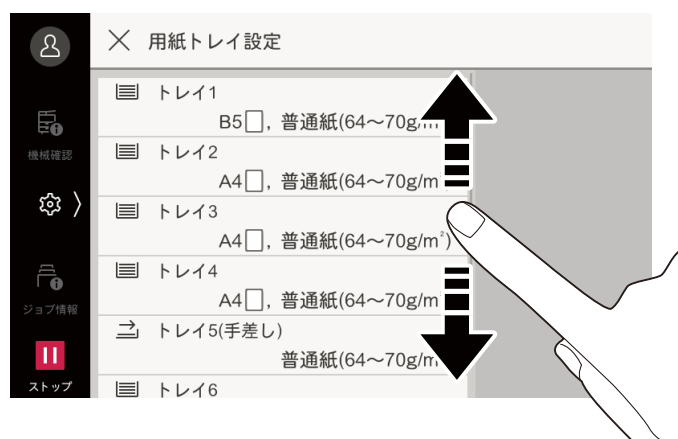
ロングタップ

アプリケーションアイコンやメニュー項目に触れたままにします。ロングタップしたまま、目的の位置まで移動させると、アイコンの位置やメニュー項目の並び順を変更できます。



スワイプ

タッチパネルディスプレイに軽く触れたまま、上下に動かすと、画面をスクロールできます。



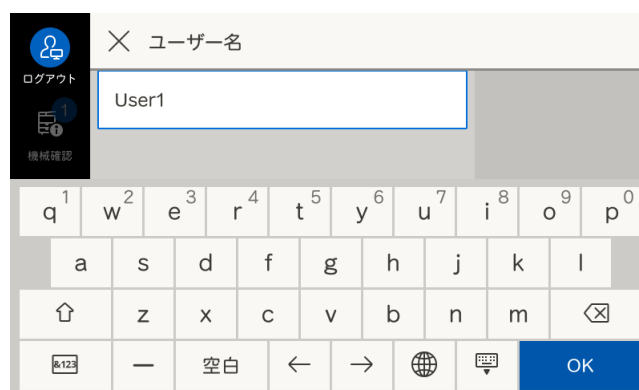
フリック（目的の方向に画面を指で軽く払う）もできます。

ピンチイン / ピンチアウト

プレビュー画像をピンチイン（2本の指で画面をつまむように動かして縮小する操作）、ピンチアウト（2本の指で画面を広げるように動かして拡大する操作）すると、画像を拡大縮小できます。

文字の入力

各種設定などで文字を入力するときは、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。



補足

- 入力画面、入力言語によって、表示されるボタンは異なります。
- 🌐をタップすると、入力言語を変更できます。
- 入力できる漢字は、JISの第一水準と第二水準です。

ログイン

認証機能を有効にしている場合は、本機を使用するときに認証ユーザーでログインします。

本機の設定などを行う場合は、機械管理者でログインします。

ログインすると、認証情報の表示エリアのアイコンが変わります。コントロールメニューを展開すると、ユーザー名が表示されます。

補足

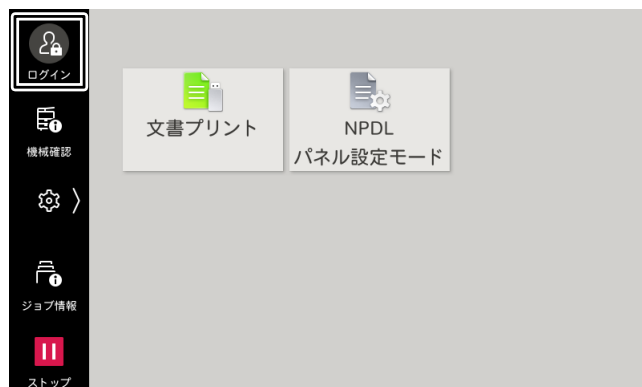
- 認証機能を有効にしていない場合は、[一般ユーザー]と表示されます。
- 機械管理者としてログインすると[機械管理者]と表示されます。工場出荷時の機械管理者IDとパスワードについては、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

参照

- ログインするときにパスワードを入力するかどうかの設定については、「[パスワードの運用]」(P.150) を参照してください。

タッチパネルディスプレイでログインする

1. 認証情報の表示エリアをタップします。



2. ユーザー ID を入力して、[OK] をタップします。

補足

- パスワードの入力が必要な場合は、[次へ] をタップしてパスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 認証を解除する場合は、認証情報の表示エリアをタップします。

IC カードを使用してログインする

1. IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをタッチします。

画面のカスタマイズ

ホーム画面に表示するアプリや、初期表示の画面を変更できます。

ホーム画面のカスタマイズ

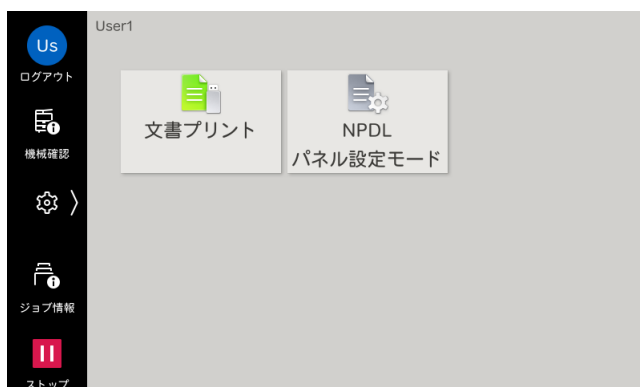
アプリの表示・非表示を切り替えたり、配置を変更したりできます。認証機能を有効にしている場合は、ユーザーごとにカスタマイズできます。

補足

- 認証ユーザーがホーム画面をカスタマイズできないように設定できます。インターネットサービスに機械管理者モードでログインし、[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制御設定] > [個人用カスタマイズ設定の制限] の [本体のアプリ画面の機能配置] を [制限する] に設定します。

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。

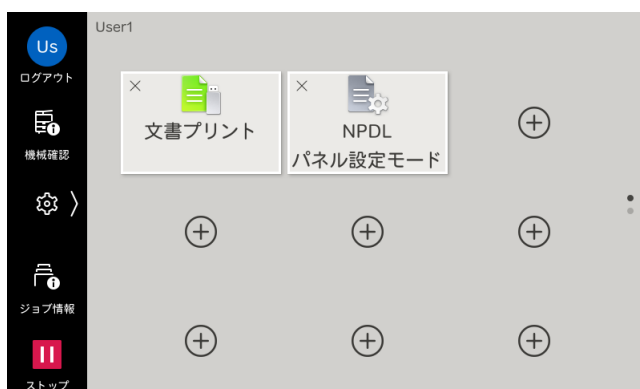
2. ホーム画面で、アプリの表示エリアをロングタップします。



3. 次の操作をします。

アプリの非表示

1) 非表示にするアプリの×をタップします。



アプリの表示

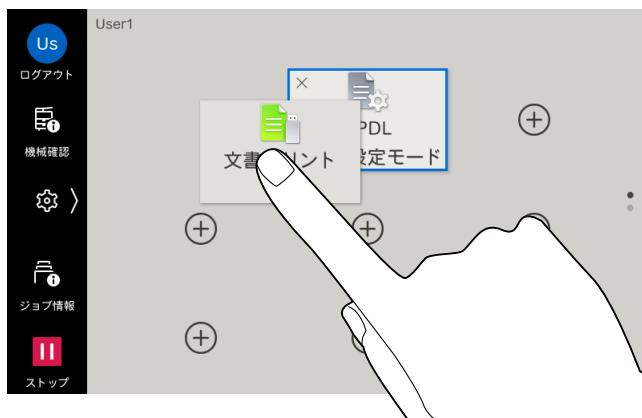
1) ⊕をタップします。

2) 追加するアプリをタップします。



アプリの位置の変更

- 1) アプリをロングタップしたまま目的の位置まで移動します。



4. カスタマイズが終わったら、アプリの表示エリアの何も表示されていない領域をタップします。

初期表示画面を変更する

本機が起動して最初に表示される画面を設定できます。

補足

- すべてのユーザーで共通の設定となります。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [システム設定] > [画面の設定] > [初期表示画面] をタップします。
5. 画面を選び、[OK] をタップします。

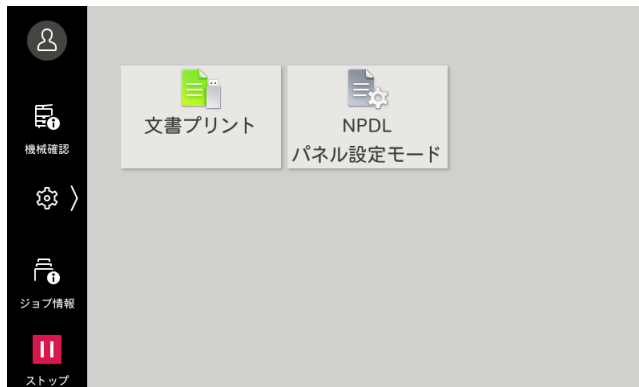
オンライン / オフラインの切り替え

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
3. [プリンターモード] をタップします。
4.  をタップして、[オンライン] または [オフライン] を切り替えます。
 - [オンライン]
コンピューターからのデータを受信します。
 - [オフライン]
コンピューターからのデータを受信しません。受信中のデータがある場合は、中断します。

4.2 ジョブの操作

実行中ジョブの一時停止

1. プリントジョブの実行中に、ホーム画面で[ストップ] をタップします。



表示される画面で、ジョブを継続するか、中止するかを選ぶことができます。

補足

- 複数のジョブを実行中の場合は、[ジョブ情報] 画面が表示され、操作するジョブを選ぶことができます。

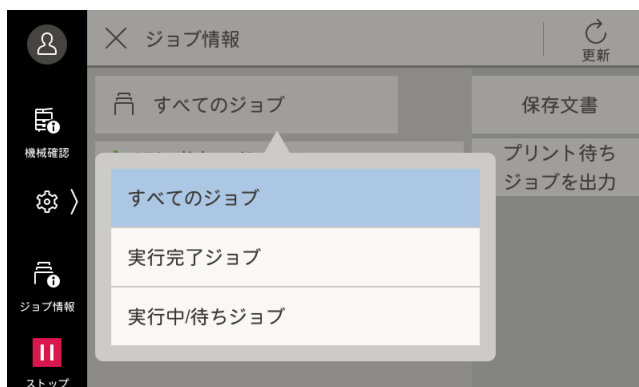
ジョブの確認 / 中止 / プリント

1 つずつジョブを操作する

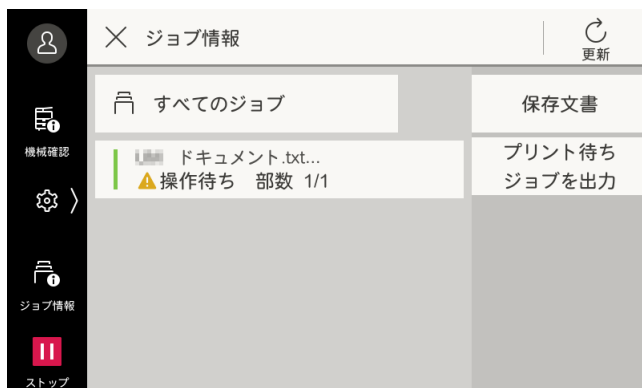
実行中や実行待ちのジョブ、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、プリント待ちや操作待ちのジョブをプリントしたりできます。

蓄積プリントのジョブなどで[保存文書] をタップすると、保存文書の一覧が表示されます。

1. ホーム画面で[ジョブ情報] をタップします。
2. [すべてのジョブ] をタップして、表示するジョブの種類を切り替えます。



3. 操作するジョブをタップします。



4. 表示された画面で、次に実行する操作を選びます。

- 実行中のジョブや、一時停止中のジョブの場合は、ジョブの中止や再開などの指示ができます。また、[優先] をタップすると、そのジョブを優先的に実行できます。
- 完了したジョブの場合は、ジョブの結果を確認したり、レポートを出力したりできます。

一度にすべてのジョブを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのジョブを中止してください。

1. ホーム画面で [ストップ] をタップします。
2. [機械確認] をタップします。
3. [プリンターモード] > [オンライン] の をタップして、オフラインに切り替えます。
4. 機械管理者でログインします。

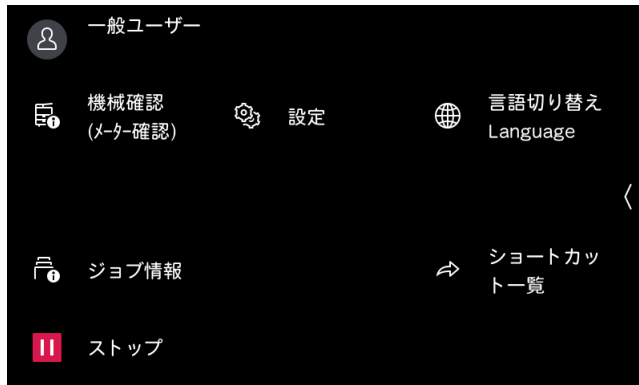
参照

 - ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。
5. [ジョブ情報] をタップします。
6. [すべてのジョブを中止] をタップします。
7. [はい (中止する)] をタップします。
8. [機械確認] をタップします。
9. [プリンターモード] > [オンライン] の をタップして、オンラインに切り替えます。

4.3 本機の状態の確認

本機の状態を確認したり、レポートを出力したりできます。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。



[詳細情報]

本機の情報を確認できます。



[メーター確認]

メーター別のプリントページ数が表示されます。



白紙ページがプリントされた場合、メーターはカウントされます。

補足

- プリンタードライバーで白紙節約を設定すると、描画のない白紙ページはプリントされません。ただし、次の場合は、白紙ページがプリントされることがあります。
 - ページ内に改行だけが存在する場合
 - ページ内にスペース（空白）だけが存在する場合
 - ページ内に改行およびスペースだけが存在する場合
 - その他、アプリケーションから白い背景描画命令などが渡された場合

[シリアル番号]

本機のシリアル番号が表示されます。

[メーター 1]

白黒プリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次の場合に、白黒プリントと認識されます。
 - カラーモードで白黒を設定したとき
 - カラーモードを指定しなかった場合は、データが黒 1 色と判断されたとき

[メーター 2]

通常は使用されません。

[メーター 3]

カラープリントの合計ページ数が表示されます。

補足

- 次の場合に、カラープリントと認識されます。
 - カラーモードでフルカラーを設定したとき
 - カラーモードを指定しなかった場合は、データに黒以外の色が使用されていると判断されたとき
- 両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、自動的にページ調整の白紙が挿入されることがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

[ユーザー別メーター確認]

[ユーザー別メーター確認] > [プリンターメーター] で、ユーザー別のページ数を確認できます。

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] の場合に、ログインしているユーザーのメーターを確認できます。

メーターを確認したいユーザーでログインしてから、この機能を使用してください。

× プリンターメーター	
Us ログアウト 機械確認 ジョブ情報 ストップ	今回のカウント
	カラー 0
	白黒 0
	これまでの総合計
	カラー 0
	白黒 0

補足

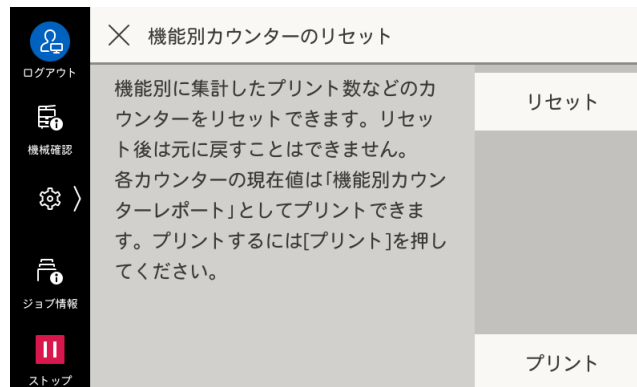
- [認証 / 集計の設定] > [各機能の集計] > [集計する] に設定している機能のメーターを確認できます。
- 機械管理者でログインしたときは、[ユーザー別メーター確認] は表示されません。

参照

- 集計管理機能については、「[集計管理]」(P.145) を参照してください。

[機能別カウンターのリセット]

機能別に集計したプリント数や、稼動状況の累積時間などのカウントをリセットしたりプリントしたりできます。



補足

- [機能別カウンターのリセット] は、集計管理の権限を持つユーザーまたは機械管理者で認証しているときに表示されます。

[消耗品確認]

消耗品の状態が表示されます。



[通知]

障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなど、本機からの通知を重要な順に表示します。通知を選ぶと、詳細を確認できます。



[用紙トレイ]

用紙トレイの状態と設定を確認できます。



[レポート / リストの出力]

レポートまたはリストをプリントできます。



[PostScript フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[ジョブ確認]

[ジョブ履歴レポート]

コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。最新の 200 件までのジョブについてプリントされます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。

[プリンター設定]

[機能設定リスト (共通項目)]

本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。

[ART EX フォーム登録リスト]

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書がプリントされます。

[PCL 設定リスト]

PCL の各設定がプリントされます。

[PCL マクロ登録リスト]

PCL 用に登録したフォームがプリントされます。

[PDF 設定リスト]

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 設定リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターがプリントされます。

[PostScript 論理プリンター登録リスト]

PostScript で作成した論理プリンターがプリントされます。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ESC/P 設定リスト]

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[ESC/P メモリー登録リスト]

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]

ART IV、ESC/P で使用できるフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

[HP-GL/2 設定リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 メモリー登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 パレットリスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションのペン属性で設定できる 256 色の見本リストがプリントされます。

[フォントリスト]

本機で使用できるフォントがプリントされます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[PostScript フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[DocuWorks プリント設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[送受信ドメイン制限リスト]

送受信を制限するドメインの設定状況がプリントされます。

[NPD L 設定リスト]

NPD L プリントモードでの設定値がプリントされます。

[機能別カウンターレポート]

機能別のカウンターレポートがプリントされます。各機能別に、実際に使用した内訳（プリント枚数や使用回数など）や、使用していない時間（待機時間、低電力モード時間、スリープモード時間、電源オフ時間など）の累計を分単位で確認できます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。

補足

- [エラー履歴レポート] は、[レポート/リストの出力] 画面の [ジョブ確認] の [ジョブ履歴レポート] から指示できます。
- [レポート設定] の [レポート出力の許可] が無効になっている場合は、[エラー履歴レポート] は表示されません。詳しくは、「[レポート設定]」(P.116) を参照してください。

[インターネットサービスの接続先]

インターネットサービスの URL を確認できます。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

[プリンターモード]

本機の状態をオンラインまたはオフラインに切り替えることができます。

参照

- 詳しくは、「オンライン / オフラインの切り替え」(P.46) を参照してください。

[無線 LAN の接続状態]

Wi-Fi と Wi-Fi Direct の接続状況が表示されます。

ここから Wi-Fi Direct の接続を切断することもできます。

参照

- 詳しくは、「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する」(P.107) を参照してください。

4.4 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げ電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

スリープモードに移行しないように設定することはできません。

補足

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。節電状態になると操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンが点滅します。

- 操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンを押して、[節電モードに移行する] をタップする
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

補足

- 紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

参照

- 節電状態に移行するまでの時間を変更するには、「[節電モード移行時間]」(P.114) を参照してください。

節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- 操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンを押す

- プリントジョブを受信する
- インターネットサービスの「保存」をクリックする
- 正面カバーを開ける

補足

- オプション製品や別売品を操作することで、自動復帰する場合があります。
- タッチパネルディスプレイが消灯してすぐに「電源 / 節電」ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかることがあります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度「電源 / 節電」ボタンを押してください。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

使用する機能に必要な部分だけ節電を解除する

節電状態から復帰する場合、使用する機能に必要な部分だけ電力を供給して、消費電力を節約できます。

補足

- 節電状態での用紙セットや消耗品交換では、本機は用紙や新しい消耗品の情報を取得できません。「電源 / 節電」ボタンを押し、 > 「設定」 > 「用紙トレイ設定」、または  > 「機械確認 (メーター確認)」 > 「消耗品確認」をタップしてから、用紙のセットや消耗品の交換を行ってください。
- プリントジョブを受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、出力部のみ節電状態から復帰してプリントを開始します。
- 蓄積プリントジョブ (セキュリティープリント、時刻指定プリント、認証プリント、プライベートプリント) を受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、ストレージのみ節電状態から復帰します。

参照

- 使用する部分だけ節電を解除するかどうかの設定については、「[節電解除の制御]」(P.114) を参照してください。

4.5 用紙について

推奨する用紙



警告

- 電気を通しやすい紙 (折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など) を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にプリントするためには規格に合った用紙を使用してください。使用できる用紙については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

用紙名	用紙質量 (g/m ²)	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙種類別画質処理
C ²	70	普通紙	[B]

その他の用紙については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。検証用紙情報については、次の URL で確認できます。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/paper/>

各トレイの給紙性能

用紙質量と最大収容枚数

用紙トレイ	用紙質量 (g/m ²)	用紙サイズ	最大収容枚数
トレイ 1	52 ~ 300	よこ : 100 ~ 297 mm たて : 148 ~ 431.8 mm	600 枚 ^{*1}
トレイ 2	52 ~ 300	よこ : 100 ~ 320 mm たて : 148 ~ 457.2 mm	600 枚 ^{*1}
トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション))	52 ~ 300	よこ : 100 ~ 320 mm たて : 148 ~ 457.2 mm	600 枚 ^{*1}
トレイ 3 ((タンデムトレイモジュール) (オプション))	52 ~ 300	B5、A4、レター	980 枚 ^{*1}
トレイ 4 ((タンデムトレイモジュール) (オプション))	52 ~ 300	B5、A4、レター	1410 枚 ^{*1}
トレイ 5 (手差し)	52 ~ 300	よこ : 88.9 ~ 320 mm たて : 98.4 ~ 482.6 mm	10 mm まで 110 枚 ^{*1}
トレイ 6 (大容量トレイモジュール (オプション))	55 ~ 216	B5、A4、レター	2470 枚 ^{*1}
小サイズ給紙トレイ (オプション)	75 ~ 90 ^{*2} 106 ~ 220 ^{*3}	よこ : 90 ~ 241 mm たて : 98 ~ 372 mm	50 枚 ^{*4} 200 枚 ^{*3}

*1 : C² 紙の場合

*2 : 封筒の場合

*3 : はがきの場合

*4 : 当社指定紙の場合

補足

- 封筒、はがきをセットできるトレイは、次のとおりです。
 - はがき : トレイ 1、2、トレイ 3、4 (2トレイモジュール (オプション))、トレイ 5 (手差し)、小サイズ給紙トレイ (オプション)
 - 封筒 : トレイ 5 (手差し)、小サイズ給紙トレイ (オプション)
- 自動両面機能を使用できる用紙は次のとおりです。
 - 用紙サイズ
 - 幅 : 128 ~ 320 mm
 - 長さ : 139.7 ~ 482.6 mm
 - 用紙質量 : 52 ~ 300 g/m²
- NPD L プリンタードライバーからプリントする場合は、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、郵便はがき、往復はがき、洋形 4 号 以外の用紙サイズは定形外サイズとして扱われます。なお、はがきは日本郵便製、封筒は洋形 4 号が使用できます。
- NPD L プリンタードライバーからプリントする場合は、小サイズ給紙トレイ (オプション) は使用できません。

使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- インクジェット用紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙

- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙
- 電気を通しやすい紙 (折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙 / 導電性インクによるプレプリント紙など)

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がり防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてから使用してください。

4.6 用紙をセットする

注記

- 用紙サイズ検知のため、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- 種類が異なる用紙を、1つのトレイに混在してセットしないでください。
- プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙詰まりの原因になります。

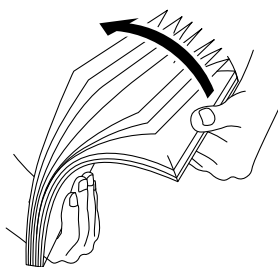
補足

- プリント中に用紙がなくなると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

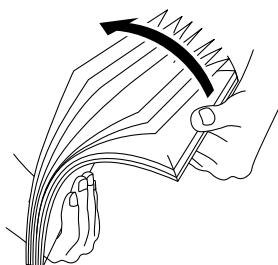
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

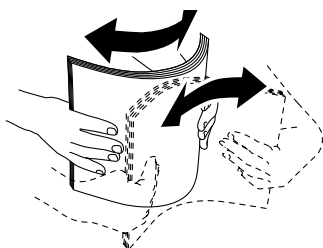
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。



3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。

トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする

用紙サイズの設定について

定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。
定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。

参照

- 用紙サイズの設定方法については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

用紙種類の設定について

各トレイの用紙種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定が、セットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

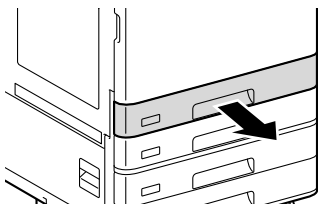
補足

- 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙種類別画質処理」の設定が必要なことがあります。詳しくは、「[用紙種類別画質処理]」(P.112) を参照してください。

参照

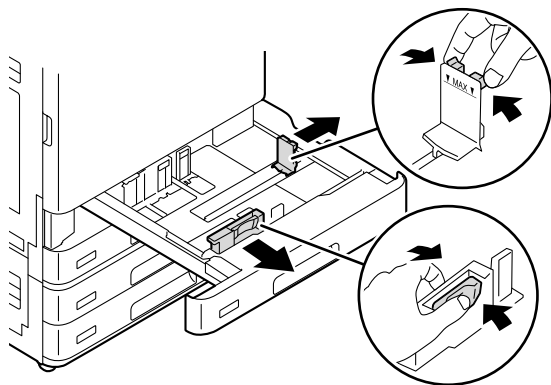
- 用紙種類の設定方法については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

1. 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。



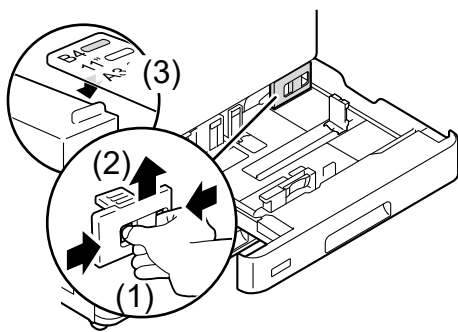
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. 2 か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

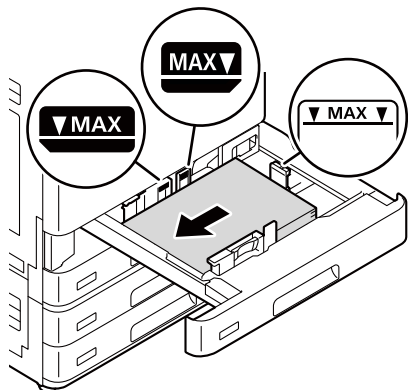


補足

- B4 以上の用紙をセットする場合は、用紙後端ガイドを用紙サイズに合わせます。用紙後端ガイドをつまんで (1) 用紙トレイから外し (2)、ガイドにある用紙サイズの穴を用紙トレイの突起に差し込みます (3)。



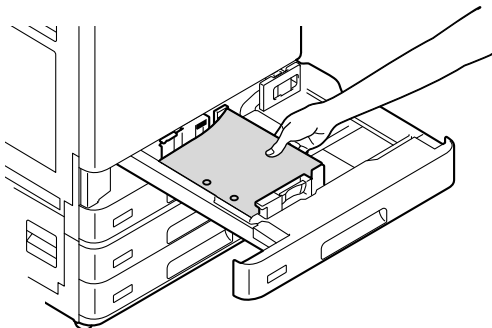
4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。



注記

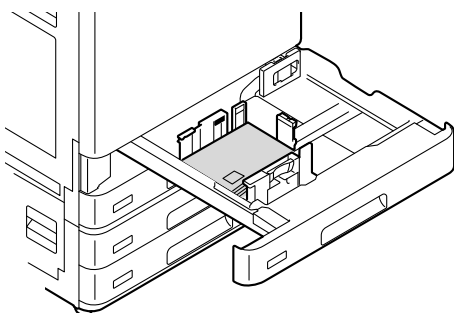
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- トレイ 1 ～ 4（3、4 はオプション）の右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

穴あき用紙の場合

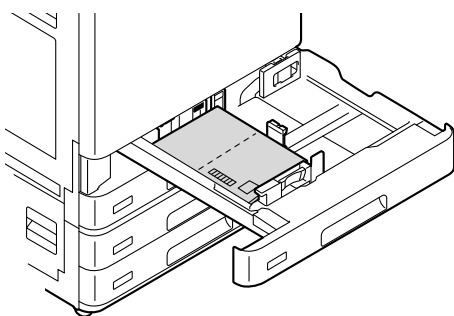


はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



補足

- 往復はがきをトレイ 5（手差し）以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - NPD L :
プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを【ユーザー定義用紙】に設定し、【自動 / トレイの用紙種類】に【はがき】、【給紙選択】に【自動】を設定します。
 - ART EX :
プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを【ユーザー定義用紙】に設定し、【トレイの用紙種類】に【はがき】、【用紙トレイ選択】に【自動】を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを  > 【設定】 > 【用紙トレイ設定】 で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に【はがき】を設定します。

参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.78)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

5. 用紙トレイを押し込みます。
6. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

参照

- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

トレイ 1（（小サイズ給紙トレイ）（オプション））にセットする

小サイズ給紙トレイ（オプション）を標準のトレイ 1 の代わりに取り付けると、トレイに封筒、はがき、小さいサイズの用紙をセットできます。

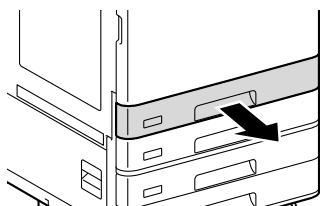
注記

- 小サイズ給紙トレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。ほかのトレイの場所には取り付けられません。

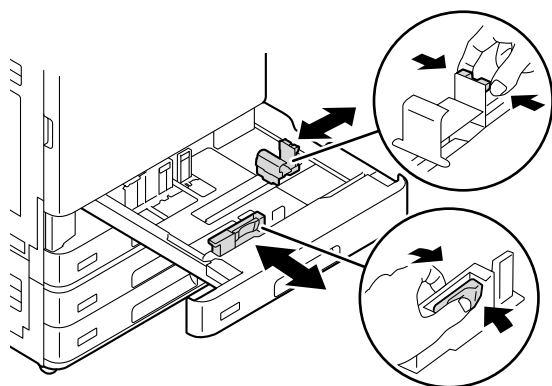
補足

- 小サイズ給紙トレイと標準のトレイ 1 は同時に装着できません。
- 小サイズ給紙トレイを使うときは、機械管理者でログインし、次の設定を有効にしてください。
 1. [システム設定] > [その他の設定] > [小サイズ給紙トレイの使用]
 2. [用紙トレイ設定] > [トレイ 1] > [小サイズ給紙トレイ]
- NPD L プリンタードライバーからプリントする場合は、小サイズ給紙トレイ（オプション）は使用できません。

1. 小サイズ給紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



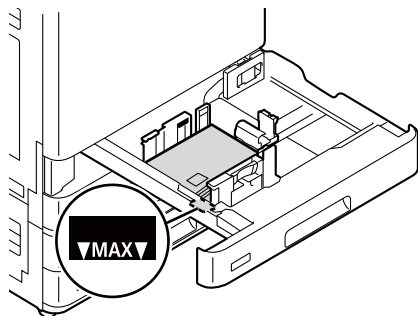
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 2 か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



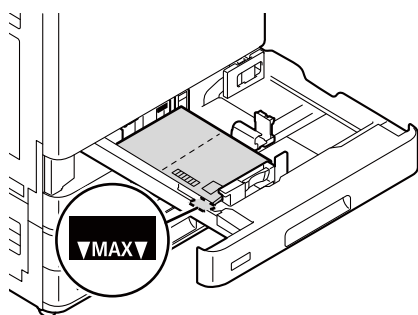
4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



補足

- 往復はがきをトレイ 5（手差し）以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを [ユーザー定義用紙] に設定し、[トレイの用紙種類] に [はがき]、[用紙トレイ選択] に [自動] を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを > [設定] > [用紙トレイ設定] で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に [はがき] を設定します。

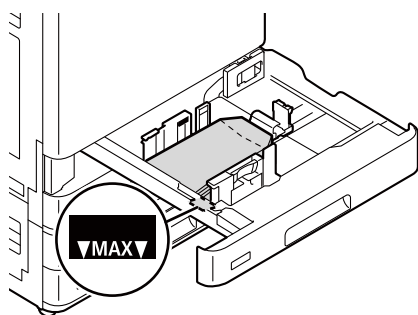
参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.78)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

封筒の場合

和封筒

フラップを開き、本機を正面から見てフラップが右側になるようにセットします。

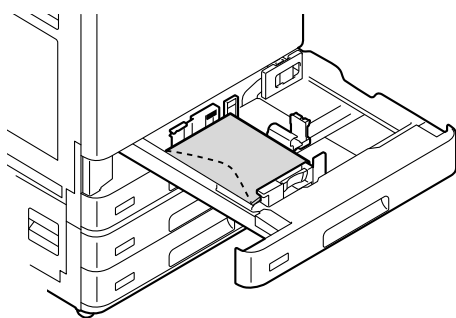


補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。
- 定形外の場合は、プリンタードライバーで長辺にフラップ分を追加して設定します。

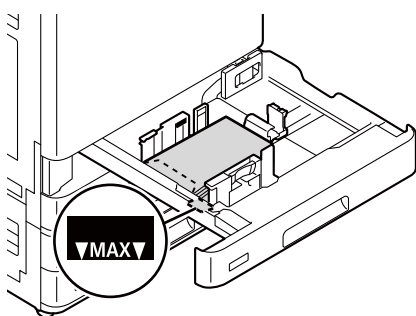
洋封筒

フラップを閉じ、本機を正面から見てフラップが左側になるようにセットします。



のりやシールが付いた封筒

フラップを閉じ、本機を正面から見てフラップが左側になるようにセットします。



注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障原因になります。
- 小サイズ給紙トレイの右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

5. 用紙トレイを押し込みます。

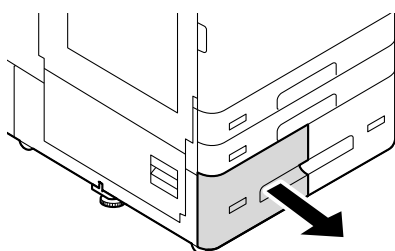
6. 用紙サイズと用紙種類を設定します。

参照

- 用紙のサイズと種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

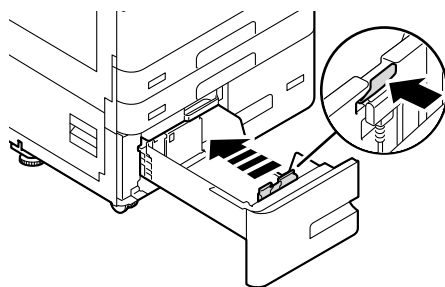
トレイ 3（（タンデムトレイモジュール）（オプション））に用紙をセットする

1. 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

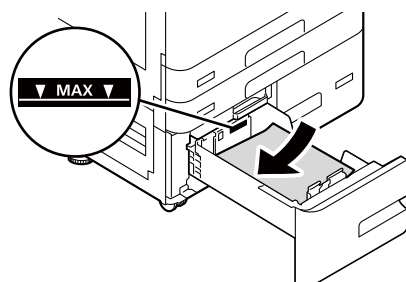


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズにあった位置まで移動します。



4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

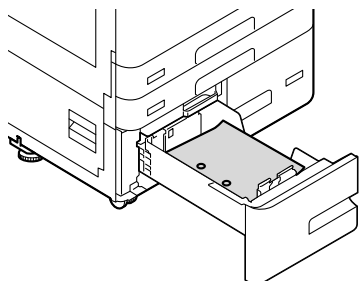


注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 穴あき用紙を使うときは、次のようにセットしてください。



5. 用紙トレイを押し込みます。

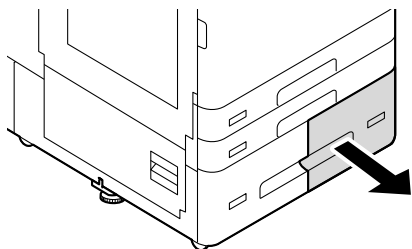
6. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

参照

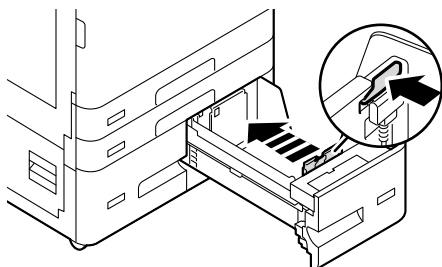
- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

トレイ 4（(タンデムトレイモジュール)（オプション）） に用紙をセットする

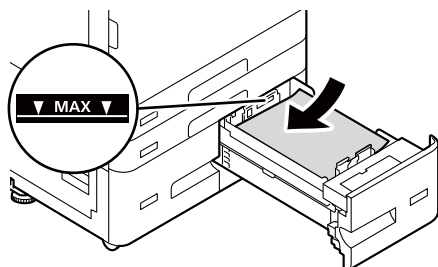
1. 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズにあった位置まで移動します。



4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

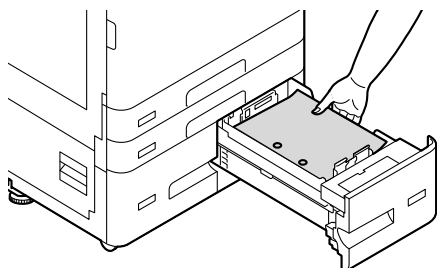


注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 穴あき用紙を使うときは、次のようにセットしてください。



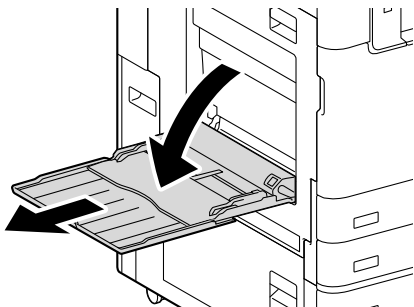
5. 用紙トレイを押し込みます。
6. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

参照

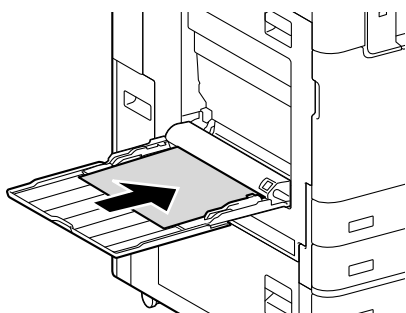
- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする

1. トレイ 5 (手差し) を開きます。



2. プリントする面を下に向けて、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。



注記

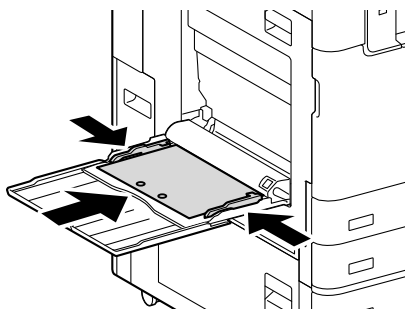
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 厚紙の種類によっては機械に送れなかったり、希望どおりの画質にならなかったりすることがあります。

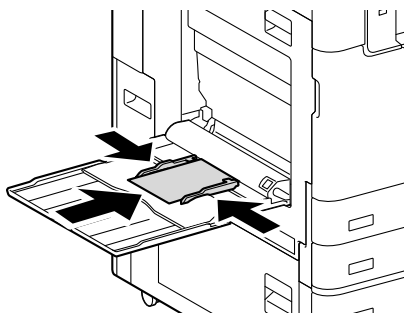
穴あき用紙の場合

穴のあいていない辺が先に本機に入るようにセットします。

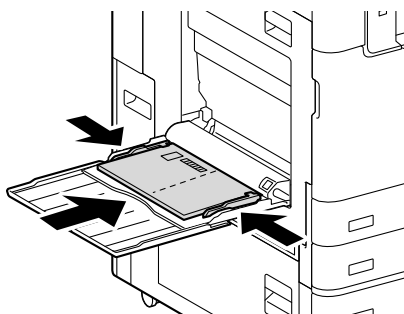


はがきの場合

郵便はがき



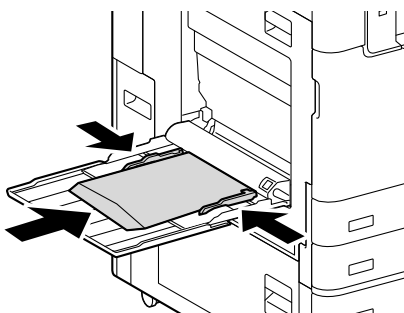
郵便往復はがき



封筒の場合

和封筒

フラップを閉じ、封筒の底辺が先に本機に入るようにセットします。

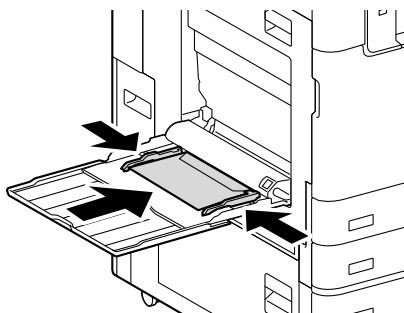


補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーで次の設定をします。
 - NPD L :
[基本] タブ> [原稿の向き] > [原稿 180° 回転] にチェックマークを付けます。
 - ART EX :
[基本] タブ> [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。
- 定形外の場合は、プリンタードライバーで長辺にフラップ分を追加して設定します。

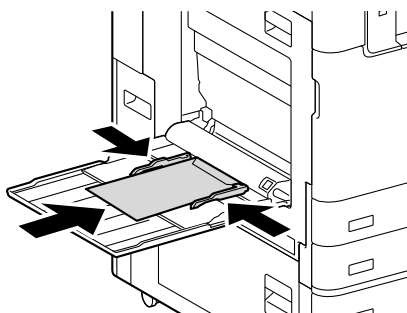
洋封筒

フラップを閉じ、フラップが先に本機に入るようにセットします。

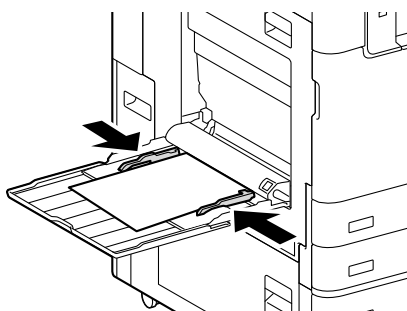


のりやシールが付いた封筒

フラップを閉じ、フラップが先に本機に入るようにセットします。



3. 用紙ガイドを、セットした用紙に軽く合わせます。



長尺サイズの内紙をセツトする

長尺用紙セツトガイド（オプション）をトレイ5に取り付けると、トレイに長尺サイズの用紙をセツトできます。

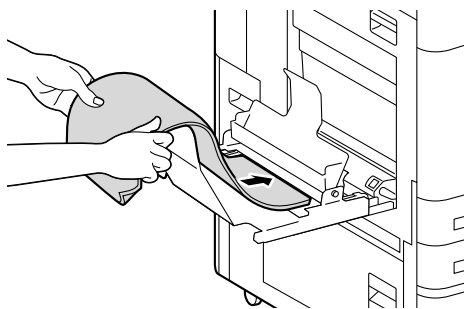
補足

- 長尺サイズの用紙は1枚ずつセツトしてください。
- 次の3種類の長尺サイズの用紙をセツトできます。
 - 210 × 900 mm
 - 297 × 900 mm
 - 297 × 1200 mm
- プリンタードライバーで設定できる用紙の定形サイズは、次のとおりです。
 - NPDL：長尺紙（297 x 900 mm）
 - ART EX：長尺紙（210 x 900 mm）、長尺紙 A（297 x 900 mm）、長尺紙 B（297 x 1200 mm）

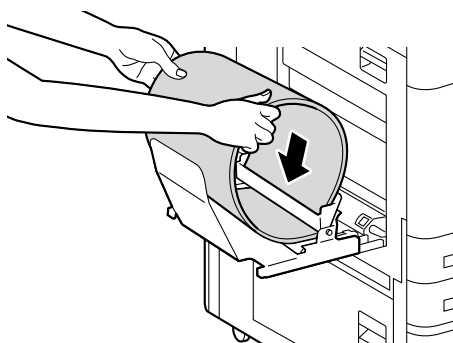
参照

- 取り付け方法については、「長尺用紙セツトガイドの取り付け」（P.291）を参照してください。

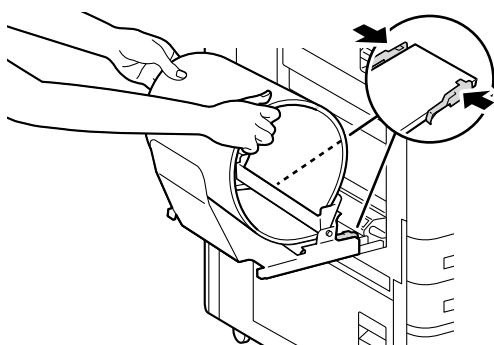
1. 長尺用紙のプリントする面を下に向けて、用紙受けの下を通し用紙ガイドに沿って、軽く奥に突き当たるまで差し込みます。



2. 用紙の後端を図のように丸めて、用紙受けに差し込みます。



3. トレイ 5（手差し）の用紙ガイドを、セットした用紙のサイズに合わせます。

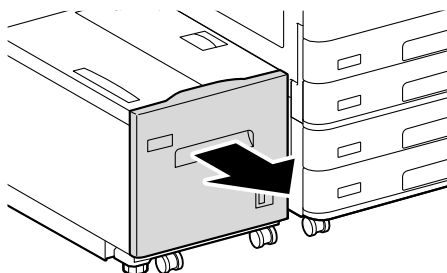


補足

- 紙詰まりを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ごとに取り出してください。

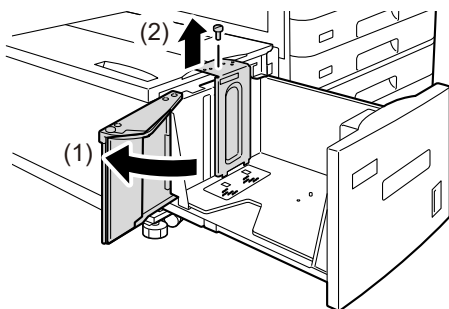
トレイ 6（大容量トレイモジュール（オプション））に用紙をセットする

1. 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。

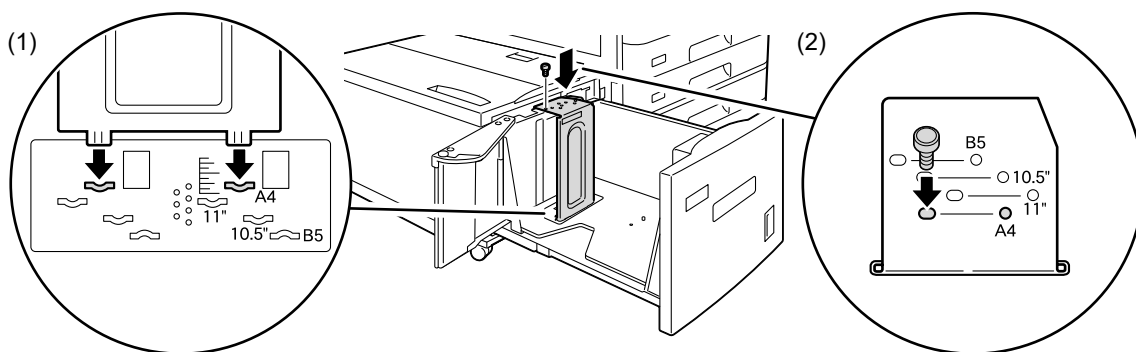


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 用紙サイズを変更する場合は、ガイドの位置を調整します。

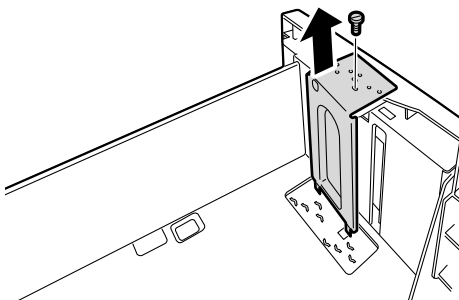
1) エンドガイドを開いて (1)、奥のガイドのネジを外し (2)、ガイドを用紙トレイから外します。



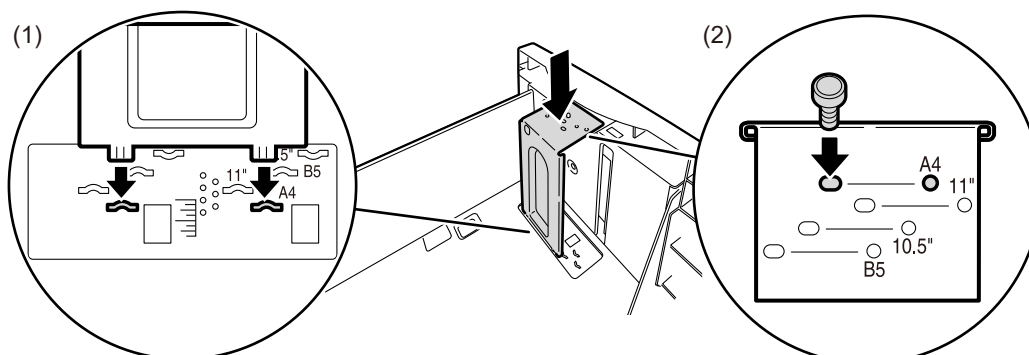
2) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。



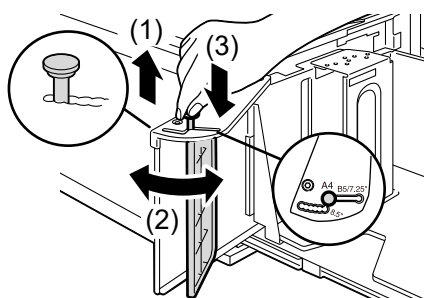
3) 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



4) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。



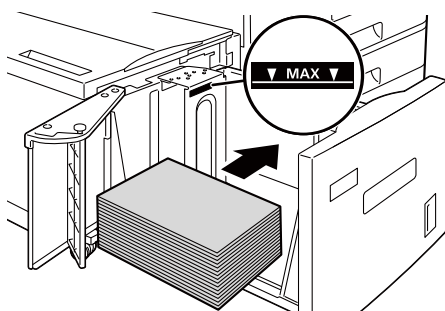
- 5) 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ (1)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (2)、レバーを下ろします (3)。



補足

- エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。

4. エンドガイドを開いて、プリントする面を下にして、用紙の先端を右側にそろえてセットします。

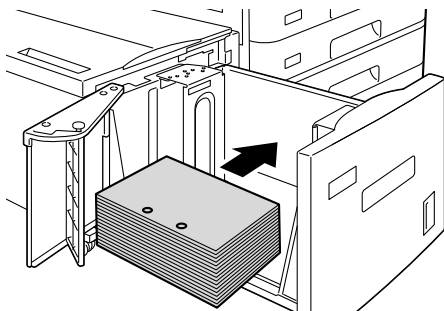


注記

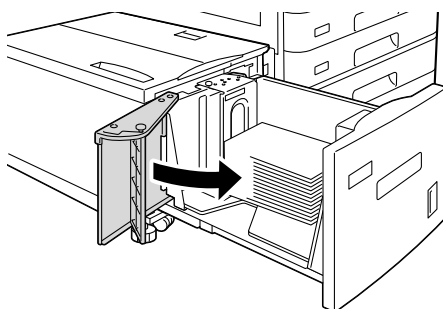
- 用紙上限線 (MAX 位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 穴あき用紙を使うときは、次のようにセットしてください。



5. エンドガイドをしっかりと閉じます。



6. 用紙トレイを押し込みます。

7. セットする用紙の種類を変更した場合は、タッチパネルディスプレイで用紙トレイの設定を変更します。

参照

- 用紙のサイズと種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

用紙の設定を変更する

用紙トレイの用紙を変更した場合は、セットした用紙の種類、用紙の色などを設定します。また、定形外サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズも設定します。

定形外サイズの用紙にプリントする場合、操作パネルでの用紙サイズ設定とプリンタードライバーでの用紙サイズ設定が必要です。操作パネルでの定形外サイズの設定は mm 単位です。小数点以下は切り上げて設定してください。

プリンタードライバーでの用紙サイズ設定は、「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.81) を参照してください。操作パネルでの設定とプリンタードライバーでの設定が一致しないとエラーとなります。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [用紙トレイ設定] をタップします。
4. 用紙設定を変更するトレイをタップします。



参照

- 設定できる項目については、「[用紙トレイ設定]」(P.111) を参照してください。

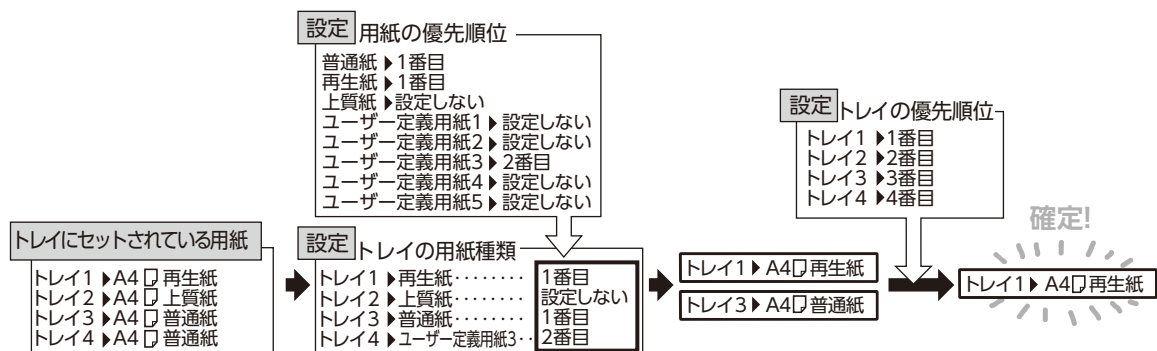
5. 各項目の設定が完了したら、[OK] をタップします。
6.  (ホーム) ボタンを押します。

自動トレイ選択について

プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスで、NPDL の場合は [給紙 / 排出] タブ、ART EX の場合は [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントを指示すると、本機はプリントする原稿のサイズと向き、用紙種類、用紙色 (ART EX のみ) から、該当するトレイを選びます。これを、自動トレイ選択と呼びます。

NPDL プリンタードライバーを使用している場合は、NPDL プリンタードライバーの設定に従って該当する給紙先から用紙を給紙します。

ART-EX プリンタードライバーを使用し、該当するトレイが複数ある場合は、本機の操作パネルから機械管理者でログインし、ホーム画面で  > [設定] > [用紙トレイ設定] を選び、各用紙トレイに設定されている用紙種類を、[設定] > [用紙トレイ設定] > [共通設定] > [用紙種類の優先順位] にあてはめ、優先順位が高い用紙がセットされている用紙トレイを選びます。このとき、[用紙種類の優先順位] が [自動トレイ選択しない] に設定されている用紙をセットしている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙種類の優先順位] が同じ場合は、[設定] > [用紙トレイ設定] の各用紙トレイに設定されている [トレイの優先順位] で決定されます。



5 プリント

5.1 コンピューターからプリントする

Windows のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは次のとおりです。

参照

- プリンタードライバの機能については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

補足

- アプリケーションによっては、メニュー名が異なることがあります。

2. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

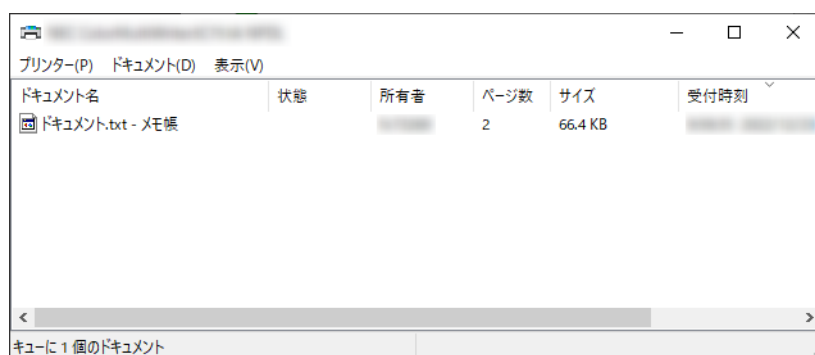
3. 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。

4. [印刷] をクリックします。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. Windows のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。

2. 中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。



補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、本機でプリントを中止してください。詳しくは、「ジョブの操作」(P.47) を参照してください。
- インターネットサービスの [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

5.2 封筒 / はがきにプリントする

ここでは、トレイ 5 (手差し) を使用して、封筒を例に説明します。

NPD L の場合

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブをクリックします。
4. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を選びます。



補足

- はがきサイズの普通紙にプリントする場合は、ユーザー定義サイズでサイズを設定し、[給紙 / 排出] タブで用紙種類を [普通紙] に設定してください。

5. 封筒の場合は、必要に応じて [原稿 180° 回転] にチェックマークを付けます。
6. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
7. [給紙選択] から、使用する用紙トレイを選びます。
8. [OK] をクリックします。
9. [印刷] をクリックします。

ART EX の場合

補足

- 小サイズ給紙トレイ（オプション）も使用できます。

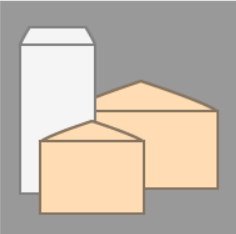
1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブの [用紙設定ガイド] をクリックします。

4. [封筒] が選ばれていることを確認し、[次へ] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 用紙サイズ/トレイ/種類の選択 用紙のセット方法

正しい用紙のサイズ/種類/向きでプリントできるようにガイドします。
最初に用紙タイプを選択し、[次へ]をクリックしてください。



用紙タイプ(M)

- 封筒
- はがき
- ラベル紙
- 厚紙/つす紙
- コート紙
- 長尺紙
- 普通紙
- その他の用紙

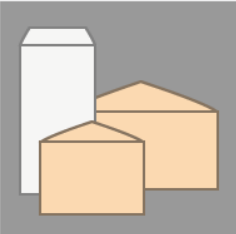
< 戻る(B) 次へ >(N) キャンセル

5. 用紙サイズ、用紙トレイ選択、トレイの用紙種類、および印字向きを設定し、[次へ] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 用紙サイズ/トレイ/種類の選択 用紙のセット方法

用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類を選択してください。



用紙サイズ(S)
封筒長形3号 (120x235mm)

用紙トレイ選択(T)
トレイ5(手差し) 封筒

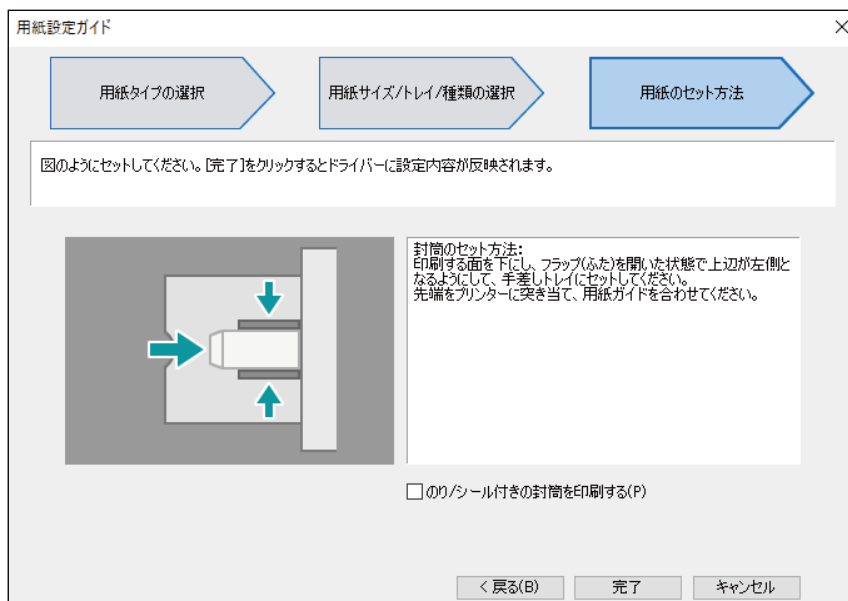
トレイの用紙種類(Y)
[空欄]

手差し用紙種類(Y)
封筒

印字向き(O)
たて

< 戻る(B) 次へ >(N) キャンセル

6. 画面の指示に従って、用紙をセットし、[完了] をクリックします。



7. [OK] をクリックします。

8. [印刷] をクリックします。

5.3 定形外サイズ用の紙にプリントする

定形外サイズを登録する

定形外サイズの用紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズの用紙をトレイ 1～4 (3、4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルでトレイの用紙サイズを設定します。プリンタードライバーで設定した定形外サイズと、操作パネルで設定した定形外サイズが一致していない場合は、エラーが発生します。

補足

- プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。
- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、次の項目を選ぶこともできます。
 - NPD L の場合：[長尺紙]
 - ART EX の場合：[長尺紙 (210x900mm)]、[長尺紙 A (297x900mm)]、または [長尺紙 B (297x1200mm)]
- ART EX からプリントする場合は、[原稿サイズ] で長尺紙を選ぶと、一部のアプリケーションで原稿の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを [ユーザー定義用紙] に登録してください。
- フィニッシャが取り付けられていて、長尺用紙にプリントする場合は、排出先としてサイドトレイ (オプション) が必要です。

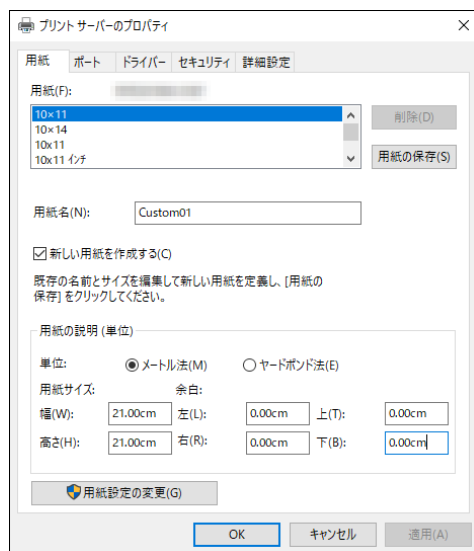
参照

- 操作パネルでの設定については、「用紙の設定を変更する」(P.73) を参照してください。

プリンタードライバーの設定

NPDL の場合

1. コンピューターで [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 使用するプリンターのアイコンを選び、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
3. [用紙] タブをクリックします。
4. [新しい用紙を作成する] にチェックマークを付け、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、[用紙の保存] をクリックします。

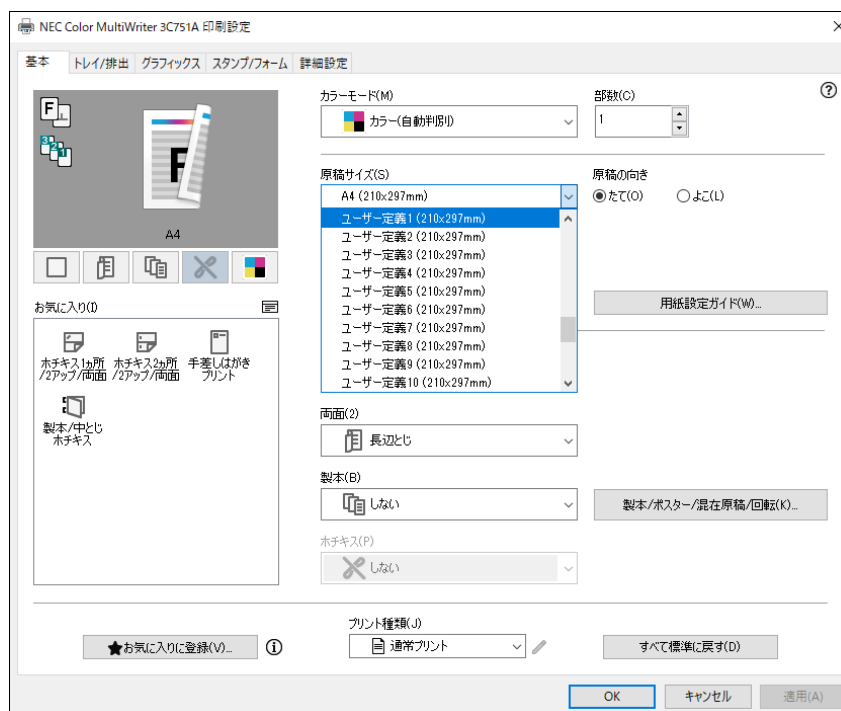


5. 新規作成した用紙名がリストボックスに追加されたことを確認して、[閉じる] をクリックします。

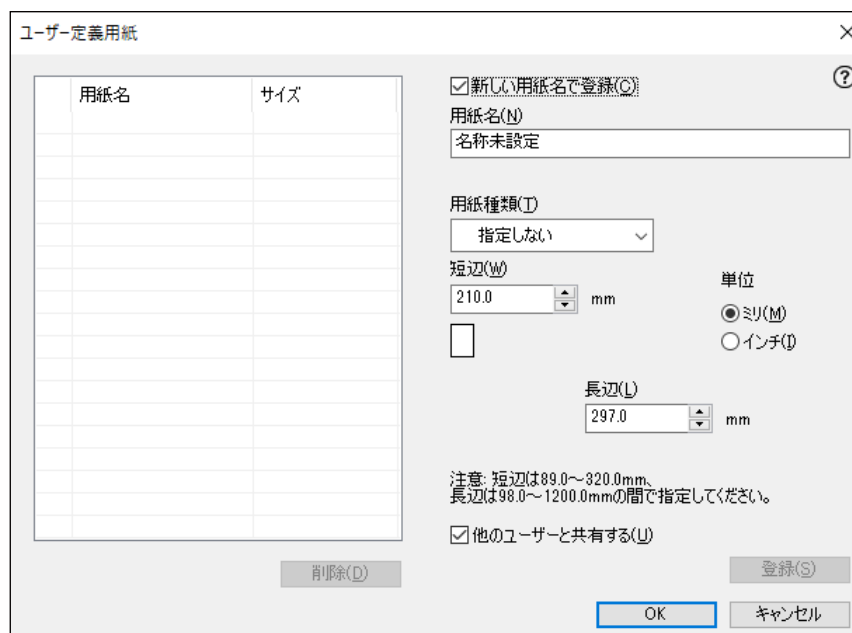
ART EX の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [印刷設定] をクリックします。
3. [基本] タブをクリックします。

4. [原稿サイズ] から [ユーザー定義用紙] をクリックします。



5. [新しい用紙名で登録] にチェックマークを付け、定形外を登録する用紙名を [用紙名] に入力します。



補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選びます。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。

[illegible]

7. [登録] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. [OK] をクリックします。

定形外サイズ of 用紙にプリントする

NPDL の場合

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] から、定形外サイズ of 用紙がセットされているトレイを選びます。
5. [給紙選択] で [手差し (トレイ 5)] を選んだ場合で、用紙種類を変更するときは、[手差しの用紙種類] をクリックして [手差し用紙種類] を設定し、[OK] をクリックします。
6. [基本] タブをクリックします。
7. [原稿サイズ] から、任意 of 原稿のサイズを選びます。

8. 「出力用紙サイズ」から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選びます。



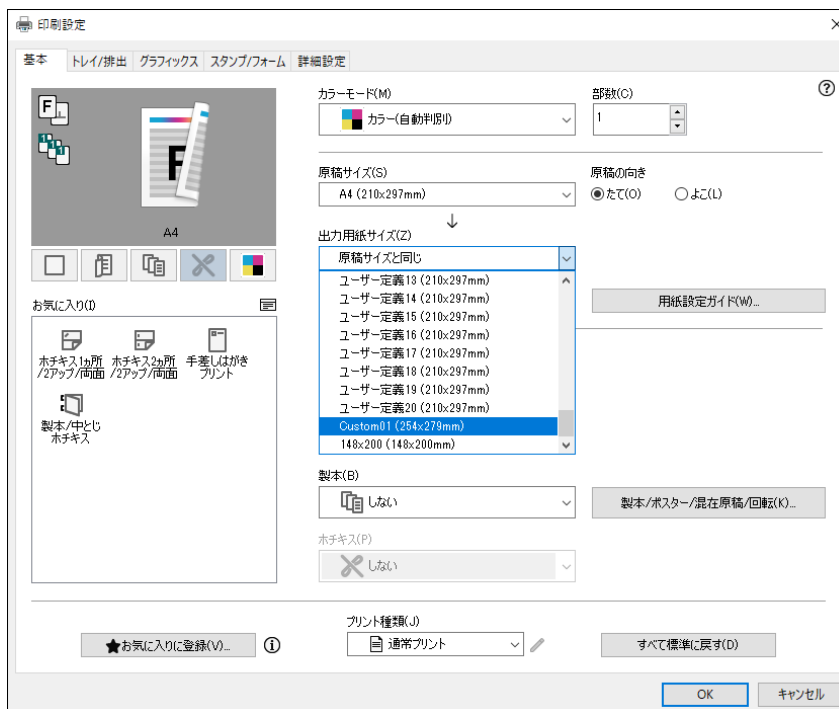
9. [OK] をクリックします。

10. [印刷] をクリックします。

ART EX の場合

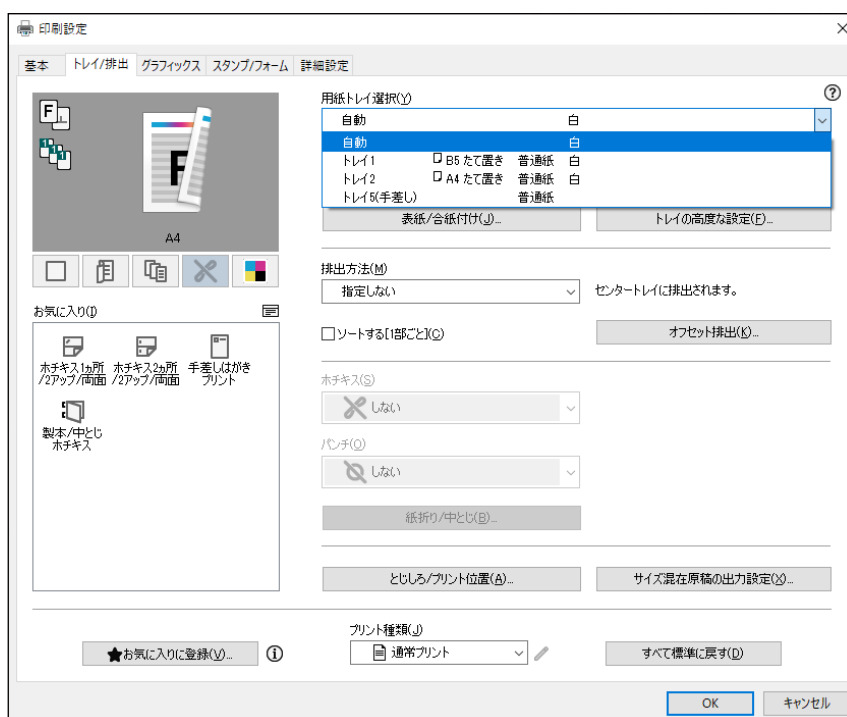
1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブをクリックします。
4. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。

5. 「出力用紙サイズ」 から、登録したユーザー定義サイズ用の紙を選び、[OK] をクリックします。



6. 「トレイ / 排出」 タブをクリックします。

7. 「用紙トレイ選択」 から、定形外サイズ用の紙がセットされているトレイを選びます。



8. 「用紙トレイ選択」 で「トレイ 5 (手差し)」を選んだ場合は、「手差し用紙種類」と「手差し用紙の給紙方向」を設定します。

9. [OK] をクリックします。

10. [印刷] をクリックします。

5.4 大量・連続プリントする

この機能は、NPD L の機能です。

大量・連続プリントする方法は、次の 2 つです。

- リレー給紙の設定
- グループトレイの設定

補足

- グループトレイ設定で [グループ A] または [グループ B] が設定されているトレイには、[リレー給紙設定] は設定できません。

リレー給紙の設定

プリントしている給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先に切り替えてプリントを続ける機能です。同じ用紙サイズおよび同じ用紙種類の用紙をセットした場合にリレー給紙できます。

補足

- トレイ 5 (手差し) はリレー給紙の対象外です。

リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
3. [プリンターモード] をタップします。
4. [NPD L プリント設定] をタップします。
5. [用紙メニュー] をタップします。
6. [リレー給紙設定] をタップします。
7. リレー給紙するトレイを選んで、[する] をタップします。

補足

- リレー給紙の対象にするすべての用紙トレイでリレー給紙を有効にします。

8. 𠂇(ホーム) ボタンを押します。
9. 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたトレイの用紙サイズ、用紙種類、用紙のセット方向が同じになっているかを確認します。

給紙方法を設定する

プリントするときに、プリンタードライバーで [給紙選択] の [自動] を選びます。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] が [自動] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。

注記

- [給紙選択] が [自動] 以外になっている場合、リレー給紙はできません。

5. ページ範囲と部数を指定し、[印刷] をクリックします。

グループトレイの設定

複数のトレイをグループにして給紙することによって、プリントを中断せずにノンストップで出力できる機能です。

オプションのトレイモジュールおよび大容量トレイモジュールを装着すると、より効果がある機能です。

標準トレイ 1、2 とトレイモジュール（オプション：トレイ 3、4）、大容量トレイモジュール（オプション：トレイ 6）の 5 つの給紙先を組み合わせでグループに設定し、1 つのトレイとして扱います。

同じグループ内の 1 つのトレイに用紙がなくなっても、グループ設定している他のトレイから給紙します。用紙が足りなくなったトレイには、プリント中でも用紙をつぎ足すことができます。用紙を足すことでノンストッププリントが可能になります。

グループは、2 個まで設定できます。

例) グループ A..... トレイ 1、2

グループ B..... トレイ 3、トレイ 6（オプション）

グループトレイを有効にする

グループトレイを有効にするために、プリンターの設定を行います。

注記

- トレイ 5（手差し）はグループトレイに設定できません。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認（メーター確認）] をタップします。
3. [プリンターモード] をタップします。
4. [NPD L プリント設定] をタップします。
5. [用紙メニュー] をタップします。
6. [グループトレイ設定] をタップします。
7. グループトレイの設定をするトレイを選んで、設定する項目をタップします。
8. 𓀀(ホーム) ボタンを押します。
9. 設定が終わったら、グループトレイを有効にしたトレイの用紙サイズ、用紙種類、用紙のセット方向が同じになっているかを確認します。

給紙方法を設定する

プリントするときに、プリンタードライバーで用紙の種類 / サイズがプリンター本体の設定と同じになっていることを確認します。

補足

- 給紙方法を設定する前に、プリンタードライバーのプロパティの [グループトレイ設定] でグループを選びます。設定手順については「プリンタードライバーでオプション製品の設定をする」(P.35) を参照してください。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] から [グループ A] または [グループ B] を選び、[OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

6. ページ範囲と部数を指定し、[印刷] をクリックします。

5.5 USB メモリーに保存されたデータをプリントする

USB メモリーを本機に接続して、USB メモリー内のデータをプリントします。

注記

- USB メモリー内のデータは、次のような理由により消失、破損するおそれがありますので、必ず内部のデータをバックアップしてからご使用ください。なお、お客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - マニュアルに記載された方法以外で USB メモリーの抜き差しをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 故障、修理などのとき
 - 天災による被害を受けたとき

対応ファイル

PDF ファイル、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイル、DocuWorks 文書、DocuWorks バインダー、Exif2.0/2.1/2.2 の JPEG/TIFF ファイル、JPEG ファイル

USB メモリーを使用するときの注意

- ファイルのフルパス（すべての階層のフォルダー名とファイル名を含んだ文字列）が 257 文字を超える場合は、表示されません。
- 選択文書一覧画面に表示されるファイル数は 900 個までです。
- USB メモリーは、FAT32 形式でフォーマットしたものを使用してください。
- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。
- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- 複数の USB メモリーを同時に取り付けて使用することはできません。
- 次の USB メモリーは対象外です。
 - 別途ユーティリティが必要な USB メモリー
 - パーティションが複数ある USB メモリー
 - 外付けのハブを介して接続した USB メモリー

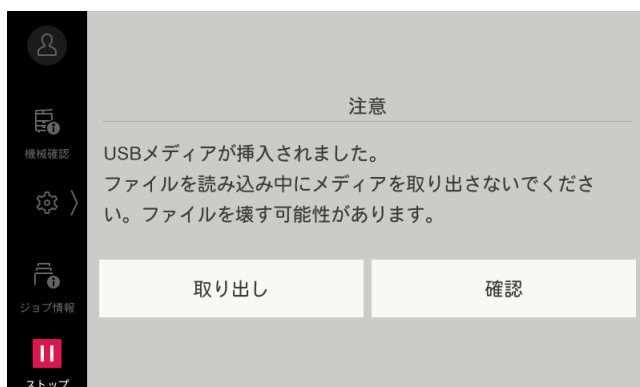
文書プリント

1. 本機の電源を入れたまま、前面の USB メモリー差し込み口に、USB メモリーを差し込みます。

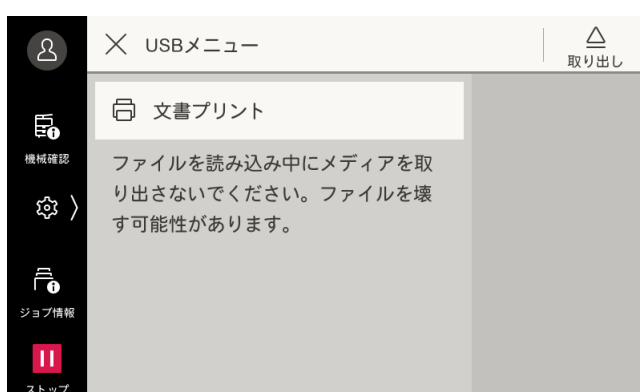
補足

- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で [文書プリント] をタップして、手順 4 に進みます。

2. [確認] をタップします。



3. [文書プリント] をタップします。



4. 対象フォルダーからプリントする文書ファイルをタップします。

5. 必要に応じて、各機能を設定します。



参照

- 詳しくは、「機能リスト」(P.88) を参照してください。

6. [スタート] をタップします。

USB メモリーの取り外し

注記

- 【文書プリント】の操作中やプリント中に USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータを破壊する場合があります。

1. △をタップします。

2. [確認] をタップします。
3. UBS メモリーを取り外します。

機能リスト

機能リストとは、[文書プリント] の操作画面に表示されるカラーモードや部数などの設定項目の一覧のことです。

機能リストの項目

[部数]

部数を入力します。

[カラーモード]

フルカラーまたは白黒を設定します。

[用紙選択]

用紙トレイを選びます。[自動] を選ぶと、適切な用紙トレイが選択されます。

[両面]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[ホチキス]

ホチキスで留める位置を設定します。

[パンチ]

パンチ穴を開ける位置を設定します。

[まとめて 1 枚 (N アップ)]

複数枚の用紙を 1 枚にまとめてプリントします。プリント時のレイアウトや用紙のセット向きを指定します。

[スムージング]

画像部分の回転と拡大縮小に伴う補正処理をして、画質を向上するかを設定します。

機能リストのカスタマイズ

機能リストを編集する

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。
2. ホーム画面で  をタップします。
3. [アプリの表示カスタマイズ] > [文書プリント] > [機能リストの編集] をタップします。

表示 / 非表示を設定する

- 1) 表示 / 非表示にする機能をタップします。

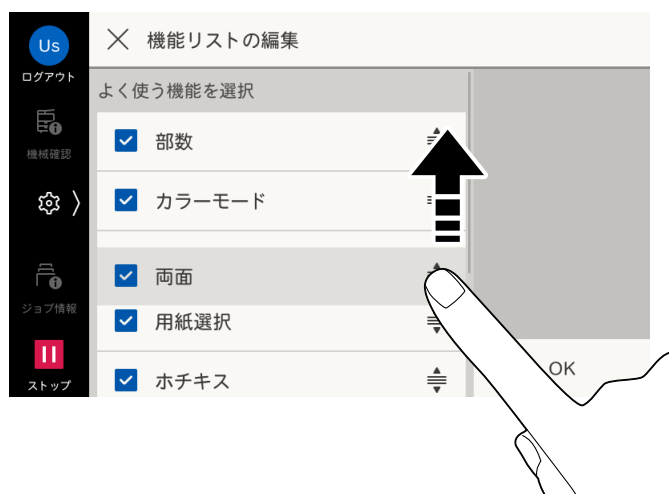
補足

- 機能リストに表示する機能を設定します。
☒ に設定した機能は、機能リストのよく使用する機能の一覧に表示されます。

□に設定した機能は、機能リストの「その他の機能」をタップしたときに表示されます。

表示位置を変更する

1) 移動したい機能を長押しして、移動する場所にドラッグします。



4. [OK] をタップします。

カスタマイズで保存 / 編集した設定を削除する

1. 機械管理者または認証ユーザーでログインします。
2. ホーム画面で⚙️をタップします。
3. [アプリの表示カスタマイズ] > [すべてのカスタマイズをクリア] をタップします。

5.6 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

サンプルプリントについて

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを保存し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。

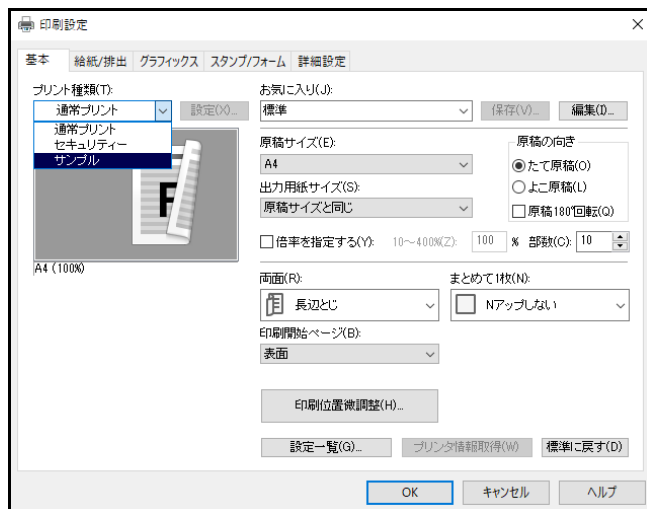
サンプルプリントをする

コンピューターでの操作

NPD L の場合

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選び、[設定] をクリックします。



5. [ユーザー ID] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。

6. [基本] タブで [OK] をクリックします。

7. [印刷] をクリックします。

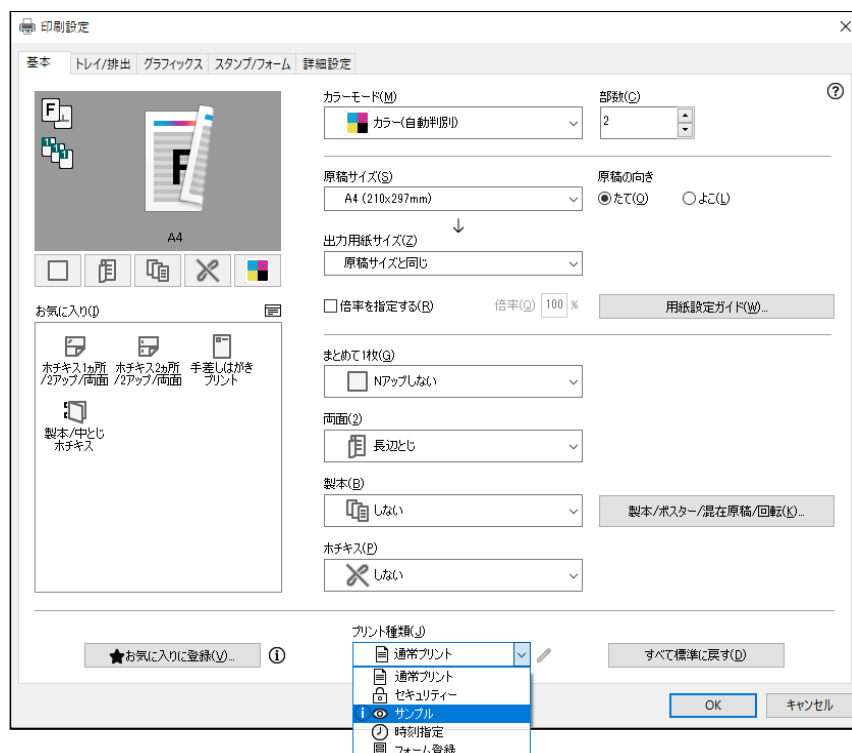
ART EX の場合

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選び、 をクリックします。



5. [ユーザー ID] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。

6. [基本] タブで [OK] をクリックします。

7. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

1. プリントされた 1 部の結果を確認します。

2. ホーム画面で [ジョブ情報] をタップします。

3. [保存文書] > [サンプルプリント] をタップします。

4. プリンタードライバーで設定したユーザー ID をタップします。

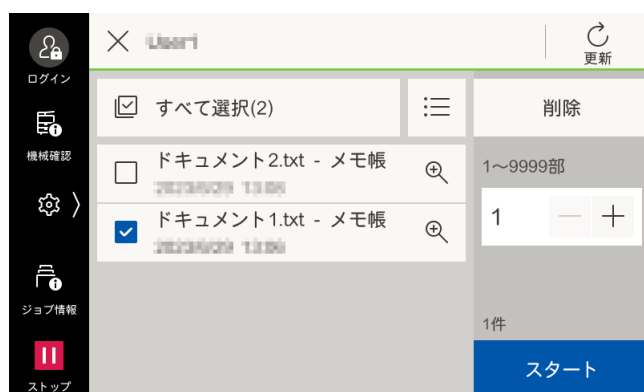
5. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。

6. 部数を設定します。

補足

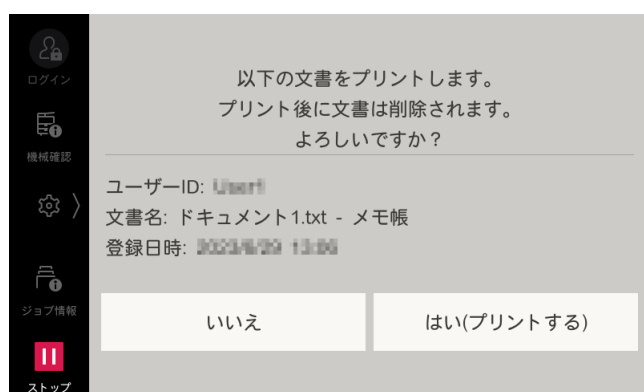
- 表示されている部数は、プリンタードライバーで設定した部数から 1 部差し引かれた部数です。

7. [スタート] をタップします。



8. [はい (プリントする)] をタップします。

プリント終了後、選択した文書は削除されます。



5.7 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

本機能は、ART EX の場合に利用できます。

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを保存しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

保存できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

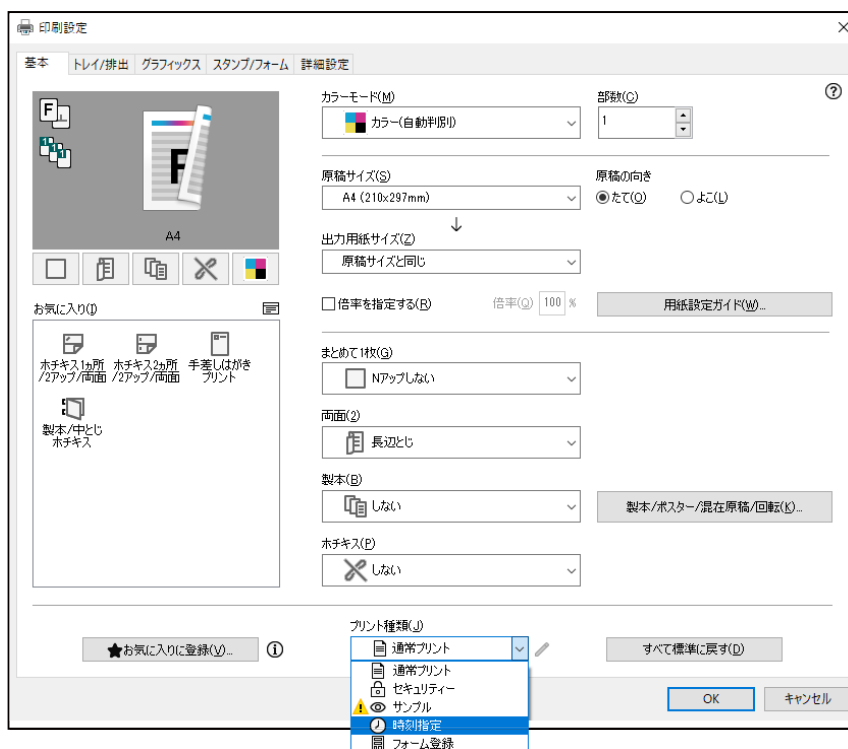
補足

- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。
- 指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

時刻指定プリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] で本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選び、 をクリックします。



4. [プリント開始時刻] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。

補足

- [プリント開始時刻] は 24 時間制で設定します。

5. [基本] タブで [OK] をクリックします。
6. [印刷] をクリックします。

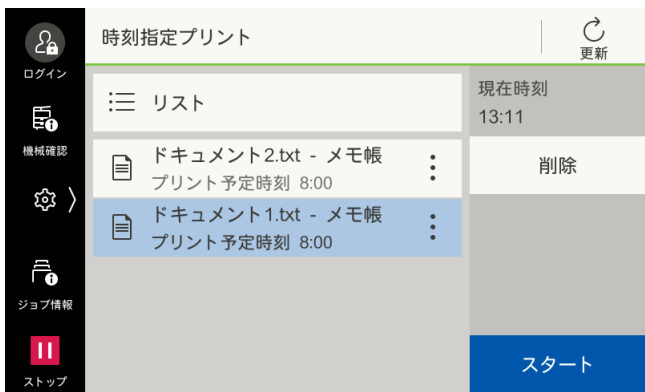
指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする

時刻指定プリントを中止する場合や、指定した時刻より前にプリントする場合は、操作パネルで操作します。

操作パネルでの操作

- 1. ホーム画面で [ジョブ情報] をタップします。
- 2. [保存文書] > [時刻指定プリント] をタップします。
- 3. 中止またはプリントする文書をタップします。
- 4. [削除] または [スタート] をタップします。



- 補足
- [スタート] をタップした場合は、プリントしたあとに保存文書が削除されるため、指定した時刻にはプリントされません。

5.8 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティープリントについて

プリンタードライバーでユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示したデータを本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントします。プリンタードライバーで [セキュリティー] を選んだプリントジョブだけ本機に蓄積されます。

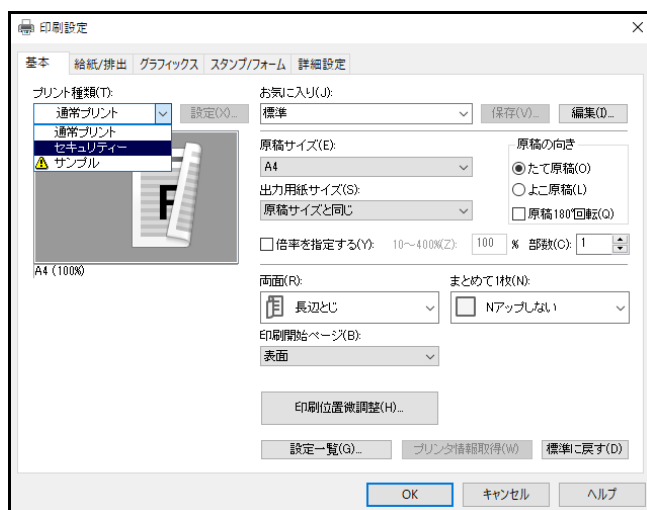
項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで任意のユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機でユーザー ID を選び、暗証番号を入力してプリントする文書を選びます。

セキュリティープリントをする

コンピューターでの操作

NPDL の場合

1. アプリケーションの【ファイル】メニューから【印刷】をクリックします。
2. 【プリンターの選択】で本機を選び、【詳細設定】をクリックします。
3. 【基本】タブで、【プリント種類】から【セキュリティー】を選び、【設定】をクリックします。



4. 【ユーザー ID】と【蓄積する文書名】を設定し、【OK】をクリックします。

補足

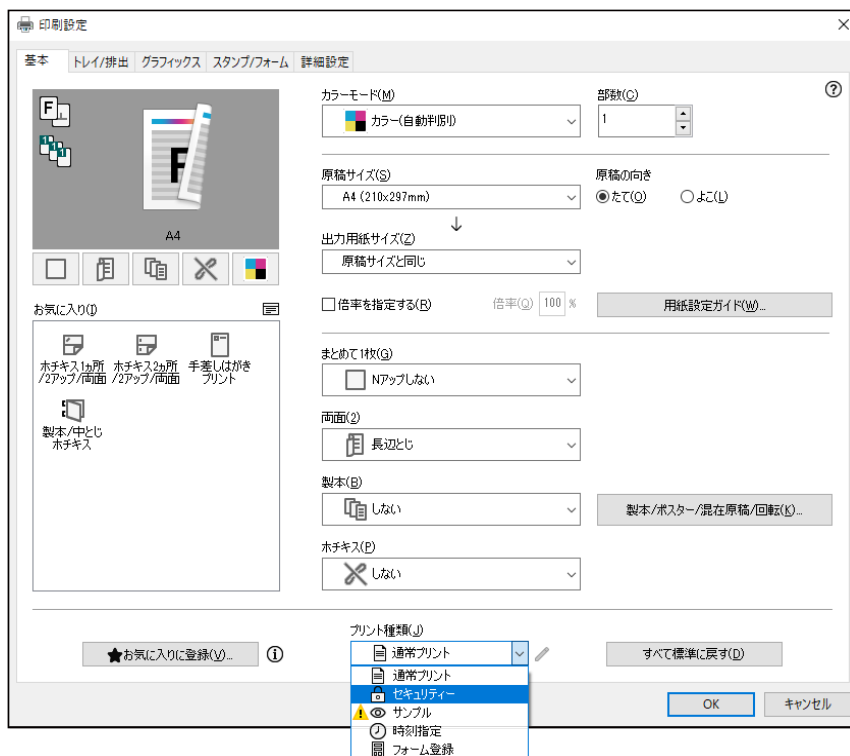
- 必要に応じて、暗証番号を入力します。

5. 【基本】タブで【OK】をクリックします。
6. 【印刷】をクリックします。

ART EX の場合

1. アプリケーションの【ファイル】メニューから【印刷】をクリックします。
2. 【プリンターの選択】で本機を選び、【詳細設定】をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [セキュリティ] を選び、 をクリックします。



4. [ユーザー ID] と [蓄積する文書名] を設定し、[OK] をクリックします。

補足

- 必要に応じて [暗証番号] を設定します。

5. [基本] タブで [OK] をクリックします。

6. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

1. ホーム画面で [ジョブ情報] をタップします。

2. [保存文書] > [セキュリティプリント] をタップします。

3. プリンタードライバーで設定したユーザー ID をタップします。

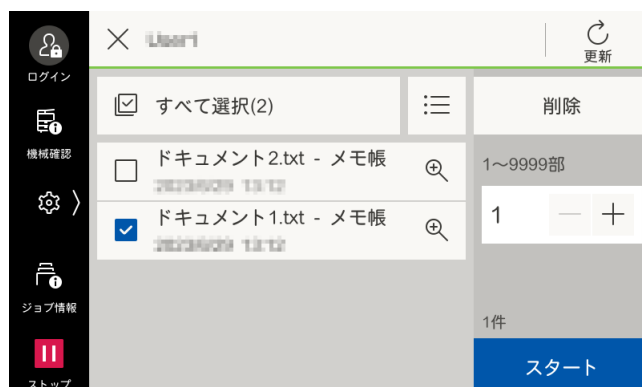
補足

- プリンタードライバーで暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力し、[OK] をタップします。

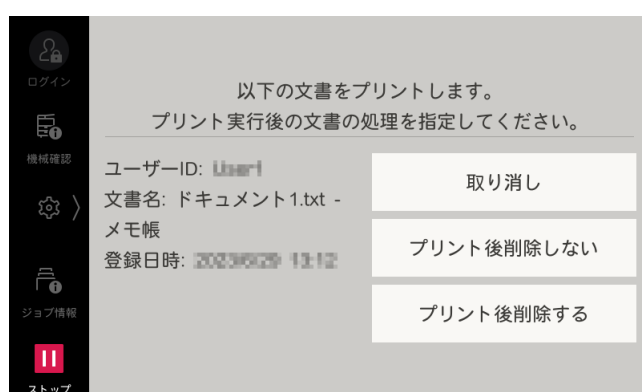
4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。

5. 部数を設定します。

6. [スタート] をタップします。



7. プリント後の処理を選びます。



5.9 機密文書をプリントする - プライベートプリント -

プライベートプリントについて

プライベートプリントとは、プリントを指示するときにユーザー ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。

プリンタードライバで設定したユーザー ID と、本機や外部認証サーバーで登録した認証情報が一致した場合に、コンピュータでプリントを指示したデータは本機に蓄積され、IC カードや本機のタッチパネルディスプレイで認証したあとに、本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバでユーザー ID を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機で IC カードやタッチパネルディスプレイで認証してプリントします。プリントする文書を選ぶプライベートプリントと、一括でプリントするプライベートプリント（一括出力）があります。

補足

- プライベートプリントを設定した場合、プリンタードライバから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。

プライベートプリントの設定をする

補足

- ・プライベートプリント（一括出力）をする場合も、同じ設定が必要です。

操作パネルでの設定

認証機能を有効にする

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ・ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] をタップします。

5. [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計]、または [外部認証 / 集計] を選び、[OK] をタップします。

6. ホーム画面に戻ります。

補足

- ・再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

パスワードの運用を有効にする

必要に応じて、ログインするときにパスワードが必要になるような設定にします。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ・ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [パスワードの運用] > [パスワード使用 - パネル入力時] をタップします。

5. [する] を選び、[OK] をタップします。

6. ホーム画面に戻ります。

補足

- ・再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

プライベートプリントを使用するユーザーを登録する

[本体認証 / 集計] の場合に必要な設定です。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ・ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。

5. [(未登録)] の項目をタップして、ユーザーを登録します。

参照

- 詳しくは、「ユーザー登録（本体認証）」(P.180) を参照してください。

6. ホーム画面に戻ります。

補足

- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

プライベートプリントを有効にする

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] > [受信制御] をタップします。

5. 次のどちらかの設定をします。

すべてのジョブをプライベートプリントに保存する場合

1) [プライベートプリントに保存] を選びます。

認証に成功したジョブだけをプライベートプリントに保存する場合

1) [プリンターの認証に従う] を選びます。

2) [認証成功のジョブ] > [プライベートプリントに保存] を選びます。

6. [OK] をタップします。

7. ホーム画面に戻ります。

補足

- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

コンピューターでの設定

NPDL の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。

2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [初期設定] タブで [認証情報の設定] をクリックします。

4. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、プライベートプリントをするユーザーの認証情報を設定します。

補足

- [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

5. [OK] をクリックします。
6. [初期設定] タブで [OK] をクリックします。

ART EX の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。
4. [使用する認証情報] から [User ID と Account ID] を選びます。
5. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、プライベートプリントをするユーザーの認証情報を設定します。

補足

- [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

6. [OK] をクリックします。
7. [プリンター構成] タブで [OK] をクリックします。

プライベートプリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] から、プライベートプリントの設定をした本機を選びます。
3. [印刷] をクリックします。

操作パネルでの操作

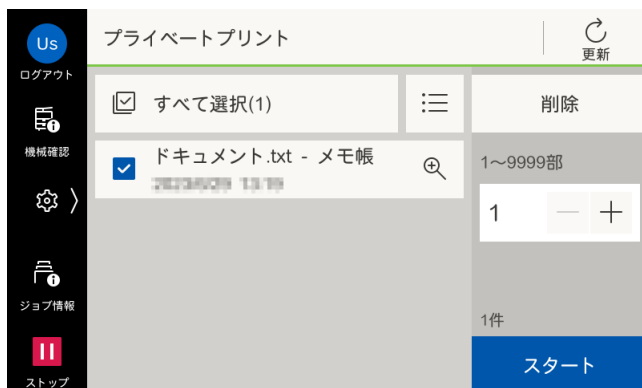
1. プリンタードライバで設定したユーザーでログインします。

参照

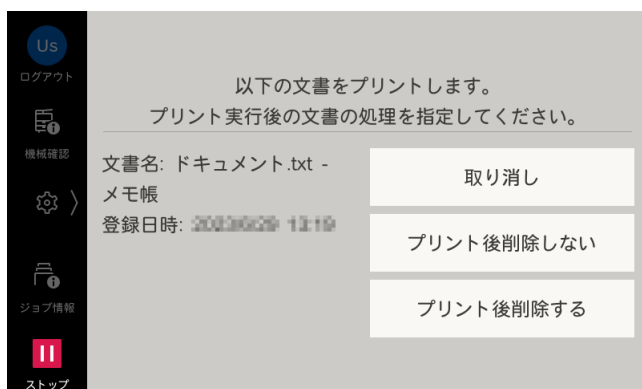
- ログインについては、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で [プライベートプリント] をタップします。
3. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。
4. 部数を設定します。

5. [スタート] をタップします。



6. プリント後の処理を選びます。



5.10 機密文書をプリントする - 認証プリント -

本機能は、ART EX の場合に利用できます。

認証プリントについて

コンピュータでプリントを指示したデータを蓄積用ユーザー ID ごとに本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID と暗証番号を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機に蓄積用ユーザー ID ごとに蓄積されます。ユーザー ID なしのジョブは [(ユーザー ID なし)] に保存されます。
出力方法	本機で蓄積用ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブ、ContentsBridge やインターネットサービスを使用したプリント、メール受信プリントなど）も本機に蓄積してプリントできます。
- 認証プリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。

参照

- ・インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167)を参照してください。

認証プリントの設定をする

操作パネルでの設定

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ・ログインの方法については、「ログイン」(P.43)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] > [受信制御] をタップします。
5. [認証プリントに保存] を選び、[OK] をタップします。
6. ホーム画面に戻ります。

補足

- ・再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

コンピューターでの設定

NPD L の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [初期設定] タブで [認証情報の設定] をクリックします。
4. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、認証プリントをするユーザーの認証情報を設定します。

補足

- ・[ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

5. [OK] をクリックします。
6. [初期設定] タブで [OK] をクリックします。

ART EX の場合

1. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
2. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。
4. [使用する認証情報] から [蓄積用ユーザー ID] を選びます。
5. [常に同じ認証情報を使用する] を選び、[蓄積用ユーザー ID] を設定します。

補足

- [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときに蓄積用ユーザー ID を設定します。

6. [OK] をクリックします。

補足

- 必要に応じて [暗証番号] を設定します。

7. [プリンター構成] タブで [OK] をクリックします。

認証プリントをする

コンピューターでの操作

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
2. [プリンターの選択] から、認証プリントの設定をした本機を選びます。
3. [印刷] をクリックします。

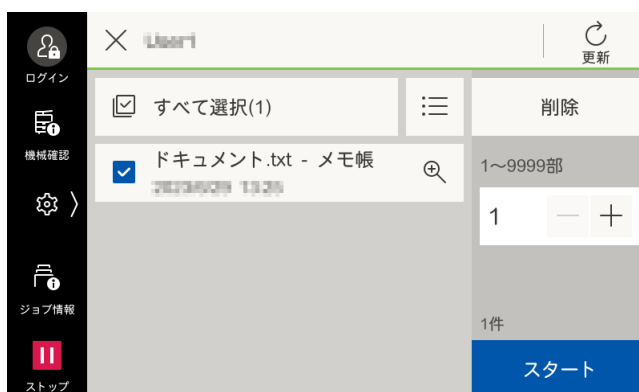
操作パネルでの操作

1. ホーム画面で [認証プリント] をタップします。
2. プリンタードライバで設定した [ユーザー ID] をタップします。

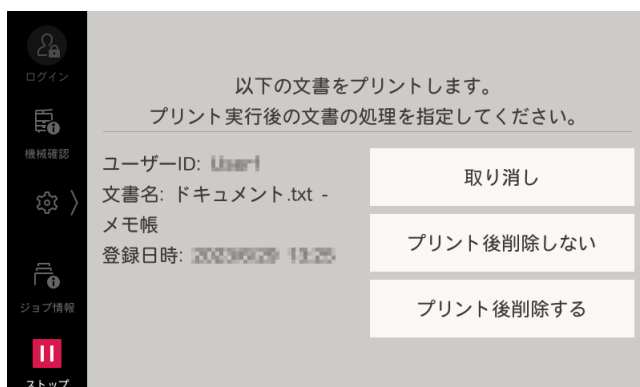
補足

- [ユーザー ID] を設定していない場合は、[(ユーザー ID なし)] をタップします。
- プリンタードライバで暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力し、[OK] をタップします。

3. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。
4. 部数を設定します。
5. [スタート] をタップします。



6. プリント後の処理を選びます。



5.11 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

メール受信プリントについて

ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。この機能を「メール受信プリント」といいます。

本機能を利用するには本体メールアドレスを設定する必要があります。

参照

- 本体メールアドレスの設定については、「メール機能の設定」(P.37) を参照してください。

メール受信プリントをする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

補足

- メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分だけプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up ^{*1*2} (まとめて一枚)	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター (8.5×11")	letter
	リーガル	legal

*1 : 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、[PDF エミュレーション設定] の「プリント処理モード」を「PS」に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。

*2 : メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 : 1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように用紙を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。

ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ジョブ属性を指定するときに、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

参照

- メール本文のプリントは、インターネットサービスの「受信メールシートのプリント」でも設定できます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

4. メールの件名を確認し、送信します。

6 モバイル機器からのプリント

6.1 本機をモバイル機器と接続する

スマートフォン / タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、Web ページやメールなどをプリントできます。

次のどちらかの方法で、本機をモバイル機器と接続します。

- Wi-Fi 接続
本機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。

参照

- 接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.28) を参照してください。

モバイル機器の設定

参照

- 操作方法はモバイル機器によって異なります。

1. モバイル機器の Wi-Fi 機能を有効にします。
2. 本機が接続しているネットワーク (SSID) を選びます。
3. 画面の指示に従って、接続を完了します。

参照

- 接続に必要な暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

本機に Wi-Fi Direct 接続の設定をする

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。

3. [設定] をタップします。
 4. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] をタップします。
 5. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。
 6. [無線 LAN 設定の更新] 画面が表示されたら、[確認] をタップします。
本機が再起動します。
 7. 機械管理者でログインします。
- 参照**
- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。
8.  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] をタップします。
 9. [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。
 10. [有効] を選び、[OK] をタップします。
 11.  (ホーム) ボタンを押します。
 12. [再起動します。 よろしいですか?] のメッセージが表示されたら、[はい (再起動する)] をタップします。

グループ設定について

[グループ設定] では、次の項目が設定できます。

設定項目		設定内容
[自動]		本機をグループオーナーに固定しない場合に選びます。
	[デバイス名]	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名前を、32 文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先を選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。
[グループオーナー]		本機を Wi-Fi ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントと同様に、モバイル機器から本機を検出できるようになります。
	[SSID サフィックス]	Wi-Fi Direct で識別するネットワークの名前を表示します。「DIRECT-」に続く部分を 23 文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワークを選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。
	[パスフレーズ]	パスフレーズとして 8 ～ 63 文字の英数字を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここで設定したパスフレーズを入力します。設定したパスフレーズは入力後、確認ができないのであらかじめメモ等に控えてください。

補足

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。

本機とモバイル機器を接続する

参照

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. モバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する

本機の操作パネルからすべてのモバイル機器との接続を解除する方法

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
4. [無線 LAN の接続状態] をタップします。
5. [Wi-Fi Direct 切断] をタップします。

本機の操作パネルからモバイル機器との接続を解除する方法

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。
5. [SSID サフィックス] または [パスフレーズ] を変更します。

新しい SSID、パスフレーズで Wi-Fi Direct のグループが再構築されるため、モバイル機器との接続が解除されます。

接続中のモバイル機器の Wi-Fi 設定画面から本機との接続を解除する方法

1. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi の接続を解除します。

モバイル機器の自動接続が有効の場合：

Wi-Fi の接続を解除しても、モバイル機器は自動で本機の Wi-Fi Direct と再接続します。そのため、新たなモバイル機器の接続の前に自動接続してしまい、再び接続上限になってしまう可能性があります。その場合は、モバイル機器の自動接続を無効に設定するか、手順 2 の設定削除を実行します。

モバイル機器の自動接続が無効の場合：

Wi-Fi 接続を解除すると、モバイル機器の Wi-Fi 設定画面から再接続を実行するまで接続が解除されます。

補足

- モバイル機器によっては、自動接続の切り替えができない場合があります。

2. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、接続中の本機の SSID を選び、モバイル端末に保存された Wi-Fi 接続設定情報を削除します。

6.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン / タブレット用のアプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントの操作を行えます。NFC 機能を搭載する機器をお使いの場合は、本機の NFC タッチエリアに機器をかざすだけでジョブを開始できます。App Store や Google Play からダウンロードできます。

QR コードで接続する

ホーム画面の [Print Utility 接続] をタップすると、接続用の QR コードが表示されます。

6.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や macOS のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。

参照

- AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

AirPrint の設定を有効にする

1. インターネットサービスを起動して、機械管理者でログインします。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. [ネットワーク] をクリックします。

3. [モバイルプリント設定] の [AirPrint ™] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。

補足

- USB で接続しているときは、[USB 接続] にもチェックマークを付けます。

4. 必要に応じて、各機能を設定します。

5. [保存] をクリックします。

コンピューター側の設定 (macOS のみ)

AirPrint を使用する場合は、あらかじめ本機をコンピューターに登録しておく必要があります。

補足

- USB 接続の場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると自動的に登録されるため、この設定は不要です。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、[Apple] メニュー > [システム環境設定] をクリックします。

2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。

3. [+] (追加) をクリックします。

補足

- [+] (追加) をクリックしたときにドロップダウンメニューが表示された場合は、[プリンタまたはスキャナを追加] をクリックします。

4. [名前] の一覧から本機を選びます。

補足

- ネットワーク内のプリンターが自動的に検出されて [名前] の一覧に表示されます。表示されない場合は、本機とコンピューターのネットワーク設定を確認してください。

5. [ドライバ] > [Secure AirPrint] または [AirPrint] > [追加] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を例に説明します。

- 1. プリントするメール、写真、Web ページ、または文書を開きます。**
- 2.  のアイコンをタップします。**
- 3. [プリント] をタップします。**
- 4. 本機を選び、プリント設定をします。**
- 5. [プリント] をタップします。**

7 本機の設定

7.1 本機の設定について

ホーム画面で、 > [設定] をタップすると表示される設定項目について説明します。

補足

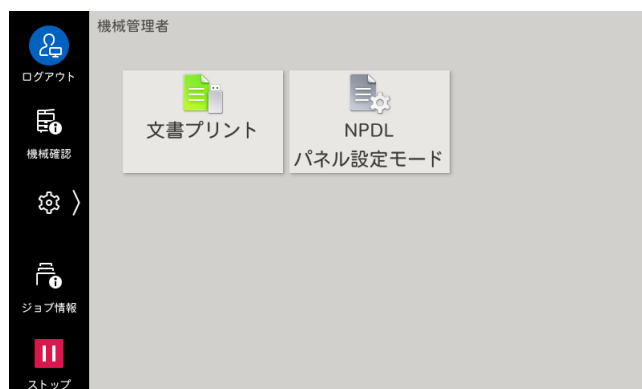
- 機械管理者としてログインした場合だけ表示される項目があります。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

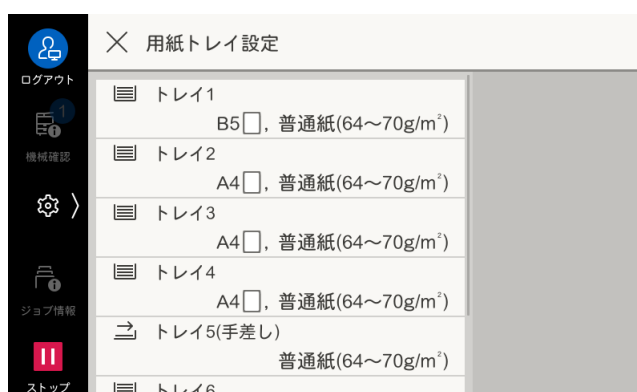


3. [設定] をタップします。

4. 任意の項目をタップします。



[用紙トレイ設定]



[用紙サイズ]

各トレイの用紙サイズを設定します。

■ [自動サイズ検知]

用紙トレイにセットされた用紙サイズを自動検出します。

補足

- 定形外サイズの用紙をセットした場合は、[サイズ入力] をタップして、用紙サイズを入力します。

[用紙種類]

用紙の種類を設定します。

[色]

用紙の色を設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

[自動トレイ切り替え]

選んでいるトレイの用紙がなくなったときに、同じ用紙がセットされているほかのトレイに自動的にトレイを切り替える場合は、[自動トレイ切り替え] をタップして有効にします。

補足

- トレイ 5 (手差し) を選んでいる場合や、自動トレイ切り替え対象外のトレイを選んでいる場合、トレイは切り替わりません。
- この設定は NPD L モードでは使用できません。

[トレイの優先順位]

自動トレイ選択時に同様の用紙が複数のトレイにセットされている場合で使用するトレイの優先順位を設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

[自動選択条件]

自動トレイ選択時の条件を [すべてのカラーモード]、[カラー]、[白黒] から選んで設定します。

補足

- 設定した条件のときに、自動トレイ選択の対象になります。
- この設定は NPD L モードでは使用できません。

[共通設定]

[ユーザー用紙属性の名称設定]

〔ユーザー用紙種類 1〕～〔ユーザー用紙種類 5〕、および〔ユーザー用紙色 1〕～〔ユーザー用紙色 5〕に名称を付けられます。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

[トレイセット時の用紙変更画面表示]

用紙トレイを出し入れしたときに、対象トレイの設定変更画面を表示するかどうかを設定します。

[用紙種類の優先順位]

原稿と同じサイズ / 向きの用紙が複数の用紙トレイにセットされている場合に、プリンタードライバーで〔トレイ / 排出〕タブの〔用紙トレイ選択〕を〔自動〕、および〔トレイの用紙種類〕を〔指定しない〕に設定してプリントするとき、本設定に従って用紙トレイを自動選択します。

〔トレイの優先順位〕よりも、本設定が優先されます。

ただし、異なる用紙種類に同じ優先順位を設定した場合は、〔トレイの優先順位〕によって、選択される用紙が決まります。また、〔自動トレイ選択しない〕に設定した用紙種類がセットされているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。
- 自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

[自動トレイ動作制御]

選択しているトレイの用紙がなくなったときに、切り替える対象を設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

■ [自動トレイ切り替え]

自動切り替えの条件を設定します。〔常に切り替える〕に設定すると、各用紙トレイの〔自動トレイ切り替え〕の設定にかかわらず、常に切り替えます。〔〔自動〕選択時切り替える〕に設定すると、各用紙トレイの〔自動トレイ切り替え〕の設定に応じて切り替えます。〔同一用紙種類 / 色で切り替える〕に設定すると、用紙種類と色が同じトレイを切り替え対象とします。

[用紙種類別画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法を設定します。

本機は、プリントをするとき、〔用紙種類別画質処理〕で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

[システム設定]



[システム時計 / タイマー設定]

[日付]

本機のシステム時計の日付を指定します。

[時刻]

本機のシステム時計の時刻を指定します。

[時刻サーバー（NTP）と同期]

時刻サーバー（NTP）の時刻と同じになるように、サーバーから時刻を取得し、本機の時刻を合わせます。

[時刻サーバーの接続間隔]

時刻サーバーに何時間ごとに接続するかを指定します。

[時刻サーバーアドレス]

時刻サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

[自動リセット]

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、リセットされる時間を指定します。

補足

- [しない] に設定しても、ジョブの中断中に操作を 1 分間しないと、自動リセットされ、ジョブが再開されることがあります。自動リセット後のジョブの動作は、ジョブ一時停止後の処理で設定します。ジョブ一時停止後の処理については、「[ジョブ一時停止後の処理]」(P.122) を参照してください。

[ジョブ自動解除]

エラー（用紙の補給、紙詰まりなど）が発生したとき、現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。

[プリント起動]

操作パネル（[スタート] は除きます）の操作後、プリントができるようになるまでの時間を設定します。

[タイムゾーン]

GMT を基準に、-12 時間から +12 時間の範囲で設定します。

[サマータイム]

夏時間（サマータイム）を設定します。夏時間（サマータイム）として設定した期間は、現在の時間に 1 時間加えた時刻になります。

[暖機モード動作]

本機内の結露を防止または軽減する暖機モードに移行するかどうかを設定します。

[オンデマンド印刷の有効時間]

外部アクセスを使用してプリントする場合の有効時間を設定します。プリントを指示したあと、ここで設定した時間以内に外部接続先からプリントデータを受信しないと、プリント指示が無効になります。

補足

- 一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。

[節電モードの設定]

[節電モード移行時間]

節電モードには、[低電力モード] と [スリープモード] があり、プリント終了後または本機の操作後、設定時間が経過すると節電状態になります。

補足

- [スリープモード] に移行しないように設定することはできません。
- スリープモードに移行するまでの時間は、低電力モードに移行するまでの時間と同じか、それより大きくなるように指定します。
- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

[自動プリント後の節電モード移行]

コンピューターからのプリントが完了したあとに、節電状態に移行するタイミングを設定します。

[スリープモード設定]

スリープモード中の動作を、省電力優先にするか復帰時間優先にするかを設定します。

[節電解除の制御]

節電状態を解除するときに、使用する部分のみを解除するかどうかを設定します。

[電源の自動制御]

設定した時刻になると電源が切れるように設定します。

補足

- [自動的に電源を切る] が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は切れません。

[音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音の設定をします。

[画面の設定]

[初期表示画面]

電源を入れたり、節電状態を解除したときに表示する画面を設定します。

【自動リセット後の画面】

自動リセット後の画面を設定します。

【コントロールメニューの機能配置】

コントロールメニューに配置する機能を設定します。

【機能リストの【その他の機能】の表示】

機能の表示方法を設定します。オンにすると基本機能（よく使う機能）以外の機能の表示 / 非表示の切り換えができます。

【スタートボタンの操作】

タッチパネルディスプレイに表示される【スタート】の操作方法をタップまたはスライドのどちらかに設定できます。

【認証画面の自動表示】

認証機能を有効にしている場合、電源を入れたり、節電状態を解除したときに、認証画面を自動的に表示するかどうかを設定します。

【ログインボタンのユーザー名】

認証情報の表示エリアのボタン上に表示するユーザー名の長さを設定します。

補足

- 【長く表示】に設定しても、ユーザー名をすべて表示できないことがあります。

【初期表示言語】

電源を入れたときに表示する言語とキーボードのレイアウトを設定します。

【画面輝度調整】

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

【消耗品情報画面の表示】

交換が必要な消耗品がある場合に、消耗品の状態を自動的に表示するかどうかを設定します。

【USB メモリー検出時の画面表示】

USB メモリーを本機に差し込んだときの表示画面の設定をします。

補足

- 節電中は、USB メモリー差し込み口に USB メモリーを差し込んでも、タッチパネルディスプレイは点灯しません。節電状態を解除してから、USB メモリーを差し込み直すか、ホーム画面で利用するアプリをタップしてください。

【USB メモリー検出時の警告画面表示】

USB メモリー差し込み口に USB メモリーを挿入したときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

【キーボード入力制限】

本機で表示されるキーボードの入力可能文字を ASCII のみに制限するかどうかを設定します。

【アップダウンボタンの操作】

＋／－ ボタンの押し続け操作を許可するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 - 機械管理者設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値のまま、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 - SNMP 設定]

SNMP プロトコルの設定で、コミュニティ名や認証用パスワードが初期値のまま、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

補足

- SNMP プロトコルの設定は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

[セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス]

本機にグローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証 / 集計の設定] が [認証しない] に設定されている状態で、本機またはインターネットサービスに機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[通知メッセージの抑制]

ポップアップで表示されるメッセージを少なくします。表示されなかったメッセージは、[機械確認 (メーター確認)] の [通知] で確認できます。

[通知メッセージの表示時間]

メッセージの表示時間を設定します。

[画質の設定]

[画質セットアップの自動実行]

画質セットアップ (機械内部で画質を調整する処理) を定期的に実行すると、プリント開始までの時間を短縮できます。

[レポート設定]

[レポート / リストの出力] の内容を機械管理者モード以外有的时候に表示させるかと、各レポートを自動でプリントするかを設定します。

[レポート出力の許可]

オフにすると、機械管理者でログインしたときだけ [機械確認 (メーター確認)] > [レポート / リストの出力] の内容が表示されます。

[レポートの両面プリント]

ポート / リストをプリントするときに、片面でプリントするか両面でプリントするかを設定します。

[ジョブ履歴レポート]

処理を行ったジョブの合計が 50 件になったときに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[複製管理]

複製管理とは、書類の複製を抑制するために、用紙の背景全体に文字列や背景パターンを印字する機能です。

補足

- ユーザー管理番号は、認証モードの設定によって印字されないことがあります。
- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）と、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[印字する日付の形式]

日付の形式を設定します。ここで設定した値は、アノテーション、複製管理、強制アノテーションで共通になります。

[隠し印刷初期値]

複製管理の隠し印字の初期値を設定します。

[文字列の大きさ]

複製管理で印字される文字の大きさを設定します。

[背景パターン]

隠し印字で使用する文字列を埋め込むための、背景パターンを設定します。

[印刷の色]

複製管理の隠し印字の文字の色を設定します。

[印刷の濃度]

複製管理で印字される文字の濃度を設定します。

[文字 / 背景コントラスト]

複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。

【サンプルリストの出力】でプリントしたサンプルを参考にして設定できます。

[強制複製管理 - クライアントプリント]

コンピューターからプリントをしたときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。

本機の設定を優先する場合は「本体の設定を優先」を、TrustMarkingBasic（富士フイルムビジネスインベーション株式会社製の別売ソフトウェア）などのソフトウェアやプリントサーバーの設定を優先する場合は、「クライアントの設定を優先」を選びます。

「本体の設定を優先」を選んだ場合は、ユーザー情報またはユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時が印字されます。

補足

- 「強制ペーパーセキュリティ」の「クライアントプリント」と共通です。
強制ペーパーセキュリティについては、「[ペーパーセキュリティ]」(P.118) を参照してください。

[強制複製管理 - メディアプリント]

文書プリントをするときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。

印字される文字列は、ユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時です。

[文字列登録 1] ～ [文字列登録 3]

複製管理で印字される文字列を登録します。

[サンプルリストの出力]

背景のコントラストが異なる複数のサンプルをプリントします。プリントサンプルをもとに、「文字 / 背景コントラスト」を設定してください。

[ペーパーセキュリティ]

プリントする文書に、デジタルコードや隠し印字などを設定します。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）と、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[デジタルコードの設定]

文書に埋め込むデジタルコードの解析パスワードと文字列を設定します。

補足

- デジタルコードの解析には、PaperSecurity Analyzer（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社製の別売ソフトウェア）が必要です。
- [解析パスワード] を設定すると、文書のデジタルコードを解析するアプリケーション使用者を限定できます。

[強制ペーパーセキュリティ]

ジョブの種類ごとに、強制的にペーパーセキュリティ機能を実行するかどうかを設定します。

補足

- [クライアントプリント] で本機の設定を優先する場合は [本体の設定を優先] を、TrustMarkingBasic（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）などのソフトウェアやプリントサーバーの設定を優先する場合は、[クライアントの設定を優先] を選びます。
- [クライアントプリント] の設定は、強制複製管理 - クライアントプリントと共通です。強制複製管理 - クライアントプリントについては、「[複製管理]」（P.116）を参照してください。

[ペーパーセキュリティの初期値]

複製制限コードを紙文書に埋め込むかどうかを設定します。

[隠し印字の設定]

プリントされる文書に隠し文字を埋め込むかどうかを設定します。

隠し文字を設定すると、プリントする文書に隠し文字が埋め込まれます。隠し文字が埋め込まれた文書をコピーすると、埋め込まれた隠し文字が白抜きになります。

■ [文字列初期値]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字列を設定します。

■ [背景パターン]

ペーパーセキュリティの隠し印字の背景パターンを設定します。

■ [印刷の色]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字の色を設定します。

■ [文字 / 背景コントラスト]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字 / 背景のコントラストを設定します。

[サンプルリストの出力] でプリントしたサンプルを参考にして設定できます。

■ [文字列登録 1] ～ [文字列登録 3]

ペーパーセキュリティの隠し印字の文字列を登録します。

■ [サンプルリストの出力]

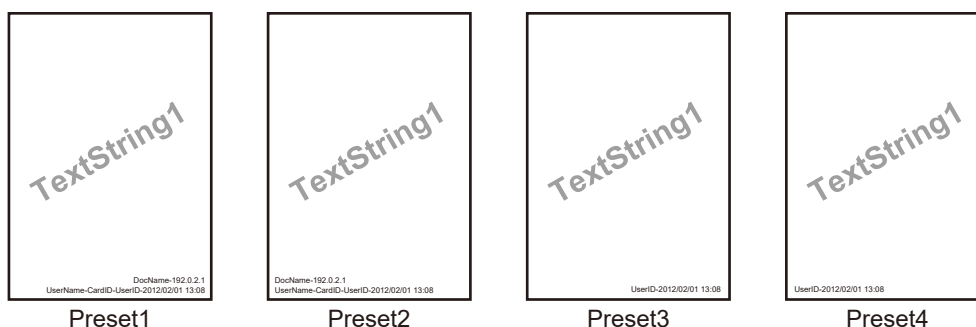
背景のコントラストが異なる複数のサンプルをプリントします。プリントしたサンプルをもとに、[文字 / 背景コントラスト] を設定できます。

[強制アノテーション]

ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、ユーザー名や日付などの文字列（アノテーション）が強制印字されます。

本機にはあらかじめ [preset1] ~ [preset4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートで印字される項目は次のとおりです。

- [preset1]、[preset2]
[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。
用紙の右下（[preset1] の場合）、または左下（[preset2] の場合）に、次の項目が印字されます。
 - 上段：文書名、印字を指示したコンピューターの IP アドレス
 - 下段：ユーザー名、カード ID、User ID、年月日時
- [preset3]、[preset4]
[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。
用紙の右下（[preset3] の場合）、または左下（[preset4] の場合）に、次の項目が印字されます。
 - User ID、年月日時



補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）とストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

参照

- 文字列の登録については、「[文字列の登録]」（P.119）を参照してください。

[レイアウトテンプレートの関連付け]

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。

[レイアウトテンプレートの削除]

レイアウトテンプレートを削除します。

[文字列の登録]

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

[UUID 印字]

プリントジョブごとにジョブを特定できるように、識別 ID（UUID）を印字できます。

ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）を利用すると、UUID をキーとしてログを検索し、ジョブごとに「いつ」、「誰が」、「プリントしたか」などの情報を確認できるため、情報漏えいの抑止に効果があります。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。
- [強制アノテーション] の [レイアウトテンプレートの関連付け] でレイアウトテンプレートを設定している場合は、設定しているテンプレートの上に、ここで設定する文字が印字されます。
- 微調整値は、用紙の端を 0 mm として、値を大きくすると用紙中央方向に移動します。ただし、[印字位置] で [中央上]、または [中央下] を選択した場合、横方向の調整値は用紙の中央を 100 mm としています。[印字位

置] で [中央上]、または [中央下] を選択する場合は、微調整値をいったん 100 mm に設定してから調整をしてください。

[UUID 印字]

UUID 印字をするかどうかを設定します。

[印字位置]

印字する位置を設定します。

[印字位置の微調整]

印字する位置を調整します。

[うら面の印字位置]

両面にプリントするときに、うら面に印字する UUID の位置を設定します。

[ジョブ終了時のメール通知設定]

[通知対象ジョブ]

ジョブの実行結果を通知するサービスと、通知するタイミングを設定します。通知対象ジョブが 1 つ以上設定されている場合は、[設定あり] が表示されます。

[メールアドレス 1] ~ [メールアドレス 5]

メールの通知先を設定します。

[メール本文]

メールに付加されるコメントを入力できます。

[プラグイン設定]

この項目は、本機では使用しません。

[その他の設定]

[オフセット排出 (排出トレイ)]

排出トレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ (プリント指示) 単位で、オフセット排出をします。

[オフセット排出 (フィニッシュャートレイ)]

フィニッシュャートレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ (プリント指示) 単位で、オフセット排出をします。

[プリントジョブの追い越し]

本機が何らかの原因で実行開始できない (プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど) 場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するかどうかを設定します。

[プリント用紙サイズ初期値]

レポート / リストをプリントするときに使う用紙サイズを設定します。

[奇数ページ文書の両面処理]

文書のページ数が奇数のときに、最終ページを両面処理するかどうかを設定します。

[サイズ検知切り替え]

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

[ミリ / インチ切り替え]

画面に表示される単位を設定します。

[小サイズ給紙トレイの使用]

小サイズ給紙トレイ（オプション）を取り付けたときに設定します。

補足

- NPDL プリンタードライバーからプリントする場合は、小サイズ給紙トレイ（オプション）は使用できません。

[データの暗号化]

本機に記録されるデータを暗号化するかどうかを設定します。

本機からの情報漏えいを抑止するため、本機に保存されている認証情報、蓄積文書などのデータを暗号化します。また、プリントしたデータを本機に書き込むときに、暗号化されます。

■ データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定 / 解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ストレージ（オプション））は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは保証されません。

注記

- データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください。
- 現在接続されているストレージ（オプション）が、暗号化の設定と一致しない場合は、エラーとなります。エラーメッセージと処置については、「エラーコード」(P.229) を参照してください。

[秘密情報の暗号化キー]

機械管理者のパスワードなどの秘密情報を暗号化するための暗号化キーを設定します。秘密情報を暗号化することで、ネットワーク上の盗聴や秘密情報の所有者以外からの参照を抑止します。

注記

- 暗号化キーを変更すると、バックアップした秘密情報を復元できなくなることがあります。

参照

- 暗号化キーは、工場出荷時には機械管理者のパスワードの初期値に設定されています。工場出荷時の機械管理者 ID とパスワードについては、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

[保守員（CE）の操作制限]

保守員（CE）のなりすましによって、本機のセキュリティの設定が変更されないように、保守員（CE）の操作を制限するかどうかを設定します。

保守員（CE）は、次の項目が変更できなくなります。

- 「[その他の設定]」(P.120)
- 「[データの暗号化]」(P.121)
- 「[秘密情報の暗号化キー]」(P.121)
- 「[保守員（CE）の操作制限]」(P.121)
- 「[SSL/TLS 設定]」(P.141)
- 「[IPsec 設定]」(P.142)
- 「[機械管理者情報の設定]」(P.147)
- 「[不正使用防止の設定]」(P.149)

- 機械管理の権限を与えられたユーザーの作成 / 変更
- SNMPv3 の設定変更

保守パスワードを設定すると、保守員（CE）が本機の保守作業をするときには、保守パスワードの入力が必要になります。

注記

- [保守員（CE）の操作制限] を設定した場合、次のことに注意してください。
 - 機械管理者のユーザー ID とパスワードを忘れると、保守員（CE）に制限されている項目の変更ができなくなります。
 - 保守パスワードを忘れると、本機でトラブルが発生したときに保守員（CE）による保守作業ができなくなります。
- 制限項目の変更や保守作業をするには、電子基板の交換が必要になります。電子基板の交換には、代金ならびに交換手数料が必要になりますので、機械管理者のユーザー ID とパスワード、および保守パスワードは忘れないようにご注意ください。

参照

- 機械管理の権限については、「管理の権限と権限グループ」(P.174) を参照してください。

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）のダウンロードを許可するかどうかを設定します。

この項目を無効にすると、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [許可] を設定してもファームウェアをダウンロードできません。この項目を有効にして、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [禁止] を設定すると、USB 経由のダウンロードだけ許可されます。

補足

- [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] は、インターネットサービスで設定します。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

[カラーモード自動時の印刷動作]

[カラーモード] で [自動] に設定したときに、原稿の種類でカラーかモノクロかを判別させて印字するか、カラーで印字するかを設定します。

- [標準]
原稿の種類（カラー / モノクロ）で判別させて印字します。
- [速度を優先]
カラーで印字します。

[状態表示ランプ (緑)]

ジョブの実行中など、本機がなんらかの動作をしているときに点灯 / 点滅するランプが有効になります。

[データランプの点灯パターン]

データランプの点灯パターンを設定します。

[ジョブ一時停止後の処理]

起動したジョブの操作を途中で止め、[自動リセット] で指定した時間が経過するまで放置した場合に、そのジョブを自動的に継続するか、自動的に中止するか、ユーザーが操作を再開するまで一時停止したままにするかどうかを設定します。

[転写装置の待機状態]

カラープリントと白黒プリントのどちらの状態で待機しておくかを設定します。よく使うカラーモードに合わせておくと、プリント速度が向上します。

[ドラムカートリッジ寿命時の動作]

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。

[一般ユーザーの調整機能操作]

画質や紙折り位置の調整操作を、一般ユーザーに許可するかどうかを設定します。

参照

- 画質の調整については、「[画質調整]」(P.154) を参照してください。
- 紙折り位置の調整については、「[フィニッシャーの調整]」(P.155) を参照してください。

[アプリ設定]



[プリンター設定]

[メモリー設定]

インターフェイスごとに、受信バッファ（クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。

受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するクライアントの解放が早くなる場合があります。

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。

補足

- この設定は NPDL モードでは使用できません。
- ポートが [停止] に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。

■ [PostScript 使用メモリー]

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

■ [ART EX フォームメモリー]

ART EX でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV,ESC/P,201H フォームメモリー]

ART IV、ESC/P でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ART IV ユーザー定義用メモリー]

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

■ [HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー]

HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ [ジョブチケット用メモリー]

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

■ [受信バッファ -LPD]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。

補足

- [スプールしない] に設定すると、LPD プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。
- [LPD のプリント順序] の設定により、[受信バッファ -LPD] が変更できないことがあります。詳しくは、[「LPD のプリント順序」] (P.128) を参照してください。

■ [受信バッファ -IPP]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。

補足

- [スプールしない] に設定すると、IPP プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。

[フォーム削除]

登録されたフォームを個別に削除します。プリンターモードごとのフォーム番号を指定して、表示されたフォーム名称を確認してから削除します。

補足

- フォームデータの削除は NPDL では対応しません。

[蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積されているプリント文書（サンプルプリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）を設定した保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。また電源を切 / 入したときに削除するかどうかを設定します。

補足

- この項目は、[ジョブ情報設定] > [蓄積プリント文書の保存設定] と共通です。

[プリント文書一覧の初期表示]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を [リスト表示] または [サムネール表示] に設定します。

補足

- この項目は、[ジョブ情報設定] > [プリント文書一覧の初期表示] と共通です。

[プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするとき、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

補足

- この項目は、[ジョブ情報設定] > [プリント時の確認画面表示] と共通です。

[プレビューイメージの作成]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を表示するときに、プレビューイメージを作成するかどうかを設定します。

補足

- プレビューイメージを作成するかはプリンタードライバーから設定することもできます。
- この項目は、[ジョブ情報設定] > [プレビューイメージの作成] と共通です。

[プレビューイメージの作成時間]

蓄積プリント文書のプレビューイメージの作成時間を制限するかどうかを設定します。[制限する] に設定すると、制限時間内で作成されたプレビューイメージだけが表示され、制限時間を超えたプレビューイメージは表示されません。

補足

- この項目は、[ジョブ情報設定] > [プレビューイメージの作成時間] と共通です。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティープリントや認証プリントの文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。

補足

- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。
- この項目は、[ジョブ情報設定] > [蓄積時の暗証番号最小桁数] と共通です。

[全文書選択時のプリント順]

蓄積プリント文書の全文書を選択した場合のプリントの順番を設定できます。

補足

- この項目は、[ジョブ情報設定] > [全文書選択時のプリント順] と共通です。

[その他の設定]

■ [プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

• [標準]

用紙の上下左右の端から余白（4.1 mm）を除いた領域にプリントします。

• [拡張]

印字領域を広げてプリントします。

A3 以下	用紙の上下左右の端から画像欠け幅を除いた領域
A3 より大きい	最大：305.0 mm×476.6 mm
長尺用紙	最大：305.0 mm×1194.0 mm

参照

- 画像欠け幅については、「主な仕様」(P.298) を参照してください。
- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

■ [用紙の置き換え]

自動トレイ選択で選択された用紙サイズの用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。
- エミュレーションを使用してプリントする場合は、ここでの設定にかかわらず、用紙補給のメッセージが表示されます。
- プリンタードライバ側から指定があった場合は、プリンタードライバ側の指定が優先されます。

■ [用紙種類不一致時の処理]

プリンタードライバなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

■ [用紙種類不一致時の処理 (手差し)]

手差しトレイを使用してプリントする場合に、プリンタードライバで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズが異なる場合の処理を設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

■ [手差しトレイの優先選択]

プリンタードライバで [用紙トレイ選択] を [自動] に指定しているときに、トレイ 5 (手差し) を最優先で選ぶかどうかを設定します。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。
- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致するときに、トレイ 5 (手差し) から給紙されます。
- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が対象外に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致していなくてもトレイ 5 (手差し) から給紙されます。

■ [手差しプリントの確認]

トレイ 5 (手差し) の用紙にプリントするときに、セットされている用紙を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

■ [未登録フォーム指定時の処理]

フォームデータファイル (オーバーレイ印字) にプリント指示されたフォームが、プリンター側で未登録だった場合に、ジョブをプリントするかどうかを設定します。

[プリントする] に設定した場合、指定したフォームがないため、データだけがプリントされます。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。

■ [異常終了後のプリント処理]

プリント中にエラーが発生した場合に、エラージョブをキャンセルして後続ジョブのプリントを自動的に継続するか、エラーを確認する画面を表示してユーザー操作で後続ジョブのプリントを再開するかを設定します。

■ [紙づまり発生時のプリント処理]

プリント中に紙詰まりが発生した場合に、紙詰まりの処置を終了したあと、正常に排出された次のページから自動的にプリントを再開するか、プリントを中止して、そのプリントジョブを削除するかを設定します。

■ [ID 印字]

プリンタードライバーを使ってプリントする場合、ユーザーを区別するために、プリントする用紙にプリンタードライバーに設定されたユーザー ID を印字するかどうかを設定します。プリンタードライバーに設定されたユーザー ID のうち、先頭の 64 文字まで印字されます。

補足

- この設定は NPD L モードでは使用できません。
- ID 印字機能を使用するには、あらかじめプリンタードライバーで、User ID の設定が必要です。設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

■ [バナーシート出力]

本機を複数のユーザーで使用している場合など、ユーザーごとのジョブを区分けして、印刷物が混在しないようにバナーシートを出力します。ジョブの前や後ろに出力することができます。

バナーシートには、日付、時間、ユーザー名、ファイル名などがプリントされます。

■ [バナーシートのオフセット出力]

仕分け用の用紙（バナーシート）を出力するときにオフセット排出するかどうかを設定します。

■ [バナーシートトレイ]

仕分け用の用紙（バナーシート）を給紙するトレイを設定します。

■ [PostScript のカラーモード初期値]

PostScript のカラーモードの初期値を設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PostScript の用紙選択]

用紙選択時に、PostScript の遅延媒体選択（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。遅延媒体選択機能を有効にする場合は [自動] に、無効にする場合は [用紙トレイから選択] に設定します。

プリンタードライバー以外が生成する PostScript データをプリントするときに、PostScript データの記述方法によっては、意図どおりにトレイが選択されないことがあります。その場合は [用紙トレイから選択] に設定してください。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- [自動] に設定していても、[用紙の置き換え] で [大きいサイズを選択] または [近いサイズを選択] を選んで、PostScript データを印字すると、自動的に [用紙トレイから選択] に切り換わります。

■ [PS フォント未搭載時の処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。[フォントを置換えてプリントする] に設定したときに、指定されたフォントがなかった場合は、Courier に置き換えられます。

置き換えられたフォントが日本語の場合は正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [PostScript のフォント置き換え] を [ATCx を使用する] に設定してください。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PostScript のフォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [XPS PrintTicket 処理]

XPS（XML Paper Specification）文書内に記述された印刷設定（PrintTicket）を読み込むときの本機の動作を設定します。

■ [LPD のプリント順序]

LPD のプリントの順番を設定します。

補足

- [LPD のプリント順序] の変更により、[受信バッファ -LPD] が自動的に変更されることがあります。詳しくは、[「受信バッファ -LPD」] (P.124) を参照してください。

■ [OCR フォントのグリフ (0x5C)]

OCR フォントを使用するときに、「0x5C」の文字をバックスラッシュ (\) と円記号 (¥) のどちらで印字するかを設定します。

補足

- この設定は NPDL モードでは使用できません。

[ジョブ情報設定]

[蓄積プリント文書の保存設定]

この項目は、「[蓄積プリント文書の保存設定]」(P.124) と共通です。

[プリント文書一覧の初期表示]

この項目は、「[プリント文書一覧の初期表示]」(P.124) と共通です。

[プリント時の確認画面表示]

この項目は、「[プリント時の確認画面表示]」(P.124) と共通です。

[プレビューイメージの作成]

この項目は、「[プレビューイメージの作成]」(P.125) と共通です。

[プレビューイメージの作成時間]

この項目は、「[プレビューイメージの作成時間]」(P.125) と共通です。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

この項目は、「[蓄積時の暗証番号最小桁数]」(P.125) と共通です。

[全文書選択時のプリント順]

この項目は、「[全文書選択時のプリント順]」(P.125) と共通です。

[監査ログ設定]



監査ログの設定と Syslog 送信（Syslog プロトコルを使って監査ログをネットワーク上の他のコンピュータに送信）に関する設定をします。

監査ログとは、いつ、誰が、どのような作業を本体で行ったかを記録したものです。監査ログ機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

補足

- 監査ログを取り出すには、インターネットサービスを使用します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

参照

- 監査ログの保存項目については、弊社公式サイトで提供している『監査ログリファレンスガイド』を参照してください。

[監査ログの記録]

監査ログを記録するかどうかを設定します。

監査ログ機能が有効になると、本体に監査ログが記録されます。

ログは最大で 15000 件まで保存され、15000 件を超えると日付の古いログから削除されます。

[監査ログの Syslog 送信]

監査ログを Syslog サーバーに送信するかどうかを設定します。

[Syslog- サーバー名 / アドレス]

Syslog サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

[Syslog-UDP/TCP ポート番号]

Syslog サーバーの UDP または TCP のポート番号を入力します。

[Syslog-TLS ポート番号]

Syslog サーバーの TLS ポート番号を入力します。

[Syslog- トランスポートプロトコル]

Syslog に送信する際のトランスポートプロトコルを設定します。

[Syslog- ファシリティ]

Syslog に送信する監査ログのファシリティ番号を入力します。

[Syslog- タイムアウト値]

Syslog 送信時の送信タイムアウト値を入力します。

[送信エラー時の対応方式]

デバイス内の監査ログが Syslog 未送信のまま最大保存件数に達したときの動作を設定します。

〔稼動優先〕を選ぶと、日付の古いログから上書きされます。上書きされた監査ログは、Syslog 送信できません。

〔監査優先〕を選ぶと、システムエラーとなり、本機が停止します。本体と Syslog サーバーを接続できる状態にしてから、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯したら、もう一度電源を入れてください。

[ネットワーク設定]



[ポート設定]

補足

- LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信、プライマリーサーバー、セカンダリーサーバーは、ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。
HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD））は、LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信のポート番号と同じ番号を使用しないでください。
また上記いずれも、次のポート番号を設定した場合、ポートの設定状況によっては正常に動作しなくなることがあります。
25、139、427、445、631、15000

参照

- HTTP-SSL/TLS 通信ポートについては、〔[SSL/TLS 設定]〕(P.141) を参照してください。

[USB]

■ [USB- ポート]

USB を使用するときは〔起動〕に設定します。

■ [USB- プリントモード指定]

使用するプリント言語の種類を設定します。〔自動〕に設定すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切にプリント処理します。

■ [USB-PJL スイッチ]

PJL (Print job Language) コマンドとは、実際のプリントジョブの先頭に付加されたデータです。通常は、〔有効〕のままで使用します。

■ [USB- 自動排出時間]

本機にデータが送られなくなってから、用紙を自動的に排出するまでの時間を設定します。

■ [USB-Adobe 通信プロトコル]

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- [標準]
プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
- [バイナリー]
プリンタードライバーの出力プロトコルが BCP 形式のときに設定します。
- [TBCP]
プリンタードライバーの出力プロトコルが TBCP 形式のときに設定します。
- [RAW]
プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式またはバイナリ形式のときに設定します。
Adobe 通信プロトコルの制御を受けないで、データをそのまま出力します。

■ [USB-PS 印刷待ちタイムアウト]

本機ではデータを一定時間受信しないと、接続を自動的に切断します。[USB-Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定して、データをプリントしているときに、接続を切断するまでの時間を [USB- 自動排出時間] に従う場合は [無効]、PostScript のタイムアウトに従う場合は [有効] に設定します。

補足

- この項目は、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[LPD]

■ [LPD- ポート]

LPD を使用するときは [起動] に設定します。

■ [LPD- ポート番号]

LPD のポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [LPD- セッション数]

本機に LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

[IPP]

■ [IPP- ポート]

IPP を使用するときは [起動] に設定します。

■ [IPP- 追加ポート番号]

標準のポート番号以外で IPP を受け付けるかどうかを設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD））は、同じポート番号を共用できます。

[Bonjour]

■ [Bonjour- ポート]

Bonjour を使用するときは [起動] に設定します。

補足

- Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートを起動しておく必要があります。

[Port9100]

■ [Port9100- ポート]

Port9100 を使用するときは [起動] に設定します。

■ [Port9100- ポート番号]

Port9100 のポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[SNMP]

■ [SNMP- ポート]

SNMP を使用するときは [起動] に設定します。

[メール受信]

■ [メール受信 - ポート]

メールを受信するときは [起動] に設定します。

[メール通知サービス]

■ [メール通知サービス - ポート]

メール通知サービスを使用するときは [起動] に設定します。メール通知サービスとは、本機の状態をメールで通知する機能です。

補足

- 通知される本機の状態は、[消耗品状態]、[定期交換部品状態]、[用紙トレイ状態]、[排出先状態]、[紙づまり状態]、[ドア / カバー状態]、[エラー] です。
- メール通知サービスの設定はインターネットサービスで行います。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

[UPnP ディスカバリー]

■ [UPnP ディスカバリー - ポート]

UPnP を使用するときは [起動] に設定します。

■ [UPnP ディスカバリー - ポート番号]

UPnP の通信で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[WSD]

■ [WSD プリント - ポート]

WSD (Web Services on Devices) プリントを使用するときは [起動] に設定します。

■ [WSD- ポート番号]

WSD (Web Services on Devices) の通信で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[インターネットサービス (HTTP)]

■ [インターネットサービス - ポート]

インターネットサービスを使用するときは [起動] に設定します。

■ [インターネットサービス - ポート番号]

インターネットサービスで使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。
- [IPP- ポート] が [停止] に設定されているときは、[インターネットサービス - ポート番号] は設定できません。[IPP- ポート] を [起動] に設定し、 電源 / 節電 ボタンを押して [再起動する] をタップしてください。本機が再起動したあとに、[インターネットサービス - ポート番号] を設定してください。
- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

[SOAP]

■ [SOAP- ポート]

SOAP ポートを使用するときは [起動] に設定します。

■ [SOAP- ポート番号]

SOAP で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

[ThinPrint]

■ [ThinPrint- ポート]

ThinPrint を使用するときは [起動] に設定します。

■ [ThinPrint- ポート番号]

ThinPrint で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
- 通信プロトコルが IPv4 で動作しているときに利用できます。
- 同時に接続できる最大接続数は、3 です。

[無線 LAN 設定]

無線 LAN 通信を行う際の基本設定をします。

参照

- 設定手順については、「無線 LAN で接続する」(P.28) を参照してください。

[プロトコル設定]

通信に必要な条件を設定します。

[Ethernet 設定]

ネットワークの名称、速度、省電力機能について設定します。

[TCP/IP- 共通設定]

■ [プライマリーネットワーク]

複数のインターフェイスを使用している場合、プライマリーネットワークとして動作するネットワークの名称が表示されます。

補足

- ・プライマリーネットワークの設定は、インターネットサービスで行います。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167)を参照してください。

■ [IP 動作モード]

TCP/IP の動作モードを設定します。

[TCP/IP- ネットワーク設定] / [TCP/IP 設定 (LAN1)]、[TCP/IP 設定 (LAN2)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)]

補足

- ・セカンダリーネットワークで使用できるポートは、LPD、Port9100、SNMP、インターネットサービス (HTTP)、Bonjour、IPP、ThinPrint、WSD (Web Services on Devices)、AirPrint です。その他のポートを使用するアプリケーションで、セカンダリーネットワークのインターフェイスを設定しても動作しないことがあります。

■ [IPv4-IP アドレス取得方法]

IP アドレスを取得する方法を設定します。

■ [IPv4-IP アドレス]

本機に割り当てられた IP アドレスを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、IP アドレスを入力します。

■ [IPv4- サブネットマスク]

本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、サブネットマスクを入力します。

■ [IPv4- ゲートウェイアドレス]

本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。[IPv4-IP アドレス取得方法] が [手動で設定] に設定されているときは、ゲートウェイアドレスを入力します。

■ [IPv4-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

■ [IPv4- 受付 IP アドレス制限]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可する IPv4 アドレスの範囲は、インターネットサービスで登録します。

■ [IPv6- アドレスの手動設定]

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。

■ [IPv6- 手動設定 IP アドレス]

[IPv6- アドレスの手動設定] を設定したときに、本体の IPv6 アドレスを設定します。

■ [IPv6- 手動設定 IP アドレスプレフィクス]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、プレフィクス長を設定します。

■ [IPv6- 手動設定ゲートウェイアドレス]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、ゲートウェイアドレスを設定します。

■ [IPv6-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

■ [IPv6- 自動設定アドレス]

自動的に設定された IP アドレスを表示します。

■ [IPv6- 受付 IP アドレス制限]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可する IPv6 アドレスの範囲は、インターネットサービスで登録します。

[Ping 接続確認]

設定した条件で本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかどうかを確認できます。

[ネットワークプロトコルレポート出力]

プライマリーインターフェイスのプロトコル設定をレポート出力します。

[本体メールアドレス / ホスト名]

[メールアドレス]

本機のメールアドレスを設定します。128 文字以内で入力します。

[名前]

本機の名前を 32 文字以内で入力します。

[ホスト名]

ホスト名を半角 32 文字以内で入力します。

[ドメイン名] / [ドメイン名 (LAN1)]、[ドメイン名 (LAN2)]、[ドメイン名 (Wi-Fi)]

ドメイン名を 64 文字以内で入力します。

[プロキシサーバー一覧]

外部アクセスを使用する場合に設定します。

[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定 -LAN1]、[プロキシサーバー設定 -LAN2]、[プロキシサーバー設定 -Wi-Fi]

お使いのネットワーク環境に応じて、インターフェイスごとのプロキシサーバー設定ができます。

■ [プロキシサーバーの使用]

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

■ [プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定方法を設定します。

- [すべてのプロトコルに同じ設定]

HTTP プロキシサーバーの設定が、HTTPS プロキシサーバーの設定としても反映されます。

- [プロトコルごとに設定]

HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーをそれぞれ設定できます。

- [PAC ファイルを指定]

HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーの設定に PAC ファイルを使用して設定します。

- [自動検出]

HTTPS プロキシサーバーと HTTP プロキシサーバーの設定を検出します。

■ [PAC ファイルの URL]

[プロキシサーバー指定方法] を [PAC ファイルを指定] に設定した場合に、URL を指定します。

■ [プロキシを使用しないアドレス]

プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。また、「*」（ワイルドカード）を使った指定もできます。

■ [HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

■ [HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

■ [HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ [HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

■ [HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ [HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[EP プロキシサーバー設定]

インターネットを使用して通信が行える場合の、EP 通信用のプロキシサーバーについて設定します。

補足

- EP 通信を使用したサービスを利用するには別途保守契約が必要です。
- HTTPS 通信の場合はポート番号 443、HTTP 通信の場合はポート番号 80 を使用してください。

参照

- プロキシ設定ファイル（PAC）による自動設定、または自動検出設定を使用している場合は、インターネットサービスで設定します。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

[プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定について設定します。[プロトコルごとに設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーおよび HTTP プロキシサーバーをそれぞれ設定できます。

[すべてのプロトコルに同じ設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーの設定が HTTP プロキシサーバーに反映されます。

[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[メール送受信設定]

[POP3 サーバー設定]

- [POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス]
POP3 サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。
- [POP3 サーバー - ポート番号]
POP3 サーバーのポート番号を設定します。
- [POP3 サーバー - 受信間隔]
POP3 サーバーへのメールの確認間隔を設定します。
- [POP3 サーバー - ログイン名]
POP3 サーバーにログインするための名前を入力します。
- [POP3 サーバー - パスワード]
POP 受信用のパスワードを設定します。
- [POP 受信パスワードの暗号化]
パスワードを暗号化するかどうかを設定します。

[SMTP サーバー設定]

[接続確認] をタップし、本機から指定したメールアドレスにテストメールを送信することで、本機と SMTP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [SMTP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した SMTP 通信のプロトコルの内容を表すレポートが出力されます。

- [SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス]
SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。
- [SMTP サーバー - ポート番号]
SMTP サーバーのポート番号を設定します。
- [送信時の認証方式]
SMTP 送信時の認証方法を設定します。

補足

 - 認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTHPLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 に対応しています。
- [送信時の認証ユーザー]
送信時の認証ユーザーを設定します。
- [SMTP AUTH- ログイン名]
SMTP サーバーのログイン名を設定します。
- [SMTP AUTH- パスワード]
SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。

[外部認証サーバー設定]

[認証システムの設定]

- [認証システム]
認証するためのシステムを選びます。

補足

- 外部認証サーバーに、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア）を使用する場合は、[Authentication Agent] を選んでください。

■ [認証応答待ち時間の上限]

認証の応答の待ち時間の上限を設定します。

■ [ユーザー情報検索時間の上限]

ユーザー情報の検索の待ち時間の上限を設定します。

[Kerberos サーバー設定]

■ [Kerberos サーバー 1(標準)] ～ [Kerberos サーバー 5]

Kerberos サーバー 1 ～ 5 それぞれに、次の設定をします。

Kerberos サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

- [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]
プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [プライマリーサーバー - ポート番号]
プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]
セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [セカンダリーサーバー - ポート番号]
セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [認証先 (レルム名)]
サーバーとして、Windows Server のアクティブディレクトリーを使用する場合は、アクティブディレクトリーのドメイン名を認証先に指定します。

補足

- 認証先名は、必ず大文字で設定してください。小文字で設定すると認証エラーになります。

■ [サーバー証明書の検証]

サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

[LDAP サーバー設定]

LDAP 認証を行うための、サーバーや認証方式について設定します。

[接続確認] をタップすることで、本機と LDAP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [LDAP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した LDAP 通信のプロトコルの内容を表すレポートが出力されます。

■ [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]

プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

■ [プライマリーサーバー - ポート番号]

プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]

セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

プライマリーサーバーがメンテナンス中などで通信不能の場合に、代替サーバーに接続します。

■ [セカンダリーサーバー - ポート番号]

セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

プライマリーサーバーがメンテナンス中などで通信不能の場合に、代替サーバーに接続します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [認証方式]

• [直接認証]

入力した User ID とパスワードで、LDAP サーバーに認証します。

• [ユーザー属性認証]

特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証します。[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。

■ [入力ユーザー名の属性]

LDAP 認証の認証方式が [ユーザー属性認証] の場合に、属性名を設定します。

特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証します。[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。
たとえば、メールアドレスを入力させる場合は「mail」を設定します。

補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

■ [認証用ユーザー名の属性]

ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力します。

補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。
- 認証方式が [直接認証] の場合、操作パネルから認証時に入力するユーザー ID の属性と同じものを設定してください。

■ [ユーザー名追加文字列の使用]

操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名の追加文字列] で入力した情報を自動で付加するかどうかを設定します。

■ [ユーザー名の追加文字列]

ユーザー名追加文字列を使用する場合の、追加する文字列を設定します。

[ユーザー名追加文字列の使用] で [使用する] を設定した場合にその固定文字列を入力します。

例)

[入力ユーザー名の属性] に「mail」を設定し、その対象ユーザーの登録情報が「mail@myhost.example.com」だった場合、通常は「mail@myhost.example.com」と入力する必要があります。

[ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] に設定し、[ユーザー名の追加文字列] で「@myhost.example.com」と指定すれば、操作パネルから入力するデータは「mail」だけで後ろの「@myhost.example.com」は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

■ [IC カード認証に使用する属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、カード ID の検索属性を設定します。

■ [ネットワーク用ユーザー ID 属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、IC カードのカード ID で検索するユーザー名の属性を設定します。取得したユーザー名は、外部サービスに通知する認証情報として使用されます。

■ [検索用の認証ユーザー]

検索のときに使用するユーザーを設定します。

■ [検索用ログイン名]

[ユーザー属性認証] 方式の LDAP 認証で、ディレクトリーサーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ディレクトリーサービス認証が必要なときだけ設定してください。

補足

- 基本的には DN 形式で入力してください。ただし、Active Directory の場合、表示名などの属性値を指定することもできます。詳しくは、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

■ [検索用パスワード]

[検索用ログイン名] で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。

■ [検索起点エントリー (DN)]

検索の起点となる文字列を入力できます。

補足

- ここで指定したエントリーがユーザー検索の基準になります。ログインするユーザーが含まれる階層のエントリーを指定してください。ただし、エントリー以下の階層に含まれるユーザーやグループの数が多すぎると、本機へのログインに時間がかかることがあります。

■ [起点からの検索範囲]

起点からの検索範囲を設定します。

■ [検索対象のオブジェクトクラス]

検索のためのオブジェクトクラスを入力できます。

■ [リフェラルの使用]

接続した LDAP サーバーから、別の LDAP サーバーへの接続を指示された場合に、指示されたサーバーに再接続するかどうかを設定します。

■ [リフェラルのホップ数上限]

リフェラル機能を使用する場合に、接続するサーバーの切り替えを何回まで許可するかを設定します。

[セキュリティ設定]

[SSL/TLS 設定]

サーバーやクライアントコンピューターと本機との通信を暗号化するときに設定します。

■ [TLS セキュリティーレベル]

TLS 通信時のセキュリティレベルを設定します。通常は [セキュリティ強化モード (推奨)] に設定します。

■ [本体の証明書 - サーバー]

SSL/TLS 通信するための、サーバー証明書を設定します。

■ [HTTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信だけを使用可能にするかどうかを設定します。

補足

- [HTTPS のみ使用可能] に設定すると、[UPnP ディスカバリー] および [WSD] の各ポートは停止します。

■ [HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号]

SSL/TLS 通信のポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■ [LDAP-SSL/TLS 通信]

認証や検索などのアクセスに SSL/TLS 通信できます。

SSL 通信を有効にした場合には、[LDAP サーバー設定] の [プライマリーサーバー - ポート番号] と [セカンダリーサーバー - ポート番号] を変更する必要があります。LDAP のディレクトリーサーバーの SSL 通信のポート番号は、通常、636 になります。

■ [SMTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信について設定します。

■ [ThinPrint-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信を有効にするかどうかを設定します。

■ [本体の証明書 - クライアント]

SSL/TLS 通信するための、クライアント証明書を設定します。

■ [相手サーバーの証明書の検証]

本機を SSL クライアントとして動作させるときに、相手サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

[S/MIME 設定]

メールを暗号化、または署名機能を利用して送受信するときに設定します。

■ [本体の証明書 -S/MIME]

S/MIME 通信で使用する証明書を設定します。

■ [S/MIME 通信]

S/MIME 通信を有効にできます。

■ [メッセージダイジェスト方式]

メールをメッセージダイジェストと呼ばれるハッシュ値に変換するときに使用する暗号方式を設定します。

補足

- 証明書の公開鍵が RSA 512 ビットの場合、[SHA512] に設定すると不完全なメールが送信されることがあります。

■ [本文の暗号化方式]

本文の暗号化方式を設定します。

■ [証明書の自動取得]

アドレス帳に登録されているメールアドレスから S/MIME 用証明書が添付されたメールを受信したときに、証明書を保存できます。

[IPsec 設定]

■ [IPsec 設定]、[IPsec 設定 (LAN1)]

ネットワークをパケット単位で暗号化して安全に通信するように設定します。

補足

- 無線 LAN アダプタ (オプション) を取り付けている場合、この項目は 1 回線にのみ指定できます。
- [IKE 認証方式]、[事前共有鍵]、[DH グループ]、[PFS 設定] についてはネットワーク管理者に確認してください。
- [IKE 認証方式]
IKE 認証方式を設定します。

- [事前共有鍵]
事前共有鍵を入力します。
[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合に設定します。
- [本体の証明書]
IPsec 通信で使用する証明書を設定します。
[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合に設定します。
ここでは、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。
- [IPsec 通信]
IPsec 通信を有効にするかどうかを設定します。
- [IKE SA のライフタイム]
IKE SA の有効期間を設定します。

補足

- [IPsec SA のライフタイム] より長くなるように設定してください。
- [IPsec SA のライフタイム]
IPsec SA の有効期間を設定します。

補足

- [IKE SA のライフタイム] より短くなるように設定してください。
- [DH グループ]
DH グループを設定します。
- [PFS 設定]
PFS を有効にするかどうかを設定します。
- [相手アドレス -IPv4]
通信を許可する相手先の IPv4 アドレスまたは範囲を設定します。
- [相手アドレス -IPv6]
通信を許可する相手先の IPv6 アドレスまたは範囲を設定します。
- [非 IPsec 通信]
相手アドレスで設定した以外のアドレスの、IPsec に対応していない機器に対して、通信をするかどうかを設定します。

[IEEE 802.1x 設定]

■ [IEEE 802.1x 設定]、[IEEE 802.1x 設定 (LAN1)]、[IEEE 802.1x 設定 (LAN2)]

- [IEEE 802.1x 認証の使用]
IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
- [認証方式]
IEEE 802.1x の認証方式を設定します。

補足

- [EAP-TLS] は、ストレージ (オプション) とクライアント証明書が必要です。
- [認証ユーザー名]
認証ユーザー名を 128 文字以内で入力します。
- [認証パスワード]
認証パスワードを 1 ～ 128 文字以内で入力します。
- [サーバー証明書の検証]
[認証方式] が [PEAP/MS-CHAPv2] の場合に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

【証明書失効確認の設定】

■ 【証明書検証レベル】

証明書の検証レベルを設定します。

【低】の場合、証明書の失効確認を行いません。

【中】の場合、証明書の失効確認まで行います。ネットワークエラーなどで失効確認できなかったときも有効な証明書として扱います。

【高】の場合、失効していないと確認された証明書だけを有効な証明書として扱います。

■ 【証明書失効確認方式】

証明書失効確認の方式を設定します。

本機が検証局から失効リスト（CRL）を取得して照合する場合は、【失効リスト（CRL）を取得する】に設定します。証明書の有効性を確認できる OCSP（Online CertificateStatus Protocol）を使って認証局や検証局に問い合わせる場合は、【OCSP で問い合わせる】に設定します。

■ 【失効リスト（CRL）の自動取得】

失効リスト（CRL）を自動取得するかどうかを設定します。

■ 【失効リスト（CRL）取得時間上限】

失効リスト（CRL）を取得する時間の上限を設定します。

■ 【OCSP レスポンダー指定方法】

OCSP レスポンダーの指定方法を指定します。

【証明書に記載の URL を使用】、【本体で設定した URL を使用】から設定できます。

■ 【OCSP レスポンダー】

【OCSP レスポンダー指定方法】で【本体で設定した URL を使用】を選んだ場合は、問い合わせ先の URL を設定します。

■ 【OCSP 通信時間上限】

OCSP レスポンダーとの通信時間の上限を設定します。

【証明書の拡張鍵用途の検証】

証明書を検証する際に、以下も同時に検証します。

- サーバー証明書を検証する場合は、証明書の拡張鍵用途に「サーバー認証」が含まれていること
- OCSP を使用して証明書の失効確認をする場合は、OCSP レスポンダー証明書の拡張鍵用途に「OCSP 署名」が含まれていること

【リモート操作パネル】

本機の操作パネルをネットワーク接続されたクライアントコンピューターから操作できるようにするかどうかを設定します。操作する場合はインターネットサービスの【ホーム】タブ下部の【リモート操作パネル】をクリックします。

クライアントコンピューターから本機を操作している場合、本機の操作パネルにはリモート操作中であることを示すメッセージが表示されます。このとき、本機の操作パネルは使用できません。

補足

- 初期設定では一般ユーザーの使用は禁止されています。
- 本機の操作パネルの操作中は、リモート操作パネル機能を使用できません。
- リモート操作中、本機の操作パネルにはクライアントコンピューターで操作している画面が表示されるため、第三者に読み取られることがあります。

[その他の設定]

■ [FIPS140 認定モード]

FIPS140 (Federal Information Processing Standard 140) とは、暗号モジュールに関するセキュリティ要件の仕様を規定する米国連邦標準規格です。

FIPS140-2 認定モードを [有効] に設定することによって、セキュリティをより強化できます。

補足

- 次の機能は FIPS140 認定されていない暗号アルゴリズムで動作するため使用しないことをお勧めします。
 - SMB 認証
 - SMTP 認証
 - HTTP 認証
 - DocuWorks ダイレクトプリント
 - LDAP 認証
 - Kerberos 認証
 - 802.1x 認証
 - PDF ダイレクトプリント

[その他の設定]

[メール受信プロトコル]

使用環境に合わせて設定します。

[メールプリントの排出先]

メールプリントを排出するトレイを選びます。[自動] を選択すると、排出先の初期設定値に設定されている排出先が自動的に選択されます。

[送受信ドメインの制限]

メールの送受信を許可、または禁止するドメインを設定します。

[USB ポート ID 固定機能]

USB インターフェースで通知する ID としてシリアル番号を使用するか固定値を使用するかを設定します。

[認証 / 集計管理]



[集計管理]

本機を利用するユーザーの登録や集計管理機能の運用設定ができます。

参照

- ・ 設定方法については、「認証と集計管理機能」(P.174) を参照してください。

[ユーザー登録 / 集計確認]

集計管理を有効にする場合、本機を使用するユーザーの認証を行うために、User ID およびユーザー名を登録します。

また、ユーザーごとに、使用枚数の上限を設定したり、累積ページを確認したりできます。

補足

- ・ この項目は、「[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] と共通です。
- ・ ユーザー登録は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) で集計管理の方法を設定してから、行ってください。
- ・ この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) を「[ネット認証 / 集計]」に設定しているときは表示されません。

参照

- ・ 詳しくは、「ユーザー登録（本体認証）」(P.180) を参照してください。

[登録内容の削除 / 集計リセット]

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

補足

- ・ この項目は、「[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [登録内容の削除 / 集計リセット] と共通です。
- ・ この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) を「[ネット認証 / 集計]」に設定しているときは表示されません。

[認証 / 集計の設定]

認証と集計の方式を設定します。

補足

- ・ この項目は、「[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] と共通です。

■ [認証しない]

認証や集計機能を利用しません。

■ [本体認証 / 集計]

本機に登録されたユーザー情報を、認証と集計に使用します。

補足

- ・ [本体認証 / 集計] から、[認証しない]、または [外部認証 / 集計] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。

■ [ネット認証 / 集計]

外部サービスで管理されているユーザー情報を本機に登録して認証と集計に使用します。

補足

- ・ 集計が必要なサービスを利用しようとしたときに表示される認証画面で、「Account ID」を入力します。

参照

- ・ 詳しくは、「集計管理方法の種類」(P.176) を参照してください。

■ [外部認証 / 集計]

外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を認証に使用します。

補足

- ・ 外部認証に使用したユーザー情報は、本機に保存されます。外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- ・ 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させない場合は、[外部認証情報の本体保存] を [しない] に設定してください。[外部認証情報の本体保存] については、「[認証の設定]」(P.148) を参照してください。
- ・ [認証システム] が [Authentication Agent] の場合、認証サーバーで集計管理ができます。

■ [各機能の集計]

機能ごとに集計管理するかどうかを設定します。

[集計管理情報の設定]

■ [User ID の代替表記]

認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

補足

- この項目は、[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [User ID の代替表記] と共通です。

■ [User ID の入力表示]

User ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。

補足

- この項目は、[認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [User ID の代替表記] と共通です。

■ [Account ID の代替表記]

認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「Account ID」と表示されている表記を、「AccountName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

補足

- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) を [ネット認証 / 集計] に設定しているときに表示されます。

■ [Account ID の入力表示]

Account ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。

補足

- この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) を [ネット認証 / 集計] に設定しているときに表示されます。

■ [認証時の集計情報表示]

認証直後に、ユーザー別の集計情報を表示するかどうかを設定します。設定すると、認証中のユーザーの[累積ページ数]、[上限ページ数]、[残りページ数]を確認できます。

補足

- この項目は、[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されているときに表示されます。
- 利用を制限されている機能は表示されません。
- 機械管理者で認証したときには、表示されません。

[認証 / セキュリティー設定]

本機を利用するユーザーの登録や認証およびセキュリティーの設定ができます。

参照

- 機能については、「認証と集計管理機能」(P.174) を参照してください。

[機械管理者情報の設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードを設定します。

設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、本機を設置したあと、すぐに機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をお勧めします。

補足

- パスワードなしに設定する場合は、[機械管理者パスワード] を空欄にします。

参照

- ログインするときにパスワードを入力するかどうかの設定については、「[パスワードの運用]」(P.150) を参照してください。

【認証の設定】

■ 【認証 / 集計の設定】

この項目は、「[認証 / 集計の設定]」(P.146) と共通です。

■ 【アクセス制御】

操作パネルの操作、本機の設定変更、および各機能の利用を制限できます。本機を利用するときに、ユーザー認証が必要になります。

補足

- 外部認証時 (ApeosWare Management Suite 2 (富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア) を使用する場合を除く) は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に従います。
- 外部認証時にゲストユーザーを使用する場合、ゲストユーザーにアクセス制御は設定できません。本機を使用できるゲストユーザーを制限する場合は、「[認証情報の設定]」(P.148) を参照してください。

■ 【ユーザー登録 / 集計確認】

この項目は、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.146) と共通です。

■ 【登録内容の削除 / 集計リセット】

この項目は、「[登録内容の削除 / 集計リセット]」(P.146) と共通です。

■ 【権限グループ登録】

機械管理者は認証ユーザーに対して、本来利用できない機能を利用できるようにする「権限」を与えることができます。権限グループを登録しておくと、ユーザーを権限ごとにグループ化して管理できます。

■ 【認証情報の設定】

認証するときに必要な情報を設定します。

- [User ID の代替表記]
この項目は、「[User ID の代替表記]」(P.147) と共通です。
- [User ID の入力表示]
この項目は、「[User ID の入力表示]」(P.147) と共通です。
- [認証失敗の記録]
不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間 (10 分) 以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。
- [認証解除時の確認画面表示]
認証解除時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
- [認証時の User ID 文字種]
認証時、User ID の文字種を設定します。

注記

- プライベートプリントに文書が保存された状態で設定を切り替えないでください。プリントできないなど、問題が発生することがあります。保存された文書をすべてプリントしたあと、設定を切り替えてください。
- “ABC” と “abc” のように、[大文字小文字を区別しない] に設定すると同一になる User ID が登録されているときは、設定を切り替えないでください。設定を切り替えると、一部のユーザーが表示されないなど、問題が発生することがあります。大文字小文字を区別しなくても同一にならない User ID に変更してから設定を切り替えてください。
- [IC カード接続時の認証]
本体認証の場合、本機に IC カード読み取り装置 (オプション) が接続されているときに、User ID 認証を有効にするかどうかを設定します。
[IC カードのみ] に設定すると、ユーザー ID 認証は使用できません。[IC カードまたはパネル入力] に設定すると、IC カード認証とユーザー ID 認証の両方が使用できます。

- [ゲストの使用]
外部認証の場合、ゲストのユーザーを使用するかどうかを設定します。
- [IC カード認証時のユーザー登録]
本体認証の場合、登録されていないユーザーが IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをかざしたときに、ユーザーを登録するかどうかを設定します。
[しない] に設定すると、ユーザー登録はされません。[自動登録する] に設定すると、ユーザーが登録されます。
- [IC カードの使用]
本機に IC カード読み取り装置（オプション）が接続されているときに、IC カードを使用するかどうかを設定します。
[する] に設定すると、IC カードでジョブを制御するかしないかを、機能ごとに設定できます。
[する (PKI のみ)] は、認証やジョブ制御には IC カードを使用せず、セキュリティ機能だけを制御する場合に設定します。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能を利用している場合に表示されます。
- [IC カード連携モード]
外部認証の場合、IC カード認証時に、パスワードの入力を要求するかどうかを設定します。
- [IC カードの証明書検証]
IC カードを使用する場合に、IC カードの証明書を検証するかどうかを設定します。
有効にすると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合だけでなく、IC カード内の証明書の検証と秘密鍵との鍵の一致を検証します。この場合、IC カードの証明書の上位 CA 証明書を本機にインポートしておく必要があります。
無効にすると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合で検証します。
- [Kerberos サーバーの証明書検証]
外部認証サーバーに Kerberos サーバーを使用する場合に、Kerberos サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能を利用している場合に表示されます。
- [非接触型 IC カード設定]
非接触型 IC カード認証時に、認証の解除方法を設定します。
[カードが離れると認証解除] に設定すると、IC カードを IC カード読み取り装置（オプション）から離すことで認証が解除されます。[パネル指示で認証解除] に設定すると、タッチパネルディスプレイの操作で認証が解除されます。
- [外部認証情報の本体保存]
外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

補足

- [IC カード連携モード] を [パスワード入力不要] に設定していて、IC カードで認証したユーザーだけが対象です。
- 本体保存されたユーザー情報を利用して認証されたユーザーは、[(保存済み外部認証情報での動作時の権限)] に設定されます。
- [保存済み外部認証情報削除]
本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

補足

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。

■ [不正使用防止の設定]

なりすましによる不正な操作が行われないようにするための機能です。同一のユーザー ID の認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定します。

補足

- 本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。
- 設定する場合は、[認証回数制限 - 機械管理者]、または [認証回数制限 - 一般ユーザー] を [する] に設定してください。
- アクセス拒否状態を解除するときは、本機を再起動してください。
- 一般ユーザーの認証回数制限は、本体認証の場合に設定できます。

■ [パスワードの運用]

- [パスワード使用 - パネル入力時]
機械管理者、および本体認証の場合のユーザーが、操作パネルでログインするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
- [パスワード使用 - IC カード認証時]
機械管理者、および本体認証の場合のユーザーが、IC カード認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
- [パスワードの最小桁数]
パスワードの最小桁数を指定します。
- [パスワードの最大桁数]
パスワードの最大桁数を指定します。
- [リモートからの認証]
本機のパスワードのセキュリティ強度の設定（パスワードの最小文字数 / 最大文字数の設定、ユーザー ID を含むパスワードの許可 / 禁止の設定、パスワードの必須文字の設定）を変更した結果、すでに設定されているパスワードが条件を満たさなくなった場合に、プリントジョブなどのログイン操作を伴わない認証を受け付けるかどうかを設定します。

■ [認証 / プライベートプリントの設定]

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

プリントジョブを直接プリントしたり、認証プリントやプライベートプリントに一時的に保存したりできます。

参照

- プライベートプリント、認証プリントについては、「機密文書をプリントする - プライベートプリント -」(P.96)、および「機密文書をプリントする - 認証プリント -」(P.100) を参照してください。
- 認証プリント、プライベートプリントをするには、[受信制御] の設定が必要です。
- [受信時の PJL 命令制御]
外部機器からのプリント受信を制御できます。コンピューターからプリント指示された認証プリントまたはプライベートプリントジョブを、指示どおりに [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存する場合は、[する] に設定します。
- [出力時の PJL 命令制御]
外部機器からのプリントジョブのプリントを制御できます。[認証プリント] または [プライベートプリント] に保存された文書をプリントする場合、出力用紙、両面プリントなどのプリントモードをジョブの指示どおりに行うときは、[する] に設定します。
- [受信制御]
受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。
 - [プリンターの認証に従う]
認証 / 集計機能を利用し、[アクセス制御] の [サービスへのアクセス] で、[プリンター] を [制限する] に設定しているときに、[認証成功のジョブ]、[認証が不正のジョブ]、[User ID なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [認証成功のジョブ] で [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [プライベートプリントに保存]

認証機能を有効にしているかないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントとして保存します。また、[User ID なしのジョブ]、[PJL 命令なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [認証プリントに保存]
認証機能を有効にしているかないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントとして保存します。

補足

- [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

[強制印字一時解除]

強制印字をするが、特定の出力物だけ強制印字なしでプリントする場合などに使用します。

強制複製管理、強制ペーパーセキュリティー、UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除できます。

本機能を[する]に設定した状態で実行した、文書プリントが一時解除の対象となります（通常のプリント、レポート/リストは対象となりません）。

認証ユーザーの属する権限グループの[強制印字の一時解除]が[許可する]に設定されている場合だけ表示されます。

補足

- TrustMarkingBasic（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社製の別売ソフトウェア）でユーザーが指定した複製管理に関しては解除対象となりません。

[ジョブ操作の設定]

実行中や実行待ちジョブやログの表示制限ができます。認証していないユーザーやジョブオーナーでないユーザーに対して、プライバシー保護、情報漏えいの抑止になります。

[ダイレクトプリント機能の禁止]

本機能を[する]に設定した場合、文書プリント、メール受信プリント、モバイルプリントなどのダイレクトプリント機能が使用できなくなります。

[稼働時の改ざん防止]

本機の稼働時に、許可されていないファイルへのアクセスと実行を検知するかを設定します。

[する]に設定すると、ファイルの書き込みや実行を拒否して、アクセス内容を監査ログに記録します。

[ログ記録のみ]に設定すると、監査ログには記録しますが、ファイルへのアクセスは拒否されません。

参照

- 監査ログに記録するには、監査ログ機能を有効に設定する必要があります。詳しくは、「[監査ログ設定]」(P.129)を参照してください。

[保守]

点検または修理の依頼、その他の調整をします。



[保守レポートの出力]

[機能別カウンターレポート]

参照

- 詳しくは、「[機能別カウンターレポート]」(P.54) を参照してください。

[ユーザー別集計管理]

ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。なお、ユーザー別集計管理レポートは、集計管理機能を有効にしているかどうかで、表示される画面が異なります。

■ [認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] 以外に設定されている場合

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] 以外に設定されている場合は、次の画面が表示され、プリンター集計レポートをプリントできます。



• [プリンター集計]

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。[プリンター集計] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

■ [認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されている場合

[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されている場合は、[プリンター集計管理] が表示されます。集計管理機能を [集計する] に設定している機能の、ユーザー別の集計管理レポートを、機能ごとにプリントできます。

参照

- 各機能の集計管理機能の設定については、「[集計管理]」(P.145) を参照してください。

集計管理レポートをプリントするには、各集計管理レポートを選び、ユーザー番号の範囲を指定します。

補足

- レポートに表示される「No.」は、[集計管理]、[認証 / セキュリティー設定] で、ユーザー登録した No. (ユーザー管理番号) です。



• [プリンター集計管理]

コンピューター別 (ジョブオーナー別) に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。[プリンター集計管理] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

補足

- [認証 / 集計の設定] の [ネット認証 / 集計] で [各機能の集計] の [プリンター] を [集計しない] に設定している場合は、[プリンター集計管理] ではなく、[プリンター集計] が表示されます。

[GS1-128 バーコードサンプル]

GS1-128 バーコードサンプルを出力できます。

バーコードモードを有効にした場合と無効にした場合のバーコードのプリント状態を確認できます。

[機械の詳細設定の変更履歴レポート]

[機械の詳細設定] で設定した日時や設定番号、設定値の履歴レポートをプリントすることができます。

[EP 設置]

補足

- 本機能を利用するには、別途保守契約が必要です。

[BB 設置]

EP-BB に関する設定をします。

参照

- プロキシサーバーを使用している場合は、別途設定が必要です。設定方法については、「[EP プロキシサーバー設定]」(P.136) を参照してください。

[EPA-Server 設置]

EPA-Server に関する設定をします。

[初期設定項目]

本機を使うための初期設定が完了しているかどうかを確認できます。初期設定されていない項目は、ここから設定画面を表示できます。

[EP 通信確認]

EP システムを利用して MultiWriter サポート窓口へ連絡したときの通信が正常に行われるかを確認します。

補足

- 本機能を利用するには、別途保守契約が必要です。

[ソフトウェアオプションの設定]

この機能は、保守員（CE）が設定します。

[ソフトウェアオプションの設定－ USB]

ソフトウェアオプション機能を有効にします。

[ソフトウェアバージョンアップ]

本機のソフトウェアをバージョンアップします。

補足

- EP 通信を利用したサービスをご利用の場合は、日時を指定してのソフトウェアバージョンアップができます。

参照

- プロキシサーバーを使用している場合は、別途設定が必要です。設定方法については、「[EP プロキシサーバー設定]」（P.136）を参照してください。

[機械起動時のプログラム診断]

本機の電源を入れたときに、プログラム診断をするかどうかを設定します。

プログラム診断によって、意図的なプログラムの書き換えなどの異常が見つかった場合は、起動を停止し、監査ログに記録します。

[IC カード情報の確認]

[IC カード情報の確認] を選び、ご利用の IC カードを IC カード読み取り装置（オプション）にタッチすると、IC カードの情報がタッチパネルディスプレイに表示されます。

補足

- 認証に使用する情報は、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」（P.167）を参照してください。

[証明書の一括削除 / 初期化]

証明書を一括削除し、初期化します。[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [SSL/TLS 設定] で証明書を使用するように設定しているにもかかわらず、証明書ファイルの異常などが原因で、証明書データが使用できなくなった場合に使用します。

[カスタムトナー / ドラム]

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。対応したトナー / ドラムでご使用ください。

注記

- 本設定による使用は、本来の本機の機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、本機が故障する原因となることがあります。本機の故障となった場合は、有償修理となります。
- [使用する] に設定したときは、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

[画質調整]

補足

- 「[その他の設定]」（P.120）で [一般ユーザーの調整機能操作] を [許可] に設定すると、以下の項目を一般ユーザーが調整できるようになります。

- [アライメント調整]
- [面内ムラ調整]
- 画質調整を定期的に行っても状況が改善しない場合は、お問い合わせの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

【階調補正】

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正します。

参照

- 詳しくは、「階調を補正する」(P.192) を参照してください。

【アライメント調整】

用紙にプリントする出力イメージの位置を調整します。

補足

- 詳しくは、「アライメント調整を行う」(P.196) を参照してください。

【転写出力調整】

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。

補足

- 詳しくは、「[転写出力調整]」(P.155) を参照してください。

【面内ムラ調整】

用紙にプリントする出力イメージの濃度のムラを調整します。

参照

- 詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）」(P.203) を参照してください。

【カラーレジ補正】

プリント結果に色ずれが発生した場合に、カラーレジストレーションを補正します。

注記

- 本機の性能に影響が出るおそれがありますので、[カラーレジ補正] を連続して実行しないでください。

【フィニッシャーの調整】

【紙折り位置の調整】

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10 種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。

補足

- 一般ユーザーが本項目を調整できるように設定できます。[[その他の設定]] (P.120) で [一般ユーザーの調整機能操作] を [許可] に設定します。

参照

- 詳しくは、「紙折り位置の調整」(P.204) を参照してください。

【パンチユニット設定】

パンチユニットの設定をします。

【折りを補助する筋】

中とじ製本時、冊子が開く場合に、折りを補助する筋を入れることができます。

補足

- 筋の本数が多いほど、製本速度が遅くなります。

- 用紙サイズや用紙種類によっては、折りを補助する筋を入れても冊子が開いてしまう場合があります。

参照

- 詳しくは、「折りを補助する筋の設定」(P.210)を参照してください。

[定着器クリーニング]

用紙をセットして、定着器に付着した汚れをクリーニングすることで、プリント画質を改善できます。

補足

- A4¹、またはレター²以上のサイズの用紙をセットしてください。使用する用紙の枚数は、1～5枚の範囲で設定できます。
- クリーニングには黒塗りつぶし画像を使用するため、通常のプリントよりもトナーを多く消費します。

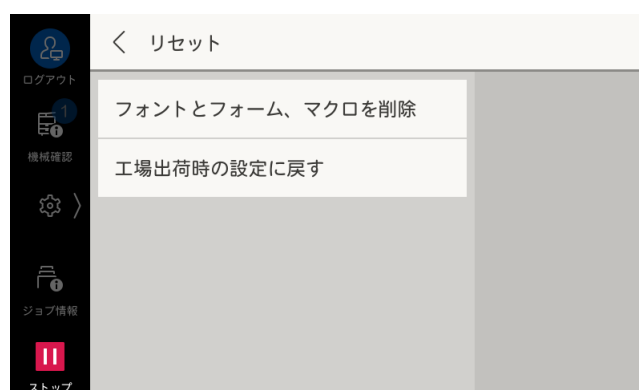
[機械の詳細設定]

この項目は、通常は使用しません。

[トレイ 5(手差し) ガイド調整]

トレイ 5(手差し)の用紙ガイド幅の検知精度を補正します。

[リセット]



[フォントとフォーム、マクロを削除]

本体内にダウンロードされたフォントデータ、フォームデータ、マクロデータをすべて削除します。

補足

- フォームデータの削除は NPD L では対応しません。

[工場出荷時の設定に戻す]

本機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

7.2 NPDL の設定について

NPDL パネル設定モードと NPDL プリント設定について説明します。

補足

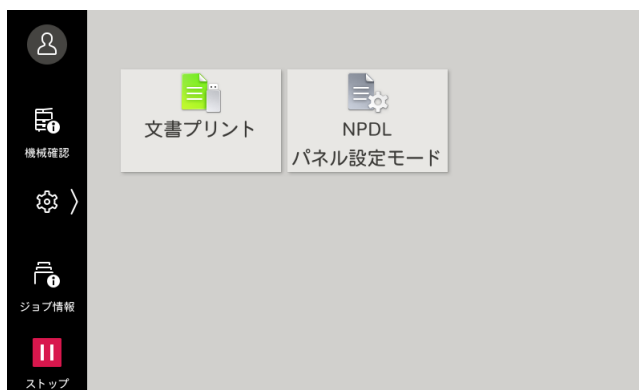
- NPDL プリント設定で設定した内容が、NPDL パネル設定モードで変更された場合は、NPDL パネル設定モードでの設定が優先されます。

NPDL パネル設定モード

NPDL パネル設定モードに移行すると、NPDL データをプリントするときのプリンターの設定内容が表示されます。

NPDL パネル設定モードへの移行手順

1. プリントデータがないことを確認し、ホーム画面で [NPDL パネル設定モード] をタップします。



2. 設定が終了したら、[作業終了] をタップします。

NPDL パネル設定モードで設定できる項目

[給紙トレイ]

用紙トレイを切り替えます。[トレイ 5 (手差し)] の [...] をタップすると、用紙サイズを設定できます。

補足

- [トレイ 3]、[トレイ 4]、[トレイ 6] は、オプションのトレイモジュールが取り付けられている場合に設定できます。
- [トレイ 5 (手差し)] の設定は、NPDL 以外のプリント言語のデータをプリントする場合にも、有効です。
- 操作パネルのメニューや NPDL 以外のデータのプリントによって、NPDL がサポートしない用紙サイズが手差しトレイに設定されている場合は、[定形外] と表示されます。

[印刷方向]

印刷方向を切り替えます。

[両面]

両面プリントの設定をします。

[拡大縮小]

縮小 / 拡大モードを切り替えます。現在設定されている用紙サイズが、A3/A4/B4/B5 の場合に有効です。

補足

- アプリケーションによっては、縮小 / 拡大が正しくプリントされないものがあります。
- プリントデータの前に用紙サイズの指定コマンドによって A3、B4、または帳票サイズが指定されており、用紙トレイに A4 サイズの用紙が入っている場合は、自動的に縮小してプリントします。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差によって、縮小しない場合とプリント結果が異なることがあります。
- [LP] は、帳票サイズ（136 桁 × 66 行）を意味します。
- [A4 x 2] は、A4 サイズの 2 ページ分のデータを、A4 用紙 1 枚にプリントします。
- [B5 x 2] は、B5 サイズの 2 ページ分のデータを、B5 用紙 1 枚にプリントします。
- 操作パネルによって給紙トレイが切り替えられた場合や、セットされている用紙のサイズが変更された場合は、縮小 / 拡大なしの設定（用紙サイズ）になります。

NPDL プリント設定

NPDL プリント設定は、NPDL 固有の設定をするためのメニューです。

NPDL プリント設定の設定手順

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
3. [プリンターモード] をタップします。
4. [NPDL プリント設定] をタップします。
5. 設定が終了したら、ホーム画面に戻ります。

NPDL プリント設定で設定できる項目

[テストメニュー]

■ [ステータス]

NPDL メニュー設定項目をプリントします。

■ [フォント]

NPDL フォントをプリントします。

[印刷設定メニュー]

■ [コピー枚数]

プリントのコピー枚数（部数）を設定します。設定できる範囲は、1 ～ 20 です。

補足

- アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先されます。

■ [トナー節約]

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windows からプリンタードライバーを使用してプリントする場合は、ドライバーでの設定が優先されます。

補足

- トナー節約機能を使用するため、[する] に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄いプリント、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCR フォントをプリントした場合には、正常に読み取れないことがあります。本機能は、試し印刷する場合などに使用してください。

[用紙メニュー]

■ [トレイ初期設定]

NPDL データをプリントするときに、初期設定値として設定される用紙トレイを選択します。

■ [リレー給紙設定]

リレー給紙設定とは、用紙がなくなったときに、プリントしていた用紙とサイズや向き、および用紙種類が同じ用紙がセットされている別の用紙トレイを選択し、プリントを継続する機能です。

各用紙トレイごとに、[する] (切り替えてプリントを継続する)、または [しない] (継続しない) を設定します。

■ [グループトレイ設定]

グループトレイ機能を使用するかどうかを設定します。各トレイに対し [グループなし]、[グループ A]、[グループ B] の 3 種類が指定でき、グループ化されたトレイは見かけ上ひとつのトレイとして扱います。

[印刷機能メニュー]

■ [両面印刷設定]

• [両面]

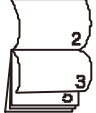
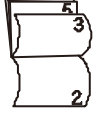
NPDL データをプリントするとき、両面プリントにするかしないかを設定します。

• [とじ方向]

両面プリント時に、プリントしたものととじるために、とじしろ (余白) の位置を設定します。

候補値と余白の位置の関係は、次のとおりです。

ロングは長辺とじ、ショートは短辺とじです。

候補地	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング 1	左とじ 	上とじ 
ショート 1	上とじ 	右とじ 
ロング 2	右とじ 	下とじ 
ショート 2	下とじ 	左とじ 

- **[余白]**

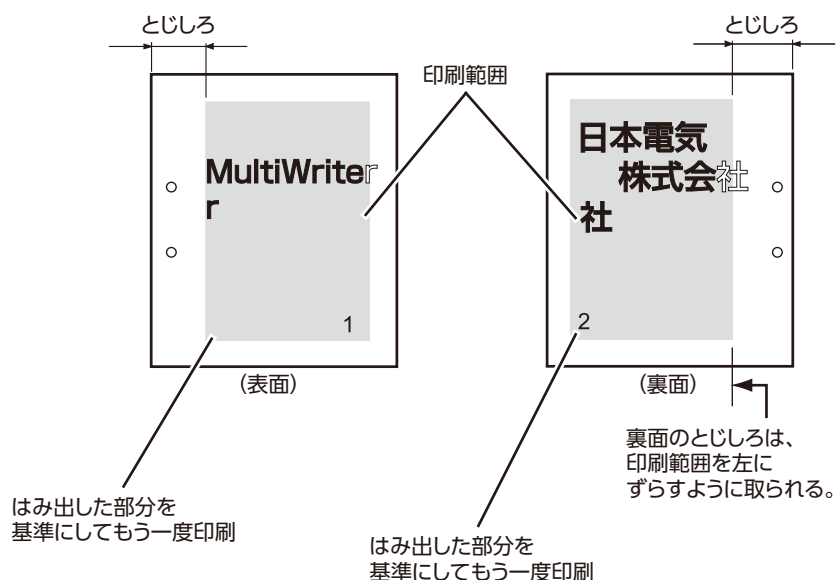
とじしろの量を設定します。設定範囲は 0 ～ 20 mm で、1 mm 単位で設定できます。

- **[クリップ]**

余白（とじしろ）を多く取りすぎると、プリントデータが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、はみ出した分を消去してそのまま残りの行をプリントする（クリッピングする）か、印刷範囲からはみ出したデータを自動改行 / 改ページするかを選択します。本機能は、両面プリント時のみ有効です。

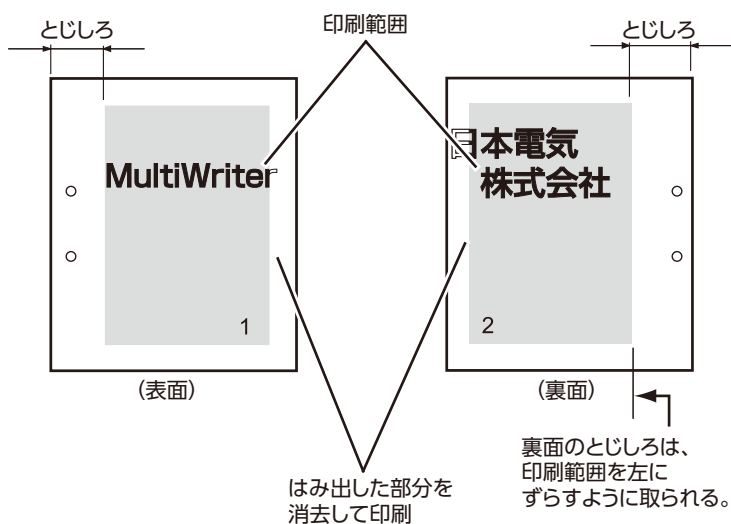
- **[しない]**

はみ出したプリントデータを次の行に引き続いてプリントします。それ以降のプリントデータは、1 行ずつずれます。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります。）



- **[する]**

はみ出したプリントデータをクリッピングして、プリントを続けます。



- **[排出先設定]**

排出先が選べる場合に、用紙の排出先を設定します。

[運用メニュー]

- **[解像度設定]**

[600 dpi] / [1200 dpi] から選択します。

■ [400 dpi 読み替え]

NPDL コマンド：解像度指定 (FS&) で 400 dpi が指定されたときの読み替え先を設定します。NPDL コマンドでの 400 dpi 指定以外には影響しません。

■ [MP 指定読み替え]

NPDL プリンタードライバーの給紙口指定の MP を読み替え先の用紙トレイを設定します。

■ [ジョブ自動解除]

ジョブの自動解除する時間を設定します。設定できる範囲は、1 ～ 30 秒 です。

補足

- 本設定は USB ポートから受信した XPJL が付加されていない NPDL データのみに有効です。

[フォントメニュー]

■ [1 バイト系ゼロ]

1 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。メモリースイッチ 2-1 でも設定できます。

■ [2 バイト系ゼロ]

2 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。

■ [ANK]

ANK 文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

■ [漢字]

標準フォント（2 バイト系文字）の書体を、[明朝]、または [ゴシック] から選択します。

■ [文字セット]

2 バイト系の文字セットを選択します。

■ [国別]

各国文字セットを選択します。

メモリースイッチ 1-1 ～ 1-3 でも選択できます。

[NPDL 設定メニュー]

■ [A4 ポートレート桁数]

用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの、1 行あたりの文字数を、パイカ文字で [78 桁] にするか、または [80 桁] にするかを選択します。

メモリースイッチ 2-7 でも選択できます。

■ [エミュレーション]

[201 エミュレーション] か、[ページプリンタモード] かを選択します。

メモリースイッチ 2-2 でも選択できます。

■ [136 桁モード設定]

• [136 桁モード]

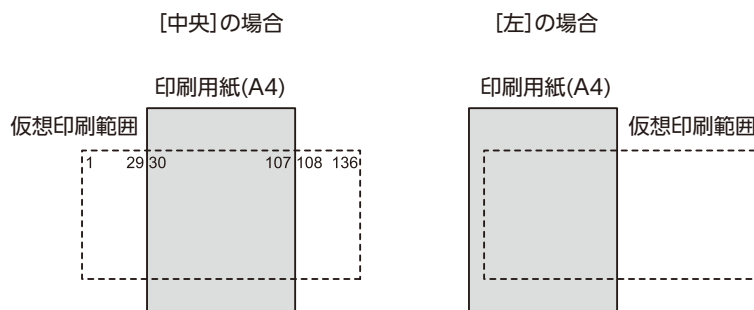
136 桁モードの [有効]、または [無効] を選択します。

メモリースイッチ 3-7 でも選択できます。

• [用紙位置]

136 桁モードが [有効] のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ 3-6 でも選択できます。

- [左]
136 桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。
- [中央]
用紙位置を中央合わせにします。A4 サイズの用紙を使用した場合、136 桁の仮想印刷範囲の 30 ～ 107 桁めまでがプリントされます。



- [微調整]
136 桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を、1/10 インチ単位で選択します。メモリースイッチ 3-1 ～ 3-5 の組み合わせで選択できます。

[メモリースイッチメニュー]

NPDL モードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。

メモリースイッチ (MSW) は、[0] (OFF) か [1] (ON) を選択することによって、次の表に示されている項目を、設定することができます。メモリースイッチは 1-1 から 10-8 まであります (未使用のスイッチもあります)。

変更したいスイッチを選んで、[編集] をタップして値を変更します。

番号	機能	説明																								
1-1 ～ 1-3	各国文字の切り替え ^{*1}	3 つのメモリースイッチの組み合わせによって、各国文字を切り替えます。下表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字になります。 <table><tr><th>国別文字セット</th><th>1-1</th><th>1-2</th><th>1-3</th></tr><tr><td>日本(初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td></tr><tr><td>アメリカ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>イギリス</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>ドイツ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>スウェーデン</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>	国別文字セット	1-1	1-2	1-3	日本(初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	アメリカ	0	1	0	イギリス	1	1	0	ドイツ	0	0	1	スウェーデン	1	0	1
国別文字セット	1-1	1-2	1-3																							
日本(初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)																							
アメリカ	0	1	0																							
イギリス	1	1	0																							
ドイツ	0	0	1																							
スウェーデン	1	0	1																							
1-4 ～ 1-5	未使用（[0] が設定されています）																									
1-6	自動復帰改行の切り替え	バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。 • [0]：復帰改行（初期値） • [1]：復帰のみ																								
1-7	印刷指令の切り替え	印刷指令を CR のみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b を有効にするかを切り替えます。 • [0]：CR のみ（初期値） • [1]：CR + その他																								

番号	機能	説明
1-8	CR 機能の切り替え	印刷指令コード CR を受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。 • [0] : 復帰のみ (初期値) • [1] : 復帰改行
2-1	1 バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え *1	1 バイト (8 ビット) コード系の数字のゼロを「0」とプリントするか、「Ø」とプリントするかを切り替えます。 本スイッチは、OCR フォントには無効です。OCR フォントは、「0」でプリントされます。 • [0] : 0 (初期値) • [1] : Ø
2-2	動作モードの切り替え *1	動作モードを 201 エミュレーションにするか、ページプリンターモードにするかを切り替えます。 • [0] : 201 エミュレーションモード (初期値) • [1] : ページプリンターモード
2-3	グラフィックモードの切り替え	横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの 1/2 になります。 201 エミュレーション (メモリースイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 • [0] : ネイティブモード (初期値) • [1] : コピーモード
2-4 2-5	未使用 ([0] に設定されています)	
2-6	7 ビット /8 ビットデータの切り替え	インターフェイスのデータが 7 ビット有効か、8 ビット有効かを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリースイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 ページプリンター (メモリースイッチ 2-2= [1]) 時は、8 ビット有効に固定されます。 • [0] : 8 ビット (初期値) • [1] : 7 ビット
2-7	印刷桁数の切り替え *1	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの 1 行あたりの文字数を、パイカ文字で 78 桁にするか、80 桁にするかを設定します。 • [0] : 78 桁 (初期値) • [1] : 80 桁
2-8	B4→A4 縮小率の切り替え	操作パネルの〈縮小〉ボタン、または制御コード (FS f) を使って「B4→A4 縮小モード」を指定したときに、縮小率を 2/3 倍にするか、4/5 倍にするかを切り替えます。 • [0] : 4/5 倍 (初期値) • [1] : 2/3 倍

番号	機能	説明																																																																																					
3-1 ～ 3-4	印刷開始位置の調整 ^{*1} (136 桁モード)	印刷開始位置の調整を行います。 エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）のときには、レフトマージン量の設定になります。 レフトマージン量とは、用紙の最左端印刷位置から第 1 印刷位置までの距離です。 レフトマージン量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 また、エミュレーションモードが 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）のときには、用紙位置の調整量の設定になります。 印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。 用紙位置調整量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 調整方向は、メモリースイッチ 3-5 で切り替えます。 <table><tr><th>レフトマージン量/ 用紙位置微調整量</th><th>3-1</th><th>3-2</th><th>3-3</th><th>3-4</th></tr><tr><td>0 インチ (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td></tr><tr><td>1/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>2/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>3/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>4/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>5/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>6/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>7/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>8/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>9/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>1 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>11/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>12/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>13/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>14/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>15/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4	0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	1/10 インチ	1	0	0	0	2/10 インチ	0	1	0	0	3/10 インチ	1	1	0	0	4/10 インチ	0	0	1	0	5/10 インチ	1	0	1	0	6/10 インチ	0	1	1	0	7/10 インチ	1	1	1	0	8/10 インチ	0	0	0	1	9/10 インチ	1	0	0	1	1 インチ	0	1	0	1	11/10 インチ	1	1	0	1	12/10 インチ	0	0	1	1	13/10 インチ	1	0	1	1	14/10 インチ	0	1	1	1	15/10 インチ	1	1	1	1
レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4																																																																																			
0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)																																																																																			
1/10 インチ	1	0	0	0																																																																																			
2/10 インチ	0	1	0	0																																																																																			
3/10 インチ	1	1	0	0																																																																																			
4/10 インチ	0	0	1	0																																																																																			
5/10 インチ	1	0	1	0																																																																																			
6/10 インチ	0	1	1	0																																																																																			
7/10 インチ	1	1	1	0																																																																																			
8/10 インチ	0	0	0	1																																																																																			
9/10 インチ	1	0	0	1																																																																																			
1 インチ	0	1	0	1																																																																																			
11/10 インチ	1	1	0	1																																																																																			
12/10 インチ	0	0	1	1																																																																																			
13/10 インチ	1	0	1	1																																																																																			
14/10 インチ	0	1	1	1																																																																																			
15/10 インチ	1	1	1	1																																																																																			
3-5	用紙位置微調整方向 ^{*1} (136 桁モード)	136 桁モードで、用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）時に有効です。 • [0]：左（初期値） • [1]：右																																																																																					

番号	機能	説明
3-6	用紙位置 ^{*1} (136 桁モード)	136 桁モードで、用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) で、136 桁モード (メモリスイッチ 3-7= [1]) 時に有効です。 • [0] : 左端合わせ (初期値) • [1] : 中央合わせ [1] 中央合わせの場合 [0] 左端合わせの場合
3-7	136 桁モードの有効 / 無効の切り替え ^{*1}	136 桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 • [0] : 無効 (初期値) • [1] : 有効
3-8	未使用 ([0] に設定されています)	
4-1	未使用 ([0] に設定されています)	
4-2	物理解像度の切り替え	NPDL 起動時の物理解像度を切り替えます。 本スイッチを切り替えたときには、NPDL モードメニューも切り替わります。 • [0] : 600 dpi (初期値) • [1] : 1200 dpi
4-3	ESC c1 での登録データを初期化する / しないの切り替え	制御コード ESC c1 による登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。 ESC c1 で初期化をしない (メモリスイッチ 4-3= [1]) ときは、ESC c8 と同じ機能になります。 • [0] : する (初期値) • [1] : しない
4-4	FF コードのみで白紙を出力する / しないの切り替え	FF コードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。 白紙を出力しない (メモリスイッチ 4-4= [1]) ときは、ESC a、ESC b と同じ機能になります。 • [0] : する (初期値) • [1] : しない
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときの、排出トレイ上での積み重なり方を切り替えます。 • [0] : 反時計回り (初期値) • [1] : 時計回り [0] 反時計回りの場合 [1] 時計回りの場合

番号	機能	説明
4-6 ～ 4-8	未使用（[0] に設定されています）	
5-1 ～ 5-8	未使用（[0] に設定されています）	
6-1 ～ 6-8	未使用（[0] に設定されています）	
7-1 ～ 7-3	未使用（[0] に設定されています）	
7-4	バーコード 400 dpi 補正	物理解像度 600 dpi または 1200 dpi のバーコードをプリントするとき、NPD L コマンドによるバーコード印刷後のカレント印刷位置を解像度 400 dpi でバーコード印刷した場合の印字桁位置に補正します。 • [0]：補正しない（初期値） • [1]：補正する
7-5 ～ 7-6	未使用（[0] に設定されています）	
7-7	FS f コマンドでの 指定用紙サイズなしを表示する / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。 • [0]：表示する（初期値） • [1]：表示しない
7-8	FS f コマンドでの 自動縮小をする / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。 • [0]：自動縮小する（初期値） • [1]：自動縮小しない
8-1 ～ 8-8	未使用（[0] に設定されています）	
9-1 ～ 9-6	未使用（[0] に設定されています）	
9-7	印刷向き 180 度回転機能	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する機能を、有効にするか、無効にするかを切り替えます。 本スイッチが [1] の場合、メモリースイッチ 4-5 の設定は無効になります。 • [0]：無効にする（初期値） • [1]：有効にする
9-8	未使用（[0] に設定されています）	
10-1 ～ 10-8	未使用（[0] に設定されています）	

*1 :ほかの NPD L モードメニューでも設定できます。どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

フォントについて

NPD L では、次のフォントが使用できます。

- FontAvenue 明朝体
- FontAvenue ゴシック体
- ローマン
- イタリアック
- ゴシック
- クーリエ
- OCR-B フォント
- OCR-K フォント

8 便利な使い方

8.1 インターネットサービスを使う

インターネットサービスは、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



補足

- 操作パネルの操作中は、インターネットサービスで設定を変更できません。
- 各画面で設定できる項目の詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。 (?) をクリックすると表示されます。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- 本機の IP アドレスを確認するには、ホーム画面で、[設定] > [機械確認 (メーター確認)] をタップします。
- 機械管理者でログインする場合は、画面右上の [ログイン] をクリックし、機械管理者の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力してください。

参照

- 機械管理者の [ユーザー ID] と [パスワード] の初期値については、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

8.2 本機のソフトウェアを使う

付属の [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクを使ってインストールしてください。

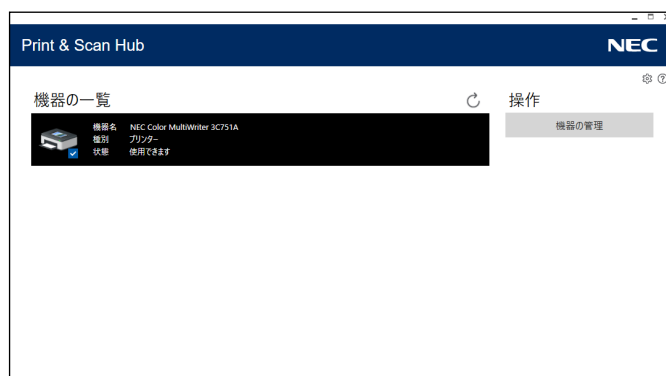
最新版の Windows 用のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。
<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

Print & Scan Hub (Windows)

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。

Print & Scan Hub を起動するには、コンピューターで [スタート] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows)

コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントできます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

8.3 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- インターネットサービスを使用して作成した自己証明書
- 認証局 (CA) によって署名された証明書

参照

- 証明書のインポートについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可 ×：使用不可

暗号化の種類	自己証明書	認証局 (CA) によって署名された証明書
コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○

暗号化の種類	自己証明書	認証局 (CA) によって署名された証明書
IPsec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

*1 : [IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

通信を暗号化するには、自己証明書または認証局 (CA) によって署名された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用します。

補足

- HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

外部サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、認証局 (CA) によって署名された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書をインターネットサービスを使用して本機にインポートする必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合は、認証局 (CA) によって署名されたデバイス証明書が必要です。

[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書 (上位の CA 証明書) を本機にインポートしておく必要があります。

HTTP の通信を暗号化するための設定

証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する方法と、認証局 (CA) によって署名された証明書をインポートする方法があります。

補足

- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書（SSL サーバー用）を生成する場合

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- ・詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
3. [新規作成] > [自己署名証明書の作成] をクリックします。
4. [デジタル署名の方式] を必要に応じて設定します。
5. [公開鍵のサイズ] を必要に応じて設定します。
6. [発行者] を必要に応じて設定します。
7. [有効期間（日数）] を必要に応じて設定します。
8. [実行] をクリックします。
9. 生成が終了したら、[閉じる] をクリックします。

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする場合

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するように設定します。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- ・詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
3. [インポート] をクリックします。
4. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
7. [実行] をクリックします。
8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

補足

- ・本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- ・詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
3. [本体の証明書 - サーバー] で証明書を選びます。

補足

- 証明書を選べないときは、[システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

4. [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号] を必要に応じて設定します。

注記

- ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

5. [保存] をクリックします。

6. [今すぐ再起動] をクリックします。

コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化するには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を「デジタル署名」にするときは、本機に証明書を設定します。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、「証明書の準備」(P.171) は不要です。「IPsec の設定」(P.172) を行ってください。

補足

- 「デバイス証明書」または「その他の証明書」のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

証明書の準備

インターネットサービスで証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどちらかとなります。
- IPsec 用には、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。

参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.169) を参照してください。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。

3. [インポート] をクリックします。

4. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。

補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
7. [実行] をクリックします。
8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] > [IPsec 設定] をタップします。
5. [IPsec 設定] または [IPsec 設定 (LAN1)] をタップします。
6. IKE 認証方式を設定します。

デジタル署名方式の場合

- 1) [本体の証明書] をタップします。
- 2) 認証に使う証明書を選び、[OK] をタップします。
- 3) [IKE 認証方式] をタップします。
- 4) [デジタル署名による認証] を選び、[OK] をタップします。

事前共有鍵方式の場合

- 1) [事前共有鍵] をタップします。
- 2) 事前共有鍵にする文字列を入力し、[次へ] をタップします。
- 3) 事前共有鍵の文字列を再入力し、[OK] をタップします。
- 4) [IKE 認証方式] をタップします。
- 5) [事前共有鍵による認証] を選び、[OK] をタップします。
7. [IPsec 通信] をタップし、[有効] を選びます。
8. その他の必要な設定をします。

参照

- 詳しくは、「[IPsec 設定]」(P.142) を参照してください。

通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

参照

- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

インターネットサービスで HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.169) を参照してください。

1. インターネットサービスを起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

2. 証明書をインポートします。

- 1) [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
- 2) [インポート] をクリックします。
- 3) [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
- 4) [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 5) [パスワードの再入力] に、同じパスワードを入力します。
- 6) [実行] をクリックします。
- 7) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

3. Wi-Fi 接続の設定をします。

- 1) [ネットワーク] をクリックします。
- 2) [Wi-Fi] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。
- 3) [SSID] に接続先の SSID を入力します。

4. セキュリティの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

ここでは、Enterprise 向けのデータ暗号化の説明をします。

- 1) [暗号化設定] で、[WPA3 Enterprise]、[WPA2/WPA3 Enterprise]、[WPA2 Enterprise] または [WPA/WPA2 Enterprise] を選びます。
- 2) [認証方式] を選びます。
- 3) 選択した認証方式を設定します。

認証方式が EAP-TLS の場合

[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選びます。

認証方式が認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAPTTLS/MS-CHAPv2 の場合

[ユーザー名]、[パスワード] および [パスワードの再入力] に WPAEnterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを入力します。

- 4) [ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選びます。
- 5) [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。

補足

- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

6) [保存] をクリックします。

7) [今すぐ再起動] をクリックします。

8.4 認証と集計管理機能

概要

認証機能を有効にすると、本機自体の利用を制限したり、機能ごとに利用を制限したりできます。また、プリントの使用状況をユーザーごとに集計して管理することもできます。

ユーザーの種類

認証機能を有効にしているときは、次のユーザーに分けられます。

■ 機械管理者

使用環境に合わせてシステムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特別に定義されたユーザー ID を使用します。

■ 認証ユーザー

本機、または外部のサーバーに登録されているユーザーです。それぞれのユーザー ID を使用して認証します。

■ 認証未登録ユーザー

登録されていないユーザーです。

認証未登録ユーザーは、利用が制限されている機能を利用できません。

管理の権限と権限グループ

認証ユーザーごとに機械管理や集計管理の権限を設定できます。また、権限グループを作成し、認証ユーザーを登録できます。

外部認証先に ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア）を利用している場合は、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア）で設定します。外部認証先に LDAP を利用している場合は、インターネットサービスで設定します。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

機械管理の権限

機械管理者と同じ権限が与えられます。ただし、機械管理者パスワードの変更はできません。

集計管理の権限

次の権限が与えられます。

- ユーザー情報の登録、削除、変更（パスワードのみ変更不可）、参照（設定により操作できないことがあります）
- 集計管理の登録、削除、変更、参照
- User ID の代替表記 / User ID の入力表示の変更
- Account ID の代替表記 / Account ID の入力表示の変更

- ユーザー別集計管理レポートのプリント

権限グループ

利用制限された操作を許可する権限をグループ分けして、認証ユーザーを登録できます。権限グループに属したユーザーは、グループに設定された権限を与えられます。

参照

- 「権限グループ」(P.179) を参照してください。

利用制限

■ 全体での利用制限

本機の利用を制限できます。利用するには、ユーザー認証が必要です。

参照

- 詳しくは、「アクセス制御」(P.178) を参照してください。

■ ユーザーごとの利用制限

ユーザーごとに、プリントの利用、上限ページ数を制限できます。

参照

- 詳しくは、「本体集計管理で集計できる情報」(P.176) を参照してください。

認証の種類と認証方法

認証の種類

■ 本体認証

本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理します。

【認証 / 集計の設定】を【本体認証 / 集計】 / 【ネット認証 / 集計】に設定したときに「本体認証」になります。

補足

- コンピューターから送信されたプリントデータは、あらかじめコンピューターのプリンタードライバで設定した認証情報と、本機に登録されている認証情報を照合することによって認証され、本機で受信できます。
- 【ネット認証 / 集計】に設定したときは、外部サービスで管理しているユーザー情報を本機に登録して認証に使用します。

■ 外部認証

外部の認証サーバー (LDAP、Kerberos、ApeosWare Management Suite 2 (富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア) が使用できます) で管理されているユーザー情報を使用して認証します。本機にユーザー情報は登録しません。

【認証 / 集計の設定】を【外部認証 / 集計】に設定したときに「外部認証」になります。

補足

- 外部認証時 (ApeosWare Management Suite 2 (富士フイルムビジネスソリューション株式会社製の別売ソフトウェア) を使用する場合を除く) は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に基づき、本機のタッチパネルディスプレイから利用可能なサービスを利用できます。
- 外部認証サーバーに登録するユーザー ID は 32 文字以内、パスワードは 128 文字以内で設定してください。

認証方法

■ ユーザー ID 認証

ユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機、または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、本機のタッチパネルディスプレイから直接ユーザー ID やパスワードを入力して認証します。

■ カード認証

カードに登録されているカード番号、またはユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機、または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、カードを使用して認証します。

■ カード認証とユーザー ID 認証の併用

ユーザー ID 認証とカード認証を併用できます。

補足

- 本体認証でカード認証とユーザー ID 認証を併用する場合、[IC カード接続時の認証] で [IC カードまたはパネル入力] に設定します。IC カード接続時の認証については、「[認証の設定]」(P.148) を参照してください。

集計管理機能

集計管理方法の種類

■ 本体集計管理

本機にあらかじめ登録されている認証ユーザー情報を利用して、ユーザー別に集計管理します。

[認証 / 集計の設定] を [本体認証 / 集計] に設定したときに「本体集計管理」になります。

補足

- ユーザー別集計管理レポートは、次のユーザーがプリントできます。
 - 機械管理者
 - 機械管理の権限が設定されているユーザー
 - 集計管理の権限が設定されているユーザー

■ ネット集計管理

外部サービスで管理しているユーザー情報を本機に登録して認証に使用し、外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

[認証 / 集計の設定] を [ネット認証 / 集計] に設定したときに「ネット集計管理」になります。

補足

- 外部サービスで管理されているユーザー情報は、外部サービスから本機に送られてきて、本機に登録されます。外部サービスで管理されているユーザー情報が更新された場合は、外部サービスからユーザー情報を本機に送信する必要があります。

■ 認証サーバーによる集計管理

認証サーバーを使用して集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

[認証 / 集計の設定] を [外部認証 / 集計] に設定し、[認証システム] が [Authentication Agent] の場合に「認証サーバーによる集計管理」になります。

本体集計管理で集計できる情報

対象機能のジョブで、集計管理できる情報は次のとおりです。

対象機能 (ジョブ)		集計対象ユーザー	管理項目
通常プリント	本機用プリンタードライバー	認証ユーザー	プリント面数 / 枚数
	本機用プリンタードライバー以外 ^{*1}	認証未登録ユーザー	
セキュリティープリント		認証ユーザー	
サンプルプリント			
時刻指定プリント			
認証プリント			

対象機能 (ジョブ)	集計対象ユーザー	管理項目
プライベートプリント		
メール受信プリント ^{*1}	認証未登録ユーザー	

^{*1} : インターネットサービスで、[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] にした場合にプリントできます。

[認証 / 集計の設定] ごとにできる利用制限と集計管理

[認証 / 集計の設定] ごとにできるプリント機能の利用制限と集計管理は次のとおりです。

○ : できる × : できない

[認証 / 集計の設定]	ユーザーごとの利用制限		ユーザーごとの集計
	機能別利用制限	上限ページ数	
[本体認証 / 集計]	○	○	○
[ネット認証 / 集計]	○ ^{*1}	×	○ ^{*2}
[外部認証 / 集計]	○ ^{*1}	×	○ ^{*2}

^{*1} : 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社製の商品（別売）で利用制限できます。

^{*2} : 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社製の商品（別売）で集計できます。

ユーザー認証機能を有効にする

本体認証をする場合、次の順に設定します。

- 「認証と集計方式」(P.177)
- 「アクセス制御」(P.178)
- 「権限グループ」(P.179)
- 「ユーザー登録（本体認証）」(P.180)

外部認証をする場合、次の順に設定します。

- 「認証と集計方式」(P.177)
- 「アクセス制御」(P.178)
- 「認証システムの設定（外部認証）」(P.181)

補足

- 認証時にパスワードの入力を必須にするには、[パスワード使用 - パネル入力時] または [パスワード使用 - IC カード認証時] を [する] に設定します。詳しくは、「[認証の設定]」(P.148) を参照してください。
- ここでの設定は、機械管理者モードへのログインが必要です。

認証と集計方式

1. ホーム画面でをタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] をタップします。

補足

- [集計管理] の [認証 / 集計の設定] でも認証と集計の方式を設定できます。

4. [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計] または [外部認証 / 集計] を選び、[OK] をタップします。



5. [認証 / 集計の設定を変更します。 よろしいですか?] のメッセージが表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。

6. 𐀀(ホーム) ボタンを押し、本機を再起動します。

アクセス制御

1. ホーム画面で 𐀀 をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] をタップします。
4. [デバイスへのアクセス] をタップし、[制限しない]、または [制限する] を選びます。
5. [サービスへのアクセス] をタップします。
6. 操作に認証が必要かをサービスごとに設定します。



- 1) 変更したいサービスをタップします。

- 2) 任意の設定を選びます。

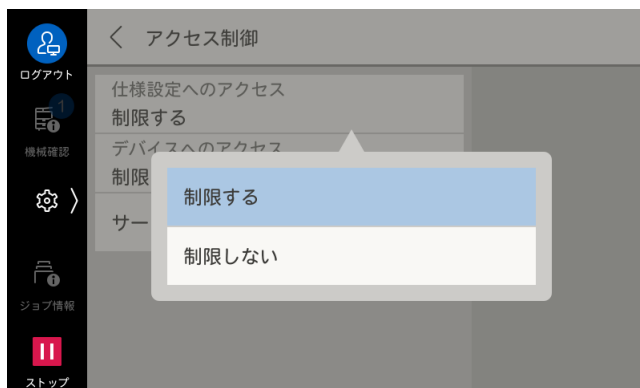
補足

- [制限する (表示)] に設定すると、認証していない状態でホーム画面のアプリをタップしたときに、認証画面が表示されます。
- [制限する (非表示)] に設定すると、認証していない状態ではホーム画面に該当するアプリが表示されません。

7. 𐀀 をタップします。

8. [仕様設定へのアクセス] をタップします。

9. 変更する機能で「制限しない」、または「制限する」を選びます。



10. 戻る(ホーム) ボタンを押し、本機を再起動します。

権限グループ

ユーザーに割り当てる権限グループを登録します。

1. ホーム画面で ⚙ をタップします。
2. 「設定」をタップします。
3. 「認証 / 集計管理」 > 「認証 / セキュリティー設定」 > 「認証の設定」 > 「権限グループ登録」をタップします。
4. 登録する権限グループ No. を選び、「登録 / 変更」をタップします。



補足

- 次のユーザーは、No.00 の「DefaultGroup (標準)」(デフォルト権限グループ) に属します。
 - 新規作成したユーザー
 - 認証する前のユーザー
 - 外部認証で「認証システム」が「Authentication Agent」以外の認証ユーザー
- デフォルト権限グループもほかの権限グループと同様に変更できます。

5. 「グループ名」をタップし、名称を入力して「OK」をタップします。

6. 変更する権限をタップし、設定を選びます。



ユーザー登録（本体認証）

本体認証を設定したときの認証ユーザーを本機に登録します。

ユーザーごとに管理権限、サービスの利用制限や上限ページ数を設定できます。

補足

- [集計管理] の [認証 / 集計の設定] でもユーザーを登録できます。

1. ホーム画面で  をタップします。
 2. [設定] をタップします。
 3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティー設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。
 4. 登録するユーザーをタップします。
- ### 補足

 - ユーザーには 4 桁の固有番号（ユーザー登録番号）が振られています。
5. [User ID] にユーザー ID を入力し、[OK] をタップします。
 6. [ユーザー名] をタップします。



7. ユーザーの表示名を入力し、[OK] をタップします。

8. 必要に応じて【パスワード】に、パスワードを設定します。

< No.0001 - 登録/確認	
UserID	すべての登録内容を削除
ユーザー名	累積ページ数のリセット
パスワード	
デバイス利用許可	
サービスの利用制限	
ユーザーの権限	

9. 必要に応じて利用制限や権限を設定します。

< No.0001 - 登録/確認	
ユーザー名	すべての登録内容を削除
パスワード	累積ページ数のリセット
デバイス利用許可	
サービスの利用制限	
ユーザーの権限	

認証システムの設定（外部認証）

外部認証サーバーを本機に登録します。

1. ホーム画面で⚙️をタップします。
2. 【設定】をタップします。
3. 【ネットワーク設定】 > 【外部認証サーバー設定】 > 【認証システムの設定】 > 【認証システム】をタップします。
4. 外部認証サーバーの種類を選び、【OK】をタップします。

補足

- ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社製の別売ソフトウェア）を外部認証先として使用する場合は、【Authentication Agent】を選びます。

5. 【Authentication Agent】以外を選択した場合は、⏪ をタップしてから認証サーバーの情報を登録します。

参照

- インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」（P.167）を参照してください。

その他の設定事例（LDAP）

本機と LDAP サーバー間の通信の暗号化

1. ホーム画面で⚙️をタップします。
2. 【設定】をタップします。

3. [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] をタップします。
4. [LDAP-SSL/TLS 通信] をタップし、[有効] を選びます。



5. < を 2 回タップします。
6. [外部認証サーバー設定] > [LDAP サーバー設定] をタップします。
7. [プライマリーサーバー - ポート番号] をタップします。



8. LDAPS が稼働するポート番号を入力し、[OK] をタップします。

Active Directory で信頼関係を構築した LDAP サーバーのユーザーでのログイン

次の条件を満たしている場合を例に、信頼関係先のドメインサーバー上のユーザーで本機にログインするための手順を説明します。

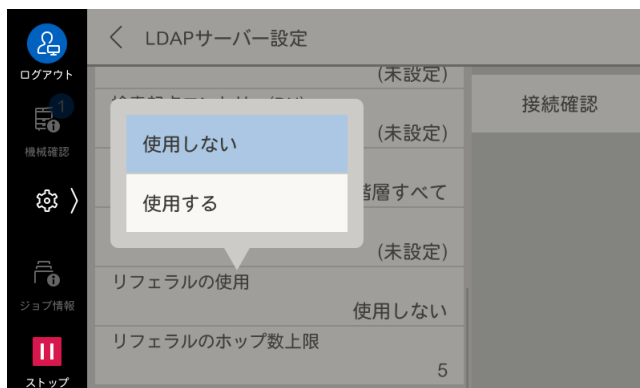
- ドメイン名に “w2k8adtest.local” が設定されている。
- [Active Directory ドメインと信頼関係] で信頼関係が構築されている。

参照

- [Active Directory ドメインと信頼関係] については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [LDAP サーバー設定] をタップします。

4. [リフェラルの使用] をタップし、[使用する] を選びます。



5. 必要に応じて、[リフェラルのホップ数上限] を設定します。

補足

- 接続するサーバー数の上限は [リフェラルのホップ数上限] で設定された数値までです。「5」と設定した場合、5つの信頼関係先まで接続し、それ以上は接続しません。
- [検索用の認証ユーザー] について、信頼関係先のLDAPサーバーにもアクセス資格が必要になります。
- セキュリティ機能の観点から、LDAPSが設定されている場合、非暗号の信頼関係先には接続しません。

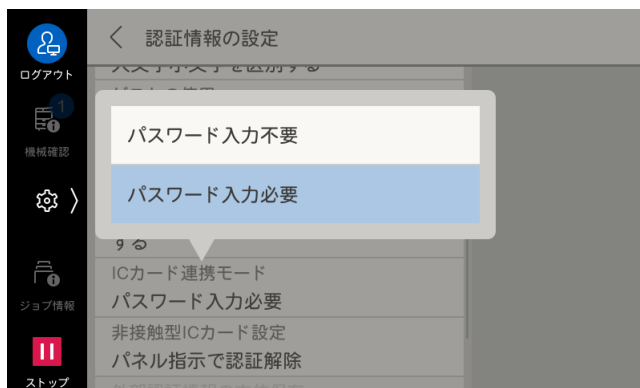
ICカード読み取り装置（オプション）で認証するための設定

ICカードに登録した情報によって認証したり、ICカードに登録した情報と本機に登録したユーザー情報を照合したりして、本機の利用制限やジョブなどの集計管理ができます。

ICカードとパスワードの併用を設定する

外部認証で、ICカードを使用して本機にログインするときに、パスワードの入力を求めるかを設定します。

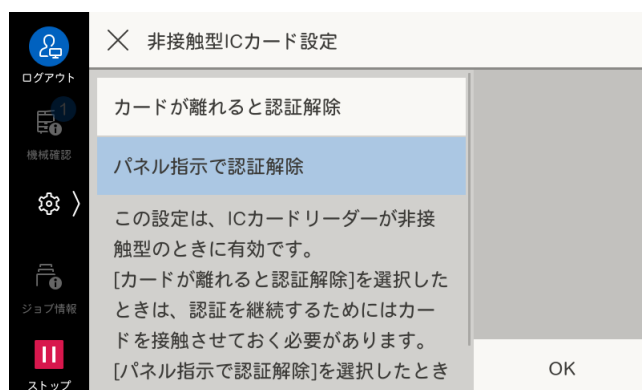
1. ホーム画面で  をタップします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。
4. [ICカード連携モード] をタップし、[パスワード入力必要] を選びます。



ICカード使用時の認証解除を設定する

ICカード使用時の認証解除方法を設定します。

1. ホーム画面で $\left[\text{設定} \right]$ をタップします。
2. $\left[\text{設定} \right]$ をタップします。
3. $\left[\text{認証 / 集計管理} \right] > \left[\text{認証 / セキュリティー設定} \right] > \left[\text{認証の設定} \right] > \left[\text{認証情報の設定} \right] > \left[\text{非接触型 IC カード設定} \right]$ をタップします。
4. 認証の解除方法を選び、 $\left[\text{OK} \right]$ をタップします。



IC カード情報を登録する

機械管理者は、インターネットサービスを使用して、IC カード情報と認証に使用する情報を設定します。

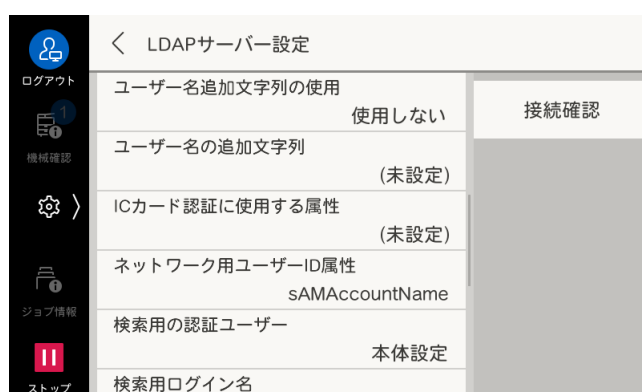
参照

- ・インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

LDAP サーバー（外部認証）の設定をする

IC カードの ID と対応させる属性と、認証後にユーザーの識別に使用する属性を設定します。

1. ホーム画面で $\left[\text{設定} \right]$ をタップします。
2. $\left[\text{設定} \right]$ をタップします。
3. $\left[\text{ネットワーク設定} \right] > \left[\text{外部認証サーバー設定} \right] > \left[\text{LDAP サーバー設定} \right] > \left[\text{IC カード認証に使用する属性} \right]$ をタップします。



4. IC カードの ID と対応させる属性名を入力し、 $\left[\text{OK} \right]$ をタップします。

補足

- ・属性にはあらかじめ IC カードの ID が登録されている必要があります。
- ・ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

5. $\left[\text{ネットワーク用ユーザー ID 属性} \right]$ をタップします。
6. IC カードで認証したときに、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力し、 $\left[\text{OK} \right]$ をタップします。

補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。

9 日常管理

9.1 消耗品を交換する

次の消耗品を交換品として用意しています。

- トナーカートリッジ
- ドラムカートリッジ
- トナー回収ボトル

消耗品の交換時期が近づくと、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。交換手順については、新しい消耗品が入っていた箱を参照してください。

トナーカートリッジ

メッセージ	処置
予備を用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、次のとおりです。 • 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジ ブラック (K)、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) : 約 1200 ページ • 交換用のトナーカートリッジ ブラック (K) : 約 2200 ページ イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) : 約 2400 ページ
交換時期	まもなくトナーカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 60 ページです。
要交換	本機が停止します。表示されたトナーカートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジ

メッセージ	処置
予備を用意	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 5000 ページです。
交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 2000 ページです。
要交換	• [ドラムカートリッジ寿命時の動作] で [停止する] を設定している場合 ドラムカートリッジの寿命です。本機は停止し、プリントができなくなります。ドラムカートリッジを交換してください。 • [ドラムカートリッジ寿命時の動作] で [継続する] を設定している場合 ドラムカートリッジの寿命です。プリントは継続できますが品質を保証できないため、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

トナー回収ボトル

メッセージ	処置
予備を用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナー回収ボトルの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 3000 ページです。

メッセージ	処置
交換時期	まもなくトナー回収ボトルの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、約 2000 ページです。
要交換	本機が停止します。トナー回収ボトルを交換してください。

^{*1} : プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.307) を参照してください。

警告

- トナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルは、必ず弊社の MultiWriter サポート窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社の MultiWriter サポート窓口または販売店にご連絡ください。
- 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

注意

- トナーカートリッジやドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の取り扱い

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

9.2 ホチキス針を交換する

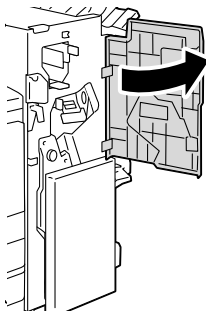
ホチキス針の残量によって、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

補足

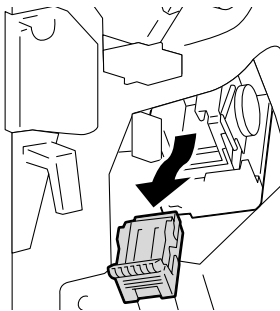
- ホチキス針は本機の電源を入れたまま交換します。節電状態になっている場合は、ホチキス針を交換する前に、**電源 / 節電** ボタンを押して節電状態を解除してください。

平とじ用ホチキス針を交換する

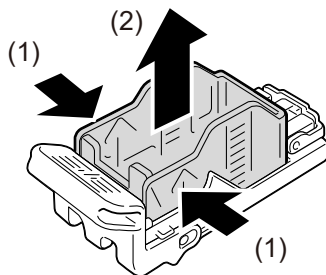
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャの正面カバーを開けます。



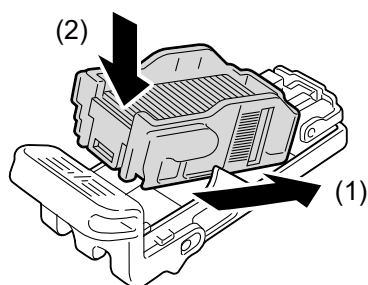
2. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。



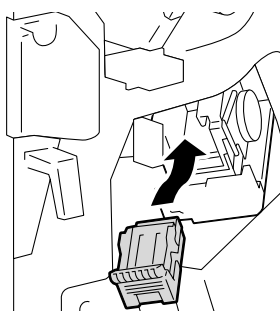
3. 空になった針ケースの左右をつまみ (1)、カートリッジから取り出します (2)。



4. ホチキスカートリッジに新しい針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



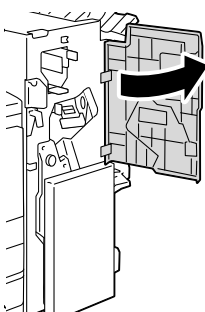
5. ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



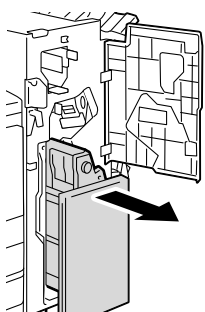
6. フィニッシャの正面カバーを閉じます。

中とじ用ホチキス針を交換する

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャの正面カバーを開けます。



2. 中とじユニットを引き出します。



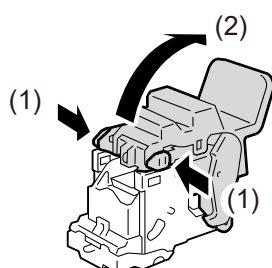
- 3.** 中とじ用ホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



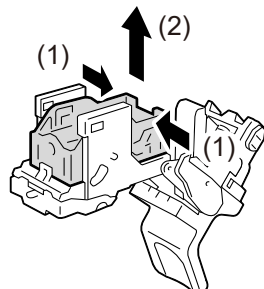
補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジは 2 個あります。交換するカートリッジをメッセージで確認してください。

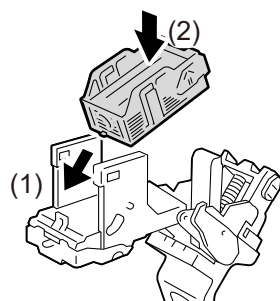
- 4.** 中とじ用ホチキスカートリッジの左右にあるボタンを押して (1)、カバーを開きます (2)。



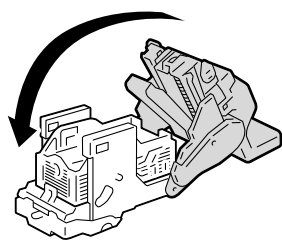
- 5.** 空になったホチキス針ケースの左右をつまみ (1)、中とじ用ホチキスカートリッジから取り出します (2)。



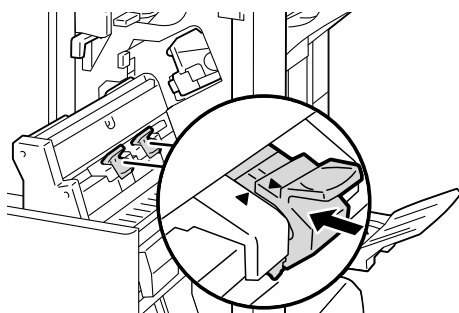
- 6.** 新しいホチキス針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



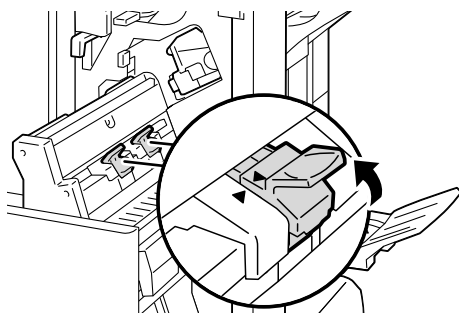
7. カバーを閉じます。



8. 中とじ用ホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



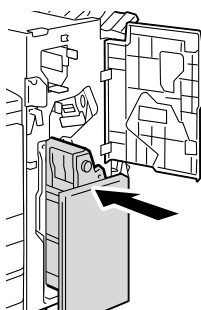
9. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がすることを確認します。



補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジの▶と、中とじユニットの◀が合うように戻してください。

10. 中とじユニットを元の位置に戻します。



11. フィニッシャの正面カバーを閉じます。

9.3 パンチダストボックスのパンチくずを捨てる

パンチダストボックスのパンチくずがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、パンチくずを捨ててください。

補足

- パンチダストボックスのパンチくずを捨てるときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、パンチくずを捨てたことを本機が認識できません。
- パンチダストボックスのパンチくずは、メッセージが表示されてから捨ててください。メッセージが表示される前に捨てると、正確なパンチくずの量を本機が認識できなくなります。

9.4 画質調整

階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートを出力して、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) 各色の、低濃度 (Low) / 中濃度 (Mid) / 高濃度 (High) を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値 (工場出荷時の値) に戻すときは、すべての値を [0] に設定してください。[0] にするとプリント時に階調補正は働きません。

注記

- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値 (すべて [0]) にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、機械の経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。

解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

1. 手差しトレイに、次のどちらかの用紙をセットします。

- A4 
- 8.5x11 

2. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

3. ホーム画面で をタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [保守] > [画質調整] > [階調補正] をタップします。

6. [補正種別] をタップし、[解像度優先] または [階調優先] のどちらかを選びます。
7. [補正用チャート出力] をタップします。
8. プリントする [用紙サイズ] と [用紙種類] を選びます。
9. [チャート出力] をタップします。
10. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

濃度設定値を決める

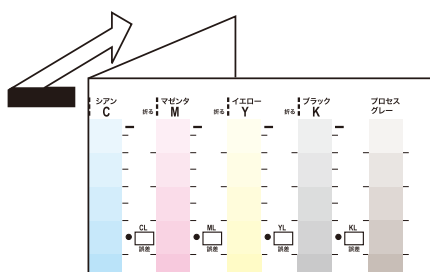
濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

補足

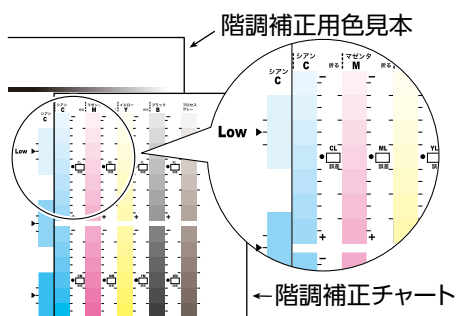
- 工場出荷時の濃度設定値はすべて [0] です。

1. プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。



2. 階調補正チャートの補正する濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

例：低濃度の補正をする場合は、階調補正用色見本の Low と階調補正チャートの Low の・印を合わせます。

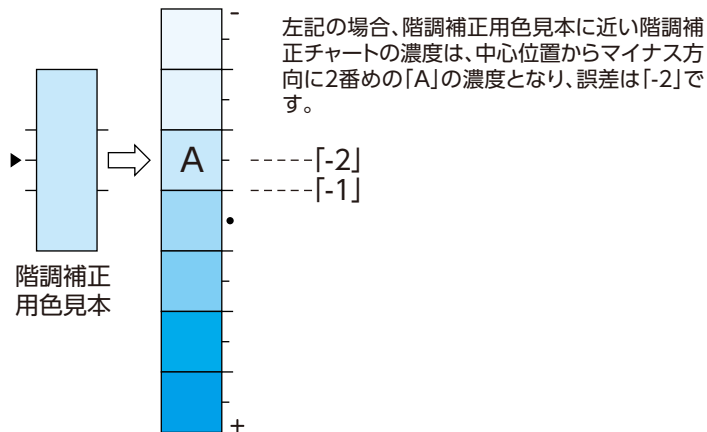
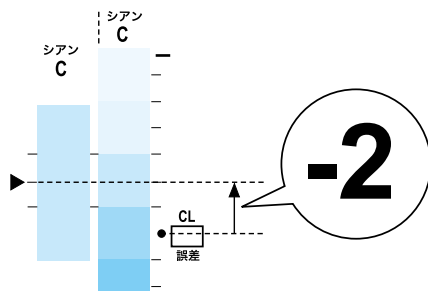
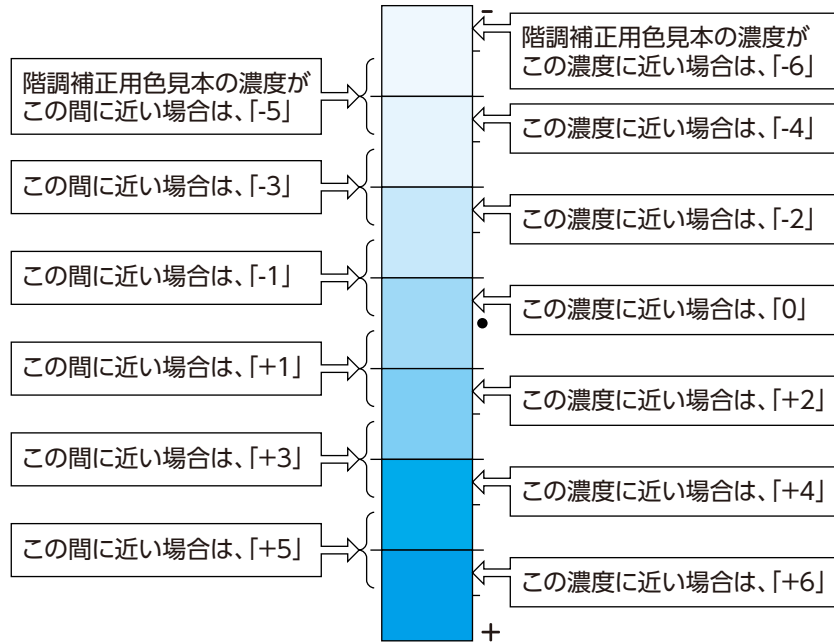


3. 階調補正チャートの・印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

補足

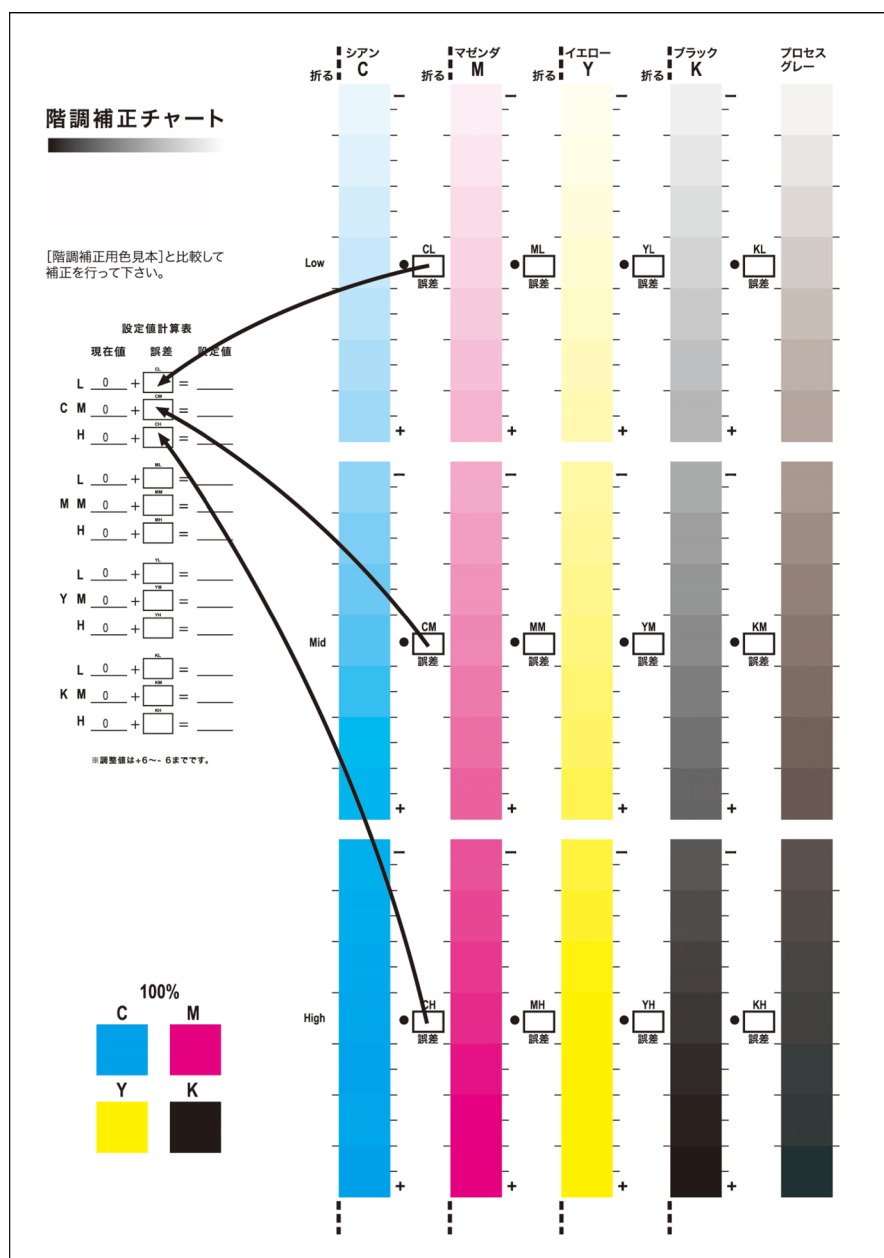
- マイナス (-) とプラス (+) の方向に注意して読み取ってください。

階調補正チャート測定部



4. 階調補正チャートの該当する「誤差」欄に、誤差を記入します。
5. 同じ色の、ほかの2つの濃度（中濃度 / 高濃度）も、同様に誤差を読み取って記入します。
6. 同様に YMCK の残りの色に対して手順 1 ～ 5 を繰り返して、誤差を読み取って記入します。

7. すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。(例：シアン)



8. 「設定値計算表」の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。

補足

- ・「現在値」には前回の補正時に入力した値が印字されています。
- ・「現在値」と「設定値」が異なる色を補正します。「誤差」が「0」の色は補正不要です。

濃度設定値を入力する

「階調補正チャート」の「設定値計算表」の「設定値」に記入した濃度設定値を本機に設定します。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ・ログインの方法については、「ログイン」(P.43)を参照してください。

2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [画質調整] > [階調補正] をタップします。
5. [濃度] をタップし、補正する濃度（低 / 中 / 高）を選びます。
6. 階調補正チャートの [設定値] に記入した値のうち、補正が必要な色の値を入力します。
7. 残りの濃度について、補正が必要なすべての色の値を入力します。
8. [調整値設定] をタップします。
9. 階調補正チャートを出力して、補正結果を確認します。

補足

- [プロセスグレー] は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、プロセスグレーがブラックの色味に近づきます。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

アライメント調整を行う

手動アライメント調整

出力イメージの位置がずれている場合などに、調整値を入力してずれを調整します。

補足

- 調整可能範囲以上の調整が必要な場合は、プリンタードライバーの [基本] タブ (NPDL) / [トレイ / 排出] タブ (ART EX) でプリント位置の調整機能を使用してください。

調整可能項目

1. 調整する用紙トレイに、次のどれかの用紙をセットします。

- A3 ☐
- A4 ☐
- 11x17 ☐
- 8.5x11 ☐

2. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

3. ホーム画面で  をタップします。
4. [設定] をタップします。
5. [保守] > [画質調整] > [アライメント調整] をタップします。

6. 手順 1 で用紙をセットしたトレイを【用紙選択】で選んで、[OK] をタップします。



7. 【調整面】で調整するプリント面を選びます。

8. 【サンプル出力】をタップして、表示された画面でサンプルのプリント枚数を指定します。

補足

- 出力ばらつきも考慮するため、サンプルは3枚程度プリントすることをお勧めします。

9. 【プリント】をタップします。

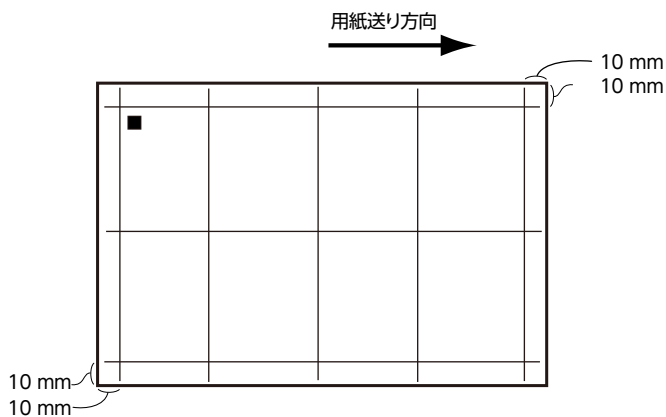
10. プリントが終了したら、【閉じる】をタップします。

11. 画面上部の✕をタップします。

12. プリントされたチャートを確認します。

A3のサンプルを例に説明します。

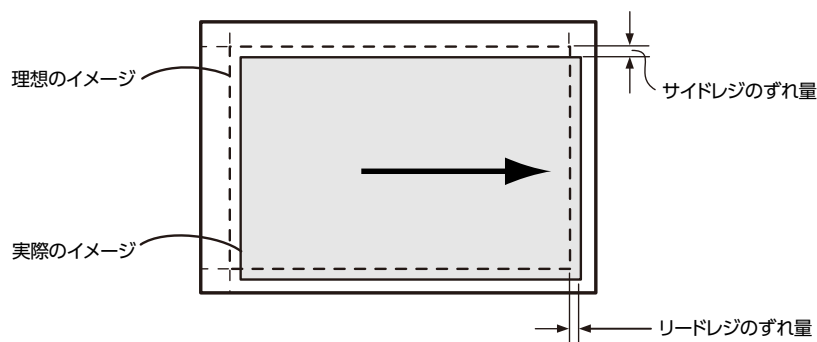
出カイメージの位置が正しい場合は、用紙の端から 10 mm の位置に線がプリントされます。線の位置がずれているときは、調整が必要です。



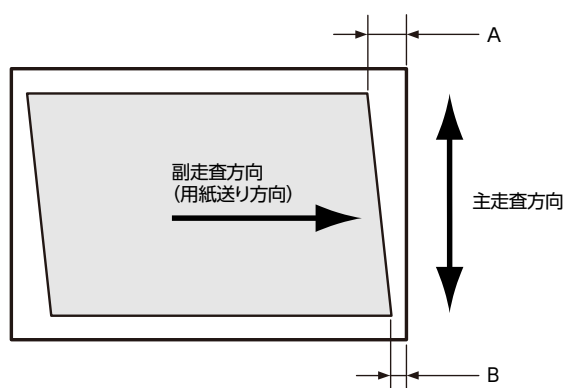
補足

- 用紙送り方向を示すため、用紙の後端には■（黒い四角マーク）がプリントされます。おもて面には■が1つ、うら面には■が2つプリントされます。
- 複数の種類のずれを調整する場合は、[直角度] → [副走査方向倍率] → [リード / サイドレジ] の順番で調整してください。

- [リード / サイドレジ] の調整が必要な場合



- [直角度] の調整が必要な場合



参照

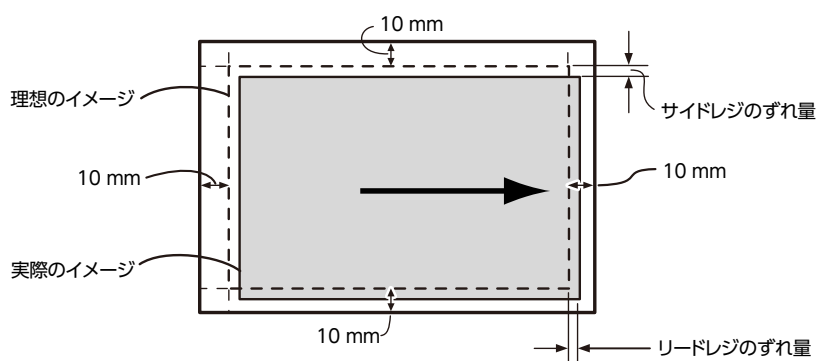
- それぞれの調整方法については、次を参照してください。
 - リード / サイドレジの調整については、「リード / サイドレジの調整」(P.198) 参照してください。
 - 直角度の調整については、「直角度の調整」(P.199) を参照してください。
 - 副走査方向倍率の調整については、「副走査方向倍率の調整」(P.200) を参照してください。

■ リード / サイドレジの調整

リードレジ (用紙送り方向)、サイドレジ (用紙送り方向に対して垂直方向) のイメージの位置を 0.1 mm 単位で調整します。

1. チャートを確認し、イメージの位置のずれ量 (mm) を計測します。

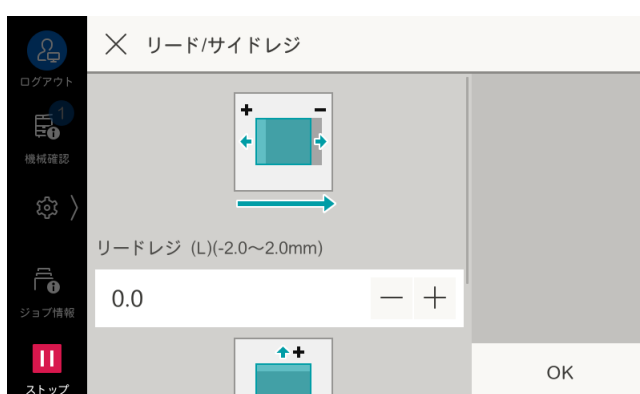
調整量 (mm) = 実際のイメージ位置の用紙端からの距離 (mm) - 10



2. [リード/サイドレジ] をタップします。



3. 手順1で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します（1ステップ = 0.1 mm）。



注記

- リードレジについては、トレイ / 調整面で同一の調整値となり、トレイ / 調整面ごとの調整はできません。

4. [OK] をタップします。

5. [調整値設定] をタップします。

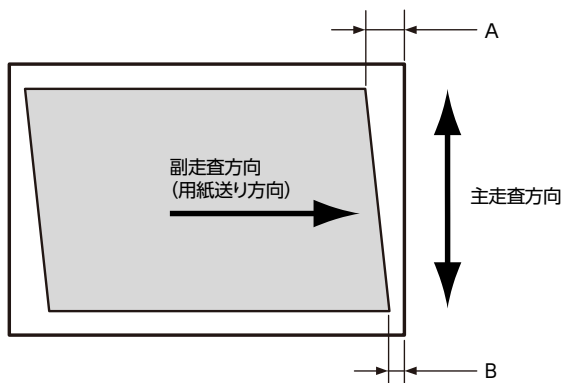
調整値が反映されます。

6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

■ 直角度の調整

副走査方向（用紙送り方向）の出力イメージの歪み（平行四辺形）を 0.1 mm 単位で調整します。

1. チャートを確認し、イメージの直角度のずれ量（mm）を計測します。



用紙の先端を上にしたときに、左側のリードレジの長さ (mm) を「A」、右側のリードレジの長さ (mm) を「B」として、次の式で直角度のずれ量を求めます。

直角度のずれ量 (mm) = (A - B) × (副走査方向の用紙長さ - 20) ÷ (主走査方向の用紙幅 (mm) - 20)

2. [直角度] をタップします。

3. 手順 1 で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します。

用紙の先端を上にしたときに、右下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [-]、左下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [+] を押して、調整値を入力します。

4. [OK] をタップします。

5. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

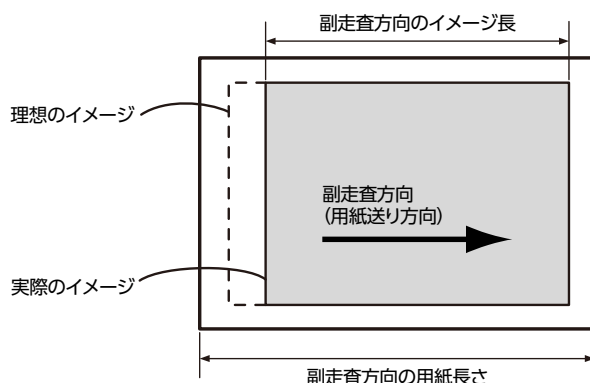
6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

■ 副走査方向倍率の調整

副走査方向（用紙送り方向）の出力イメージの倍率を 0.025%単位で調整します。

1. サンプルを確認し、副走査方向のイメージ長のずれ量 (mm) を計測します。

副走査方向のイメージ長のずれ量 (mm) = 副走査方向のイメージ長 (mm) - (副走査方向の用紙長さ (mm) - 20)



2. 副走査方向倍率の調整値 (%) を算出します。

副走査方向倍率の調整値 (%) = -1 × (ずれ量 (mm) ÷ (副走査方向の用紙長さ (mm) - 20)) × 100

3. [副走査方向倍率] をタップします。

4. 手順 2 で算出した調整値を現在の設定値に加えた値を、入力します。

5. [OK] をタップします。

6. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

7. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

転写出力調整

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。

1. 機械管理者でログインします。

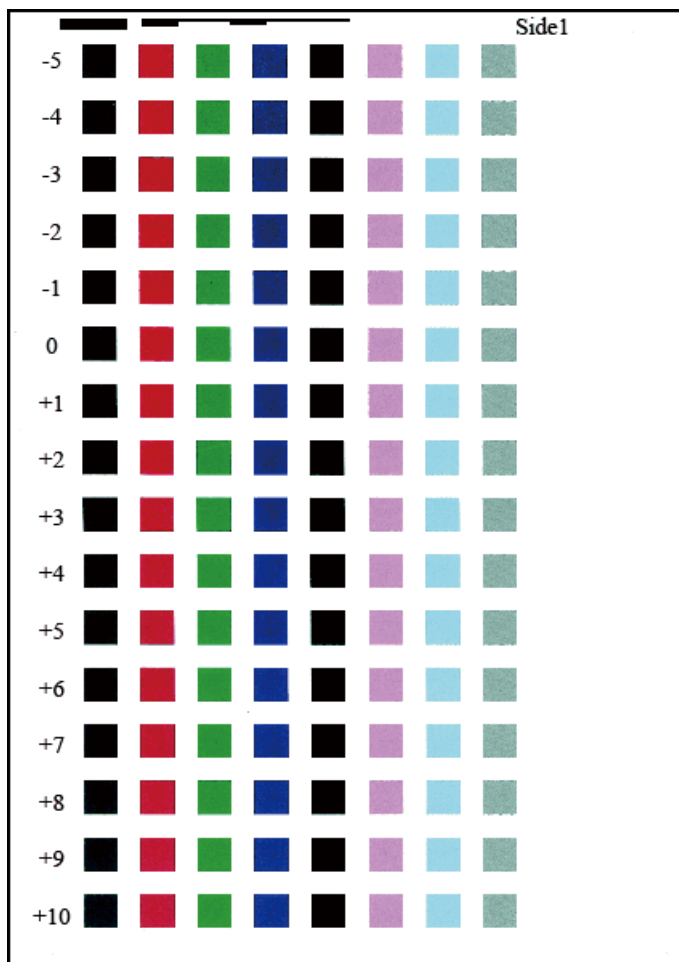
参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で  をタップします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [画質調整] > [転写出力調整] > [サンプルプリント番号指定調整] をタップします。
5. [用紙サイズ] からトレイ 5 (手差し) にセットする用紙のサイズを選びます。
6. [用紙種類] から調整する用紙を選びます。



7. [両面片面] から調整面を選びます。
8. トレイ 5 (手差し) に選択した用紙種類、用紙サイズの用紙をセットします。
9. [サンプル出力] をタップします。
次のようなサンプルがプリントされます。



補足

- サンプルの右上に、おもて面は「Side1」、うら面は「Side2」とプリントされます。
- 用紙サイズが A4、B4、8.5×11 インチの場合は、サンプルが 2 枚に分かれてプリントされます。

10. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

11. サンプルを確認して、最適な画質の番号（-5 ～ +10）を控えておきます。

補足

- 両面でプリントした場合は、おもて面の番号と、うら面の番号の両方を控えてください。

12. [次へ] > [サンプルプリント番号を指定して調整] をタップします。

13. 手順 7 で設定した調整面に、手順 11 で控えた画質の番号を指定し、[OK] をタップします。

以降のプリントでは、ここで設定した転写出力値が反映されます。



出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）

用紙にプリントする出力イメージの濃度のムラを調整します。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

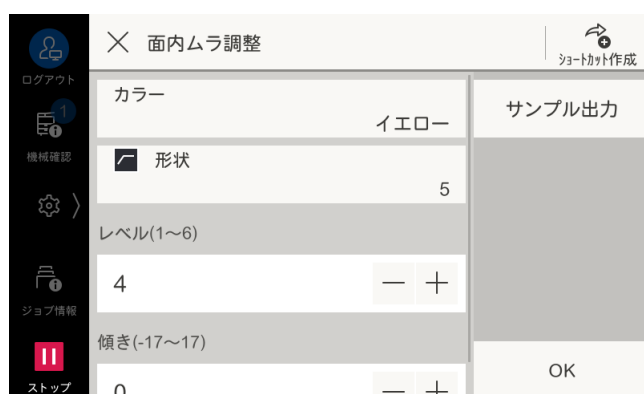
2. ホーム画面でをタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] をタップします。

5. [サンプル出力] をタップします。

出力するサンプルの設定を変更します。



• [カラーモード]

全ての色の濃度とバランスを確認するときは【フルカラー】を選び、特定の色に限定して濃度を確認するときは【単色】を選びます。

【単色】を選択した場合は、手順 9 の【面内ムラ調整】画面の【カラー】で、プリントする色を【イエロー】、【マゼンタ】、【シアン】、【ブラック】から選択してください。

• [カバレッジ 1]、[カバレッジ 2]

出力サンプルにプリントする濃度を、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの色ごとに、2 種類設定できます。

• [用紙選択]

濃度を調整したい用紙がセットされたトレイを選びます。

6. [プリント] をタップします。

調整チャートがプリントされます。

7. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

8. 画面上部のをタップします。

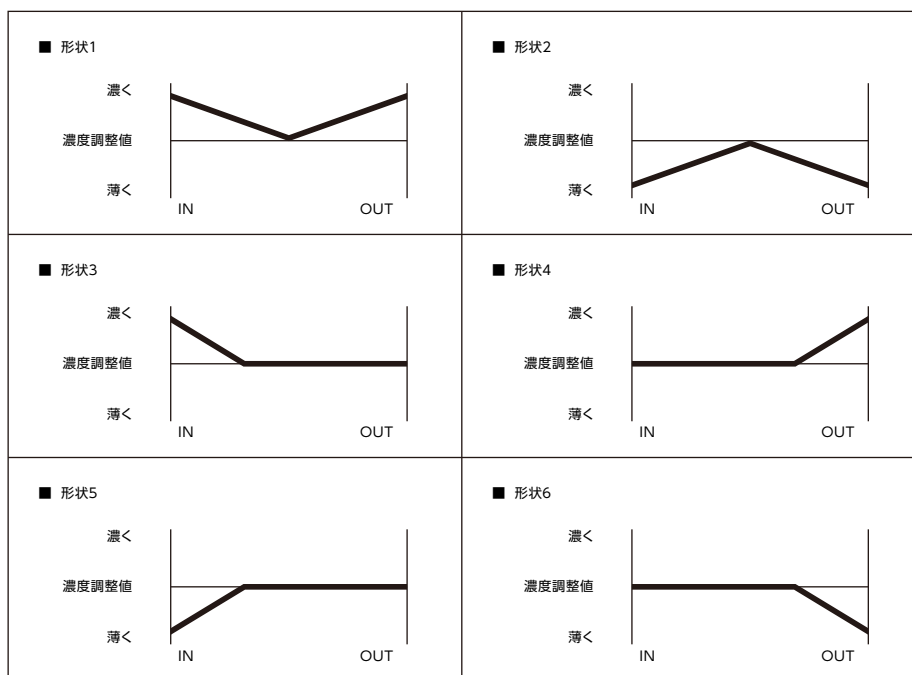
9. 出力サンプルを確認し、ムラが発生している場合は、濃度を調整します。

1) 【カラー】で、【イエロー】、【マゼンタ】、【シアン】、【ブラック】から調整する色を選びます。

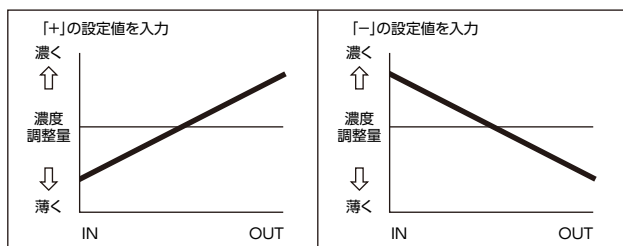
2) 出力サンプルの状態に応じて、【形状】、【レベル】、【傾き】を設定します。

• [形状]

出力サンプルへの濃度分布調整量を形状 1 ～ 6 のうちから選びます。



- [レベル]
出力サンプルの濃度差のレベルを 1 ～ 6 のうちから選びます。レベル 1 は調整量が無いことを表し、値が大きいほど調整量が多いことを表します。
- [傾き]
出力サンプルに対して、濃度分布を次のように調整します。調整量を -17 ～ 17 の範囲で設定します。値が大きいほど調整量が多いことを表します。



補足

- 濃度分布がこれらのパターンとは異なるときは、[形状]、[レベル] を使用して調整してください。

10. [OK] をタップします。

調整値が反映されます。

11. [面内ムラ調整] > [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

9.5 フィニッシャ（オプション）の調整

フィニッシャ（オプション）を取り付けた場合の調整について説明します。

紙折り位置の調整

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10 種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。

1. トレイに折り位置を調整する用紙をセットします。

2. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

3. ホーム画面でをタップします。

4. [設定] をタップします。

5. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [紙折り位置の調整] をタップします。

6. [紙折り位置タイプの設定] をタップします。



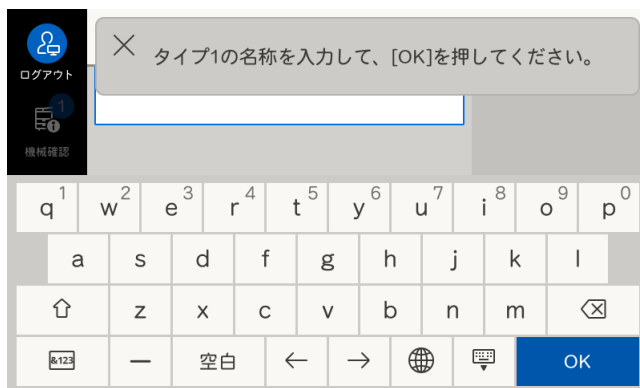
7. 設定または調整するタイプを選びます。



8. [名称] をタップします。



9. 名前を入力して、[OK] をタップします。



10. [OK] をタップします。

参照

- それぞれの折り調整については、「二つ折りの位置調整」(P.206)、「製本の位置調整」(P.208) を参照してください。

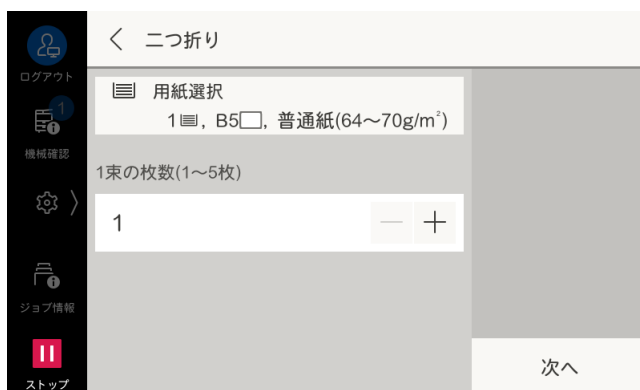
11. 調整が終わったら、[OK] をタップします。



二つ折りの位置調整

1. [二つ折り] をタップします。

2. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



3. [1束の枚数(1~5枚)] の枚数を設定して、[次へ] をタップします。

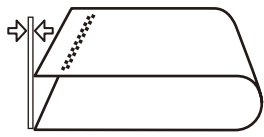
4. [確認プリント] をタップします。

5. [プリント] をタップします。

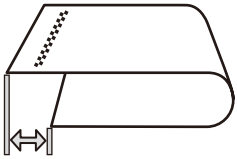
6. プリントが終了したら、をタップします。

7. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

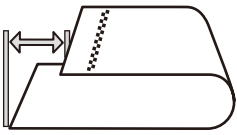
- ずれていないとき

	調整は不要です。
---	----------

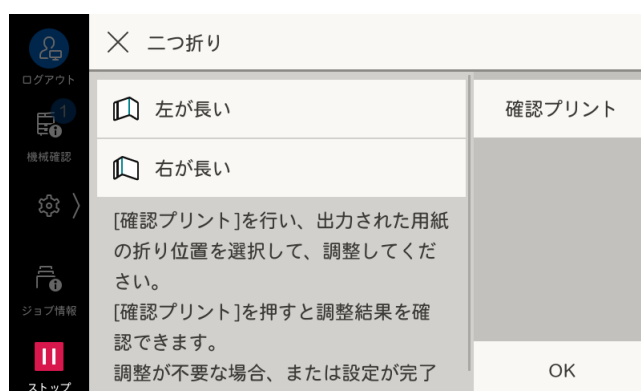
- 印字されているページのほうが大きいとき

	[左が長い] を選び、ずれ量を入力します。
---	-----------------------

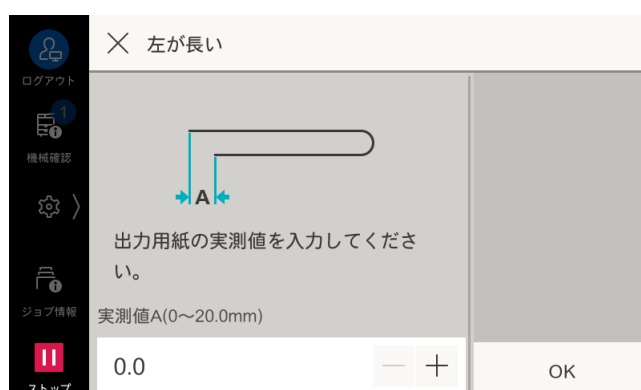
- 印字されていないページのほうが大きいとき

	[右が長い] を選び、ずれ量を入力します。
--	-----------------------

8. [左が長い] または [右が長い] のどちらかを選びます。



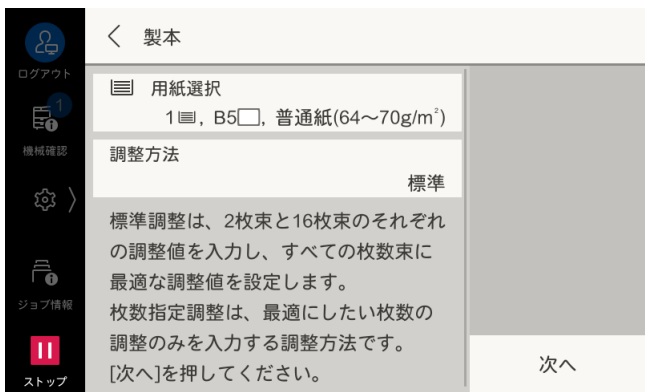
9. 手順7で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



- 10. [確認プリント] をタップします。
- 11. [プリント] をタップします。
- 12. プリントが終了したら、✕をタップします。
- 13. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。
- 14. [OK] をタップします。

製本の位置調整

- 1. [製本] をタップします。
- 2. [用紙選択] をタップして、調整する用紙を選んで、[OK] をタップします。



- 3. [調整方法] で [標準] または [枚数指定] のどちらかを選んで、[次へ] をタップします。

補足

- [枚数指定] を選んだ場合は、枚数を設定します。

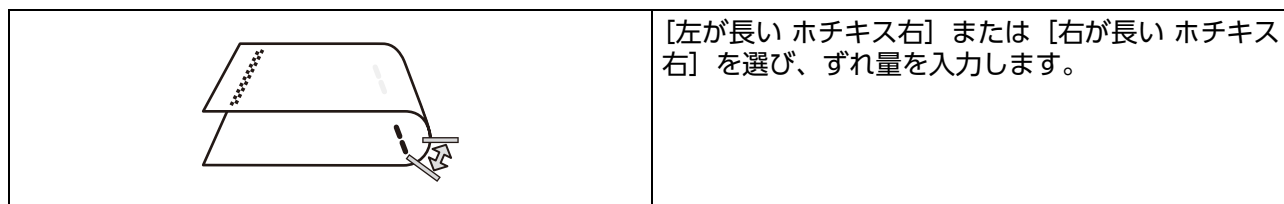
- 4. [確認プリント] をタップします。
- 5. [プリント] をタップします。
- 6. プリントが終了したら、画面上部の✕をタップします。
- 7. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。
 - ずれていないとき

	調整は不要です。
--	----------

- 印字されているページ側にホチキスが打たれているとき

	[左が長い ホチキス左] または [右が長い ホチキス左] を選び、ずれ量を入力します。
--	--

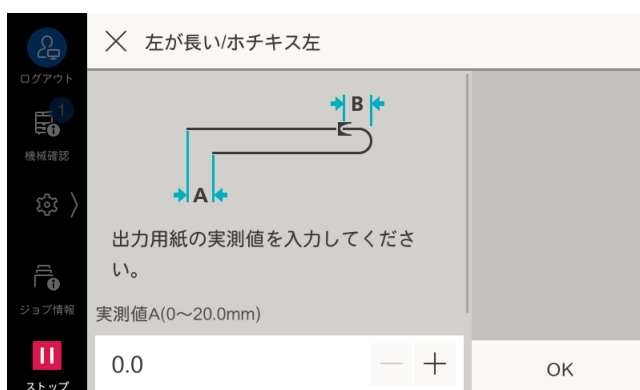
- 印字されていないページ側にホチキスが打たれているとき



8. 手順 7 で確認した出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



9. 手順 7 で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



10. [確認プリント] をタップします。

11. [プリント] をタップします。

12. プリントが終了したら、✕をタップします。

13. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

14. [調整方法] が [標準] の場合は [次へ] をタップして手順 15 に進みます。[枚数指定] の場合は [OK] をタップして終了です。

15. [確認プリント] をタップします。

16. [プリント] をタップします。

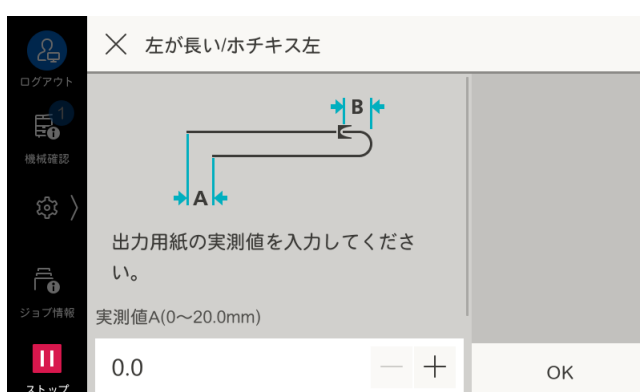
17. プリントが終了したら、✕をタップします。

18. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

19. 手順 18 で確認した出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



20. 手順 18 で計測した値を入力して、[OK] をタップします。



21. [確認プリント] をタップします。

22. プリントが終了したら、✕をタップします。

23. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

24. [OK] をタップします。

折りを補助する筋の設定

中とじ製本時、冊子が開く場合に、折りを補助する筋を入れることができます。

補足

- 筋の本数が多いほど、製本速度が遅くなります。
- 用紙サイズや用紙種類によっては、折りを補助する筋を入れても冊子が開いてしまう場合があります。

1. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

2. ホーム画面で⚙️をタップします。

3. [設定] をタップします。

4. [保守] > [フィニッシャーの調整] > [折りを補助する筋] をタップします。

5. 必要に応じて、次のどれかを設定します。

- [しない]
- [片側 1 本]

- [片側 2 本]
- [片側 3 本]



6. [OK] をタップします。

7. ホーム画面に戻ります。

補足

- 再起動画面が表示された場合は、[はい (再起動する)] をタップします。

9.6 清掃する

注記

- 電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内のプリントデータや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する

注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあります。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

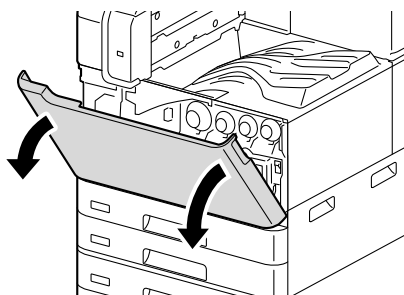
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

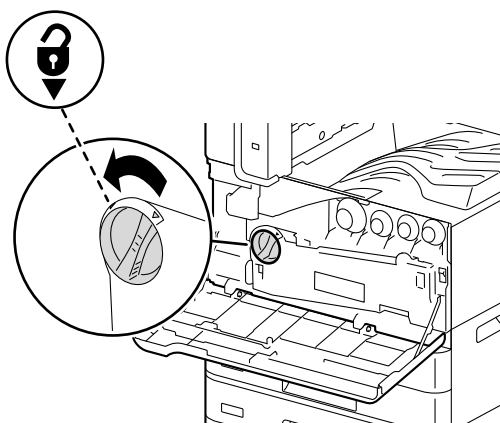
本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃

LED プリントヘッド部の清掃は、通常、ドラムカートリッジの交換時、およびトナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、プリントに白筋や色筋がでるなど画質に影響がある場合は、LED プリントヘッド部を清掃してください。

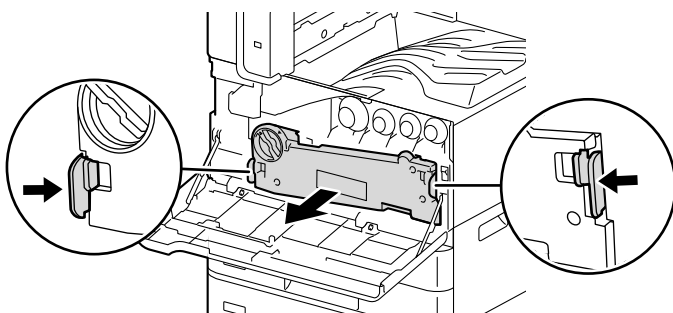
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



2. 正面から見て左側にあるハンドルを左側に回します。

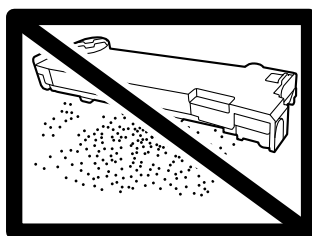
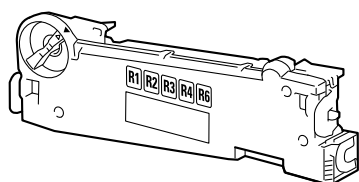


3. 搬送ボックスの両端のつまみをつまんで、ボックスを外します。

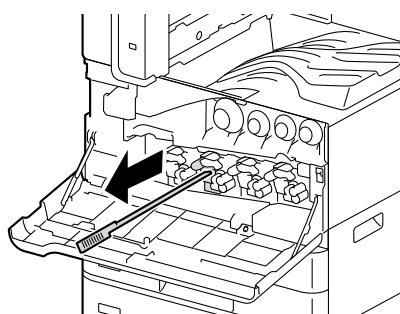
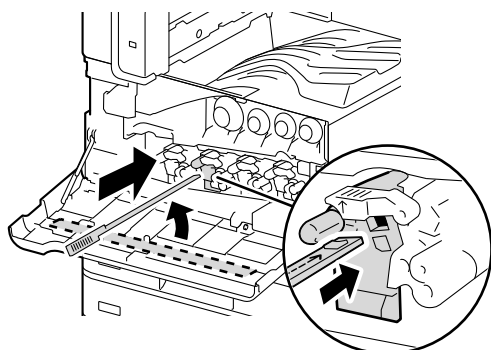


補足

- 外したボックスは立てた状態で平らな場所に置いてください。



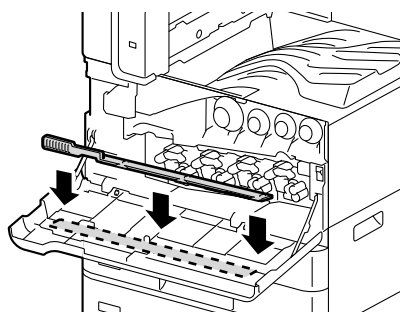
- 4. 正面カバーの裏側に付属している清掃棒を取り出し、LED プリントヘッド部内をそれぞれ清掃します。**
清掃棒の矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き抜きます。



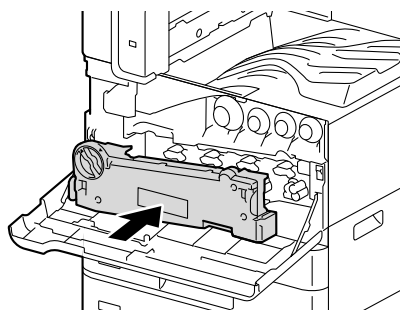
補足

- 4 か所（R1～R4）を、すべて往復2～3回ずつ清掃してください。

- 5. 清掃棒を正面カバーの裏側にある元の場所に戻します。**



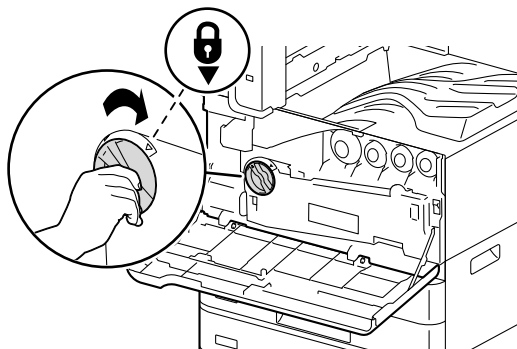
- 6. 搬送ボックスを元に戻します。**



補足

- ボックス本体を押して、ボックスが確実に閉じるのを確認してください。

7. ハンドルを右側に回して、ロックします。



8. 正面カバーを閉じます。

10 困ったときには

10.1 紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、タッチパネルディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙詰まりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙詰まりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

10.2 ホチキスカートリッジの針が詰まった場合

注記

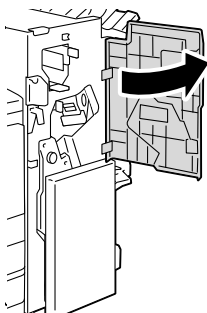
- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。
- 針詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。

補足

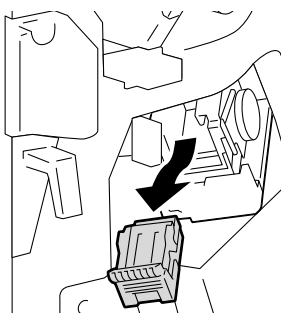
- 針が取り除けないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

平とじホチキスカートリッジの針詰まり

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャの正面カバーを開けます。

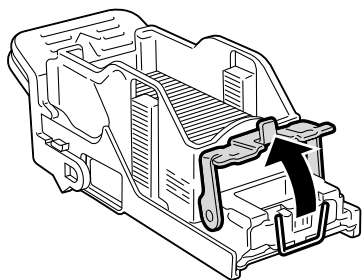


- 2.** レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

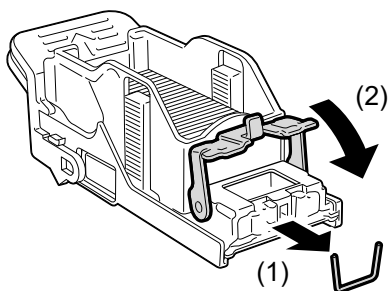


- 3.** ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャ内部に針がないか確認します。

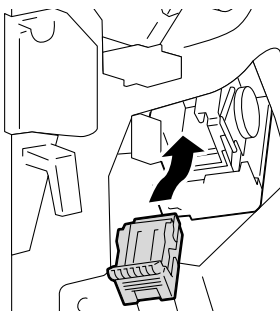
- 4.** ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。



- 5.** 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 4 で押し上げた金属部分を元に戻します (2)。



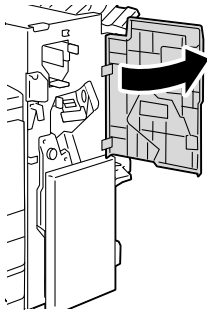
- 6.** ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



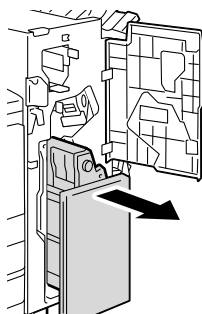
- 7.** フィニッシャの正面カバーを閉じます。

中とじホチキスカートリッジの針詰まり

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャの正面カバーを開けます。



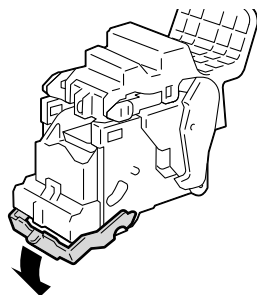
2. 中とじユニットを引き出します。



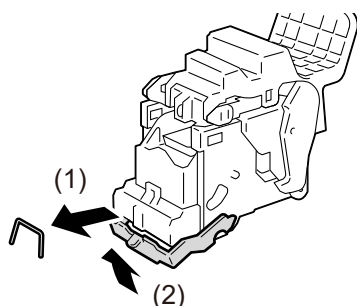
3. 中とじ用ホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



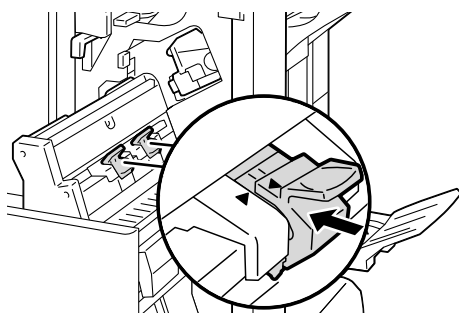
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し下げます。



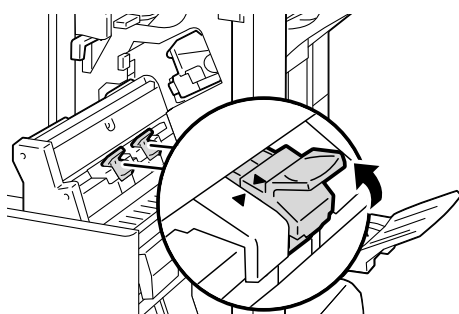
5. 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 4 で押し下げた金属部分を元に戻します (2)。



6. 中とじ用ホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



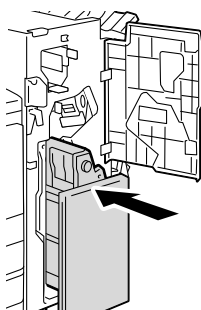
7. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がするのを確認します。



補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジの▶と、中とじユニットの◀が合うように戻してください。

8. 中とじユニットを元の位置に戻します。



9. フィニッシャの正面カバーを閉じます。

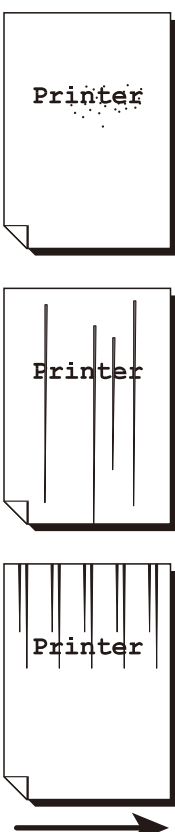
10.3 トラブルを解決する

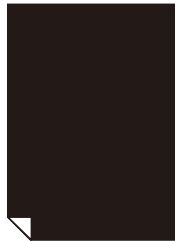
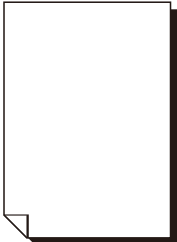
本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

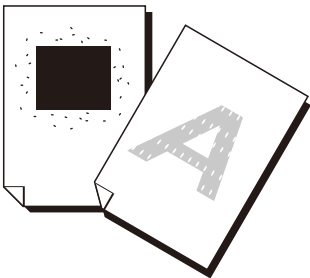
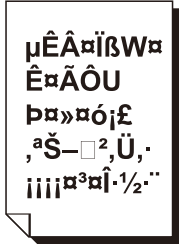
機器本体のトラブル

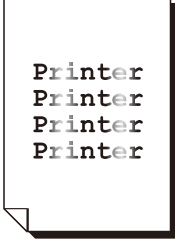
症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。 本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。
パネルに何も表示されない	節電状態になっている可能性があります。操作パネルの  (電源 / 節電) ボタンを押して、節電状態を解除してください。
異常な音がする	本機を安定した平面の上に移動してください。 トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。 本機内部に異物が入っている可能性があります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
本機内部に結露が発生する	スリープモードに移行する時間を 60 分に設定し、電源を入れたまま放置してください。本機内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [システム設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [暖機モード動作] を [する] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善することがあります。
節電状態に移行しない	次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 - 操作パネルで何らかの操作をしているとき - 消耗品や定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき - 紙詰まりが起きた、カバーが開いているなどお客様の操作を必要としているとき - 故障などによりエラーが発生しているとき [暖機モード動作] が [する] に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

画質のトラブル

症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	使用している用紙が適切ではありません。用紙トレイの設定を確認の上、適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。残量を確認の上、新しいトナーカートリッジと交換してください。
	プリンタードライバーからプリントした場合は、階調補正を行ってください。詳しくは、「階調を補正する」(P.192)を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する 等間隔に汚れが起きる 	トナーセーブ機能が有効になっています。 プリンタードライバーの「[詳細設定]」タブ (NPDL) / 「[グラフィックス]」タブ (ART EX) で「[トナー節約]」をしないように設定してください。 参照 ・詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	用紙搬送路に汚れが付着していることがあります。 数枚プリントしてください。
	定着器が汚れていることがあります。  > 「[設定]」 > 「[保守]」 > 「[定着器クリーニング]」で定着器に付着した汚れをクリーニングしてください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	特殊な用紙では定着ができないことがあります。適切な用紙に交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	電源または高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
	電源または高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
白抜けや白筋、または色筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	本体内部（LED プリントヘッド部）が汚れています。本体内部を清掃してください。 参照 ・詳しくは、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」（P.211）を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。  > [設定] > [保守] > [画質調整] > [転写出力調整] > [サンプルプリント番号指定調整] で転写出力を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写出力の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写出力の値を上げます。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっています。 プリンタードライバーの [詳細設定] タブで、TrueType フォントを置き換えないように設定してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 詳しくは、「用紙をセットする」(P.58) を参照してください。

症状	原因 / 処置
用紙送り方向に対して垂直方向に濃度のムラがある 	機械管理者モードにログインし、 > [設定] > [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] で濃度ムラを調整してください。詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）」(P.203) を参照してください。
周期的な縦方向の濃度ムラがある 	機械管理者モードにログインし、 > [設定] > [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] で濃度ムラを調整してください。詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）」(P.203) を参照してください。
色味がおかしい	プリンタードライバーからプリントした場合は、階調補正を行ってください。詳しくは、「階調を補正する」(P.192) を参照してください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されていることを確認してください。
	トナーセーブ機能が有効になっています。 プリンタードライバーの [詳細設定] タブ (NPDL) / [グラフィックス] タブ (ART EX) で [トナー節約] をしないように設定してください。 参照 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわが付く	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をよくさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。 用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわが付くことがあります。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイが正しく選択されない	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されていることを確認してください。
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 ・ 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 ・ 用紙を裏返してください。 ・ トレイ 1～4 を使用している場合は、トレイ 5（手差し）を使用してください。
トレイ 5（手差し）から用紙が送られない	プリンタードライバーの【給紙 / 排出】タブの【給紙選択】（NPDL） / 【トレイ / 排出】タブの【用紙トレイ選択】（ART EX）を【自動】に設定しています。トレイ 5（手差し）を選択してください。または ART EX の場合は、トレイ 5（手差し）を自動選択トレイの対象に設定してください。
トレイ 5（手差し）から用紙を送った際、用紙の先端が折れる	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 トレイ 5（手差し）の用紙セット枚数を 30 枚以下に減らしてください。 用紙のセット方向を変更してください。用紙トレイ 1～4 から用紙を送ってください。
正しいトレイが選択されない	NPDL プリンタードライバーから、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、はがき、往復はがき、洋形 4 号以外の用紙サイズを指定してプリントしていますか？ NPDL プリンタードライバーからプリントする場合は、上記サイズ以外は定形外サイズとして扱われるため、指定した用紙がセットされているトレイが選択されないことがあります。

プリントのトラブル

症状	原因 / 処置
状態表示ランプが点滅している	操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。 参照 詳しくは、「IP アドレスを変更する」(P.40) を参照してください。
	受信制限の設定を確認してください。
	一度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファ容量の設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。 プリントデータが複数ある場合は、一度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
	NPDL プリンタードライバーで定形外の用紙を選択していませんか？ NPDL プリンタードライバーはサポート用紙サイズ (A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、はがき、往復はがき、洋形 4 号) 以外は定形外サイズとして扱います。 サポート用紙サイズ以外は、給紙先指定が自動、または給紙先を指定しても、用紙補給 / エラーになることがあります。
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをおすすめします。
	プリンタードライバーの [詳細設定] タブ (NPDL) / [グラフィックス] タブ (ART EX) で、[印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。 参照 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブで、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。
	厚紙、コート紙など用紙の種類によりプリント速度が遅くなることがあります。 また、連続運転をしていて、本機内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。そのまま、連続運転したり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。そのときは、電源を切って、しばらく待ってプリンター内部の温度を下げた後、電源を入れ直してください。

症状	原因 / 処置
プリントを指示していないのに、[プリントしています。] が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、プリントを中止してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。
	 > [設定] > [保守] > [画質調整] > [アライメント調整] でプリントする位置を調整してください。

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN に接続できない	Wi-Fi の設定が無効になっています。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] を [有効] に設定し、[Wi-Fi 接続設定] を設定してください。
	無線 LAN アクセスポイントの SSID が間違っています。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] の一覧から正しい SSID を選択するか、[手動設定] から正しい SSID を入力してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本体との通信が遮断されていることがあります。ファイアウォールの設定を確認してください。
	無線 LAN アクセスポイントが IEEE802.11a/b/g/n/ac に準拠していることを確認してください。
無線 LAN アクセスポイントの SSID は正しいのに接続できない Wi-Fi 設定の通信状態が未接続になっている	無線 LAN アクセスポイントの SSID とパスワードが本機に誤って入力されていることがあります。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] から該当する SSID を選択し、正しいパスワードを入力してください。
	本機の Wi-Fi 設定の動作周波数帯が固定 (2.4/5 GHz) で、無線 LAN アクセスポイントの SSID と異なっていることがあります。 本機の Wi-Fi 設定の周波数帯を、無線 LAN アクセスポイントに合わせて変更してください。
	本機の Wi-Fi の暗号化設定がアクセスポイントの設定と異なっていることがあります。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] > [暗号化設定] から正しい暗号情報を設定してください。
	無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス制限により、本機の MAC アドレスが許可されていないことがあります。 本機の MAC アドレスが無線 LAN アクセスポイントのフィルタで許可されていることを確認してください。MAC アドレスは本機の操作パネルで確認できます。

症状	原因 / 処置
[Wi-Fi 接続設定] の一覧に接続する無線 LAN アクセスポイントが表示されない	本機の [Wi-Fi 接続設定] の一覧に表示されるアクセスポイントは 5 件までです。 アクセスポイントが表示されない場合は、機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] から SSID とパスワードを設定してください。
	無線 LAN アクセスポイントがステルスモードになっています。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [手動設定] から SSID とパスワードを設定してください。
	ルーターで以下を確認してください。 - 無線 LAN 機能があるか - ルーターの動作モード (ルーター / ブリッジ / AP / 中継機) が正しく設定されているか - ルーターの入れ替えや設定を変更していないか - モバイルルーターの接続可能台数を超えた機器が接続されていないか
[Wi-Fi 接続設定] で WPS で接続できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。
[Wi-Fi 接続設定] で WPS-PBC (プッシュボタン方式) で設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [WPS 設定 (プッシュボタン)] から設定してください。
[Wi-Fi 接続設定] で WPS-PIN (PIN コード方式) で設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。 機械管理者でログインし、  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi 接続設定] > [WPS 設定 (PIN コード)] から設定してください。
Wi-Fi 設定の通信状態が「弱」になっている	無線 LAN アクセスポイントと本機の設置距離を近づけてください。
	複数の無線 LAN アクセスポイントがあり、同じ SSID を設定していることがあります。 本機に近い無線 LAN アクセスポイントの SSID とパスワードを本機に設定してください。 ローミング機能を使用する場合は、複数の無線 LAN アクセスポイントで同じ SSID とパスワードを設定してください。
	複数の無線 LAN アクセスポイントがあってチャンネルが混雑しているか、周囲に電子レンジや防犯カメラなどの電波に干渉する機器があります。 5 GHz で無線 LAN アクセスポイントと接続してください。 - 本機と無線 LAN アクセスポイントを近づけてください。

外部認証 (LDAP) の設定

症状	原因 / 処置
ログインに時間がかかり、同じユーザーでログインに成功したり、失敗したりする	• LDAP サーバーの検索範囲が大きすぎる • 検索範囲に含まれるエントリー数が多すぎる [検索起点エントリー (DN)] と [起点からの検索範囲] を見直します。詳しくは、「[外部認証サーバー設定]」(P.138) を参照してください。 また、本機の LDAP サーバーへの通信時の待ち時間を十分長い時間に設定することでログインの失敗を回避できることがあります。ただし、ログインにかかる時間は短縮されないため、あくまでも暫定的な回避方法です。 次の手順で通信時の待ち時間を設定できます。 1. ホーム画面で  をタップします。 2. [設定] をタップします。 3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [認証システムの設定] をタップします。 4. 次の設定を確認し、必要に応じて変更します。 • [認証応答待ち時間の上限] LDAP サーバーに認証要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。 ネットワークへの負荷が疑われる場合には、この値を変更します。 • [ユーザー情報検索時間の上限] LDAP サーバーに検索要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。 LDAP サーバーへの負荷が疑われる場合には、この値を変更します。

10.4 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機のタッチパネルに表示される 6 桁の数字です。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載内容に従って対処をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因	処置
005-289 010-327 010-330 010-341	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
010-360 010-361 010-362 010-363 010-364 010-367 010-368 010-369	定着ユニットに異常があります。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
010-370 010-371	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
010-372	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
010-373	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
010-374	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
010-375 010-376	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
010-378	エラーが発生しました。	次の手順に従って、本機を再起動します。 1. プリントが完全に終了していることを確認し、  〈電源 / 節電〉ボタンを押します。 2. [再起動する] をタップします。
010-379 010-380 010-382 010-398 011-310	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
012-210 012-211 012-212 012-213 012-221 012-222 012-223 012-224 012-227 012-228 012-231 012-232 012-233 012-234 012-243	フィニッシャが故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-246	フィニッシャの中とじユニットが奥まで押し込まれていません。	中とじユニットを奥まで確実に押し込んで、電源を切って、入れ直してください。
012-247 012-249 012-263 012-265 012-266 012-268 012-269 012-274 012-279	フィニッシャが故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-283	フィニッシャが故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、フィニッシャのトレイ上の用紙を取り除いて、再度、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、電源を入れてください。
012-284 012-288 012-289 012-291 012-292 012-295 012-296 012-297 012-298 012-319	フィニッシャが故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-333	パンチユニットを制御するソフトウェアのダウンロードエラーです。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-334	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-351	フィニッシャでエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
012-403	フィニッシャでエラーが発生しました。	ホチキスの針を交換してください。
012-405	ホチキスの針がもうすぐなくなります。	予備の針を用意してください。

エラーコード	原因	処置
012-406	中とじ用のホチキス（手前側）の針がもうすぐなくなります。	予備の針を用意してください。
012-407	中とじ用のホチキス（奥側）の針がもうすぐなくなります。	予備の針を用意してください。
012-417	フィニッシャのパンチダストボックスが、切りくずでいっぱいになりました。	パンチダストボックスの切りくずを捨ててください。
012-500	フィニッシャにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
013-210 013-211 013-212 013-213	中とじフィニッシャでエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
013-217	フィニッシャの排出機構にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
013-220	中とじフィニッシャでエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
013-250	パンチユニットにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
013-291 013-292	フィニッシャでエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
014-210 014-211	フィニッシャが故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
014-247 014-248	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-210 016-211 016-212 016-213 016-214 016-215 016-217 016-218 016-219 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	本機の認証機能でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-242	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-244	自己署名証明書が自動更新できませんでした。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
016-248 016-250 016-310 016-311 016-315 016-316 016-317 016-318 016-319 016-321 016-324 016-325 016-326 016-327 016-335 016-336 016-337 016-345 016-346 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351 016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-359 016-361 016-362 016-364 016-365 016-366 016-367 016-369 016-370 016-371 016-372 016-383 016-384 016-386	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-400	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なります。	Ethernet1 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。	Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	Ethernet1 で、認証接続がタイムアウトになりました。	本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-403	Ethernet1 側の設定ルート証明書が一致していませんでした。	認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書検証] を [しない] にしてください。
016-404	Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を実行してください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。	証明書の初期化を実行してください。
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。	次のどれかの方法で処置してください。 • 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 • SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。	カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-421	本機から用紙トレイが取り外されました。	取り外した用紙トレイを本機に装着してください。
016-422 016-423	オフライン状態です。	次のどれかの方法で処置してください。 • ほかのメッセージが表示されている場合は、その処置をしてください。 • メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまでお待ちください。 それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-424 016-425	節電モード中です。	節電モードを解除してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なります。	Ethernet2 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。	Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 で、認証接続がタイムアウトになりました。	本機の Ethernet2 と接続されている認証サーバーの設定や接続が正しいかを確認してください。
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致していませんでした。	認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書検証] を [しない] にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。

エラーコード	原因	処置
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。	本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定してください。SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選んでください。
016-438	エラーが発生しました。	ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。
016-439	アップデート可能なファームウェアがあります。	対処は不要です。
016-441	画質調整中です。	操作は必要ありません。しばらくお待ちください。
016-442	自動メンテナンス中です。	操作は必要ありません。しばらくお待ちください。
016-443	結露が発生している可能性があります。	表示されたメッセージに従って、操作を行ってください。
016-449	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているかを確認してください。
016-454	DNS サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。	DNS サーバーの設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。	ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。	SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-500 016-501	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-513	SMTP サーバーとの接続でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 (1) SMTP サーバーまたはネットワークに負荷がかかっています。 (2) SMTP 送信ポート番号が正しくありません。	• (1) の処置 SMTP サーバーまたはネットワークに負荷がかかっている場合は、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 • (2) の処置 SMTP 送信ポート番号が正しく設定されているかを確認してください。
016-514	XPS 文書の処理中にエラーが発生しました。	XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバーを使用して印刷してください。 XPS 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、E メールプリント、文書プリントなど) した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバーを使用して印刷してください。
016-515	XPS 文書の処理中にメモリーが不足しました。	次のどちらかの方法で処置してください。 • プリンタードライバーの [詳細設定] タブ (NPDL) / [グラフィックス] タブ (ART EX) で [印刷モード] を [標準] にする • XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ARTEX、PCL など) を使用して印刷する

エラーコード	原因	処置
016-516	XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。	プリントジョブを送信したアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。
016-517	PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。	PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。 補足 PostScript データのプリントには PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-518	PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。	PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。 補足 PostScript データのプリントには PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-519	設定された印字可能な面数に達したため、終了しました。	機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。	LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。	本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。	LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機のインターネットサービスで、[システム] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。	LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機のインターネットサービスで、[システム] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。	本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機のインターネットサービスで、[システム] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証内部エラーです。	ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-529	Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間（45 秒内）にサーバーから応答がありませんでした。	ネットワーク接続を確認してください。 RemoteDownload サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。Windows Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。	ファイルを確認してください。
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。	DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。	接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	Remote Download ファイルをストレージへ書き込む際に、エラーが発生しました。	Remote Download サーバーから取得したファイルをストレージに書き込みません。ストレージの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ストレージを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。	ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社の別売ソフトウェア）から削除されました。	〔認証先〕画面にある〔最新情報に更新〕をタップして認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社の別売ソフトウェア）にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社の別売ソフトウェア）とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社の別売ソフトウェア）をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。 ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスソリューション株式会社の別売ソフトウェア）がインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとしました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-548	本機が ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）に登録されていません。	本機を ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）に登録してください。
016-553	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のバージョンを上げる必要があります。また、上げたバージョンに本機が対応していることを確認してください。
016-554	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できず、タイムアウトになりました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。
016-556	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。	サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を行ってください。 それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）を確認してください。
016-557	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の内部エラーです。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）を確認してください。
016-558	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）から不明なエラーを受信しました。	お問い合わせの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。	必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）間で通信エラーが発生しました。	ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、ApeosWare Authentication Agent の「サーバー名 / IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。

エラーコード	原因	処置
016-562	アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の一時ユーザーデータベースに、同じ IC カードの情報を持つエントリーが複数見つかりました。	アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）の一時ユーザーエントリーを、同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
016-564	Remote Download Server の認証に失敗しました。	Remote Download Server にアクセスしたときの、ユーザー名とパスワードを確認してください。
016-568	ストレージアクセスエラー、またはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。	バックアップファイルを削除してください。
016-569	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）のエラーです。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-613	不正なアクセスを検知しました。	システム管理者に連絡し、監査ログで不正なアクセスが発生した時間を確認してください。 ネットワークケーブルを外してから本機を再起動し、正常に起動することを確認してください。
016-700	プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリント、または認証プリントの暗証番号の桁数が、本機に設定してある「蓄積時の暗証番号最小桁数」よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。	プリンタードライバーで設定する暗証番号は、本機に設定してある「蓄積時の暗証番号最小桁数」よりも大きい桁数を設定してください。
016-701	メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。	プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面や N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-702	プリントページバッファが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。	次のどちらかの方法で処置してください。 - プリンタードライバーの「[詳細設定] タブ (NPDL) / [グラフィックス] タブ (ART EX) で「[印刷モード]」を「[標準]」にする - プリンタードライバーで「[ページ印刷モード]」を利用する (ART EX のみ)
016-704	蓄積文書の最大文書数を超えました。	蓄積されている不要な文書を削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-705	本機用のプリンタードライバーを使用していません。	本機用のプリンタードライバーを使用してください。
016-706	セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えました。	蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーを削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-707	ストレージ（オプション）が故障しているため、サンプルプリントができませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-708	ストレージ（オプション）の領域が不足しているため、アノテーションができませんでした。	ストレージ（オプション）内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART EX 処理でエラーが発生しました。	プリントジョブを一度削除して、プリントし直してください。
016-710	ストレージ（オプション）が故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。	ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。
016-716	本機に蓄積できる容量を超えたため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。	本機内に蓄積されている不要な文書や登録ユーザーを削除するか、ストレージ（オプション）を装着してください。
016-718 016-719	メモリーが不足したため、PCL プリントデータを処理できませんでした。	解像度を低くしたり、両面や N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-720	PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-721	プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 (1) [設定] > [用紙トレイの設定] > [共通設定] > [用紙種類の優先順位] がすべての用紙種類で [自動トレイ選択しない] に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している (2) ESC/P のコマンドエラー	• (1) の処置 自動トレイ選択でプリントする場合は、[用紙種類の優先順位] で、用紙種類のどれかを [自動トレイ選択しない] 以外に設定してください。 • (2) の処置 プリントデータを確認してください。
016-722	本機で対応していないホチキスの指定や、フィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。	ホチキスの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-723	本機で対応していないパンチの指定やフィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。	パンチの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-724	ホチキスとパンチが両方指定されましたが、不可能な位置の組み合わせになっています。	ホチキスとパンチの位置が同じ側になるように指定し直して、もう一度プリントを指示してください。
016-726	プリントモード指定が [自動] の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）が取り付けられていない状態で、PostScript データを送信した可能性があります。	PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。

エラーコード	原因	処置
016-727	プリント指示した結果、0 ページの文書になったため、蓄積できず、ジョブがキャンセルされました。	プリントオプションで、白紙節約をしないに設定して再度プリントするか、原稿が白紙でないかを確認し、白紙であれば文字を入れてプリントしてください。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。	プリントデータを確認してください。
016-729	TIFF ファイルの色数 / 解像度が有効範囲の上限を超えているためプリントできませんでした。	TIFF ファイルの色数 / 解像度を変更して、もう一度プリントデータを指示してください。
016-730	ART IV でサポートされていないコマンドを検知しました。	プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	TIFF データが途切れてプリントできませんでした。	もう一度プリントを指示してください。
016-732	エミュレーションで指定したフォームが、プリンター側に登録されていません。	フォームを再登録して、もう一度プリントを指示してください。
016-738	PostScript で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。	製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成2書体）（オプション）が必要です。
016-739	PostScript で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていません。	製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成2書体）（オプション）が必要です。
016-740	PostScript で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。	製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。 補足 PostScriptデータのプリントにはPostScriptソフトウェアキット（平成2書体）（オプション）が必要です。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
016-746	受信した PDF に、本機では対応していない機能が含まれています。	PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使ってプリントしてください。
016-748	ストレージ（オプション）の領域が不足しているため、プリントできません。	プリントデータを分割する、複数部プリントしている場合は1部ずつプリントするなど、プリントデータのページ数を少なくしてください。

エラーコード	原因	処置
016-749	本機でプリントできないプリント言語データを受信しました。	本機用のプリンタードライバーを使用してプリントしてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。 補足 PostScript などプリントしたいプリント言語によっては、オプションが必要です。
016-750	ContentsBridge Utility などのファイルを直接送信してプリントするアプリケーションを使用している場合、PDF、XPS (XML Paper Specification)、DocuWorks とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していないプリント指示が含まれていました。	ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト（共通項目）、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
016-751	次の原因が考えられます。 (1) PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、または PDF ファイルの破損が発生しました。 (2) PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 (3) PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。	• (1) の処置 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 • (2) の処置 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 • (3) の処置 OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。 参照 - 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.123) を参照してください。 補足 - PostScript データのプリントには PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
016-752	メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。	PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で、印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。
016-753	パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。	[機械確認 (メーター確認)] > [プリンターモード] > [PDF エミュレーション設定] > [パスワード]、または ContentsBridge で、正しいパスワードを指定してください。
016-755	印刷禁止指定された PDF ファイルを処理しようとしていました。	Adobe Acrobat を使用して、印刷禁止指定を解除して再プリントしてください。
016-756	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機にプリントできるユーザーとして登録されていません。	機械管理者に確認してください。
016-757	アカウント情報が間違っています。	入力したアカウント情報、または登録されているアカウント情報を確認して、やり直してください。
016-758	サービスを利用できる部門として登録されていません。	集計管理者にご相談ください。

エラーコード	原因	処置
016-759	サービスを利用できる上限ページ数に達しました。	集計管理者にご相談ください。
016-760	PostScript の処理中にエラーが発生しました。	次のどちらかの方法で処置してください。 • PostScript プリンタードライバーで、[カラー] タブの [印刷モード] を [高速] に設定する • PostScript 使用メモリーを増やす 補足 • PostScript データのプリントには PostScript ソフトウェアキット (平成 2 書体) (オプション) が必要です。
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。	本機用のプリンタードライバーの [詳細設定] タブ (NPDL) / [グラフィックス] タブ (ART EX) で [印刷モード] を [標準] にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定してプリントしてください。 補足 • NPDL プリンタードライバーには [ページ印刷モード] 機能はありません。 参照 • [印刷モード] / [ページ印刷モード] については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。	[ポート設定] で、使用するポートのプリントモードに正しいプリント言語を指定してください。
016-781	次の原因が考えられます。 (1) メール送信時に、メールサーバーが見つかりませんでした (TCP/IP のセッション確立失敗)。 (2) メール送信時に、メールサーバーから本機へ SMTP サーバーエラーを受信しました。	(1) については、次のどれかの方法で処置してください。 • ネットワークケーブルを確認する • SMTP サーバーを IP アドレスで指定している場合は、IP アドレスが正しいか確認する (2) については、本機のホスト名を、ASCII 文字で指定してください。 使用できる文字 • アルファベット (a ~ z, A ~ Z) • 数字 (0 ~ 9)
016-792	「ジョブ別集計レポート」をプリントする場合に、指定したジョブの履歴が取得できませんでした。	指定されたジョブの履歴は存在しません。
016-794	USB が正しく挿入されていません。	USB が正しく挿入されているかを確認してください。
016-795 016-796 016-797	USB 内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。	コンピューターで、USB に記録されている内容を確認してください。
016-798	ストレージ (オプション) が取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。	ストレージ (オプション) が必要です。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	処置
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、用紙トレイ、両面指定などが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。	アプリケーション側のプリントデータとプリント設定を確認し、もう一度プリントを指示してください。また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。
017-501	プリントが許可されていません。	機械管理者に相談して、権限を変更してください。
017-503	プリントジョブの暗証番号が最大桁数を超過しています。	プリントジョブの暗証番号の桁数を減らして、もう一度操作を実行してください。
017-531 017-532 017-533 017-534 017-535	本体の更新処理にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-537	セキュリティ設定によって利用を禁止されているプリント記述言語（PDL）が使用されたためプリントを中止しました。	1. 機械管理者にセキュリティ設定が適切に運用されているかを確認してください。 2. 適切に運用されている場合は、制限されていないプリント手段（プリンタードライバー ART-EX/PCLXL/PostScript など）を使用してください。
017-546	ジョブが実行できません。	機械管理者がインターネットサービスを使用し、[システム] > [初期設定] > [PJL ファイルシステムコマンド] が [禁止] になっているかを確認してください。
017-551	NPDJ ジョブを実行するときに、エラーが発生しました。次のいずれかの設定をしている場合は、NPDJ ジョブを実行できません。 • 手差しトレイ以外の定形サイズ用紙がセットされたトレイに対して、定形外サイズ用紙を指定した場合 • 手差しトレイ以外の定形外サイズ用紙がセットされたトレイに対して、定形サイズ用紙を指定した場合 • 手差しトレイ以外の定形外サイズ用紙がセットされたトレイに対して、設定されたサイズと異なる、定形外サイズ用紙を指定した場合	用紙サイズと給紙トレイをもう一度設定して、ジョブを実行してください。
017-552 017-553 017-554	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。	ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。	ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。

エラーコード	原因	処置
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。	ThinPrint .print Engine のエラーの可能性があります。再度プリントすると成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信されたプリントデータが本機で扱える最大サイズを超えました。	ジョブを分割して、再度プリントしてください。
017-704	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。	ThinPrint .print Engine に登録しているサーバー証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。	本機の設定を確認してください。
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。	DocuWorks Viewer からプリンタドライバを使用してプリントしてください。
017-724	関連商品からのプリント指示でエラーが発生しました。	お使いの機種が関連商品に対応しているかを確認してください。関連商品に対応している場合は、もう一度同じ操作を行ってください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。	強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名を確認してください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか • ネットワークケーブルが接続されているか
017-734	AirPrint の処理中に、内部エラーが発生しました。	プリンタドライバやほかのソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。	機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。	インターネットサービスの [システム] > [ソフトウェアバージョンアップ設定] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] が選択されているかを確認してください。
017-756	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
017-760	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 (1) TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 (2) それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。	• (1) の処置 POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 • (2) の処置 本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
017-761	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。	本機に正しい POP3 サーバーのサーバー証明書を登録してください。
017-762	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-763	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-764	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。	正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-765	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 (1) TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 (2) それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。	• (1) の処置 POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 • (2) の処置 本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。	本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。	POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。	正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	エラーが発生しました。	もう一度同じ操作を行ってください。
017-780	プリントジョブの追い越しを [許可] に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。	特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [システム設定] > [その他の設定] > [プリントジョブの追い越し] を [禁止] にしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。	認証方式を [事前共有鍵] に設定した場合はパスワード、[デジタル署名による認証] に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。

エラーコード	原因	処置
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。	認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止の設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	各インターフェイスを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。	各インターフェイスに別々の IP アドレスを設定し直してください。
018-407	各インターフェイスを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。	各インターフェイスに別々の IP アドレスを設定し直してください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-413	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-424	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。	本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。

エラーコード	原因	処置
018-425	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。	証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-426	WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。	- サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 - 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。	Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	無線 LAN アダプタ（オプション）が正しく接続されていません。	本機の電源を切り、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられていることを確認してください。
018-429	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-431	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-433	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-435	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。	本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-440	[IP 動作モード] が [IPv6 モード] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。	[IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4 モード] に変更してください。

エラーコード	原因	処置
018-441	[無線 LAN 設定] の [動作周波数帯] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。	機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [基本設定] > [動作周波数帯] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。
018-443	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-444	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。	DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-452	POP 受信中にエラーが発生しました。	インターネットサービスから、POP 設定をやり直してください。
018-456	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時に ID プロバイダーへの接続エラーが発生しました。	1. 本機と ID プロバイダー間のネットワークが遮断されていないかを確認する。 2. DNS サーバー設定をやり直す。 3. プロキシサーバー設定をやり直す。 4. サーバー証明書検証が有効になっている場合、ID プロバイダーの CA 証明書をインポートする。 5. 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。
018-457	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時にエラーが発生しました。	インターネットサービスで SMTP 設定をやり直してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。	サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。	ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。	もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。	ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。	認証サーバーの状態を確認してください。
018-533	不正な形式のメールを受信しました。	メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメールが残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受信するか、削除してください。
018-534	LDAP サーバーのデータベースから取得した認証用ユーザー名の属性または IC カード認証に使用する属性が、32 文字を超えました。	LDAP サーバーのデータベース上に定義されている、認証用ユーザー名の属性値または IC カード認証に使用する属性値が、32 文字を超えないよう修正してください。
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリが複数見つかりました。	LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。

エラーコード	原因	処置
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。	もう一度、認証操作を行ってください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。	しばらくしてから、もう一度同じ操作を行ってください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。	環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 • 本機の IPv4 アドレスを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認する • DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 • 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているかを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認する • IPv6 ルーターが正しく設定されているかを確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。Kerberos サーバーに、本機で利用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで利用できる認証方式と一致するものありません。	次のどれかの方法で処置してください。 • Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。 • 本機の FIPS 認証モードを解除してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。	パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。	IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。	IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。	次のどれかの方法で処置してください。 • KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録する • KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新する • 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認する
021-210 021-211 021-212	IC カード読み取り装置（オプション）にエラーが発生しました。	IC カード読み取り装置（オプション）の接続を確認して、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、IC カード読み取り装置（オプション）が故障している可能性があります。壊れていない IC カード読み取り装置（オプション）を取り付けて、もう一度電源を入れなおしてください。
021-213	インターネットを使用する関連商品の単価テーブルの設定に問題があります。	機械管理者がインターネットサービスを使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ～ 9999999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。

エラーコード	原因	処置
021-214 021-360 021-361	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-401	設定した数より多い IC カード読み取り装置（オプション）などの認証機器が差し込まれました。	差し込んだ認証機器を抜いてください。
021-402	プロキシサーバー名のアドレス解決に失敗しています。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-403	EP 運用センター、または EP 通信集約サーバーソフトウェアのアドレス解決に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-404	サーバーの電源が切れていたなどの理由により、サーバーまたはプロキシサーバーに接続できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定（BB-Direct 構成の場合） 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-405	外部サーバーとの SSL 通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-406	外部サーバーの SSL 証明書が正しくありません。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-407	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシサーバーの認証に失敗しました。（HTTP ステータスコード 407 を受信）	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバーの認証ユーザーを確認する • EP プロキシサーバーの認証パスワードを確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-408	インターネットを使用する EP システムとの通信で通信タイムアウトが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 (BB-Direct 構成の場合) 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-409	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-410 021-411	インターネットを使用する EP システムとの通信で認証局 (CA) との通信時 (EP 証明書取得時) に通信エラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 (BB-Direct 構成の場合) 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-412	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー URL 設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-413	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-414	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP クライアント証明書発行局または EP プロキシサーバーから応答を受信できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-415	インターネットを使用する EP システムとの SSL/TLS 通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-416	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-417	インターネットを使用する EP システムとの通信で EP プロキシサーバーの認証に失敗しました。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバー URL 設定 • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-418	プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。	HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-419	EP システムとの通信に使用する、プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。	HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-420	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイル取得通信時に通信タイムアウトが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • サブネットマスク設定を確認する • インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認する • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-421	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの取得通信時にエラーが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • DNS サーバーアドレス設定を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認する • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
021-422	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルが見つかりませんでした。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、HTTP サーバーにプロキシ設定ファイルが登録されていない可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-423	プロキシ設定ファイルのサイズが大きすぎたため、プロキシ設定ファイルを取得できませんでした。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、プロキシ設定ファイルのサイズを確認してください。64 KB を超えている場合は、この大きさに収まるように修正します。
021-424	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシサーバーと通信するための、プロキシ設定ファイルの URL 情報が間違っています。	インターネットサービスの EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク管理者に確認し、プロキシ設定ファイルの URL が正しいか確認する。または下記のとおり、DHCP サーバーか DNS サーバーのプロキシ設定ファイルの URL 情報を確認します。 • DHCP オプションが 252 になっているか確認する • wpad. (ドメイン名) ホストの SRV レコードが正しいか確認する
021-425	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの URL 情報 (CURL) を取得する通信時に DHCP サーバーまたは DNS サーバーと通信タイムアウトしました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続を確認する • DNS サーバーアドレス設定を確認する • デフォルトゲートウェイ設定を確認する • EP プロキシサーバー設定 (CURL) を確認する • プロキシ設定ファイルの URL 情報を登録した DHCP または DNS サーバーの稼働状況を確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-426	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシ設定ファイル URL 情報 (CURL) を取得するための通信時に DHCP サーバーまたは DNS サーバー上に URL 情報 (CURL) が見つかりませんでした。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバー設定を確認する • DHCP サーバーまたは DNS サーバーにプロキシ設定ファイルの URL 情報が正しく登録されているかを確認する 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-441	EP 証明書の取得時にエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定
021-501	インターネットを使用する EP システムとの通信に失敗しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-502	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
021-503	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、または DNS サーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-504	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-505	EP サーバーとの SSL/TLS 通信に失敗しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-506	EP サーバーのサーバーの SSL 証明書が正しくありません。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-507	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-508	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害、またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-509	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-510	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	EP システムの契約期間を確認してください。
021-511 021-512 021-513 021-514	EP サーバーで、本機がすでに設定されています。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-515 021-516	EP サーバーでの本機の設定が正しくありません。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-517 021-518 021-519	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。

エラーコード	原因	処置
021-520 021-521 021-522	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	次の項目を確認してください。 • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 BB-Direct 構成の場合は、次の確認をしてください。 • EP プロキシサーバー設定 これらの設定を確認しても状態が改善しない場合は、ネットワーク障害または DNS サーバー障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
021-523	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	SOAP ポートを起動して、電源を切って、入れ直してください。
021-524 021-525 021-526 021-527 021-528	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-529	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、すでに最新バージョンのソフトウェアになっています。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-530 021-531	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-532 021-533 021-534 021-535	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、ソフトウェアバージョンアップができません。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-536	ソフトウェアに最新の設定が反映されていません。	本機を再起動してソフトウェアを最新の状態にしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-538	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。	機械管理者に相談してください。
021-539	ソフトウェアバージョンアップの予約日時に本機を使用中だったため、バージョンアップを実行できませんでした。	機械管理者に相談してください。
021-540	ソフトウェア更新ファイルのダウンロード中に本機の電源が切られたため、ソフトウェアの更新処理に失敗しました。	必要に応じ、再度操作してください。
021-541	本機の動作設定不正のため、ソフトウェアの更新機能を実行できませんでした。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
021-542 021-543	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
021-545	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	EP システムの契約期間を確認してください。
021-582	ソフトウェアのバージョンアップが、何らかの一括設定 / 取得処理と干渉することを検知しました。	仕様設定メニューを終了してから、本機の画面を操作せずに最大 5 分程度待ち、再度ソフトウェアのバージョンアップを行ってください。 状態が改善されないときは、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-700	USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。	USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
021-701	USB インターフェイスにエラーが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度操作するか、USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
023-500 024-312 024-313 024-314 024-315 024-321 024-322 024-323 024-324 024-367 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
024-700	オプション機能を利用するために必要なストレージ（オプション）が取り付けられていません。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
024-701	指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。	組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	〔設定〕 > 〔アプリ設定〕 > 〔プリンター設定〕 > 〔その他の設定〕で〔紙づまり発生時のプリント処理〕を〔プリントを中止する〕に設定しているときに、紙詰まりが発生しました。	詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-703	製本可能な枚数の上限を超えているためプリントできませんでした。	坪量の少ない用紙に変更してください。または、製本の作成を解除してください。
024-704	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
024-705	指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。	本機に登録されているテンプレートを選んでください。
024-706	〔設定〕 > 〔システム設定〕 > 〔複製管理〕 > 〔強制複製管理 - クライアントプリント〕、または〔設定〕 > 〔システム設定〕 > 〔ペーパーセキュリティ〕 > 〔強制ペーパーセキュリティ〕 > 〔クライアントプリント〕が〔する〕に設定された状態で、関連商品から指示された文書を印刷しようとした。	機械管理者でログインし、操作パネルで  > 〔設定〕 > 〔認証 / 集計管理〕 > 〔認証 / セキュリティ設定〕 > 〔強制印字の一時解除〕を〔する〕に設定してください。
024-707	用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。	用紙の種類を変更するか、片面プリントに変更してください。
024-708	用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。	用紙の種類を変更するか、おもて面プリントに変更してください。
024-742	プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。	プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせできない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面のどれか）が指定されました。	プリントデータを確認してください。
024-747	原稿サイズ、用紙サイズ、用紙トレイ、両面プリント、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
024-775	プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。	プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。
025-596 025-597	ストレージ（オプション）にエラーが発生しました。	ストレージ（オプション）を交換する必要があります。
026-400	USB ホストポートに 3 つ以上の機器が接続されています。	接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-403	本機に高温エラーが発生しました。	操作は必要ありません。しばらくすると自動的に処理が再開します。
026-404	トナーを調整しています。	操作は必要ありません。しばらくお待ちください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。	DocuWorks Viewer からプリンタードライバを使用してプリントしてください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。	ContentsBridge Utility の印刷モードが〔高画質〕になっている場合は〔標準〕に、〔標準〕の場合は〔高速〕に変更してください。または、DocuWorks Viewer からプリンタードライバを使用してプリントしてください。

エラーコード	原因	処置
026-706	印刷禁止指定された DocuWorks 文書进行处理しようとした。	DocuWorks Viewer を使用して印刷禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書进行处理する場合、パスワードが一致していませんでした。	[機械確認 (メーター確認)] > [プリンターモード] > [DocuWorks プリント設定] > [パスワード]、または ContentsBridge で、正しいパスワードを指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。	次のどれかの方法で処置してください。 - メール送信者に暗号方式 (3DES) で暗号化したメールの送信を依頼してください。 - 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。	プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-724 026-725	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。	指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
027-442 027-443 027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。	正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。	本機 IPv6 の「IPv6- 手動設定 IP アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 の IPv6 アドレスが重複しています。	重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IPv4 の IP アドレスが重複しています。	本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。	SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-501	POP サーバーに接続できませんでした。	POP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。	インターネットサービスから POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。

エラーコード	原因	処置
027-505	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時にデバイス送信データのエラーが発生しました。	- SMTP の設定が正しいか確認する。 Exchange Online/Outlook.com SMTP クライアント設定 ・テナント ・クライアント ID ・スコープ Microsoft Entra エンドポイント設定 ・ホスト名 ・デバイスコードパス ・トークンパス - インターネットサービスから、SMTP 設定をやり直す。
027-506	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時に接続エラーが発生しました。	- 本機と同じネットに接続された PC で、Web ブラウザからマイクロソフトの Azure ポータルにアクセス可能か確認する。 - 本機で以下が正しく設定されているか確認する。 ・DNS サーバーアドレス ・プロキシサーバー ・Microsoft Entra エンドポイント設定のホスト名 - 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。
027-507	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時にサーバー証明書検証のエラーが発生しました。	- 本機に Azure のサービスのエンドポイントで 사용되는 CA 証明書がインポートされているか確認する。 - 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。
027-508	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時に接続先のエンドポイントのホスト名解決に失敗しました。	- 本機で以下が正しく設定されているか確認する。 ・DNS サーバーアドレス ・プロキシサーバー ・Microsoft Entra エンドポイント設定のホスト名 - 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。
027-509	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時にプロキシサーバーのホスト名解決に失敗しました。	- 本機で以下が正しく設定されているか確認する。 ・DNS サーバーアドレス ・プロキシサーバー - 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。
027-510	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時に更新トークンの有効期限切れを検知しました。	インターネットサービスで SMTP 設定をやり直してください。
027-511	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時に認証したアカウントのメールアドレスの取得に失敗しました。	- Microsoft Entra ID または Exchange 管理センターで SMTP 設定時に認証したアカウントに対するメールアドレスが正しく設定されているか確認する。 - インターネットサービスから、SMTP 設定をやり直す。
027-512	SMTP 送信用のアクセストークンの更新時にエラーが発生しました。	- 設定内容とネットワークの接続状態を確認する。 - 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れる。 - インターネットサービスから、SMTP 設定をやり直す。
027-701	本機からネットワークケーブルが抜けています。	ネットワークケーブルが抜けていることを確認し、ケーブルを接続し直してください。

エラーコード	原因	処置
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。	送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。	送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。	送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。	送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。	送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。	送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。	送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するよう連絡してください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。	DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。	連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携に失敗しました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。	連携するアプリケーション ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先のステータスが不明になりました。	ApeosWare Management Suite 2（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の別売ソフトウェア）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。

エラーコード	原因	処置
027-757	次の原因が考えられます。 (1) サーバーとの通信でエラーが発生しました。 (2) 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 (3) SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致していませんでした。 (4) 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 (5) SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 (6) サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。	• (1) の処置 ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 • (2) の処置 本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 • (3) の処置 本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないかを確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 • (4) の処置 本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているかを確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 • (5) の処置 本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 • (6) の処置 本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。	指定したパラメーターを確認してください。
027-763	外部のアカウントिंगサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。	次のどれかの方法で処置してください。 • 外部アカウントिंगサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているかを確認する • ネットワークに障害がないかを確認する • ネットワークケーブルを正しく接続する • 本機の設定を確認する
027-796	メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。	メール本文やメールヘッダー情報などもプリントする場合は、インターネットサービスのプロパティ画面で、設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。	正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
029-704	Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの形式が無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
029-705	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
029-706	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-707	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときにエラーになり、ファイルが見つかりませんでした。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル (PAC) の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル (PAC) を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-708	Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL が無効です。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル (PAC) の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル (PAC) を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-709	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-710	Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	ネットワーク管理者に相談して、DHCP サーバーに PAC ファイルの URL 情報が登録されているかどうかを確認してください。
029-711	Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
029-712	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
029-713	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-714	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル (PAC) の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル (PAC) を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-715	Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL が無効です。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル (PAC) の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル (PAC) を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
029-716	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
029-717	Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-731	セカンダリーイーサネット (オプション) でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。	ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64 KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。

エラーコード	原因	処置
029-732	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバーアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-733	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバーアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-734	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。
029-735	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL が無効です。	本機のインターネットサービスで、[システム] > [EP サービス] > [EP プロキシサーバー設定] > [プロキシサーバー設定方法] が [プロキシ設定ファイル（PAC）の URL を設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシ設定ファイル（PAC）を自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-736	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。	次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。
029-737	セカンダリーイーサネット（オプション）でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。	DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

エラーコード	原因	処置
041-310 041-316 041-317 041-340 041-341 041-344 041-345 041-346 041-350 041-352 041-353 041-354 041-355 041-356 041-358 041-368 041-369 041-388 041-391 041-500 041-501 042-324 042-329 042-342 042-344 042-347 042-385 043-322 043-338 043-345 043-346 043-347 043-348 043-349 043-351 043-352 043-353 043-354 043-355 043-356 044-312 044-313 044-314 044-329 044-389 045-310 045-311 045-359 045-368	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
045-369 045-377 045-382	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
047-211 047-212	オフセット排出ユニットにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
047-213	異なるタイプのフィニッシャが取り付けられていることを検知しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
047-216	フィニッシャとの接続異常が発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
047-217	大容量トレイモジュール（オプション）との接続異常が発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
047-320 048-500 049-500 057-330 058-322 058-323 058-324 058-325 058-326 058-327 058-328 058-329 058-330 058-331 058-332 058-333 058-334	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
058-335 058-337	トレイに設定されている用紙種類とは異なる用紙です。	トレイに設定している用紙種類を変更してください。
058-338 060-345 060-346 060-347 060-348 060-353 060-354 060-355 060-356 060-357 060-358 060-359 060-360 060-361 060-363 060-364 060-365 060-366 060-367 060-368 060-369	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
060-370 060-371 060-372 060-373 060-374 060-375 060-376 060-377 060-378 060-379 060-380 060-381 060-382 060-383 060-384 060-385 060-386 060-387 060-388 060-389 060-390 060-391 060-392 060-393 060-394 060-395 060-396 060-397 060-398 060-399 061-310 061-362 061-363 061-364 061-365 061-366 061-367 061-368 061-369 061-370 061-371 061-372 061-373	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
061-400	「結露予測通知あり」を検知されました。	タッチパネルディスプレイの画面指示に従って、暖機運転モードを設定してください。
062-311 062-313 062-345 062-357 062-360 062-362 062-371	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
062-380	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 注記 本機に結露が発生している状態で使用したとき、本エラーが表示される場合もあります。その場合はしばらく時間をあけてから、もう一度電源を入れてください。
062-386 062-389 062-393 062-395 062-397 062-398 062-500 063-500 065-221 065-222 065-223 065-224 065-225	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
071-210	トレイ 1 が故障しました。	トレイ 1 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
071-212	トレイ 1 が故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 1 以外の用紙トレイは使用できます。
071-452	トレイ 1 が開いています。	トレイ 1 を閉じてください。
071-461	トレイ 1 が正しく動作していません。	トレイ 1 が確実に取り付けられていることを確認してください。
072-210	トレイ 2 が故障しました。	トレイ 2 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
072-212	トレイ 2 が故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
072-452	トレイ 2 が開いています。	トレイ 2 を閉じてください。
072-461	トレイ 2 が正しく動作していません。	トレイ 2 が確実に取り付けられていることを確認してください。
073-210	トレイ 3 (オプション) が故障しました。	トレイ 3 (オプション) の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 3 (オプション) 以外の用紙トレイは使用できます。
073-212	トレイ 3 (オプション) が故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 3 (オプション) 以外の用紙トレイは使用できます。
073-452	トレイ 3 (オプション) が開いています。	トレイ 3 (オプション) を閉じてください。
073-461	トレイ 3 (オプション) が正しく動作していません。	トレイ 3 (オプション) が確実に取り付けられていることを確認してください。

エラーコード	原因	処置
074-210	トレイ 4 (オプション) が故障しました。	トレイ 4 (オプション) の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 4 (オプション) 以外の用紙トレイは使用できます。
074-212	トレイ 4 (オプション) が故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 4 (オプション) 以外の用紙トレイは使用できます。
074-452	トレイ 4 (オプション) が開いています。	トレイ 4 (オプション) を閉じてください。
074-461	トレイ 4 (オプション) が正しく動作していません。	トレイ 4 (オプション) が確実に取り付けられていることを確認してください。
075-212	トレイ 5 (手差し) が故障しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 なお、トレイ 5 (手差し) 以外の用紙トレイは使用できます。
077-211	異なるタイプの用紙トレイモジュールが取り付けられていることを検知しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
077-314 077-320	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
078-216 078-219	大容量トレイモジュール (オプション) にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
078-250	トレイ 6 (大容量トレイモジュール (オプション)) にエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
078-500 089-313 089-314 089-316 089-317 091-328 091-329 091-330 091-331	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
091-407	ドラムカートリッジ [R1] にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ [R1] を取り出し、もう一度差し込んでください。
091-417	ドラムカートリッジ [R4] にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ [R4] を取り出し、もう一度差し込んでください。
091-427	ドラムカートリッジ [R3] にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ [R3] を取り出し、もう一度差し込んでください。
091-437	ドラムカートリッジ [R2] にエラーが発生しました。	ドラムカートリッジ [R2] を取り出し、もう一度差し込んでください。
091-449	ドラムカートリッジでエラーが発生しました。	タッチパネルディスプレイの画面指示に従って、ドラムカートリッジを交換してください。

エラーコード	原因	処置
092-312 092-313 092-314 092-315 092-329 092-330 092-331 092-332 093-324 093-335 093-336 093-337 093-338	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
093-401	トナーカートリッジ [Y] (イエロー) が正しくセットされていないか、または未装着です。	トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を一度外して再度装着してください。または、トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を装着してください。
093-403	トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) は正しくセットされていないか、または未装着です。	トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を一度外して再度装着してください。または、トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を装着してください。
093-404	トナーカートリッジ [C] (シアン) は正しくセットされていないか、または未装着です。	トナーカートリッジ [C] (シアン) を一度外して再度装着してください。または、トナーカートリッジ [C] (シアン) を装着してください。
093-426	トナーカートリッジ [K] (ブラック) にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ [K] (ブラック) を一度抜いて、再度挿入してください。
093-427	トナーカートリッジ [Y] (イエロー) にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を一度抜いて、再度挿入してください。
093-428	トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を一度抜いて、再度挿入してください。
093-429	トナーカートリッジ [C] (シアン) にエラーが発生しました。	トナーカートリッジ [C] (シアン) を一度抜いて、再度挿入してください。
093-459	トナーカートリッジでエラーが発生しました。	タッチパネルディスプレイの画面指示に従って、トナーカートリッジを交換してください。
094-318 099-364 099-373 099-395 102-311 102-312 102-313 102-314 102-315 102-316 102-317 102-318 102-319 102-356	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
112-700	フィニッシャのパンチダストボックスが、パンチくずでいっぱいになりました。	パンチダストボックスのパンチくずを捨ててください。
116-210 116-211 116-212	USB メモリーにエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-220	ダウンロードモードへの移行に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
116-312 116-313 116-314 116-315 116-317 116-319 116-321 116-323 116-324 116-325 116-330 116-331 116-332 116-334 116-336 116-337 116-340	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-342	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
116-343 116-348 116-349 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368 116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-383 116-384 116-385	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
116-388	ストレージ（オプション）が取り付けられていません。	ストレージ（オプション）を取り付けてください。
116-389 116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-399	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。	ストレージ（オプション）を取り付けてください。
116-702	代替フォントでプリントされました。	プリントデータを確認してください。
116-703	PostScript でエラーが発生しました。	次のどれかの方法で処置してください。 • プリントデータを確認してください。 • PostScript 使用メモリーの割り当てを増やしてください。
116-704	USB メモリー内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。	USB メモリーが正しく挿入されているかを確認してください。
116-705 116-706 116-707 116-708 116-709	USB メモリー内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。	コンピューターで、USB メモリーに記録されている内容を確認してください。
116-710	受信データが HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。	HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。	用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。	不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	蓄積できる領域がいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。	複数ページを部数 1 でプリントした場合は処置不要です。プリンタードライバーで [ソートする [1 部ごと]] にチェックマークを付けて複数ページを部数 2 以上でプリントした場合は、プリント結果のページ順を確認してください。 ストレージ（オプション）を装着すると、ジョブ分割の頻度を抑えることができます。
116-714	HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。	不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ストレージ（オプション）を取り付けている場合は 2048 で、ストレージ（オプション）を取り付けていない場合は 64 です。
116-716 116-717	USB メモリー内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。	コンピューターで、USB メモリーに記録されている内容を確認してください。

エラーコード	原因	処置
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。	登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。	不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。	不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。	用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	ART IV 用のメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。	不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	プリントデータに本機の制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。	不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ストレージ（オプション）を取り付けている場合は 2048 で、ストレージ（オプション）を取り付けていない場合は 64 です。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。	不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV 用のメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。	メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。	プリントデータを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。	登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART IV,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。	ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。
116-748	HP-GL/2 のプリントデータに描画データがありません。	プリントデータを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。	フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの用紙トレイに不具合があります。	バナーシートの用紙トレイを正常な状態に戻すか、バナーシートの用紙トレイを変更してください。
116-751	蓄積できる領域の容量がいっぱいで処理が中止されました。	蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。	もう一度同じ操作を行ってください。

エラーコード	原因	処置
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	データに含まれるパラメーターに問題があったため、自動修正しました。	ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	受信したメールの添付文書に問題があります。	添付文書を確認してください。
116-790	すべての部数をホチキス留めをしないでプリントしました。	ホチキスの設定位置が正しいかを確認し、もう一度実行してください。
117-311 117-312	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-319 117-320 117-321 117-322 117-323 117-324 117-326 117-327 117-329 117-331 117-332 117-333 117-334	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-339	不揮発性メモリーのバックアップが見つかりませんでした。	新しいストレージ（オプション）を本体から取り外し、直前のストレージ（オプション）を取り付けてください。電源を切ると、不揮発性メモリがバックアップされます。
117-340	ストレージ（オプション）が無効です。	正しいストレージ（オプション）または未フォーマットのストレージ（オプション）を取り付けてください。
117-345	データ設定中です。	処理が終わるまで電源を切らずにお待ちください。
117-347 117-352 117-353 117-355 117-357	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-358	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-360	日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。電源再投入後、正しい値を設定してください。
117-362 117-363	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-364	暗号鍵情報は無効です。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-365	Wi-Fi 診断でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-367	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
117-373	データの変換に失敗しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-375	ストレージ（オプション）の暗号化に失敗しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-376	ストレージ（オプション）の暗号化に失敗しました。次の原因が考えられます。 • ストレージ（オプション）暗号化で不正な鍵が使用された • ファイルシステムが破損している • ストレージ（オプション）が故障している	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-379	エラーが発生しました。	ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。接続できる状態にして、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-380	ファームウェアの署名検証に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-381	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
117-382	ファームウェアの署名検証に失敗しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
117-383 117-384 117-385 117-386 117-387 117-388 117-390 118-310 121-310	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-311	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	IC カード読み取り装置（オプション）を接続している場合は、機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [パスワードの運用] > [パスワード使用 -IC カード認証時] が [する] に変更されます。必要に応じて、設定を変更してください。
121-312 121-313	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、機械管理者でログインし、操作パネルで  > [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] で [認証 / 集計の設定] を [外部認証 / 集計] 以外の設定にしてください。
121-314 121-317	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-318 121-322 121-323	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
121-325	本機の起動時に、本機が許容できない組み合わせを検知したため、[IC カード接続時の認証] の設定を自動的に [IC カードのみ] に変更しました。このエラーは次の条件がすべて満たされたときに発生します。 • USB 接続の IC カードリーダーと EP 関連商品が併用されている • [認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計] に設定されている • [IC カード接続時の認証] が [IC カードまたはパネル入力] に設定されている	次のどちらかの方法で処置してください。 • IC カードとパネル入力の認証を併用しない場合 [IC カード接続時の認証] が自動的に [IC カードのみ] に変更されたので、そのままご利用になれます。特に処置は必要ありません。 • USB 接続の IC カードリーダーのみ本機に接続し、IC カードとパネル入力の認証を併用する。
121-327	本機がサポートしていない商品が接続されたことを検知しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-328	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-329 121-330 121-331 121-332	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-333	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	接続機器の電源が入っているか確認し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-334 121-335 121-336 121-337 121-338	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-339	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	入金装置の単価テーブルを確認してください。単価テーブルに未設定の単価ある場合は、単価設定を修正し、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
121-340 121-341 121-342 121-343 121-350 121-370	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因	処置
123-310 123-311 123-312 123-325 123-326 123-333 123-343 123-344 123-362 123-368 123-369 123-371 123-374 123-377 123-379 123-380 123-381 123-382 123-383 123-384 123-389 123-390 123-392 123-393 123-395 123-396 123-397 123-398 123-399 124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-326	エラーが発生しました。	画面の指示にしたがって情報を入力してください。
124-327	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-328	フィニッシャのパンチユニットの設定が必要です。	画面案内にしたがって、パンチユニットを選択してください。

エラーコード	原因	処置
124-329 124-332 124-335 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355 124-356 124-357 124-359 124-360 124-361 124-362 124-363 124-367 124-368 124-369 124-370 124-371 124-372 124-373 124-374 124-375 124-376 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-700	指定した断裁後の仕上がりサイズが断裁可能な範囲を超えたため、断裁せずにプリントしました。	断裁可能な仕上がりサイズを指定して、もう一度プリント指示してください。
124-701	指定した排出先（サイドトレイ）が故障しているため、排出先を変更しました。	故障している排出トレイ以外の排出トレイは使用できません。
124-702	指定した排出先（フィニッシュャトレイ）が故障しているため、排出先を変更しました。	故障している排出トレイ以外の排出トレイは使用できません。

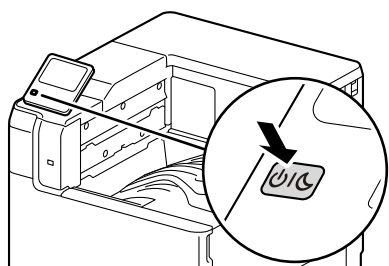
エラーコード	原因	処置
124-705	パンチの設定を解除しました。	パンチの設定位置が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-706	紙折りの設定を解除しました。	紙折りの設定が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-708	用紙の排出先が、指定したトレイとは別のトレイに排出されました。次の原因が考えられます。 (1) 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた (2) フィニッシャのパンチが故障した	• (1) の処置 指定したサイズの用紙が用紙トレイにセットされているかを確認してください。 • (2) の処置 本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
124-709	ホチキスで留められる枚数を超えています。	ホチキスで留められる枚数を超えないようにするか、ホチキスの設定を解除し、もう一度実行してください。
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。	操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選択して排出されます。
124-714	何らかのエラーにより、折り目を付けられません。	折り目を付けずにプリントしてください。
124-717	プリント速度が遅くなりました。	ジョブが完了するまでお待ちください。
125-311 127-310 127-314 127-315 127-353 127-398 127-399 132-312 132-313	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
132-314	エラーが発生しました。	お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
132-315 149-500 161-319 161-320 161-321 161-322 178-500	エラーが発生しました。	本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

11 オプション製品の取り付け

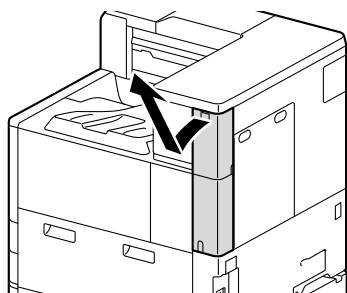
最新の情報については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

11.1 無線 LAN アダプタの取り付け

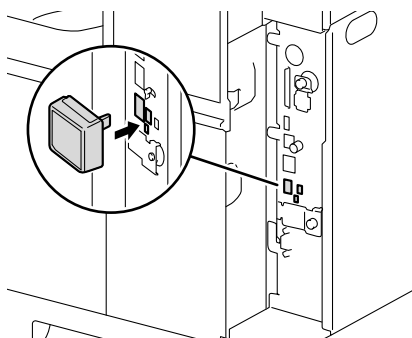
1. 電源 / 節電 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の右奥カバーを外します。



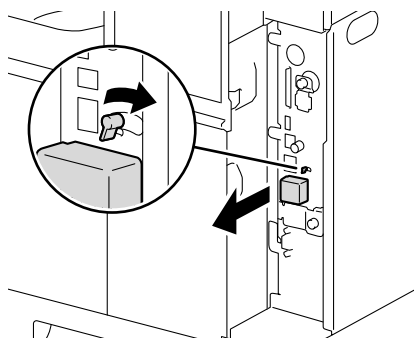
4. 無線 LAN アダプタのコネクターを無線 LAN アダプタソケットにまっすぐ差し込みます。



補足

- 無線 LAN アダプタを取り外す場合は、ロックレバーを矢印の方向に動かしたまま、無線 LAN アダプタを取り外してください。

- ロックレバーを矢印の方向に動かした状態で、無線 LAN アダプタが取り外せない場合は、無理な操作はしないで
お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。



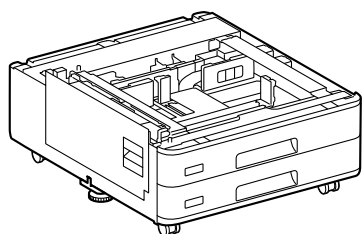
5. 本機の右奥カバーを取り付けます。
6. 電源コードを接続します。
7. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

11.2 2トレイモジュール、タンデムトレイモジュール、専用スタンド、専用キャスタ台の取り付け

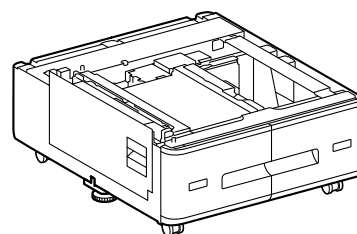
本機下部に次のオプション製品を取り付けることができます。

注記

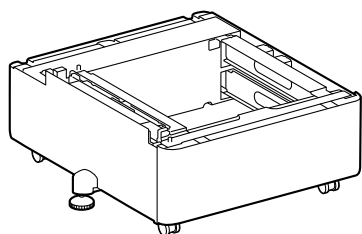
- オプション製品を取り付けた場合、本機を持ち上げるときは、オプション製品を外してください。



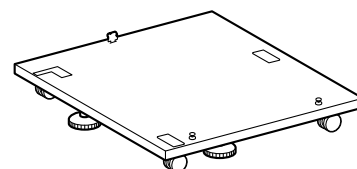
2トレイモジュール



タンデムトレイモジュール



専用スタンド



専用キャスタ台

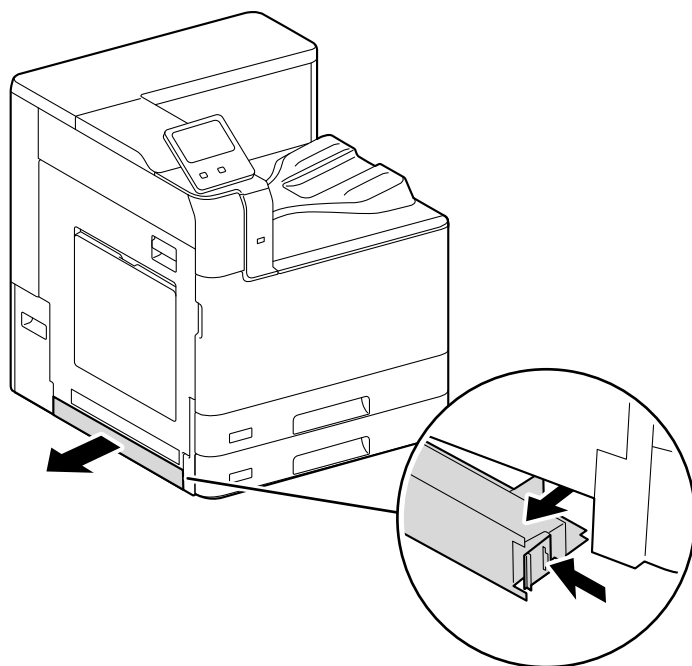
オプション製品は、次の人数で持ち上げてください。

- 2トレイモジュール：3人以上
- タンデムトレイモジュール：3人以上
- 専用スタンド：2人以上
- 専用キャスタ台：2人以上

ここでは、2トレイモジュール（トレイ 3、4）を取り付ける場合を例に説明します。

タンデムトレイモジュールを取り付ける場合も、手順は同じです。取り付け手順の「2トレイモジュール」を「タンデムトレイモジュール」に読み替えてください。

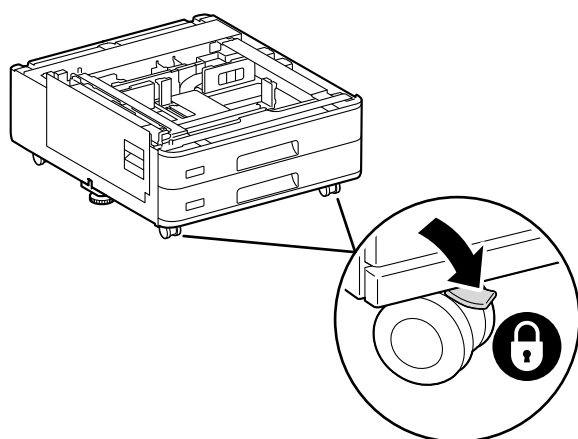
1. **⏻(電源 / 節電) ボタン**を押し、**「電源を切る」**を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の左側面のカバーを外します。



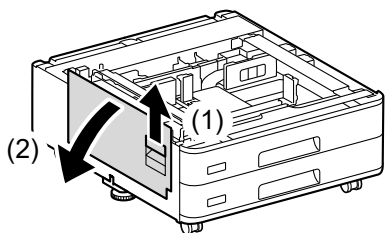
補足

- 外したカバーは保管してください。カバーは、トレイモジュール（オプション）が取り付けられている間は使用しません。

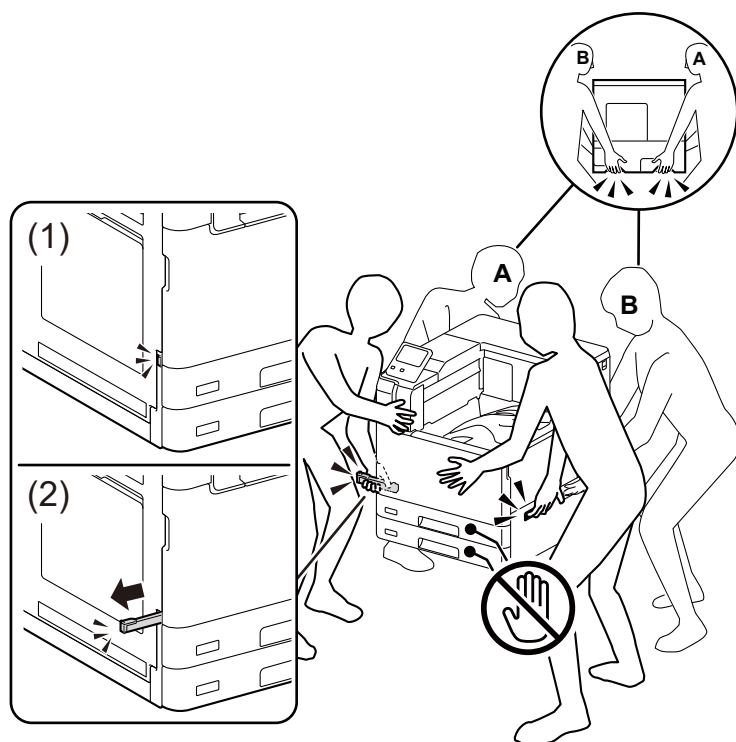
4. 2トレイモジュールを設置場所に置きます。
5. 前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。



6. 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを開けます。



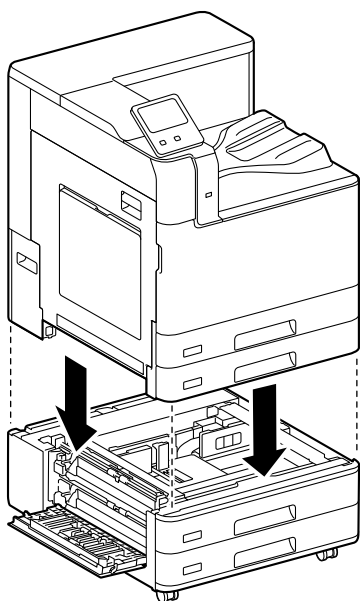
7. 本機の左側面から持ち手を引き出し、持ち手を持って、次の図のように本機を持ち上げます。



注記

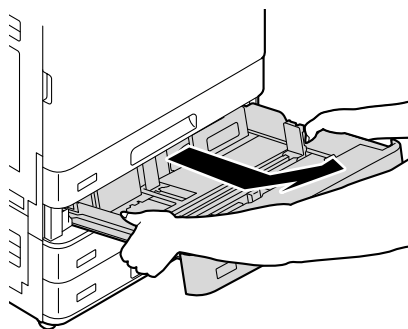
- 本機は、必ず4人以上で持ち上げてください。

8. 本機と2トレイモジュールの角を合わせ、静かに下ろします。

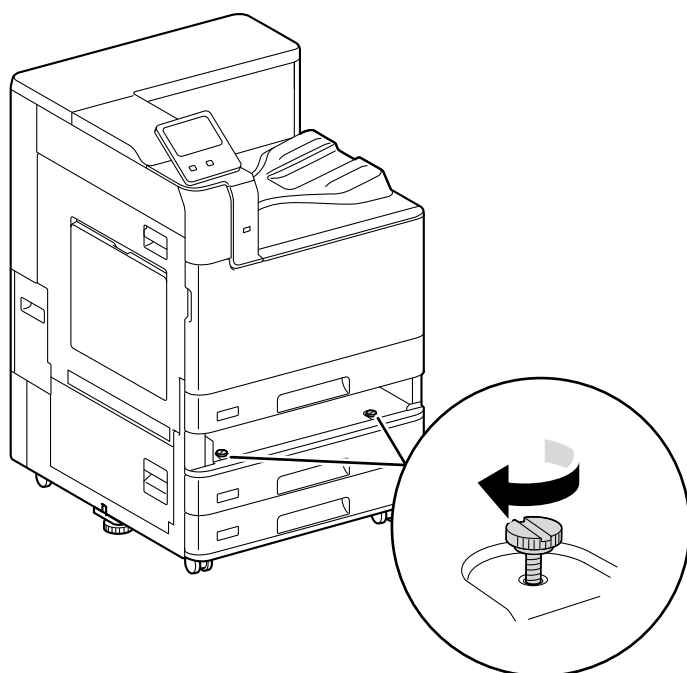


9. 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを閉じます。

10. トレイ 2 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。

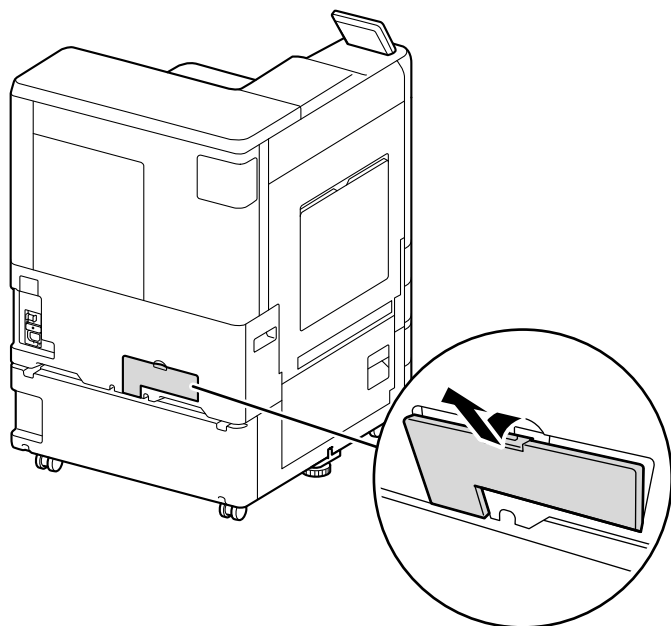


11. 付属のネジをコインなどで締め、本機を 2トレイモジュールに固定します。

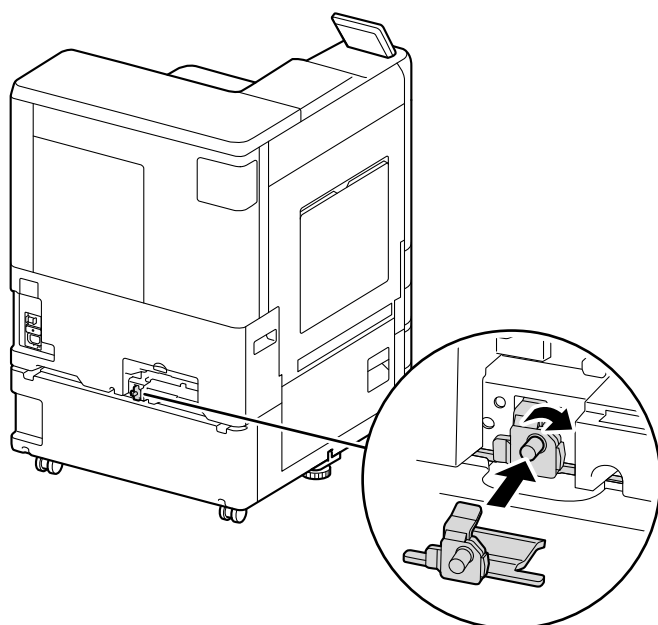


12. 本機にトレイ 2 を押し込みます。

13. 本機の背面のケーブルカバーを外します。

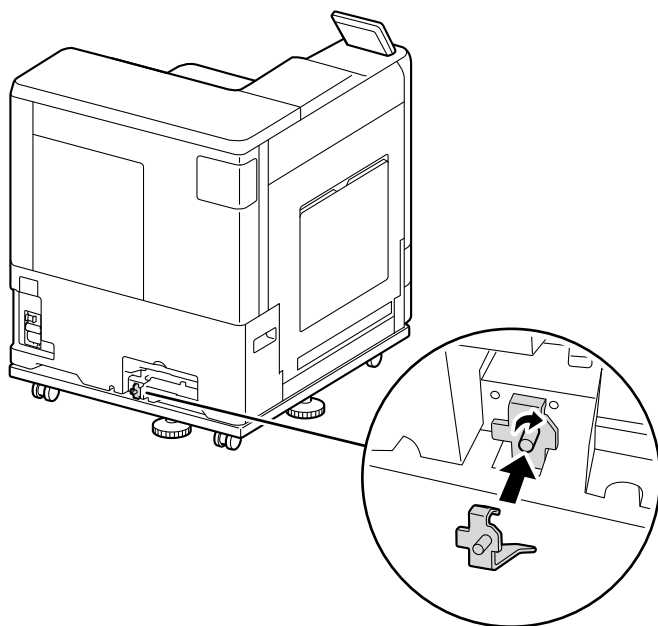


14. 付属のジョイントで本機と2トレイモジュールを固定します。

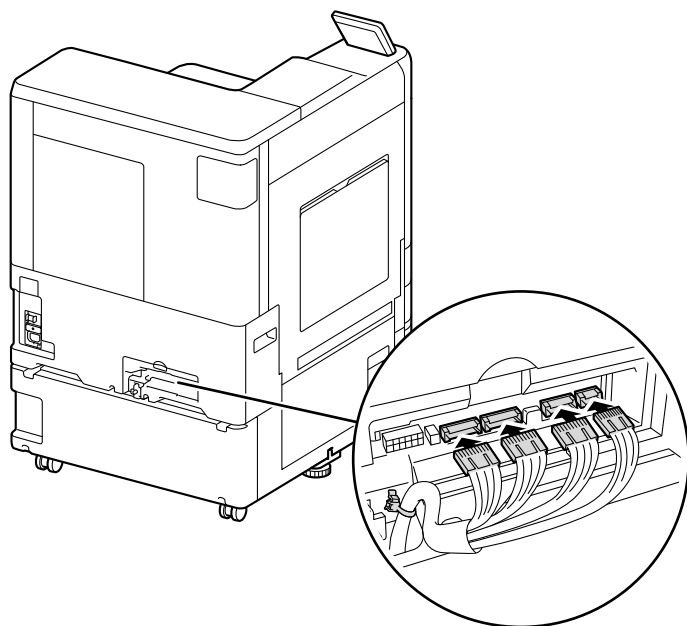


補足

- 専用キャスタ台の付属のジョイントは形状が異なります。次のイラストを参考にしてください。



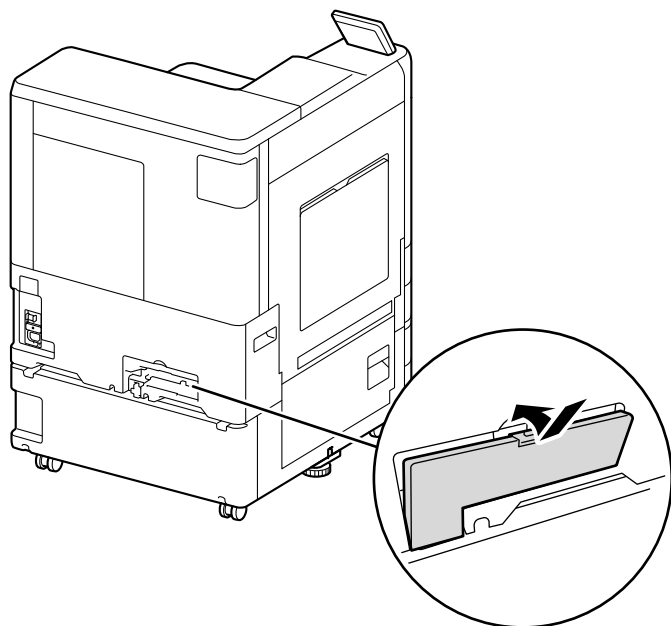
15. コネクターケーブルを接続します。



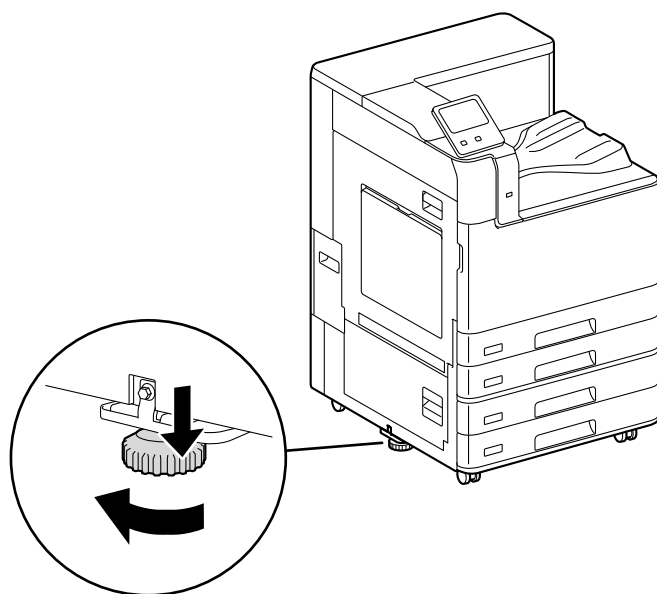
補足

- 専用スタンドと専用キャスタ台ではこの手順は不要です。

16. ケーブルカバーを取り付けます。



17. 転倒防止ストッパーの高さを調節します。



18. 電源コードを接続し、**電源 / 節電** ボタンを押します。

19. プリンタードライバーのプロパティで、プリンター構成のオプションの設定を変更します。

補足

- 専用スタンドと専用キャスタ台はこの手順は不要です。

参照

- 変更方法については、「プリンタードライバーでオプション製品の設定をする」(P.35) を参照してください。

11.3 小サイズ給紙トレイの取り付け

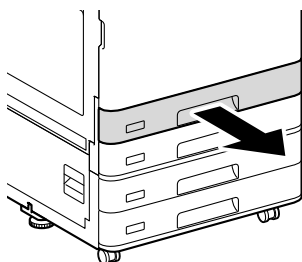
小サイズ給紙トレイを取り付ける

標準のトレイ 1 を本機から取り外して、オプション製品の小サイズ給紙トレイを本機に取り付けます。

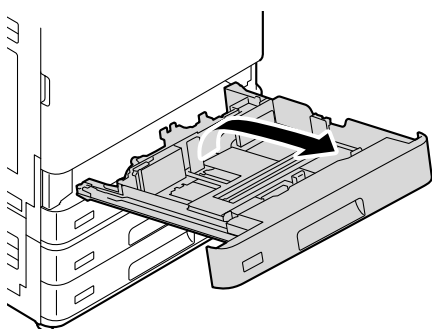
注記

- 小サイズ給紙トレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。他のトレイの場所には取り付けられません。

1. トレイ 1 を、手前に止まるまで引き出します。



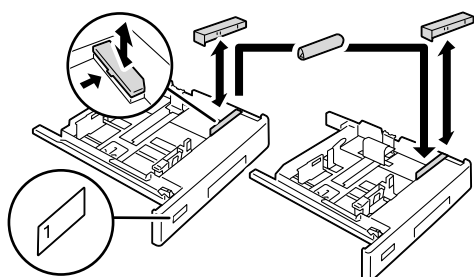
2. トレイ 1 の手前を少し持ち上げながら、トレイ 1 を本機から取り外します。



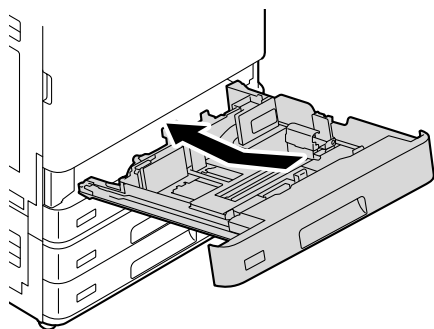
補足

- 用紙トレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、トレイ 1 から小サイズ給紙トレイに移します。



4. 小サイズ給紙トレイをスロットに差し込み、ゆっくりと押し込みます。



参照

- 小サイズ給紙トレイに用紙をセットする方法については、「トレイ 1（（小サイズ給紙トレイ）（オプション））にセットする」(P.62) を参照してください。

5. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

6. ホーム画面で をタップします。

7. [設定] をタップします。

8. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。

9. [小サイズ給紙トレイの使用] の をタップして有効にします。

10. < を 2 回タップします。

11. [用紙トレイ設定] > [トレイ 1] をタップします。

12. [小サイズ給紙トレイ] の をタップして有効にします。

13. [OK] をタップします。

14. 𐀀(ホーム) ボタンを押します。

15. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。

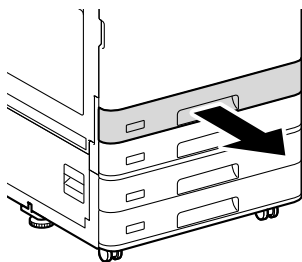
16. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。[プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。

- [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
- [オプションの設定] > [小サイズトレイ] を [あり] にします。

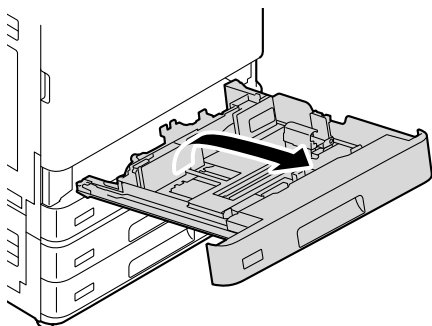
小サイズ給紙トレイを取り外す

オプション製品の小サイズ給紙トレイを本機から取り外して、標準のトレイ 1 を本機に取り付けます。

1. 小サイズ給紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



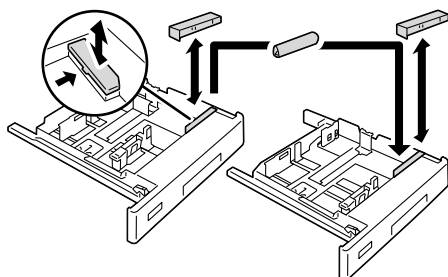
2. 小サイズ給紙トレイの手前を少し持ち上げながら、小サイズ給紙トレイを本機から取り外します。



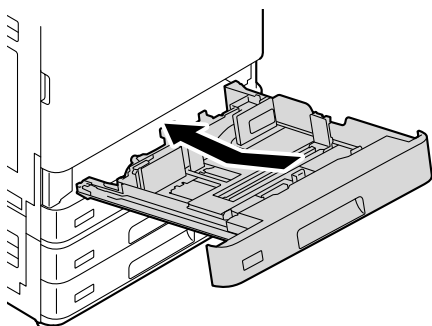
補足

- 小サイズ給紙トレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、小サイズ給紙トレイからトレイ 1 に移します。



4. トレイ 1 をスロットに差し込み、ゆっくりと押し込みます。



参照

- トレイ 1 に用紙をセットする方法については、「トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする」(P.59) を参照してください。

5. 機械管理者でログインします。

参照

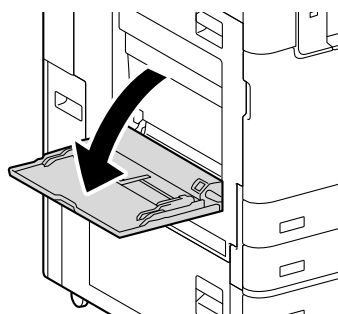
- ログインの方法については、「ログイン」(P.43)を参照してください。

6. ホーム画面で  をタップします。
7. [設定] をタップします。
8. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。
9. [小サイズ給紙トレイの使用] の  をタップして無効にします。
10. 𐀀(ホーム) ボタンを押します。
11. コンピューターで [スタート] > [設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] をクリックします。
12. 本機を選んで [管理] > [プリンターのプロパティ] をクリックします。[プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。
 - [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
 - [オプションの設定] > [小サイズトレイ] を [なし] にします。

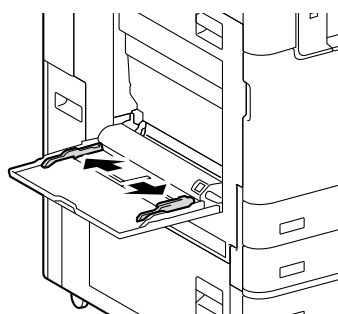
11.4 長尺用紙セットガイドの取り付け

長尺用紙セットガイドはトレイ 5 (手差し) に取り付けることができます。

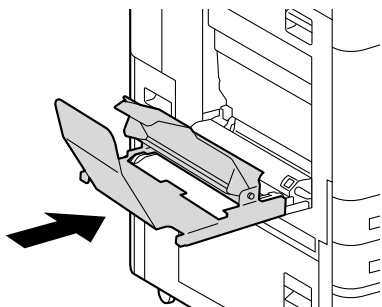
1. トレイ 5 (手差し) を開きます。



2. トレイ 5 (手差し) の用紙ガイドを、いっぱいまで開きます。



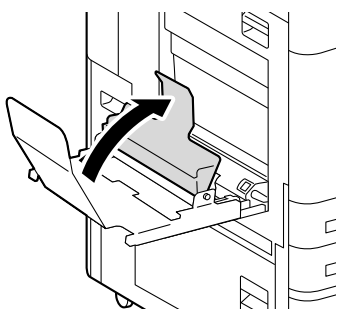
3. 長尺用紙セットガイドをトレイ 5（手差し）に差し込みます。



補足

- 本体に突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。

4. 用紙受けを、本体側に向けて立てます。

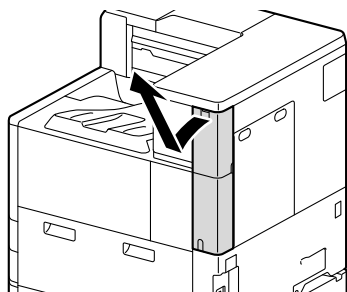


11.5 ストレージの取り付け

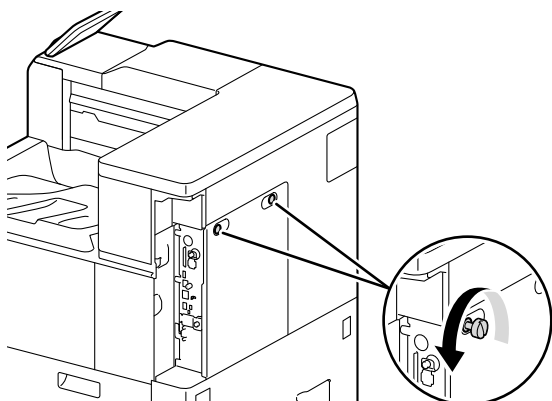
補足

- 一度取り付けたストレージは、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

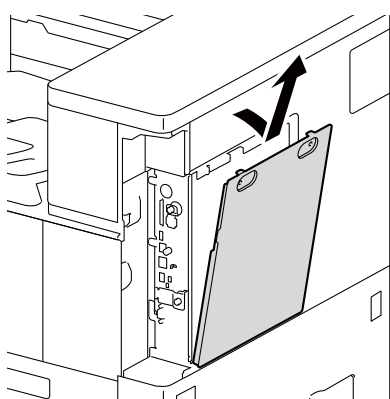
1. 電源 / 節電 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の右奥カバーを外します。



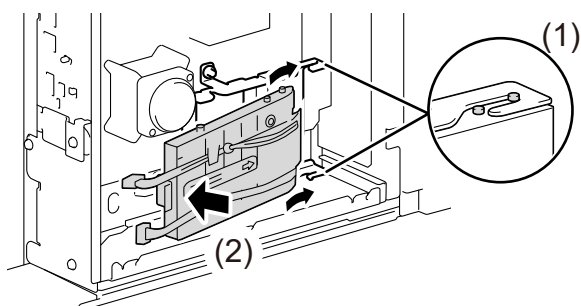
4. 背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。



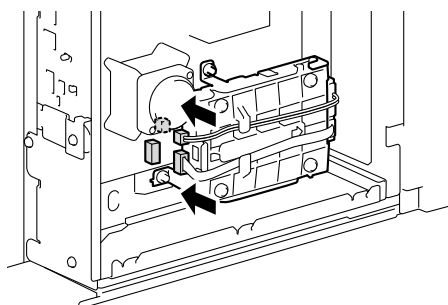
5. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



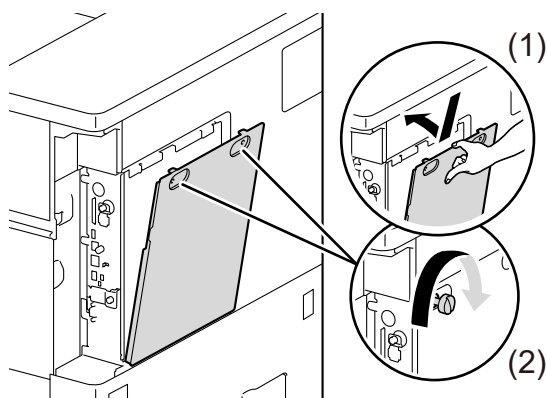
6. ストレージの突起部をフレームのくぼみに正しくはめ (1)、コネクタケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます (2)。



7. ストレージのコネクタケーブル (2 本) を、コントローラーボード上のコネクタに接続します。



8. 背面カバーを戻し、ネジで 2 か所を固定します。

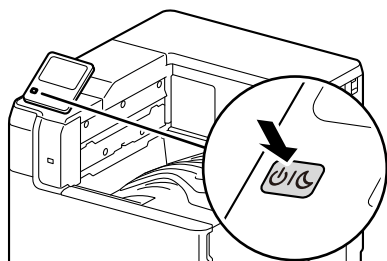


補足

- 背面カバーは、図の (1) のとおり下に押し付けながら閉めてください。

9. 電源コードを接続します。

10. (電源 / 節電) ボタンを押して、電源を入れます。



補足

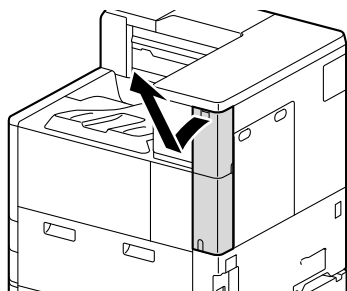
- ストレージの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプション製品の設定をする」(P.35) を参照してください。

11.6 セカンダリーイーサネットカードの取り付け

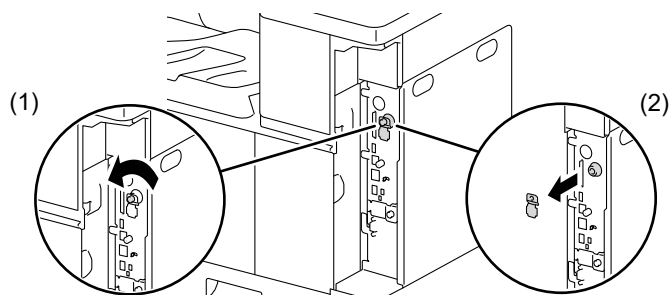
1. (電源 / 節電) ボタンを押し、「電源を切る」を選んで、電源を切ります。

2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

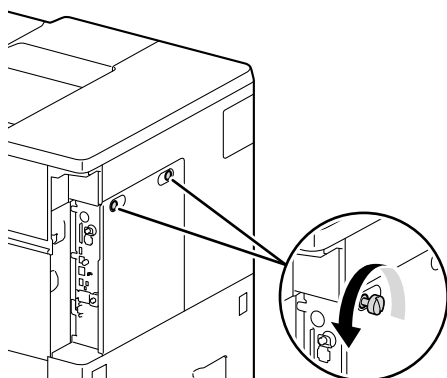
3. 本機の右奥カバーを外します。



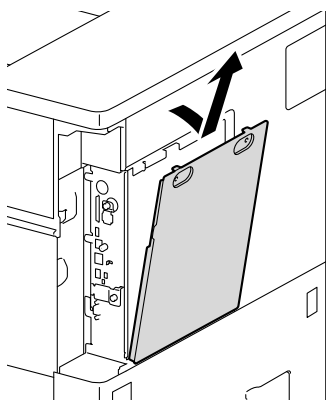
4. ネジを外し、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



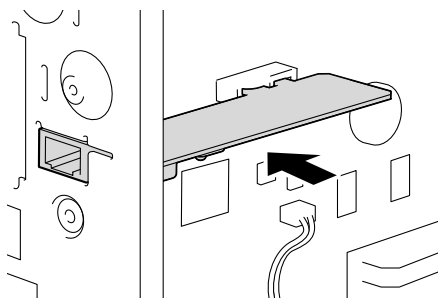
5. 背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。



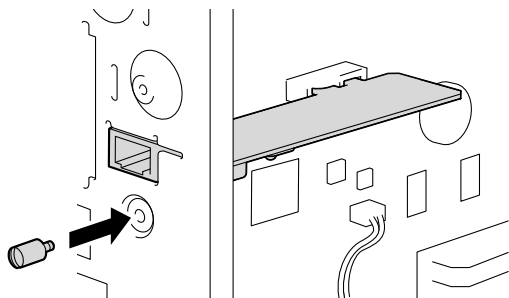
6. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



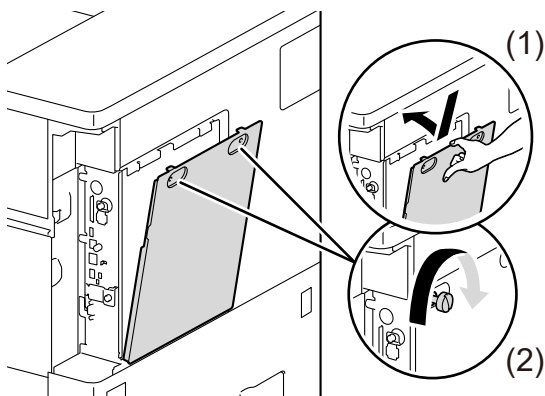
7. セカンダリーイーサネットカードをコントローラーボードのコネクターに差し込みます。



8. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットカードを固定します。



9. 背面カバーを戻し、ネジで 2 か所を固定します。



補足

- 背面カバーは、図の (1) のとおり下に押し付けながら閉めてください。

10. 本機の右奥カバーを取り付けます。

11. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

11.7 ソフトウェアオプションの有効化

本機は次のソフトウェアオプション製品を利用できます。

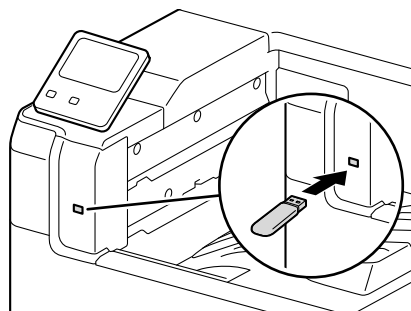
- セキュリティ拡張キット
- PostScript ソフトウェアキット (平成 2 書体)

補足

• セキュリティ拡張キットの機能を利用するには、ストレージ (オプション) が必要です。
ここでは、セキュリティ拡張キットを取り付ける場合を例に説明します。

- 1. 電源 / 節電 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。**
- 2. セキュリティ拡張キットを用意します。**

3. キャップを外し、本機前面の USB コネクタに挿入します。



4. 本機の電源を入れます。
5. 機械管理者でログインします。

参照

- ログインの方法については、「ログイン」(P.43) を参照してください。

6. ホーム画面で  をタップします。
7. [設定] をタップします。
8. [保守] > [ソフトウェアオプションの設定 - USB] をタップします。
9. [機能を有効化する] をタップします。
有効化処理が完了すると、自動的に本機が再起動します。
10.  (電源 / 節電) ボタンを押して電源を切り、セキュリティ拡張キットを取り外します。
11. 本機の電源を入れ、[機能設定リスト] を出力して、オプション製品が正しく取り付けられていることを確認します。

参照

- [機能設定リスト] の出力については、「[機能設定リスト (共通項目)]」(P.53) を参照してください。

12 付録

12.1 主な仕様

商品名			A3 対応カラープリンタ
			Color MultiWriter 3C751A
型番			PR-L3C751A
プリント方式			LED 乾式電子写真方式 (LED)
ウォームアップ時間 *1			電源投入から 27 秒 *2 必要 (23 ℃) (スリープモード時は約 6 秒) *3
連続プリント速度 *4	片面	カラー	A4□: 55 頁 / 分、A3 : 27 頁 / 分
		モノクロ	A4□: 55 頁 / 分、A3 : 27 頁 / 分
	両面	カラー	A4□: 55 頁 / 分、A3 : 19 頁 / 分
		モノクロ	A4□: 55 頁 / 分、A3 : 19 頁 / 分
ファーストプリント時間 *5			カラー約 5.0 秒、モノクロ約 3.5 秒
解像度 *6	標準	【NPD L ドライバ】 標準 : 600×600 dpi、高精細 : 1200×1200 dpi 【ART EX ドライバ】 標準 : 1200×2400 dpi、高画質 : 1200×2400 dpi、高精細 : 1200×1200 dpi	
	オプション	【Adobe® PostScript® 3™ ドライバ】 高速 (標準) : 600×600 dpi、高画質 : 1200×2400 dpi、高精細 : 1200×1200 dpi	
階調			NPD L : 64 階調 ART EX : 各色 256 階調 (表現色 1670 万色)

商品名			A3 対応カラープリンタ
			Color MultiWriter 3C751A
用紙サイズ	標準	標準トレイ	トレイ 1 : A3、B4、A4、B5、A5、レター、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*7} 、自由サイズ ^{*8} （幅 100 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 431.8 mm） トレイ 2 : SRA3（320×450 mm）、A3、B4、A4、B5、A5、レター、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*7} 、自由サイズ ^{*8} （幅 100 ～ 320 mm× 長さ 148 ～ 457.2 mm）
		手差しトレイ	SRA3（320×450 mm）、A3、B4、A4、B5、A5、レター、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*7} 、封筒 ^{*9} （長形 3 号、洋長形 3 号□、角形 2 号、角形 20 号、角形 6 号、長形 4 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号）、長尺紙 A ^{*8} （297×900 mm）、長尺紙 B ^{*8} （297×1200 mm）、自由サイズ ^{*8} （幅 89 ～ 320 mm× 長さ 98 ～ 1200 mm）
	オプション		2トレイモジュール : SRA3（320×450 mm）、A3、B4、A4、B5、A5、レター、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*7} 、自由サイズ ^{*8} （幅 100 ～ 320 mm× 長さ 148 ～ 457.2 mm） タンデムトレイモジュール : A4、B5 小サイズ給紙トレイ : 封筒 ^{*9} （長形 3 号、洋長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 6 号、角形 20 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号）、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*7} 、自由サイズ ^{*8} （幅 90 ～ 241 mm× 長さ 98 ～ 372 mm） 大容量トレイモジュール : A4、レター、B5
	両面印刷		SRA3（320×450 mm）、A3、B4、A4、B5、A5、レター、自由サイズ ^{*8} （幅 128 ～ 320 mm× 長さ 139.7 ～ 482.6 mm）
	像欠け幅		先端 4.0 mm、後端 2.0 mm、左右端 2.0 mm
	用紙坪量	標準	標準トレイ
手差しトレイ			52 ～ 300 g/m ²
オプション		2トレイモジュール : 52 ～ 300 g/m ² タンデムトレイモジュール : 52 ～ 300 g/m ² 大容量トレイモジュール : 55 ～ 216 g/m ²	
両面印刷		52 ～ 300 g/m ²	
最大給紙容量 ^{*10}	標準	標準トレイ	600 枚 × 2 段
		手差しトレイ	110 枚
	オプション		2トレイモジュール : 600 枚 × 2 段 タンデムトレイモジュール : 980 枚 + 1410 枚 大容量トレイモジュール : 2470 枚
	最大		6170 枚 （標準トレイ 600 枚 × 2 段 + 手差しトレイ 110 枚） + タンデムトレイモジュール 980 枚、1410 枚 + 大容量トレイモジュール 2470 枚）
最大排紙容量 ^{*10}	標準		400 枚（フェイスダウン）
	オプション		フィニッシャ : 3500 枚（フェイスダウン） 中とじフィニッシャ : 2000 枚（フェイスダウン） ※NPD L 利用時は中とじ機能は非対応 サイドトレイ : 100 枚（フェイスアップ）
両面機能 ^{*11}			可能（坪量 52 ～ 300 g/m ² ）
CPU			ARM A57 Quad Core-2.0 GHz

商品名		A3 対応カラープリンタ
		Color MultiWriter 3C751A
メモリ容量		4 GB (最大 4 GB) ※ メモリは増設できません。
ストレージ ^{*12}		3.6 GB、82 GB (オプション)
搭載フォント	標準	アウトラインフォント (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 21 書体) ストロークフォント (日本語書体、欧文書体 : HP-GL 用)、欧文 82 書体、シンボル 37 セット 【NPD L の場合】 FontAvenue 明朝体、FontAvenue ゴシック体、ローマン、イタリック、ゴシック、フリーエ、OCR-B フォント、OCR-K フォント
	オプション	【PostScript ソフトウェアキット (平成 2 書体)】 日本語 2 書体 (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、欧文 136 書体
コマンド体系	標準	ART EX、NPD L Level2 (201PL エミュレーション含む)
	オプション ^{*13}	Adobe® PostScript® 3™
エミュレーション		ART IV、ESC/P ^{*14} 、PDF ^{*15} 、XPS ^{*15} 、DocuWorks ^{*15} 、TIFF ^{*15} 、JPEG、HP-GL ^{*16} (HP7586B)、HP-GL2/RTL ^{*16} (HP Designjet 750C Plus)、PCL5、PCL6
インターフェイス	標準	イーサネット (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)、USB3.0
	オプション	イーサネット (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)、IEEE 802.11a / b / n / g / ac
対応プロトコル		TCP/IP (IPv4/IPv6 : lpd、IPP、Port9100、WSD、ThinPrint)
ページ拡大 / 縮小機能		プリンタドライバ機能により NPD L : 10 ~ 400% の 1% 刻み ART EX : 25 ~ 400% の 1% 刻み
電源		AC100 V ± 10 %、15 A ^{*17} 、50/60 Hz 共用
騒音 ^{*18}		動作時 : 6.79 B、51.3 dB レディー時 : 3.19 B、14.4 dB
消費電力 ^{*19}	動作時	最大 : 1320 W (フルオプション時) 平均 : 781 W
	節電モード	0.5 W
エネルギー消費効率 ^{*20}		121 kWh / 年、区分 : プリンター B
外形寸法 ^{*21}		幅 620 × 奥行 720.5 × 高さ 806.5 mm ※ 高さは操作パネルを立てた場合。
質量		約 86 kg (消耗品含む) 約 81 kg (消耗品含まず)
使用環境 ^{*22}		動作時 : 10 ~ 32 °C、15 ~ 85 % (結露しないこと)
耐久性 ^{*23}		300 万 頁印刷時 (A4□) もしくは 5 年の早い方

*1 : 当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。

*2 : [組み込みプラグイン機能] 有効時 (工場出荷時) の場合。無効時は約 21 秒。お客様のご使用に合わせ変更が可能です。

*3 : 1 時間以内に再起動をかけた場合。1 時間以内でもご使用の条件によっては記載値を超える場合があります。

*4 : 解像度 600 dpi 時、同一ページ複写印刷時。なお、罫線およびグラフなどが含まれるデータの印刷速度は、データ量、転送方式により低下する場合があります。厚紙 (ハガキを含む)、小サイズ紙等、用紙の種類・サイズ・送り方向によっては印刷速度が低下する場合があります。連続印刷時に、プリンタ本体の温度調整や画質調整のため動作を休止もしくは印刷速度が低下する場合があります。

- *5 :印刷動作が始まってから 1 枚目の用紙が排出されるまでの時間。ただし、プリンタ本体の調整動作時間または温度および画質調整時間を除く。カラーはカラー優先モード（初期値）、モノクロはモノクロ優先モード設定時の値。
- *6 :解像度は主走査方向 × 副走査方向で表記しています。
- *7 :大きさ・厚さともに郵便ハガキ（日本郵便製）相当のもの。写真付きの厚いハガキやインクジェット用のハガキなどはご使用にならない場合があります。
- *8 :ご使用にあたっては、事前に用紙走行性などご確認いただきますようお願いいたします。
- *9 :内カマス、のりなしのものをご使用ください。封筒に関しましては、材質によりご使用にならない場合があります。
- *10:最大用紙枚数は坪量 70 g/m² 用紙使用時の値です。
- *11:用紙種類、用紙サイズによっては両面印刷ができない場合があります。あらかじめご確認されることをおすすめします。
- *12:実際のストレージ容量とは異なる場合があります。
- *13:オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
- *14:VP1000 エミュレート + カラー対応。
- *15:ダイレクト印刷に対応。
- *16:すべての機能には対応していませんので事前の出力検証を推奨します。
- *17:推奨コンセント容量。機械側最大電流は 13.2 A。
- *18:ISO7779 に準拠した測定条件による。単位 B：音響パワーレベル（LWAd）、単位 dB：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）。
- *19:最大値は瞬間的ピークを除いた値です。
- *20:省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。
- *21:突起部、オプション品を除く。手差しトレイを折りたたんだ状態。
- *22:温度 40℃を超える場所での本体・消耗品の保管は印刷品質を損なうので避けてください。
- *23:有寿命部品（有償）を定期的に交換した場合の値です。

大容量トレイモジュール（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	A4 [□] 、レター [□] 、B5 [□]
用紙坪量	55 ～ 216 g/m ²
給紙容量 ^{*1} / 給紙段数	2470 枚 × 1 段
大きさ / 質量	幅 389 × 奥行 610 × 高さ 377 mm、29 kg
本体接続時の占有寸法 ^{*2}	幅 1056 × 奥行 721 mm

*1 :70 g/m² 紙使用時。

*2 :本体 + 2 トレイモジュール + 大容量トレイモジュール、手差しトレイを最大に伸ばした時。

小サイズ給紙トレイ（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	長形 3 号 ^{*1} 、洋長形 3 号、長形 4 号 ^{*1} 、角形 2 号 ^{*1} 、角形 6 号、角形 20 号、洋形 2 号 ^{*1} 、洋形 3 号、洋形 4 号、郵便ハガキ（日本郵便製） ^{*1} 自由サイズ：幅 90 ～ 241 mm × 長さ 98 ～ 372 mm
用紙坪量	封筒：75 ～ 90 g/m ² 、郵便ハガキ（2L 含む）：106 ～ 220 g/m ² 、上質紙：83 ～ 105 g/m ²
給紙容量 / 給紙段数	封筒 ^{*2} ：50 枚 × 1 段、郵便ハガキ ^{*3} ：200 枚 × 1 段
大きさ / 質量	幅 620 × 奥行 566 × 高さ 87 mm、3 kg
本体接続時の占有寸法 ^{*4}	本体の機械占有寸法に準じる

*1 :自動検知可能。郵便ハガキ（日本郵便製）の検知には保守員による設定が必要です。

*2 :山桜社製クラフト封筒（角形 2 号）。

*3 :郵便ハガキ（日本郵便製）（190 g/m²）の場合。

*4 :標準トレイ 1 と入れ替えて利用するため、本体仕様に準じる。

サイドトレイ（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	基本機能に準ずる
用紙坪量	52 ～ 300 g/m ²
トレイ容量 ^{*1}	100 枚
大きさ	幅 327× 奥行 414× 高さ 179 mm
本体接続時の占有寸法 ^{*2}	幅 1056× 奥行 721 mm

^{*1} : 70 g/m² 紙使用時。

^{*2} : 本体+サイドトレイ、手差しトレイを最大に伸ばした時。

フィニッシャ / 中とじフィニッシャ（オプション）

項目		内容	
		フィニッシャ	中とじフィニッシャ ^{*1}
トレイ形式	排出トレイ	ソート（オフセット可） / スタック（オフセット可）	
	フィニッシャトレイ	ソート（オフセット可） / スタック（オフセット可）	
	製本トレイ	－	ソート / スタック
用紙サイズ	排出トレイ	最大：A3 最小：郵便ハガキ（日本郵便製）	
	フィニッシャトレイ	最大：A3 最小：A5□	
用紙坪量	排出トレイ	52 ～ 300 g/m ² ^{*2}	
	フィニッシャトレイ	52 ～ 300 g/m ² ^{*2}	
トレイ容量 ^{*3}	排出トレイ	500 枚（A4）	
	フィニッシャトレイ	ステープル無しの場合 A4：3000 枚、B4 以上：1500 枚、A5□：1000 枚、ミックススタック ^{*4} ：300 枚 ステープルした場合 A4：200 部または 3000 枚、B4 以上：100 部または 1500 枚、A5□：100 部または 1000 枚、ミックススタック ^{*4} ：70 部または 200 枚	ステープル無しの場合 A4：1500 枚、B4 以上：1500 枚、A5□：1000 枚、ミックススタック ^{*4} ：300 枚 ステープルした場合 A4：200 部または 1500 枚、B4 以上：100 部または 1500 枚、A5□：100 部または 1000 枚、ミックススタック ^{*4} ：70 部または 200 枚
	製本トレイ	－	20 部 ^{*5}

項目		内容	
		フィニッシャ	中とじフィニッシャ ^{*1}
ステープル ^{*6}	最大ステープル枚数	50 枚 (90 g/m ² 以下)	
	ステープル用紙サイズ ^{*7}	最大：A3 最小：A5□	
	ステープル用紙坪量	52 ～ 300 g/m ²	
	ステープル箇所	1 カ所、2 カ所	
パンチ	パンチ数	2 穴 / 4 穴 ^{*8}	
	パンチ用紙サイズ ^{*9}	最大：A3 最小：A5□	
	用紙坪量	52 ～ 220 g/m ²	
中とじ / 二つ折り	最大枚数 ^{*10}	－	中とじ：20 枚 (90 g/m ² 以下) 二つ折り：5 枚 (90 g/m ² 以下)
	用紙サイズ	－	最大：SRA3 (320×450 mm)、 A3 最小：B5
	用紙坪量	－	中とじ：60 ～ 300 g/m ² 二つ折り：60 ～ 300 g/m ²
大きさ ^{*11}		幅 644× 奥行 692× 高さ 1054 mm	幅 649× 奥行 692× 高さ 1054 mm
質量		44 kg	57 kg
本体接続時の占有寸法 ^{*12}		幅 1700× 奥行 721 mm	幅 1704× 奥行 721 mm

^{*1} :NPD Lドライバの場合は、製本（中とじ / 中折り）の指定はできません。

^{*2} :52 ～ 55 g/m² は、出力紙により正しく収容できない場合があります。

^{*3} :坪量 70 g/m² 用紙使用時の値です。

^{*4} :小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合。

^{*5} :同じサイズの用紙での出力時。

^{*6} :NPD Lドライバの場合は、定形外サイズのホチキス指定はできません。

^{*7} :処理可能なステープル箇所は、用紙サイズにより異なります。

^{*8} :NPD Lドライバの場合は、2 穴のみ使用できます。

^{*9} :処理可能なパンチ穴数は、用紙サイズにより異なります。

^{*10} :利用する用紙坪量により枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。

^{*11} :延長トレイ引出し時。

^{*12} :本体+フィニッシャまたは中とじフィニッシャ、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時。

無線 LAN アダプタ（オプション）

項目	内容
規格	IEEE 802.11 a / b / g / n / ac 1T×1R（理論値 65 Mbps）
伝送方式 ^{*1}	IEEE 802.11a 5 GHz（変調方式：OFDM） IEEE 802.11b 2.4 GHz（変調方式：DS-SS） IEEE 802.11g 2.4 GHz（変調方式：OFDM） IEEE 802.11n 5 GHz / 2.4 GHz（変調方式：OFDM） IEEE 802.11ac 5 GHz（変調方式：OFDM） ・ Aggregation 機能の A-MPDU および A-MSDU ・ HT20、HT40 モード（ハイスループットモード）、VHT80 モード（ベリハイスループットモード）

項目	内容
認証 / 暗号方式 *2	WPA2-PSK (AES) WPA/WPA2-PSK (AES / TKIP) WPA3-SAE (AES) WPA2/WPA3-PSK (AES) WPA2-Enterprise (AES) WPA/WPA2-Enterprise (AES / TKIP) WPA3-Enterprise (AES) WPA2/WPA3-Enterprise (AES) WEP (64 bit / 128 bit) IEEE 802.1x (PEAPv0 / EAP-TLS / EAP-TTLS)
対応チャンネル *3	2.4 GHz 帯 : 1 ~ 13 ch 5 GHz 帯 : 36 ~ 64 ch、100 ~ 140 ch
アンテナ	内蔵 2.4 GHz / 5 GHz デュアルバンド
大きさ	45×35×33 mm

*1 :Wi-Fi Direct モードは IEEE 802.11b / g / n。

*2 :Wi-Fi Direct モードは WPA2-PSK (AES)。

*3 :Wi-Fi Direct モードは 2.4 GHz 帯のみ。

動作環境 (OS 対応状況)

項目		内容
対応 OS	標準	【NPDL/ART EX ドライバ】 Windows 11 (64 ビット) Windows 10 (32 ビット) Windows 10 (64 ビット) Windows Server 2025 (64 ビット) Windows Server 2022 (64 ビット) Windows Server 2019 (64 ビット) Windows Server 2016 (64 ビット) 【macOS ドライバ】 macOS 15/14/13/12/11
	オプション	【PostScript ソフトウェアドライバ】 Windows 11 (64 ビット) Windows 10 (32 ビット) Windows 10 (64 ビット) Windows Server 2025 (64 ビット) Windows Server 2022 (64 ビット) Windows Server 2019 (64 ビット) Windows Server 2016 (64 ビット) macOS 15/14/13/12/11

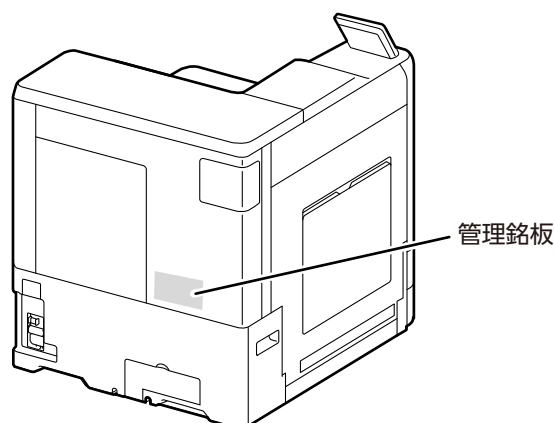
12.2 保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

補足

- 本機の背面に製品の型番、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります (下図参照)。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack
PrinterSupportPack は、プリンターの障害復旧に必要なハードウェア保守を提供する保守パッケージ商品です。
詳しくは、「<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/psp/outline/index.html>」を参照してください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 ^{*1}
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。 ^{*2} （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング (株)
スポット保守 (出張修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 ^{*2} （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 ^{*3}	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 : 受付窓口の所在地、連絡先などは「<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>」をご覧くださいか、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

*2 : 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

*3 : 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。保守サービスの最新情報については、「<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>」をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、印刷枚数 300 万枚[※]、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

※ モノクロの印刷枚数が 150 万枚に達したときに 1500K キットの部品を交換した場合。さらに、カラーの印刷枚数も 150 万枚に達したときはイエロー / マゼンタ / シアンの現像器の部品も交換した場合。

補足

- 印刷枚数は、A4□の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。

12.3 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

消耗品の型番については、次の URL を参照してください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/supply/index.html>

消耗品	プリント可能ページ数
ドラムカートリッジ	約 70000 ページ
トナー回収ボトル	約 55000 ページ
トナーカートリッジ (ブラック)	約 23000 ページ
トナーカートリッジ (シアン)	約 20000 ページ
トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 20000 ページ
トナーカートリッジ (イエロー)	約 20000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて
JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4 $\square$ 、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以上になることがあります。
- トナー回収ボトルについて
プリント可能ページ数は、A4 $\square$ サイズ、片面プリント、画像密度各色 5%、カラー・モノクロ比率 5:5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。
- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

補足

- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は次のとおりです。
ブラック (K) : 約 12000 ページ
イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) : 約 10000 ページ

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、適切な処理が必要です。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店または EP カートリッジ回収センターにお渡しください。

有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

■ 有寿命部品（定期交換部品、有償）一覧

品名	部品名	交換寿命
240K キット	用紙搬送ロール（標準トレイ用）	約 240000 ページ
	用紙搬送ロール（手差しトレイ用）	
	転写ベルトクリーナー	
	第 2 バイアス転写ロール	
480K キット	定着ユニット	約 480000 ページ
	転写ベルト	
1500K キット *1	メモリ	約 1500000 ページ
	トナー供給ドライブユニット	
	メインドライブユニット	
	定着器ドライブユニット	
	レジローラー	
	ドライブギア	
	ベアリング	
	レジユニット	
	レジドライブユニット 1	
	レジドライブユニット 2	
	Exit1 排出ユニット	
	Exit2 排出シュートユニット	
	Exit2 排出ドライブユニット	
	現像器	
	現像剤（ブラック）	
現像器ユニット（イエロー / マゼンタ / シアン） *2	現像器	約 1500000 ページ
	現像剤（イエロー / マゼンタ / シアン）	
用紙搬送ロールキット（オプショントレイ用）	用紙搬送ロール	約 240000 ページ

*1 :ほとんどモノクロ印刷の場合は、1500K キットのみの交換となります。

*2 :カラー印刷で推奨交換周期に達する場合は交換となります。

注記

- プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。
交換の周期は、A4の普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なることがあります。これは実際の寿命に影響する要因をある仮定に基づきプリントページ数に置き換えて表示しているためです。
定期交換部品は保守員（CE）による交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。
保守サービスの種類によっては、定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。
無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくるとメッセージが表示されます。本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、お買い求めの販売店、または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、保守員（CE）が交換いたします。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因
010-421 094-420	480K キットの交換時期です。
094-421 094-422	240K キットの交換時期です。
093-413	1500K キットの交換時期です。
093-418 093-419 093-420	現像器ユニット（イエロー / マゼンタ / シアン）の交換時期です。

補足

- 交換の周期は、A4□の普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因をある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。
- 有寿命部品（定期交換部品、有償）は保守員（CE）による交換作業となります。

参照

- 交換寿命および部品名については、「有寿命部品（定期交換部品、有償）一覧」（P.308）を参照してください。

消耗品および補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

使用済みカートリッジ回収について

方法 1

- 直接回収
使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1 本からでも、弊社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。
- 連絡先
EP カートリッジ回収センター
TEL：0120-30-6924 FAX：0120-30-8049
E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp
- 受付時間
9:00 ～ 17:00（土・日・祝日を除く）

方法 2

- お持ち込みいただく場合
お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

補足

- 回収を希望されないトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいようお願い申し上げます。

その他の消耗品について

フィニッシャ（オプション）用には、次の消耗品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品の使用をお勧めします。

消耗品の種類	形態
ステープル針 ^{*1}	5000 針 × 2 セット / 1 箱

^{*1} : 中とじフィニッシャ用。(50 枚ステープル)

12.4 情報サービスについて

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談、修理受付、使い方相談に関する窓口等、最新情報をホームページで提供しています。

URL : <https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理受付窓口	保守契約（サポートパック含む）されているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。 （契約後 担当営業または登録窓口よりご案内） 受付時間：年中無休 24 時間
	保守契約されていないお客様	NEC プリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552 受付時間：9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日
使い方相談		※ 土・日・祝日および当社所定の休日を除く。 ※ 携帯電話からでもご利用になれます。 （電話番号をよくお確かめの上おかけください。）

12.5 最新ソフトウェアを入手する

プリンタードライバー、ユーティリティ、ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）などの、最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。次の URL にアクセスし、ダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

補足

- ・ 通信費はお客様負担になりますことを、ご了承ください。

12.6 エミュレーションについて

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P	VP-1000
PCL	HP-CLJ5500
HP-GL	7586B、または DJ750C Plus
HP-GL/2	DJ750C Plus

補足

- それぞれのモードの詳細な内容については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。

プロトコル従属

インターネットサービスを使用して、プロトコル（LPD、IPP、Port9100、WSD（Web Services on Devices））ごとにプリント言語を固定化できます。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

モードメニュー画面の表示

【プリンターモード】で、エミュレーションモードを選択すると、表示されます。

補足

- 【メモリー呼び出し】、【メモリー登録 / 削除】、【立ち上げメモリー】は、ESC/P、HP-GL/2 に表示されます。

メモリー呼び出し

メモリーに登録した設定を呼び出します。

詳細確認 / 変更

【項目番号】に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、【変更値】に変更する値を入力し、【決定】をタップします。

参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.321) を参照してください。

メモリー登録 / 削除

現在の設定項目の内容を【ユーザー登録メモリー】に登録したり、登録済みのメモリーを削除したりします。

立ち上げメモリー

起動したときの初期値を設定します。

使用できるフォント

〔機械確認 (メーター確認)〕 > 〔レポート / リストの出力〕 > 〔プリンター設定〕 で、〔フォントリスト〕、または〔PCL フォントリスト〕をタップすると、確認できます。

ESC/P では、ユーザー定義文字 (外字) を使用できます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録され、電源を切っても保持されます。各プリント言語の間で共有はできません。

プリント機能

エミュレーションモード	N アップ	フォーム	バーコード
ART IV	—	64	あり
ESC/P	あり	64	あり
PCL	—	—	あり
HP-GL、HP-GL/2	—	—	—

補足

- ART IV でストレージありの場合、フォームは 2048 個です。

N アップ

2 アップを利用できます。

フォーム

定形のフォームを登録し、登録されているフォームをプリントデータに合成してプリントできます。

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、新しいフォームは登録されません。
- フォームの登録については、〔機械確認 (メーター確認)〕 > 〔レポート / リストの出力〕 > 〔プリンター設定〕 > 〔ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト〕で確認してください。

バーコード

利用できるバーコード規格は、エミュレーションモードにより異なります。

ART IV、ESC/P の場合

- JAN
- Code39
- CODABAR
- Industrial 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- Code128
- Japanese Postal Customer Code
- QR Code Model 2

PCL の場合

- UPC-A, UPC-A+2, UPC-A+5
- UPC-E, UPC-E+2, UPC-E+5

- EAN/JAN-8, EAN/JAN-8+2, EAN/JAN-8+5
- EAN/JAN-13, EAN/JAN-13+2, EAN/JAN-13+5
- Interleaved 2 of 5
- Interleaved 2 of 5 + CHK
- Code39, Code39 + CHK
- Code128 Autoswitch, Code128 A, Code128 B, Code128 C
- CODABAR (NW-7), CODABAR + CHKmod16
- QR Code Model 2
- Japanese postal Customer Code

コマンドの指定方法は、[機械確認 (メーター確認)] > [レポート/リストの出力] > [プリンター設定] > [PCL フォントリスト] で確認できます。

設定メニュー

機械管理者モードにログインして行います。

エミュレーションモード	ポート設定	メモリー設定	フォーム削除
ART IV	あり	あり	あり
ESC/P	あり	あり	あり
PCL	あり	—	—
HP-GL、HP-GL/2	あり	あり	—

ポート設定

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] をタップすると、ポートが起動 / 停止します。

- ポートの起動 (USB/LPD/IPP/Port9100/WSD (Web Services on Devices))
エミュレーションモードで使用するポートにタップします。
- USB- プリントモード指定
ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここでエミュレーションモードを選択すると、「プリント言語の切り替え」(P.311) で説明している自動切り替えは行われません。

補足

- インターネットサービスを使用して、プロトコルごとにプリントモードを指定することもできます。インターネットサービスの起動方法については、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

メモリー設定

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] をタップします。

補足

- ストレージ (オプション) が取り付けられている場合、設定は変更できません。
- ART IV ユーザー定義用メモリー
ART IV のユーザー定義で使用するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

参照

- 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.123) を参照してください。

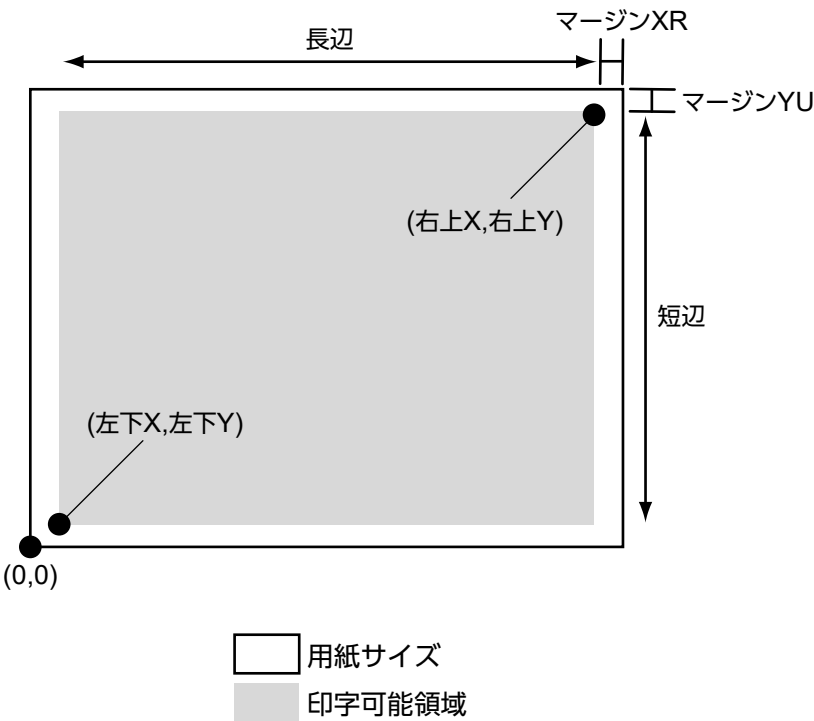
フォーム削除

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [フォーム削除] をタップし、フォームを削除するモードを選びます。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項

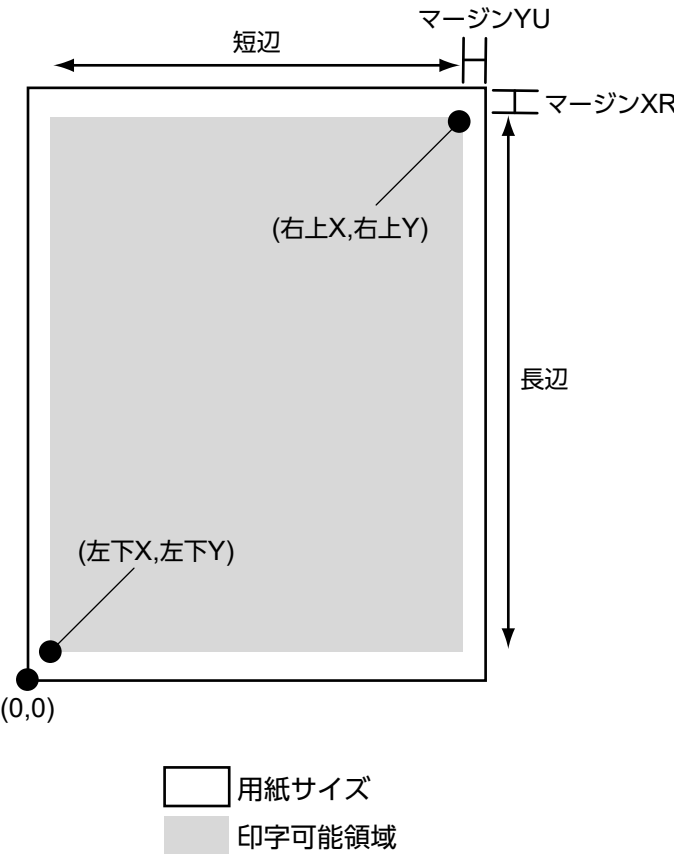
印字可能領域

■ よこ置き



用紙サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印字可能領域		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A3	119052	84168	1260	1260	116532	81648	117792	82908	1260	1260
A4	84168	59508	1260	1260	81648	56988	82908	58248	1260	1260
A5	59508	41940	1260	1260	56988	39420	58248	40680	1260	1260
JIS B4	103176	72828	1260	1260	100656	70308	101916	71568	1260	1260
JIS B5	72828	51588	1260	1260	70308	49068	71568	50328	1260	1260

■ たて置き

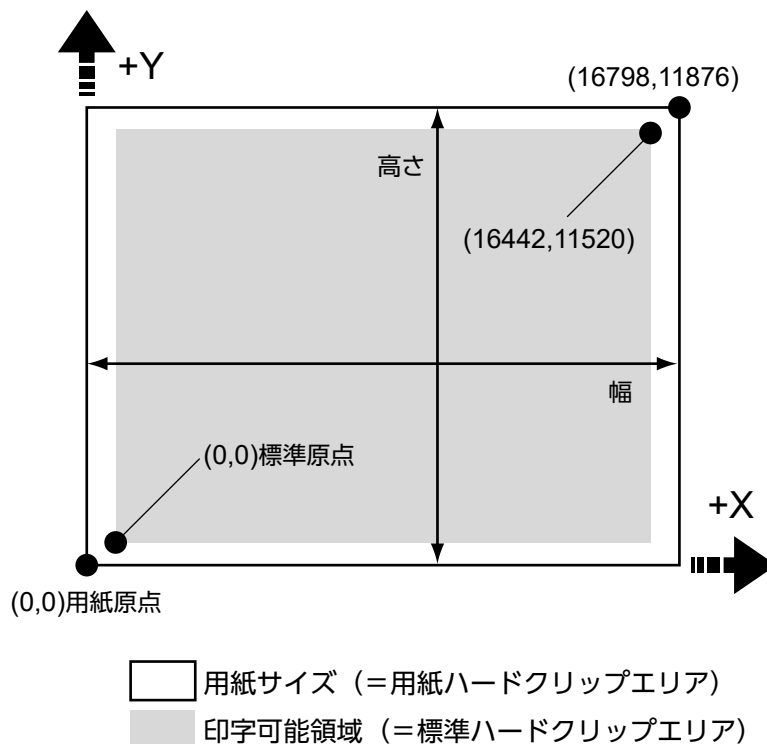


用紙サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印字可能領域		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A3	84168	119052	1260	1260	81648	116532	82908	117792	1260	1260
A4	59508	84168	1260	1260	56988	81648	58248	82908	1260	1260
A5	41940	59508	1260	1260	39420	56988	40680	58248	1260	1260
JIS B4	72828	103176	1260	1260	70308	100656	71568	101916	1260	1260
JIS B5	51588	72828	1260	1260	49068	70308	50328	71568	1260	1260

ハードクリップ

座標値から決定される領域をハードクリップエリアと呼びます。
 ハードクリップエリアは、印字可能領域、または用紙サイズから決定されます。

■ A3、原点位置が左下のとき



標準

本機の印字可能領域がハードクリップエリアになります。

用紙

用紙と同じサイズがハードクリップエリアになります。

オートレイアウト

原稿サイズ、用紙サイズなど、設定した項目から、自動で印字領域が決定されます。

原稿サイズ

「オート」(初期値)にすると「オートレイアウト」の設定が有効になります。

オートレイアウト

「ON」(初期値)にすると、「スケール」、「スケールモード」、「エリア判定モード」、「ペーパーマージン」が有効になります。

スケール

描画されるオブジェクト領域が用紙サイズに合うように、印字領域を拡大 / 縮小します。

スケールモード

■ 用紙サイズ

描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。決定されるサイズは、A 系列のサイズ (A0 ~ A5 の 6 種類) です。

■ オブジェクト領域

描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

エリア判定モード

補足

- コマンドがない場合、Adapted でオブジェクト領域が決定されます。

■ 自動

優先順位が PS > IW > IP > Adapted で、自動的に選択されます。

■ PS

最初に PS コマンドで指定された領域を含む領域がオブジェクト領域になります。

■ IW

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

■ IP

すべての IP コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

■ Adapted

自動でオブジェクト領域が決定されます。

ペーパーマージン

余白の設定をします。

ペン属性

ハードクリップエリアの境界線を描画するペンの設定をします。

ペンは 16 種類 (No.00 ~ No.15)、設定できます。

■ 幅

「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も縮小します。

線の幅は線の中心から太くなります。

太さが 0.0 mm の場合は、何も描画されません。

補足

- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

■ ペン終端形状

ペンの終端形状を設定します。

補足

- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

■ ペン接続形状

ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

補足

- 「なし」は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。
- シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HPGL コマンドです。
- 文字には無効です。

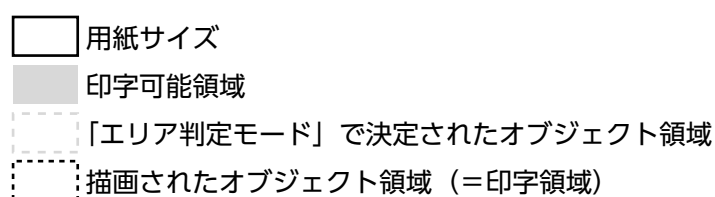
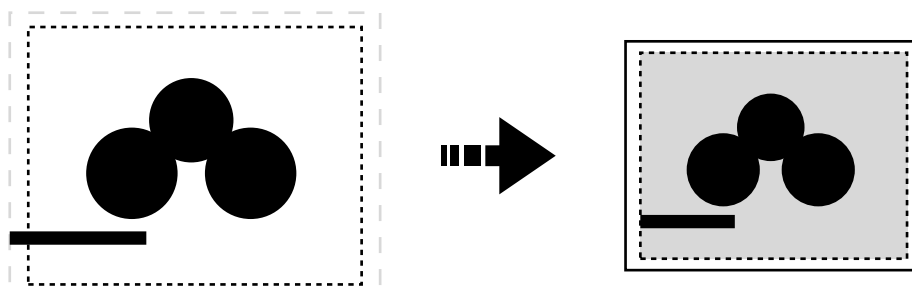
■ ペンカラー

ペンの色は RGB で指示します。

オートレイアウト時の設定項目組み合わせ例

■ スケールモード：用紙サイズ、スケール：ON

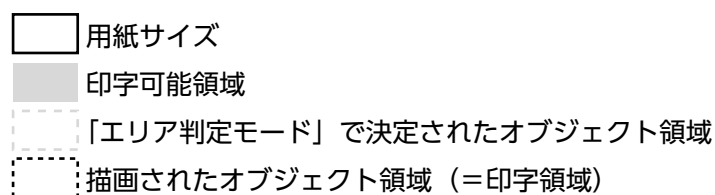
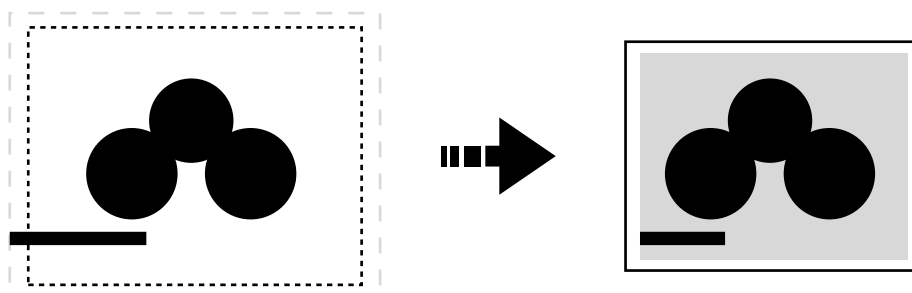
印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。



■ スケールモード：用紙サイズ、スケール：OFF

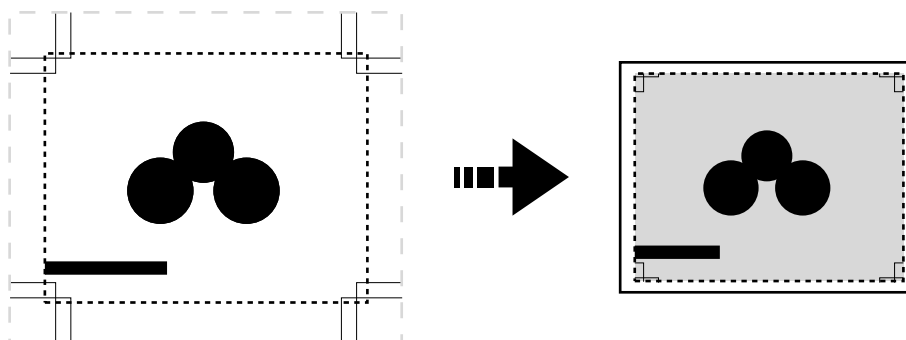
等倍でプリントされます。

そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



■ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：ON

印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。

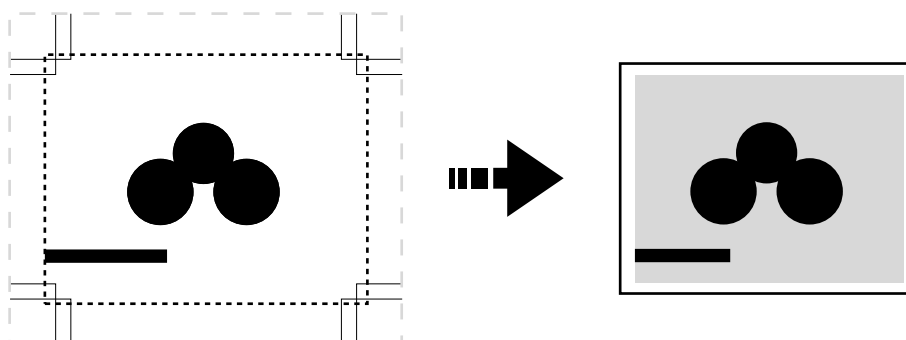


-  用紙サイズ
-  印字可能領域
-  「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域
-  描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域)

■ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：OFF

等倍でプリントされます。

そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



-  用紙サイズ
-  印字可能領域
-  「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域
-  描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域)

原稿サイズの決定方法

1. 「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域に対し、次のどれかで値の大きいものをマージンとして加えます。
 - ページ内で指定された文字の大きさ
 - デフォルトの文字の大きさ
 - 指定されたペン幅の 1/2
2. 「エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域」 + 「加わったマージン」 - 「設定したペーパーマージン」が描画されるオブジェクト領域になります。
3. 「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合、描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。
「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合、描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

■ 判定方法の例

オートレイアウト = ON、原稿サイズ = オート、スケールモード = 用紙サイズ、エリア判定モード = IP、
ペーパーマージン = 10 mm で、ペン幅 = 0.1 mm の場合

IN;

IP-8399,-5938,8399,5938;

IW-8399,-5938,8399,5938;

PU;

SP1;

:

:

SP0;

補足

- 文字サイズ指定コマンドは存在せず、IP、IW で指定しているエリアは A3 です。

■ 例：の判定方法

1. IP コマンドで指定されたエリア「-8399,-5938,8399,5938」がオブジェクト領域になります。
2. 文字サイズ指定コマンドなし、ペン幅は 0.1 mm のため A3 サイズのデフォルト文字サイズの高さ /2 (75 プロッタユニット) のサイズがオブジェクト領域に加わります。
この時点でのオブジェクト領域：-8474,-6013,8474,6013
3. ペーパーマージン (10 mm) がオブジェクト領域から削除されます。
この時点でのオブジェクト領域：-8074,-5613,8074,5613
4. 描画されたオブジェクト領域 (= 印字領域) が A4 超 ~ A3 以下のため、原稿サイズは A3 になります。

用紙サイズの決定方法

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「給紙トレイ」が「自動」の場合

- 「スケールモード」が「用紙サイズ」で、原稿サイズと同じ用紙サイズがトレイにセットされているときは、原稿サイズと同じサイズの用紙サイズ
- 「スケールモード」が「オブジェクト領域」のときは、エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域が用紙サイズ

補足

- 同じ用紙サイズがない場合、次のサイズが選ばれます。
 - 最大サイズを上回る：最大サイズ
 - 最小サイズを下回る：最小サイズ
 - 最小 ~ 最大サイズの間：収まるサイズ

縮小率の決定方法

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合

描画されるオブジェクト領域と「用紙サイズ」から縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「用紙」になります。

- オートレイアウトが「ON」のとき、原稿を用紙の中央に配置します。
- 原点位置が左下、または中央のとき、原稿と用紙の原点を合わせます。
- 縮小率が 22.5% 未満のとき (A0→A5 など)、等倍になります。

■ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合

描画されるオブジェクト領域の原点位置と用紙サイズから縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「標準」になります。

倍率の最大値は 210.0%、倍率の最小値は 22.5% となります。

用紙サイズ	0°				90°			
	最小値		最大値		最小値		最大値	
	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y
A3	7829	5485	73075	51200	5485	7829	51200	73075
A4	5485	3828	51200	35733	3828	5485	35733	51200
A5	3828	2648	35733	24720	2648	3828	24720	35733
JIS B4	6762	4723	63120	44088	4723	6762	44088	63120
JIS B5	4723	3297	44088	30773	3297	4723	30773	44088

単位: プロッターユニット

設定項目

項目番号の表記は、ESC = ESC/P、PCL = PCL、HP = HP-GL と HP-GL/2 です。

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
原稿サイズ	1	—	—	[0] : はがき [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [99] (初期値) : 用紙サイズ [100] : 連続紙 (10×12) [101] : 連続紙 (10×11) [102] : 連続紙 (15×12) [103] : 連続紙 (15×11) 補足 • 連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。
原稿サイズ	—	—	101	[0] : A0 [1] : A1 [2] : A2 [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [10] : JIS B0 [11] : JIS B1 [12] : JIS B2 [13] : JIS B3 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [99] (初期値) : オート [100] : 用紙サイズ

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
用紙サイズ 「給紙トレイ」が「自動」、 または「トレイ 5（手差し）」の場合	2	—	—	[0] : はがき [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17
用紙サイズ 「給紙トレイ」が「自動」、 または「トレイ 5（手差し）」の場合	—	—	102	[3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [99] : オート [101] (初期値) : A サイズ
用紙サイズ 「給紙トレイ」が「自動」の 場合	—	202	—	[3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙 [30] : 8K
用紙サイズ 「給紙トレイ」が「手差しト レイ」の場合	—	203	—	[3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙
給紙トレイ	3	201	103	[0] : (初期値 : PCL、HP-GL/2) 自動 [1] : (初期値 : ESC/P) トレイ 1 [2] : トレイ 2 [3] : トレイ 3 [4] : トレイ 4 [5] : トレイ 5 (手差し) [6] : トレイ 6 補足 • 「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1→トレイ 2→トレイ 3→トレイ 4→トレイ 6 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
座標回転	—	—	104	【0】（初期値）：0° 【1】：90°
カラーモード	5	—	—	【0】：カラー 【1】（初期値）：モノクロ
	—	216	—	【0】（初期値）：自動 【1】：カラー 【2】：モノクロ
	—	—	105	【0】：カラー 【1】（初期値）：グレースケール 【2】：黒ペン
階調モード	—	—	105	【1】（初期値）：グレースケール 【2】：黒ペン
オートレイアウト	—	—	106	【0】（初期値）：ON 【1】：OFF
有効パレット	—	—	107	【0】（初期値）：コマンド 【1】：パネル
出力部数	8	—	108	【1】～【250】（初期値：1）：1～250 部 補足 クライアントPCからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値になります。ただし、lpd ポートから指定された部数は、変わりません。
	—	212	—	【1】～【999】（初期値：1）：1～999 部
排出先	9	204	109	【0】（初期値）：センタートレイ 【1】：サイドトレイ（オプション） 【80】：フィニッシュャトレイ（オプション） 【81】：フィニッシュャ排出トレイ（オプション）
両面	12	—	110	【0】（初期値）：なし 【1】：左右開き 【2】：上下開き
	—	206	—	【0】（初期値）：オフ 【1】：オン
両面時のとじ方	—	217	—	【0】（初期値）：長辺とじ 【1】：短辺とじ
用紙方向	19	205	—	【0】（初期値）：縦 【1】：横
用紙位置	20	—	—	【0】（初期値）：カットシートフィーダーなし（左） 【1】：カットシートフィーダーあり（中央） 補足 「原稿サイズ」で「連続紙」に設定した場合は設定できません。 補足 - カットシートフィーダーなしの場合は、FF（改ページコマンド）を受信すると、VFU で設定された値だけ行送りをします。カットシートフィーダーありの場合は、改ページします。

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
倍率モード	54	—	—	【0】（初期値）：固定倍率 【1】：任意倍率 【2】：カット紙全面 補足 「固定倍率」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字可能領域が用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば 100 %（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。 「任意倍率」とは、「倍率」 > 「任意倍率」で設定される倍率のことです。倍率の基準値は印字可能領域の左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。 - カット紙全面領域が印字可能領域に印字されます。 「カット紙全面」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字可能領域に収まるよう印字されます。 「原稿サイズ」で連続紙が設定されている場合、「固定倍率」と「カット紙全面」は同じ印字結果となります。
縦倍率	17	—	—	【45】～【210】（初期値：100）：45～210%
横倍率	18	—	—	
罫線	22	—	—	【0】（初期値）：イメージ 【1】：フォント 補足 2 バイトの罫線フォントの印字方法を設定します。
フォント 補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	13	—	—	【3】（初期値）：書宋 【4】：俣宋 【5】：黒体 【6】：楷書 補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。 - お使いの機種によっては、設定できない場合があります。
漢字書体 補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	13	—	—	【0】（初期値）：明朝 【1】：ゴシック 補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。
	—	—	111	【0】（初期値）：ストローク 【1】：明朝 【2】：ゴシック 補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
英数字書体	14	—	—	【0】（初期値）：ローマン 【1】：サンセリフ
	—	—	112	【0】（初期値）：ストローク 【1】：ローマン 【2】：サンセリフ
デフォルトフォント	—	207	—	【0】：CG Times 【1】：CG Times Italic 【2】：CG Times Bold 【3】：CG Times Italic Bold 【4】：Univers Medium 【5】：Univers Medium Italic 【6】：Univers Bold 【7】：Univers Bold Italic 【8】：Univers Medium Condensed 【9】：Univers Medium Condensed Italic 【10】：Univers Bold Condensed 【11】：Univers Bold Condensed Italic 【12】：Antique Olive 【13】：Antique Olive Italic 【14】：Antique Olive Bold 【15】：CG Omega 【16】：CG Omega Italic 【17】：CG Omega Bold 【18】：CG Omega Bold Italic 【19】：Garamond Antiqua 【20】：Garamond Kursiv 【21】：Garamond Halbfett 【22】：Garamond Kursiv Halbfett 【23】（初期値）：Courier 【24】：Courier Italic 【25】：Courier Bold 【26】：Courier Bold Italic 【27】：Letter Gothic 【28】：Letter Gothic Italic 【29】：Letter Gothic Bold 【30】：Albertus Medium 【31】：Albertus Extra Bold 【32】：Clarendon Condensed 【33】：Coronet 【34】：Marigold 【35】：Arial 【36】：Arial Italic 【37】：Arial Bold 【38】：Arial Bold Italic 【39】：Times New 【40】：Times New Italic 【41】：Times New Bold 【42】：Times New Bold Italic 【43】：Symbol 【44】：Wingdings 【45】：Line Printer 【46】：Times Roman 【47】：Times Italic 【48】：Times Bold 【49】：Times Bold Italic

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
	—	207	—	【50】 : Helvetica 【51】 : Helvetica Oblique 【52】 : Helvetica Bold 【53】 : Helvetica Bold Oblique 【54】 : CourierPS 【55】 : CourierPS Oblique 【56】 : CourierPS Bold 【57】 : CourierPS Bold Oblique 【58】 : SymbolPS 【59】 : Palatino Roman 【60】 : Palatino Italic 【61】 : Palatino Bold 【62】 : Palatino Bold Italic 【63】 : ITC Bookman Light 【64】 : ITC Bookman Light Italic 【65】 : ITC Bookman Demi 【66】 : ITC Bookman Demi Italic 【67】 : Helvetica Narrow 【68】 : Helvetica Narrow Oblique 【69】 : Helvetica Narrow Bold 【70】 : Helvetica Narrow Bold Oblique 【71】 : New Century Schoolbook Roman 【72】 : New Century Schoolbook Italic 【73】 : New Century Schoolbook Bold 【74】 : New Century Schoolbook Bold Italic 【75】 : ITC Avant Garde Book 【76】 : ITC Avant Garde Book Oblique 【77】 : ITC Avant Garde Demi 【78】 : ITC Avant Garde Demi Oblique 【79】 : ITC Zapf Chancery Medium Italic 【80】 : ITC Zapf Dingbats

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
デフォルトシンボル	—	208	—	【0】（初期値）：Roman 8 【1】：ISO 8859-1 Latin 1 【2】：ISO 8859-2 Latin 2 【3】：ISO 8859-9 Latin 5 【4】：ISO 8859-10 Latin 6 【5】：PC-8 【6】：PC-8 DN 【7】：PC-775 【8】：PC-850 【9】：PC-852 【10】：PC-1004(OS/2) 【11】：PC Turkish 【12】：Windows 3.1 Latin 1 【13】：Windows 3.1 Latin 2 【14】：Windows 3.1 Latin 5 【15】：DeskTop 【16】：PS Text 【17】：MC Text 【18】：Microsoft Publishing 【19】：Math 8 【20】：PS Math 【21】：Pi Font 【22】：Legal 【23】：ISO 4 United Kingdom 【24】：ISO 6 ASCII 【25】：ISO 11 Swedish:names 【26】：ISO 15 Italian 【27】：ISO 17 Spanish 【28】：ISO 21 German 【29】：ISO 60 Norwegian v1 【30】：ISO 69 French 【31】：Windows 3.0 Latin 1 【32】：Windows Baltic 【33】：Symbol 【34】：Wingdings 【35】：UCS-2
フォントサイズ	—	209	—	【400】～【5000】（初期値：1200）：4.00～50.00 ポイント
フォントピッチサイズ	—	210	—	【600】～【2400】（初期値：1000）：6.00～24.00 ポイント
フォント行数	—	211	—	【5】～【128】（初期値：64）：5～128 行
縦位置補正	15	—	113	【0】（初期値）：しない 【1】～【500】：-250～+250 mm 補足 • プリント位置（またはハードクリップエリア）を設定します。
横位置補正	16	—	114	
2 アップモード	21	—	—	【0】（初期値）：なし 【1】：順方向 【2】：逆方向 補足 • 「原稿サイズ」でよこ向きを指定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
漢字コード 補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	50	—	—	【0】（初期値）：エプソン 【1】：東芝
白紙排出 補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	51	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】：する 補足 - 空白ページの白紙の排出を設定します。 「しない」に設定した場合、2 アッププリント、または両面プリントでは、空白ページは作成されません。 「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや白いオブジェクトが存在するときは、白紙が排出されます。
印字桁範囲	52	—	—	【0】（初期値）：標準 【1】：拡張 補足 - 右マージンの位置を拡張できます。 - コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端になります。
イメージエンハンス	53	213	163	【0】：OFF 【1】（初期値）：ON
文字品位	55	—	—	【0】（初期値）：高品位 【1】：ドラフト
縮小文字	56	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】：する 補足 半角英数字を印字する場合、文字を縮小できます。
文字コード表	57	—	—	【0】（初期値）：カタカナ 【1】：拡張グラフィックス 【2】：スラント 補足 - 半角英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。 - 日本国内のアプリケーションを使用している場合はカタカナを、日本以外の国または地域のアプリケーションを使用している場合は、拡張グラフィックスに設定してください。
ページ長	58	—	—	【0】（初期値）：11 インチ 【1】：12 インチ

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
1 インチミシン目スキップ	59	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】：する 補足 - ページとページの間を 1 インチ空けることができます。 「用紙位置」で「カットシートフィーダーなし」に設定されている場合だけ設定が有効になります。
給紙位置	60	—	—	【0】（初期値）：8.5 mm 【1】：22 mm
CR の機能	61	—	—	【0】（初期値）：復帰 【1】：復帰改行 補足 - 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。
HP-GL モード	—	—	150	【0】（初期値）：HP-GL 【1】：HP-GL/2 補足 - IW、OW、UC コマンドに影響します。 - BP コマンドを含まない HP-GL/2 コマンドを印字する場合は「HP-GL/2」に設定してください。
ハードクリップ	—	—	151	【0】：標準 【2】（初期値）：用紙
排出コマンド	—	—	152 (SP)	【0】：OFF 【1】：ON 補足 - 描画の終了を示すコマンドを設定します。 - ここで指定したコマンドを受信すると描画を終了し、用紙が排出されます。 - 初期値は、SP0 は「ON」、SP0 以外のコマンドは「OFF」に設定されています。 - 複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
	—	—	153 (SP0)	
	—	—	154 (NR)	
	—	—	155 (FR)	
	—	—	156 (PG)	
	—	—	157 (AF)	
	—	—	158 (AH)	
スケール	—	—	159	【0】：OFF 【1】（初期値）：ON
スケールモード	—	—	160	【0】（初期値）：用紙サイズ 【1】：オブジェクト領域
エリア判定モード	—	—	161	【0】（初期値）：自動 【1】：PS 【2】：IW 【3】：IP 【4】：Adapted

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
ペーパーマージン	—	—	162	【0】～【99】（初期値：0）：0～99 mm
拡張子指定	62	—	—	【0】（初期値）：無効 【1】：有効 補足 通常の拡張コマンドは、コマンドを識別するための拡張子として、先頭に 16 進法で 1 BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3 BH）を指定しています。 ホストコンピュータで ESC コードやセミコロンを使用できない場合は、それに代わる特定の文字列を拡張子として使用できます。
拡張子	63	—	—	【&%】（初期値）：0×21～0×7e 補足 テキストコードで制御できるようにしたい場合は、拡張コマンドの拡張子（先頭 2 バイト）を指定します。画面に表示されるキーボードから 2 文字を入力します。
フォーム合成 補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	64	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】～【64】：No.1～No.64 補足 フォームを指定したあと、フォームが削除された場合でも、そのフォーム名が表示されています。この場合はフォームが合成されません。
ステープル	66	—	164	【0】（初期値）：しない 【1】：左上 1 か所 【2】：上辺 2 か所 【3】：右上 1 か所 【4】：左辺 2 か所 【5】：右辺 2 か所 【6】：左下 1 か所 【7】：下辺 2 か所 【8】：右下 1 か所
手差し給紙の一時停止	67	—	165	【0】：（初期値）しない 【1】：する
フォーム種類	68	—	—	【0】（初期値）：ESC/P 【1】：ART IV
パンチ	69	—	166	【0】（初期値）：しない 【1】：上辺 【2】：下辺 【3】：左辺 【4】：右辺
パンチ穴数	70	—	167	【0】（初期値）：2 穴 【1】：3 穴 【2】：4 穴
文字コード	71	—	—	【0】（初期値）：JIS 【1】：ShiftJIS
バイナリーデータ（16 進表記でコマンドを入力する）の指定文字列	72	—	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：&\$%\$ 【2】：\$?!#

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
0 の字体	73	—	—	【0】（初期値）：0 【1】：∅
HexDump	—	214	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：ON
薄墨印刷	—	215		【0】（初期値）：OFF 【1】：ON
行末処理	—	218	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：LF を後につける 【2】：CR を前につける 【3】：CR-×× 補足 • 「CR-××」は、CR のとき LF を後につけ、LF と FF のとき CR を前につけます。
ユーザー定義用紙サイズの初期値	—	219 (短辺)	—	【0】～【9999】（初期値：2100）：0～999.9 mm
	—	220 (長辺)	—	【0】～【9999】（初期値：2970）：0～999.9 mm
有効出力部数	74	221	115	【0】（初期値：HP-GL/2）：プロトコル 【1】：パネル 【2】（初期値：ESC/P、PCL）：コマンド
バーコードモード	75	—	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：ON 補足 • バーコードモードを ON に設定すると、バーコードの輪郭がはっきりとプリントされます。
対象機	—	—	169	【0】（初期値）：HP750 【1】：FX4036
ペン幅	—	—	800 ～ 815	No.00 の項目番号が 800 です。 【0】～【255】（初期値：3）：0～25.5 mm
ペン終端形状	—	—	850 ～ 865	No.00 の項目番号が 850 です。 【0】（初期値）：切断 ● 【1】：丸め ● 【2】：矩形 ●

設定項目	項目番号			設定値
	ESC	PCL	HP	
ペン接続形状	—	—	900 ～ 915	No.00 の項目番号が 900 です。 【0】（初期値）：なし  【1】：交差  【2】：丸め  【3】：切断 
ペンカラー	—	—	950 ～ 965	No.00 の項目番号が 950 です。 【0】 ～ 【255】：0 ～ 255
紙折り / 原稿回転機能	—	—	168	【0】：Z 折りなし 【1】：Z 折りあり（右とじ / 上とじ） 【2】：Z 折りあり（左とじ / 下とじ） 【3】：Z 折りなし（180° 回転あり） 【4】：Z 折りあり（右とじ / 上とじ、180° 回転あり） 【5】：Z 折りあり（左とじ / 下とじ、180° 回転あり）

12.7 ダイレクトプリント

ファイルをプリンタードライバーではなく、直接 lpr コマンドなどを使用してプリントする機能です。
PDF ダイレクトプリントには、Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントと弊社製の PDF ダイレクトプリント（PDF Bridge）の 2 種類があります。

補足

- Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントを使用するには、PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）が必要です。
- lpr コマンドを使用するときは、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [LPD] で、[LPD-ポート] を [起動] にしてください。

モードメニュー画面

ホーム画面で、 > [機械確認（メーター確認）] > [プリンターモード] を選択すると、表示されます。

詳細確認 / 変更

[項目番号] に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

弊社のソフトウェア、ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

補足

- ContentsBridge Utility を使用する場合、「プリント処理モード」のみ有効になります。

参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.333) を参照してください。

パスワード

パスワードを設定しておく、パスワードによるセキュリティが設定された PDF ファイルをプリントできます。

補足

- パスワードは、半角英数字、または記号で 32 文字以内に設定してください。
- PDF ファイルのセキュリティの設定によっては、プリントできないことがあります。

設定項目

設定項目	項目番号		設定値
	PDF : PDF エミュレーション設定	DocuWorks : DocuWorks プリント設定	
出力部数	401	501	【1】 ~ 【999】 (初期値 : 1) : 1 ~ 999 枚 補足 • lpr コマンドを使用してプリントする場合、出力部数の指定は lpr コマンドで行うため、ここでの設定は無効になります。
両面	402	502	【0】 (初期値) : しない 【1】 : 長辺とじ 【2】 : 短辺とじ
印刷モード	403	503	【0】 (初期値) : 標準 【1】 : 高速 【2】 : 高画質
ソート	404	504	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) します。 【0】 (初期値) : しない 【1】 : する
レイアウト 補足 • この項目は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」に設定した場合だけ、設定が有効になります。	405	505	【0】 (初期値) : 自動倍率 【1】 : カタログ (製本) 【2】 : 2 アップ 【3】 : 4 アップ 【4】 : 100% (等倍) 補足 • 「カタログ (製本)」は、PDF ダイレクトプリントの場合に設定できます。 • ページ構成によっては、カタログ (製本) プリントができない場合があります。この場合「自動倍率」でプリントされます。
用紙サイズ	406	506	【0】 (初期値 : DocuWorks) : 自動 【1】 (初期値 : PDF) : A4
カラーモード	407	507	【0】 (初期値) : 自動 【1】 : 白黒

設定項目	項目番号		設定値
	PDF : PDF エミュレーション設定	DocuWorks : DocuWorks プリント設定	
プリント処理モード 補足 PostScript ソフトウェアキット（平成 2 書体）（オプション）を取り付けている場合に表示されます。	408	—	【0】（初期値）：PDF Bridge 【1】：PS 補足 「PS」に設定した場合は、「レイアウト」の設定は無効になります。

12.8 ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、インターネットサービスの【ホーム】タブ>【サポート】>【OSS ライセンス情報のダウンロード】から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、次のサイトより入手が可能です。

https://jpn.nec.com/printer/laser/etc/oss/prt/PR-L3C751/v1_0/

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.167) を参照してください。

13 [設定] 項目一覧

[用紙トレイ設定]

[トレイ 1]	
[小サイズ給紙トレイ]	オン、オフ（初期値）
[用紙サイズ]	[自動サイズ検知]（初期値）、[サイズ入力]
[用紙種類]	[普通紙 (64 ~ 70g/m ²)]（初期値）、[上質紙 (91 ~ 105g/m ²)]、[再生紙 (64 ~ 70g/m ²)]、[うす紙 (64 ~ 70g/m ²)]、[穴あき紙 (64 ~ 70g/m ²)]、[OHP フィルム]、[うす紙 (52 ~ 63g/m ²)]、[厚紙 1 (106 ~ 135g/m ²)]、[厚紙 1 (うら面) (106 ~ 135g/m ²)]、[厚紙 2 (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 2 (うら面) (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 3 (221 ~ 256g/m ²)]、[厚紙 3 (うら面) (221 ~ 256g/m ²)]、[コート紙 1 (106 ~ 135g/m ²)]、[コート紙 1 (うら面) (106 ~ 135g/m ²)]、[コート紙 2 (177 ~ 220g/m ²)]、[コート紙 2 (うら面) (177 ~ 220g/m ²)]、[コート紙 3 (257 ~ 300g/m ²)]、[コート紙 3 (うら面) (257 ~ 300g/m ²)]、[ラベル紙 (106 ~ 176g/m ²)]、[はがき (177 ~ 220g/m ²)]、[封筒]、[ユーザー用紙 1 (64 ~ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 2 (64 ~ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 3 (64 ~ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 4 (64 ~ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 5 (64 ~ 82g/m ²)]、[上質紙 (A) (83 ~ 90g/m ²)]、[上質紙 (B) (91 ~ 105g/m ²)]、[厚紙 1 (A) (106 ~ 135g/m ²)]、[厚紙 1 (B) (136 ~ 157g/m ²)]、[厚紙 1 (C) (158 ~ 176g/m ²)]、[厚紙 1 (S) (106 ~ 176g/m ²)]、[厚紙 1 (A) (うら面) (106 ~ 135g/m ²)]、[厚紙 1 (B) (うら面) (136 ~ 157g/m ²)]、[厚紙 1 (C) (うら面) (158 ~ 176g/m ²)]、[厚紙 1 (S) (うら面) (106 ~ 176g/m ²)]、[厚紙 2 (A) (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 2 (S) (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 2 (A) (うら面) (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 2 (S) (うら面) (177 ~ 220g/m ²)]、[厚紙 3 (A) (221 ~ 256g/m ²)]、[厚紙 3 (B) (257 ~ 300g/m ²)]、[厚紙 3 (S) (221 ~ 300g/m ²)]、[厚紙 3 (A) (うら面) (221 ~ 256g/m ²)]、[厚紙 3 (B) (うら面) (257 ~ 300g/m ²)]、[厚紙 3 (S) (うら面) (221 ~ 300g/m ²)]、[コート紙 1 (A) (106 ~ 135g/m ²)]、[コート紙 1 (B) (136 ~ 157g/m ²)]、[コート紙 1 (C) (158 ~ 176g/m ²)]、[コート紙 1 (A) (うら面) (106 ~ 135g/m ²)]、[コート紙 1 (B) (うら面) (136 ~ 157g/m ²)]、[コート紙 1 (C) (うら面) (158 ~ 176g/m ²)]、[コート紙 2 (A) (177 ~ 220g/m ²)]、[コート紙 2 (A) (うら面) (177 ~ 220g/m ²)]、[コート紙 3 (A) (221 ~ 256g/m ²)]、[コート紙 3 (B) (257 ~ 300g/m ²)]、[コート紙 3 (A) (うら面) (221 ~ 256g/m ²)]、[コート紙 3 (B) (うら面) (257 ~ 300g/m ²)]
[色]	[白]（初期値）、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[透明]、[ユーザー色 1]、[ユーザー色 2]、[ユーザー色 3]、[ユーザー色 4]、[ユーザー色 5]、[その他]
[自動トレイ切り替え]	オン（初期値）、オフ
[トレイの優先順位]	[1 番目] ~ [5 番目]（初期値：[1 番目]（大容量トレイモジュール装着時は [2 番目]））
[自動選択条件]	[すべてのカラーモード]、[カラー]、[白黒]

[トレイ 2] ～ [トレイ 4]	
[用紙サイズ]	[自動サイズ検知] (初期値)、[サイズ入力]
[用紙種類]	[普通紙 (64 ～ 70g/m ²)] (初期値)、[上質紙 (91 ～ 105g/m ²)]、[再生紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[うら紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[穴あき紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[OHP フィルム]、[うす紙 (52 ～ 63g/m ²)]、[厚紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 3(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、[ラベル紙 (106 ～ 176g/m ²)]、[はがき (177 ～ 220g/m ²)]、[ユーザー用紙 1(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 2(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 3(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 4(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 5(64 ～ 82g/m ²)]、[上質紙 (A)(83 ～ 90g/m ²)]、[上質紙 (B)(91 ～ 105g/m ²)]、[厚紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、[厚紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(S)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、[厚紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(S)(うら面)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(S)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(S)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(S)(221 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(S)(うら面)(221 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、[コート紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、[コート紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、[コート紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、[コート紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]
[色]	[白] (初期値)、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[透明]、[ユーザー色 1]、[ユーザー色 2]、[ユーザー色 3]、[ユーザー色 4]、[ユーザー色 5]、[その他]
[自動トレイ切り替え]	オン (初期値)、オフ
[トレイの優先順位]	[1 番目] ～ [5 番目] (初期値：トレイ 2 [2 番目] / トレイ 3 [3 番目] / トレイ 4 [4 番目] (大容量トレイモジュール装着時はトレイ 2 [3 番目] / トレイ 3 [4 番目] / トレイ 4 [5 番目]))
[自動選択条件]	[すべてのカラーモード]、[カラー]、[白黒]

[トレイ 5(手差し)]				
[用紙種類]	[普通紙 (64 ～ 70g/m ²)] (初期値)、[上質紙 (91 ～ 105g/m ²)]、[再生紙 (64 ～ 70g/m ²)]、 [うら紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[穴あき紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[OHP フィルム]、[うす紙 (52 ～ 63g/m ²)]、 [厚紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、 [厚紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、 [コート紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、 [コート紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 3(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、 [ラベル紙 (106 ～ 176g/m ²)]、[はがき (177 ～ 220g/m ²)]、[封筒]、[ユーザー用紙 1(64 ～ 70g/m ²)]、 [ユーザー用紙 2(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 3(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 4(64 ～ 70g/m ²)]、 [ユーザー用紙 5(64 ～ 82g/m ²)]、[上質紙 (A)(83 ～ 90g/m ²)]、[上質紙 (B)(91 ～ 105g/m ²)]、 [厚紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、[厚紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、 [厚紙 1(S)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、 [厚紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(S)(うら面)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、 [厚紙 2(S)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(S)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、 [厚紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(S)(221 ～ 300g/m ²)]、 [厚紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、 [厚紙 3(S)(うら面)(221 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、 [コート紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、[コート紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、 [コート紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、[コート紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、 [コート紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、 [コート紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、 [コート紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]			
[自動トレイ切り替え]	オン、オフ (初期値)			
[自動選択条件]	[すべてのカラーモード] (初期値)、[カラー]、[白黒]			
[定形サイズボタン設定]	[トレイ 5(手差し) 定形サイズボタン]	[トレイ 5 定形サイズボタン 1] ～ [トレイ 5 定形サイズボタン 20]	[A 系 B 系表示]	[A3□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 3] の初期値)、[A4□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 4] の初期値)、 [A4□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 5] の初期値)、[A5□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 6] の初期値)、 [A5□]、[A6□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 7] の初期値)、[B4□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 8] の初期値)、 [B5□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 9] の初期値)、[B5□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 10] の初期値)、 [B6□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 11] の初期値)

			[インチサイズ表示]	[12x18"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 2] の初期値)、[11x17"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 16] の初期値)、[11x15"□]、[8.5x14"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 17] の初期値)、[8.5x13"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 18] の初期値)、[8.5x11"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 19] の初期値)、[8.5x11"□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 20] の初期値)、[8.5x10"□]、[8.5x10"□]、[7.25x10.5"□]、[7.25x10.5"□]、[5.5x8.5"□]、[5.5x8.5"□]、[写真 2L サイズ□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 12] の初期値)
			[その他]	[SRA3□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 1] の初期値)、[表紙 A4□]、[9x11"□]、[215x315mm□]、[八開□]、[十六開□]、[十六開□]、[郵便はがき□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 14] の初期値)、[往復はがき□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 13] の初期値)、[4x6"□]、[封筒長 3 号□] ([トレイ 5 定形サイズボタン 15] の初期値)、[封筒長 4 号□]、[洋長形 3 号□]、[封筒角 2 号□]、[封筒角 6 号□]、[封筒角 20 号□]、[洋形 2 号□]、[洋形 3 号□]、[洋形 4 号□]、[封筒 C4□]、[封筒 C5□]、[封筒 #10□]、[封筒 DL□]、[封筒モノーク□]
			[サイズ入力]	[X: よこ (98 ~ 483mm)] [Y: たて (89 ~ 320mm)]

[トレイ 6]		
[用紙サイズ]	[自動サイズ検知]	
[用紙種類]	[普通紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[上質紙 (91 ～ 105g/m ²)]、[再生紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[うら紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[穴あき紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[OHP フィルム]、[うす紙 (52 ～ 63g/m ²)]、[厚紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 3(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、[ラベル紙 (106 ～ 176g/m ²)]、[はがき (177 ～ 220g/m ²)]、[ユーザー用紙 1(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 2(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 3(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 4(64 ～ 70g/m ²)]、[ユーザー用紙 5(64 ～ 82g/m ²)]、[上質紙 (A)(83 ～ 90g/m ²)]、[上質紙 (B)(91 ～ 105g/m ²)]、[厚紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、[厚紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(S)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、[厚紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 1(S)(うら面)(106 ～ 176g/m ²)]、[厚紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(S)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 2(S)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(S)(221 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、[厚紙 3(S)(うら面)(221 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 1(A)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(B)(136 ～ 157g/m ²)]、[コート紙 1(C)(158 ～ 176g/m ²)]、[コート紙 1(A)(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 1(B)(うら面)(136 ～ 157g/m ²)]、[コート紙 1(C)(うら面)(158 ～ 176g/m ²)]、[コート紙 2(A)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 2(A)(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(A)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 3(A)(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 3(B)(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]	
[色]	[白]、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[透明]、[ユーザー色 1]、[ユーザー色 2]、[ユーザー色 3]、[ユーザー色 4]、[ユーザー色 5]、[その他]	
[自動トレイ切り替え]	オン、オフ	
[トレイの優先順位]	[1 番目] ～ [5 番目]	
[自動選択条件]	[すべてのカラーモード]、[カラー]、[白黒]	
[共通設定]		
[ユーザー用紙属性の名称設定]	[ユーザー用紙種類 1] ～ [ユーザー用紙種類 5]	
	[ユーザー用紙色 1] ～ [ユーザー用紙色 5]	
[トレイセット時の用紙変更画面表示]	オン、オフ (初期値)	
[用紙種類の優先順位]	[普通紙の優先順位]	[自動トレイ選択しない]、[1 番目] (初期値)、[2 番目]、[3 番目]、[4 番目]、[5 番目]、[6 番目]、[7 番目]、[8 番目]、[9 番目]、[10 番目]、[11 番目]、[12 番目]、[13 番目]、[14 番目]、[15 番目]
	[上質紙の優先順位]	[自動トレイ選択しない]、[1 番目]、[2 番目]、[3 番目] (初期値)、[4 番目]、[5 番目]、[6 番目]、[7 番目]、[8 番目]、[9 番目]、[10 番目]、[11 番目]、[12 番目]、[13 番目]、[14 番目]、[15 番目]
	[再生紙の優先順位]	[自動トレイ選択しない]、[1 番目]、[2 番目] (初期値)、[3 番目]、[4 番目]、[5 番目]、[6 番目]、[7 番目]、[8 番目]、[9 番目]、[10 番目]、[11 番目]、[12 番目]、[13 番目]、[14 番目]、[15 番目]
	[うら紙の優先順位]	[自動トレイ選択しない] (初期値)、[1 番目]、[2 番目]、[3 番目]、[4 番目]、[5 番目]、[6 番目]、[7 番目]、[8 番目]、[9 番目]、[10 番目]、[11 番目]、[12 番目]、[13 番目]、[14 番目]、[15 番目]
	[うす紙の優先順位]	[自動トレイ選択しない] (初期値)、[1 番目]、[2 番目]、[3 番目]、[4 番目]、[5 番目]、[6 番目]、[7 番目]、[8 番目]、[9 番目]、[10 番目]、[11 番目]、[12 番目]、[13 番目]、[14 番目]、[15 番目]

[illegible]

[再生紙の画質処理]	[再生紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[再生紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[再生紙 (C)(83 ~ 90g/m ²)、[再生紙 (D)(91 ~ 105g/m ²)]
[うら紙の画質処理]	[うら紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[うら紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[うら紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)]
[穴あき紙の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)]
[厚紙 1 の画質処理]	[厚紙 1(A)(106 ~ 135g/m ²) (初期値)、[厚紙 1(B)(136 ~ 157g/m ²)、[厚紙 1(C)(158 ~ 176g/m ²)、[厚紙 1(S)(106 ~ 176g/m ²)]
[厚紙 1(うら面)の画質処理]	[厚紙 1(A)(うら面)(106 ~ 135g/m ²) (初期値)、[厚紙 1(B)(うら面)(136 ~ 157g/m ²)、[厚紙 1(C)(うら面)(158 ~ 176g/m ²)、[厚紙 1(S)(うら面)(106 ~ 176g/m ²)]
[厚紙 2 の画質処理]	[厚紙 2(A)(177 ~ 220g/m ²) (初期値)、[厚紙 2(S)(177 ~ 220g/m ²)]
[厚紙 2(うら面)の画質処理]	[厚紙 2(A)(うら面)(177 ~ 220g/m ²) (初期値)、[厚紙 2(S)(うら面)(177 ~ 220g/m ²)]
[厚紙 3 の画質処理]	[厚紙 3(A)(221 ~ 256g/m ²) (初期値)、[厚紙 3(B)(257 ~ 300g/m ²)、[厚紙 3(S)(221 ~ 300g/m ²)]
[厚紙 3(うら面)の画質処理]	[厚紙 3(A)(うら面)(221 ~ 256g/m ²) (初期値)、[厚紙 3(B)(うら面)(257 ~ 300g/m ²)、[厚紙 3(S)(うら面)(221 ~ 300g/m ²)]
[コート紙 1 の画質処理]	[コート紙 1(A)(106 ~ 135g/m ²) (初期値)、[コート紙 1(B)(136 ~ 157g/m ²)、[コート紙 1(C)(158 ~ 176g/m ²)]
[コート紙 1(うら面)の画質処理]	[コート紙 1(A)(うら面)(106 ~ 135g/m ²) (初期値)、[コート紙 1(B)(うら面)(136 ~ 157g/m ²)、[コート紙 1(C)(うら面)(158 ~ 176g/m ²)]
[コート紙 3 の画質処理]	[コート紙 3(A)(221 ~ 256g/m ²)、[コート紙 3(B)(257 ~ 300g/m ²) (初期値)]
[コート紙 3(うら面)の画質処理]	[コート紙 3(A)(うら面)(221 ~ 256g/m ²)、[コート紙 3(B)(うら面)(257 ~ 300g/m ²) (初期値)]
[はがきの画質処理]	[厚紙 1(A)(106 ~ 135g/m ²)、[厚紙 1(B)(136 ~ 157g/m ²)、[厚紙 1(C)(158 ~ 176g/m ²)、[厚紙 2(A)(177 ~ 220g/m ²) (初期値)]
[封筒の画質処理]	[封筒] (初期値)、[厚紙 1(A)(106 ~ 135g/m ²)、[厚紙 1(B)(136 ~ 157g/m ²)、[厚紙 1(C)(158 ~ 176g/m ²)、[厚紙 2(A)(177 ~ 220g/m ²)、[厚紙 3(A)(221 ~ 256g/m ²)、[厚紙 3(B)(257 ~ 300g/m ²)]
[ユーザー用紙 1 の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)、[上質紙 (A)(83 ~ 90g/m ²)、[上質紙 (B)(91 ~ 105g/m ²)]
[ユーザー用紙 2 の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)、[上質紙 (A)(83 ~ 90g/m ²)、[上質紙 (B)(91 ~ 105g/m ²)]
[ユーザー用紙 3 の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)、[上質紙 (A)(83 ~ 90g/m ²)、[上質紙 (B)(91 ~ 105g/m ²)]
[ユーザー用紙 4 の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²) (初期値)、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)、[上質紙 (A)(83 ~ 90g/m ²)、[上質紙 (B)(91 ~ 105g/m ²)]

	[ユーザー用紙 5 の画質処理]	[普通紙 (A)(64 ~ 70g/m ²)]、[普通紙 (B)(71 ~ 82g/m ²)]、[普通紙 (S)(64 ~ 82g/m ²)] (初期値)、[上質紙 (A)(83 ~ 90g/m ²)]、[上質紙 (B)(91 ~ 105g/m ²)]
--	---------------------	--

[システム設定]

[システム時計 / タイマー設定]				
[日付]	[日付の形式]	[年 / 月 / 日] (初期値)、[月 / 日 / 年]、[日 / 月 / 年]		
	[年]	[2000] ~ [2034]		
	[月]	[1] ~ [12]		
	[日]	[1] ~ [31]		
[時刻]	[12 時間制表示]、[24 時間制表示] (初期値)			
	[時]	[1] ~ [12]		
		[0] ~ [23]		
	[分]	[0] ~ [59]		
	[午前 (AM)]、[午後 (PM)]			
[時刻サーバー (NTP) と同期]	オン、オフ (初期値)			
[時刻サーバーの接続間隔]	[1] ~ [500] 時間 (初期値 : [24])			
[時刻サーバーアドレス] (初期値 : 未設定)				
[自動リセット]	[しない]、[する] (初期値)			
	[10] ~ [900] 秒 (初期値 : [60])			
[ジョブ自動解除]	[しない]、[する] (初期値)			
	[1] ~ [99] 分 (初期値 : [10])			
[プリント起動]	[しない]、[する] (初期値)			
	[1] ~ [240] 秒 (初期値 : [9])			
[タイムゾーン]	[GMT(-12:00)] ~ [GMT(+12:00)] (初期値 : [GMT +9:00])			
[サマータイム]	[調整しない] (初期値)、[月 / 日 / 時刻で指定して調整] / [日 / 月 / 時刻で指定して調整]、[月 / 週 / 曜日 / 時刻で指定して調整]			
	[開始日] / [終了日]	[月]	[1] ~ [12] 月	
		[日]	[1] ~ [31] 日	
		[時]	[1] ~ [12] 時	
			[0] ~ [23] 時	
		[分]	[0] ~ [59] 分	
		[午前 (AM)]、[午後 (PM)]		
		[週]	[1] ~ [最終] 週	
	[曜日]	[月曜日] ~ [日曜日]		
[暖機モード動作]	[しない] (初期値)、[する]			
	[自動的に動作する]	オン、オフ (初期値)		
	[自動的に停止する]	オン、オフ (初期値)		
	[結露注意の表示]	オン (初期値)、オフ		

	[開始時刻]	[0] ～ [23] 時
		[0] ～ [59] 分
	[継続時間]	[1] ～ [60] 分間
[オンデマンド印刷の有効時間]	[0] ～ [255] 分 (初期値：[0])	
【節電モードの設定】		
[節電モード移行時間]	[低電力モード]	[1] ～ [60] 分 (初期値：[1])
	[スリープモード]	[1] ～ [60] 分 (初期値：[1])
[自動プリント後の節電モード移行]	[すぐに移行する] (初期値)、[節電モード移行時間に従う]	
[スリープモード設定]	[省電力優先] (初期値)、[復帰時間優先]	
[節電解除の制御]	[すべて解除する]、[使用する部分のみ解除する] (初期値)	
[電源の自動制御]	[しない] (初期値)、[自動的に電源を切る]	
	[時]	[0] ～ [23] 時
	[分]	[0] ～ [59] 分
【音の設定】		
[音の種類]	[標準音] (初期値)、[ビープ音]	
[正常入力音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[異常入力音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[準備完了音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[正常終了音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[異常終了音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[自動リセット事前通知音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[異常警告音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[用紙切れ警告音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[トナー残量警告音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[エラー解除通知音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[ログイン音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[起動 / 終了音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[モバイル端末の接続音]	[なし]、[音量 (+1)]、[音量 (+2)] (初期値)、[音量 (+3)]、[音量 (+4)]、[音量 (+5)]	
[IC カードによるログイン / ログアウト時の確認音]	[無効]、[有効] (初期値)	
[警告音の繰り返し]	オン、オフ (初期値)	
【画面の設定】		
[初期表示画面]	[ホーム] (初期値)、[セキュリティプリント]、[サンプルプリント]、[時刻指定プリント]、[認証プリント]、[ジョブ情報]、[機械確認 (メーター確認)]、[設定]	
[自動リセット後の画面]	[初期表示画面]、[操作中の機能画面] (初期値)、[ホーム]	
[コントロールメニューの機能配置]	[1] ～ [10]	[(未登録)]、[ジョブ情報]、[設定]、[言語切り替え /Language]、[アプリの表示カスタマイズ]、[ショートカット一覧]、[機械確認 (メーター確認)]
[機能リストの [その他の機能] の表示]	オン (初期値)、オフ	
[スタートボタンの操作]	[スライド (誤操作防止)]、[タップ (シンプル)] (初期値)	
[認証画面の自動表示]	オン、オフ (初期値)	

[ログインボタンのユーザー名]	[短く表示] (初期値)、[長く表示]			
[初期表示言語]	[English]、[日本語] (初期値)			
	[キーボード]	[日本語 (ローマ字入力)] (初期値)、[日本語 (かな入力)]、[英数]、[English]		
[画面輝度調整]	[1] ~ [7] (初期値: [4])			
[消耗品情報画面の表示]	[しない] (初期値)、[電源投入時]、[自動リセット時]			
[USB メモリー検出時の画面表示]	[しない]、[文書プリント]、[機能選択画面] (初期値)			
[USB メモリー検出時の警告画面表示]	オン (初期値)、オフ			
[キーボード入力制限]	[しない] (初期値)、[する (ASCII のみ)]			
[アップダウンボタンの操作]	[押し続け操作を禁止]、[押し続け操作を許可] (初期値)			
[セキュリティ警告 - 機械管理者設定]	[警告画面を表示しない]、[警告画面を表示する] (初期値)			
[セキュリティ警告 - SNMP 設定]	[警告画面を表示しない]、[警告画面を表示する] (初期値)			
[セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス]	[警告画面を表示しない]、[警告画面を表示する] (初期値)			
[通知メッセージの抑制]	オン、オフ (初期値)			
[通知メッセージの表示時間]	[3 秒]、[7 秒] (初期値)			
[画質の設定]				
[画質セットアップの自動実行]	[しない] (初期値)、[一日一回実行する]、[一日二回実行する]			
	[実行する時刻]	[実行する時刻] / [実行する時刻 1] / [実行する時刻 2]	[時]	[0] ~ [23] 時
			[分]	[0] ~ [59] 分
	[実行する曜日]	[日曜日]	オン、オフ (初期値)	
		[月曜日]	オン (初期値)、オフ	
		[火曜日]	オン (初期値)、オフ	
		[水曜日]	オン (初期値)、オフ	
		[木曜日]	オン (初期値)、オフ	
		[金曜日]	オン (初期値)、オフ	
		[土曜日]	オン、オフ (初期値)	
[レポート設定]				
[レポート出力の許可]	オン (初期値)、オフ			
[ジョブ履歴レポート]	[自動出力しない] (初期値)、[自動出力する]			
[レポートの両面プリント]	[片面]、[両面] (初期値)			
[複製管理]				
[印字する日付の形式]	[20yy/mm/dd]、[mm/dd/20yy]、[dd/mm/20yy]、[20yy 年 mm 月 dd 日]			
[隠し印刷初期値]	[しない (スタンプ印刷)] (初期値)、[浮き出し]、[白抜き]			
[文字列の大きさ]	[80 ポイント]、[64 ポイント]、[48 ポイント] (初期値)、[24] ~ [80] ポイント			
[背景パターン]	[ウェーブ]、[サークル]、[ストライプ]、[チェーン]、[ビーム]、[ひし形]、[ひまわり]、[扇] (初期値)			

[印刷の色]	[黒] (初期値)、[マゼンタ]、[シアン]		
[印刷の濃度]	[うすく]、[ふつう] (初期値)、[こく]		
[文字 / 背景コントラスト]	[コントラスト 1] ～ [コントラスト 9] (初期値：[コントラスト 5])		
[強制複製管理 - クライアントプリント]	[しない] (初期値)、[する]		
[強制複製管理 - メディアプリント]	[しない] (初期値)、[する]		
[文字列登録 1] ～ [文字列登録 3]			
[ペーパーセキュリティ]			
[デジタルコードの設定]	[解析パスワード]		
	[ユーザー定義文字列]		
[強制ペーパーセキュリティ]	[クライアントプリント]	[しない] (初期値)、[する]	
		[強制印字の制御]	[本体の設定を優先] (初期値)、[クライアントの設定を優先]
	[メディアプリント]	オン、オフ (初期値)	
	[レポート / リスト]	オン、オフ (初期値)	
[ペーパーセキュリティの初期値]	[複数制限コード]	オン、オフ (初期値)	
[隠し印字の設定]	[文字列初期値]	[なし] (初期値)、[あり]	
		[文字列]	[禁複写] (初期値)、[コピー]、[複写]、[(未登録)]、[(未登録)]、[(未登録)]
	[背景パターン]	[なし] (初期値)、[ウェーブ]、[サークル]、[ストライプ]、[チェーン]、[ビーム]、[ひし形]、[ひまわり]、[扇]	
	[印刷の色]	[黒] (初期値)、[マゼンタ]	
	[文字 / 背景コントラスト]	[コントラスト 1] ～ [コントラスト 9] (初期値：[コントラスト 5])	
	[文字列登録 1] ～ [文字列登録 3]		
[強制アノテーション]			
[レイアウトテンプレートの関連付け]	[クライアントプリント]	[付けない] (初期値)、[付ける]	
		[レイアウトテンプレート名]	[preset1] ～ [preset4]
	[メディアプリント]	[付けない] (初期値)、[付ける]	
		[レイアウトテンプレート名]	[preset1] ～ [preset4]
	[メール受信プリント]	[付けない] (初期値)、[付ける]	
		[レイアウトテンプレート名]	[preset1] ～ [preset4]
[レポート / リスト]	[付けない] (初期値)、[付ける]		
	[レイアウトテンプレート名]	[preset1] ～ [preset4]	
[レイアウトテンプレートの削除]	[preset1] ～ [preset4]		
[文字列の登録]	[文字列登録 1] ～ [文字列登録 8]		

[UUID 印字]		
[UUID 印字]	オン、オフ（初期値）	
[印字位置]	[左上]、[左下]（初期値）、[中央上]、[中央下]、[右上]、[右下]	
[印字位置の微調整]	[縦方向]	[0.0] ～ [100.0] mm（初期値：[6.0]）
	[横方向]	[0.0] ～ [200.0] mm（初期値：[6.0]）
[うら面の印字位置]	[おもて面と同じ]、[おもて面と対称]（初期値）	
[ジョブ終了時のメール通知設定]		
[通知対象ジョブ]	[プリンター]	オン、オフ（初期値）
	[レポート]	オン、オフ（初期値）
	[終了時は常に通知する]、[異常終了時のみ通知する]	
[メールアドレス 1] ～ [メールアドレス 5]		
[メール本文]		
[プラグイン設定]		
[組み込みプラグイン機能]	[無効]、[有効]（初期値）	
[組み込みプラグイン一覧]		
[その他の設定]		
[オフセット排出（ 排出トレイ ）]	[しない]、[セット単位]（初期値）、[ジョブ単位]	
[オフセット排出（ フィニッシュートレイ ）]	[しない]、[セット単位]（初期値）、[ジョブ単位]	
[プリントジョブの追い越し]	[禁止]（初期値）、[許可]	
	[追い越されたジョブの自動解除]	オン、オフ（初期値）
[プリント用紙サイズ初期値]	[A4]（初期値）、[8.5x11"]	
[奇数ページ文書の両面処理]	オン、オフ（初期値）	
[サイズ検知切り替え]	[AB 系 (8x13")]、[AB 系]（初期値）、[AB 系（八開 / 十六開）]、[AB 系 (8x13"/8x14")]、[インチ系]	
[ミリ / インチ切り替え]	[ミリ]（初期値）、[インチ]	
[小サイズ給紙トレイの使用]	オン、オフ（初期値）	
[データの暗号化]	[しない]（初期値）、[する]	
[秘密情報の暗号化キー]		
[保守員（CE）の操作制限]	[しない]（初期値）、[する]	
	[保守パスワード]	
[ソフトウェアダウンロード]	オン（初期値）、オフ	
[カラーモード自動時の印刷動作]	[標準]（初期値）、[速度を優先]	
[状態表示ランプ（ 緑 ）]	[無効]、[有効]（初期値）	
[データランプの点灯パターン]	[パターン 1]（初期値）、[パターン 3]	
[ジョブ一時停止後の処理]	[自動的に再開する]（初期値）、[自動的に中止する]、[ユーザー操作で再開 / 中止する]	

〔転写装置の待機状態〕	〔白黒プリント向き〕（初期値）、〔カラープリント向き〕
〔ドラムカートリッジ寿命時の動作〕	〔停止する〕（初期値）、〔継続する〕
〔一般ユーザーの調整機能操作〕	〔禁止〕（初期値）、〔許可〕

〔アプリ設定〕

〔プリンター設定〕		
〔メモリー設定〕	〔PostScript 使用メモリー〕	〔70〕 ～ 〔128〕 MB（初期値：〔70.00〕）
	〔ART EX フォームメモリー〕	〔128〕 ～ 〔2048〕 KB（初期値：〔2048〕）
	〔ART IV,ESC/P,201H フォームメモリー〕	〔128〕 ～ 〔2048〕 KB（初期値：〔128〕）
	〔ART IV ユーザー定義用メモリー〕	〔32〕 ～ 〔2048〕 KB（初期値：〔32〕）
	〔HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー〕	〔64〕 ～ 〔5120〕 KB（初期値：〔64〕）
	〔ジョブチケット用メモリー〕	〔0.25〕 ～ 〔8.00〕 MB（初期値：〔0.25〕）
	〔受信バッファ-IPD〕	〔スプールしない〕（初期値）、〔スプールする〕
	〔受信バッファ-IPP〕	〔スプールしない〕（初期値）、〔スプールする〕
〔フォーム削除〕	〔ART EX〕、〔ART IV〕、〔ESC/P〕	
	〔フォーム番号〕	〔ART EX〕 / 〔ART IV〕：〔1〕 ～ 〔2048〕、〔ESC/P〕：〔1〕 ～ 〔64〕
	〔フォーム名称〕	
〔蓄積プリント文書の保存設定〕	〔設定しない〕（初期値）、〔設定する〕	
	〔保存期間〕	〔0〕 ～ 〔120〕 時間（初期値：〔4〕）
		〔0〕 ～ 〔59〕 分（初期値：〔0〕）
	〔電源切 / 入時に削除〕	オン、オフ（初期値）
〔プリント文書一覧の初期表示〕	〔リスト表示〕（初期値）、〔サムネール表示〕	
〔プリント時の確認画面表示〕	〔しない〕、〔する〕（初期値）	
〔プレビューイメージの作成〕	オン（初期値）、オフ	
〔プレビューイメージの作成時間〕	〔制限しない〕、〔制限する〕（初期値）	
	〔10〕 ～ 〔900〕 秒（初期値：〔60〕）	
〔蓄積時の暗証番号最小桁数〕	〔0〕 ～ 〔12〕 桁（初期値：〔0〕）	
〔全文書選択時のプリント順〕	〔日時の古い順〕（初期値）、〔日時の新しい順〕、〔文署名順〕、〔文署名逆順〕	

[その他の設定]	[プリント可能領域]	[標準] (初期値)、[拡張]	
	[用紙の置き換え]	[用紙補給を表示] (初期値)、[大きいサイズを選択]、[近いサイズを選択]、[近いサイズを選択 (等倍)]、[近いサイズを選択 (使用できないサイズを含む)]、[近いサイズを選択 (等倍 / 使用できないサイズを含む)]、[トレイ 5 (手差し) を選択]、[AB 系 / インチ系置き換え]	
		[ページレイアウト]	[標準]、[中央]
	[用紙種類不一致時の処理]	[プリントする]、[確認画面を表示する] (初期値)、[設定変更画面を表示する]	
	[用紙サイズ不一致の処理 (手差し)]	[確認画面を表示する] (初期値)、[プリントする]	
	[手差しトレイの優先選択]	オン、オフ (初期値)	
	[手差しプリントの確認]	オン、オフ (初期値)	
	[未登録フォーム指定時の処理]	[プリントする] (初期値)、[プリントしない]	
	[異常終了後のプリント処理]	[自動的に再開する]、[ユーザー操作で再開する] (初期値)	
	[紙づまり発生時のプリント処理]	[紙づまり除去後再開する] (初期値)、[プリントを中止する]	
	[ID 印字]	[しない] (初期値)、[左上]、[右上]、[左下]、[右下]	
	[バナーシート出力]	[出力しない] (初期値)、[スタートシート]、[エンドシート]、[スタートシート + エンドシート]	
		[プリンタードライバーの設定を優先]	オン (初期値)、オフ
	[バナーシートのオフセット出力]	[しない] (初期値)、[する]	
	[バナーシートトレイ]	[トレイ 1] (初期値)、[トレイ 2]、[トレイ 3]、[トレイ 4]、[トレイ 6]	
	[PostScript のカラーモード初期値]	[カラー] (初期値)、[白黒]	
	[PostScript の用紙選択]	[自動] (初期値)、[用紙トレイから選択]	
	[PS フォント未搭載時の処理]	[プリントを中止する]、[フォントを置換えてプリントする] (初期値)	
	[PostScript のフォント置き換え]	[ATC _x を使用しない]、[ATC _x を使用する] (初期値)	
	[XPS PrintTicket 処理]	[無効]、[標準モード] (初期値)、[準拠モード]	
	[LPD のプリント順序]	[受け付けと同時にプリント] (ストレージ (オプション) を取り付けた場合の初期値)、[データ処理順] (ストレージ (オプション) を取り付けていない場合の初期値)、[受け付け順]	
	[OCR フォントのグリフ (0x5C)]	[バックスラッシュ] (初期値)、[円記号]	

[ジョブ情報設定]		
[蓄積プリント文書の保存設定]	[設定しない] (初期値)、[設定する]	
	[保存期間]	[0] ～ [120] 時間 (初期値：[4])
		[0] ～ [59] 分 (初期値：[0])
	[電源切 / 入時に削除]	オン、オフ (初期値)
[プリント文書一覧の初期表示]	[リスト表示] (初期値)、[サムネール表示]	
[プリント時の確認画面表示]	[しない]、[する] (初期値)	
[プレビューイメージの作成]	オン (初期値)、オフ	
[プレビューイメージの作成時間]	[制限しない]、[制限する] (初期値)	
	[10] ～ [900] 秒 (初期値：[80])	
[蓄積時の暗証番号最小桁数]	[0] ～ [12] 桁 (初期値：[0])	
[全文書選択時のプリント順]	[日時の古い順] (初期値)、[日時の新しい順]、[文署名順]、[文署名逆順]	

[監査ログ設定]

[監査ログの記録]	[無効] (初期値)、[有効]
[監査ログの Syslog 送信]	[無効] (初期値)、[有効]
[Syslog- サーバー名 / アドレス]	[サーバー名 / アドレス]
[Syslog-UDP/TCP ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[514])
[Syslog-TLS ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[6514])
[Syslog- トランスポートプロトコル]	[UDP] (初期値)、[TCP]、[TLS]
[Syslog- ファシリティ]	[1] ～ [23] (初期値：[1])
[Syslog- タイムアウト値]	[1] ～ [255] 秒 (初期値：[30])
[送信エラー時の対応方式]	[稼働優先] (初期値)、[監査優先]

[ネットワーク設定]

[ポート設定]		
[USB]	[USB- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[USB- プリントモード指定]	[自動] (初期値)、[NPDL]、[ART EX]、[PostScript]、[ART IV]、[ESC/P]、[HP-GL/2]、[HexDump]、[PCL]、[TIFF]
	[USB-PJL スイッチ]	[無効]、[有効] (初期値)
	[USB- 自動排出時間]	[5] ～ [300] 秒 (初期値：[5])
	[USB-Adobe 通信プロトコル]	[標準] (初期値)、[バイナリー]、[TBCP]、[RAW]
	[USB-PS 印刷待ちタイムアウト]	[無効] (初期値)、[有効]

[LPD]	[LPD- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[LPD- ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[515])
	[LPD- セッション数]	[1] ～ [10] (初期値：[5])
[IPP]	[IPP- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[IPP- 追加ポート番号]	[無効]、[有効] (初期値)
		[1] ～ [65535] 番 (初期値：[80])
[Bonjour]	[Bonjour- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
[Port9100]	[Port9100- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[Port9100- ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[9100])
[SNMP]	[SNMP- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
[メール受信]	[メール受信 - ポート]	[停止] (初期値)、[起動]
[メール通知サービス]	[メール通知サービス - ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
[UPnP ディスカバリー]	[UPnP ディスカバリー - ポート]	[停止] (初期値)、[起動]
	[UPnP ディスカバリー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[80])
[WSD]	[WSD プリント - ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[WSD- ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[80])
[インターネットサービス (HTTP)]	[インターネットサービス - ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[インターネットサービス - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[80])
[SOAP]	[SOAP- ポート]	[停止]、[起動] (初期値)
	[SOAP- ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[80])
[ThinPrint]	[ThinPrint- ポート]	[停止] (初期値)、[起動]
	[ThinPrint- ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値：[4000])
[無線 LAN 設定]		
[基本設定]	[無効] (初期値)、[有効]	
	[動作周波数帯]	[自動] (初期値)、[2.4GHz]、[5GHz]
[Wi-Fi 接続設定]		
[Wi-Fi Direct 設定]	[無効] (初期値)、[有効]	
[ネットワークの名称設定]	[Wi-Fi]	
	[Wi-Fi Direct]	

[プロトコル設定]			
[Ethernet 設定]	[Ethernet- ネットワークの名称] / [Ethernet1- ネットワークの名称]		
	[Ethernet- 速度設定] / [Ethernet1- 速度設定]	[100BASE-TX(全二重)]、[100BASE-TX(半二重)]、[10BASE-T(全二重)]、[10BASE-T(半二重)]、[自動] (初期値)、[1000BASE-T]	
	[Ethernet2- ネットワークの名称]		
	[Ethernet2- 速度設定]	[自動]、[100BASE-TX(全二重)]、[100BASE-TX(半二重)]、[10BASE-T(全二重)]、[10BASE-T(半二重)]、[1000BASE-T]	
	[Energy Efficient Ethernet]	[無効]、[有効] (初期値)	
[TCP/IP- 共通設定]	[プライマリーネットワーク]		
	[IP 動作モード]	[IPv4 モード]、[IPv6 モード]、[デュアルスタック] (初期値)	
[TCP/IP- ネットワーク設定] / [TCP/IP 設定 (LAN1)]、[TCP/IP 設定 (LAN2)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)]	[IPv4-IP アドレス取得方法]	[DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[DHCP/AutoIP から取得] (初期値)、[手動で設定]	
	[IPv4-IP アドレス]		
	[IPv4- サブネットマスク]		
	[IPv4- ゲートウェイアドレス]		
	[IPv4-DNS 設定]	[DHCP からのアドレス取得]	オン (初期値)、オフ
		[DNS サーバーアドレス 1] ~ [DNS サーバーアドレス 3]	
	[IPv4- 受付 IP アドレス制限]	オン、オフ (初期値)	
	[IPv6- アドレスの手動設定]	オン、オフ (初期値)	
	[IPv6- 手動設定 IP アドレス]		
	[IPv6- 手動設定 IP アドレスプレフィクス]		
	[IPv6- 手動設定ゲートウェイアドレス]		
	[IPv6-DNS 設定]	[DHCP からのアドレス取得]	オン (初期値)、オフ
		[DNS サーバーアドレス 1] ~ [DNS サーバーアドレス 3]	
	[IPv6- 自動設定アドレス]		
	[IPv6- 受付 IP アドレス制限]	オン、オフ (初期値)	
	[本体メールアドレス / ホスト名]		
[メールアドレス]			
[名前]			
[ホスト名]			
[ドメイン名] / [ドメイン名 (LAN1)]			
[ドメイン名 (LAN2)]			
[ドメイン名 (Wi-Fi)]			

[プロキシサーバー一覧]		
[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定-LAN1]、[プロキシサーバー設定 LAN2]、[プロキシサーバー設定-Wi-Fi]	[プロキシサーバーの使用]	オン、オフ（初期値）
	[プロキシサーバー指定方法]	[すべてのプロトコルに同じ設定]（初期値）、[プロトコルごとに設定]、[PAC ファイルを指定]、[自動検出]
	[PAC ファイルの URL]	
	[プロキシを使用しないアドレス]	
	[HTTP プロキシサーバー - サーバー名]	
	[HTTP プロキシサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番（初期値：[8080]）
	[HTTP プロキシサーバー - 認証]	[無効]（初期値）、[有効]
	[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]	
	[HTTP プロキシサーバー - パスワード]	
	[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]	
	[HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番（初期値：[8080]）
	[HTTPS プロキシサーバー - 認証]	[無効]（初期値）、[有効]
	[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]	
	[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]	
	[EP プロキシサーバー設定]	
[プロキシサーバー指定方法]	[すべてのプロトコルに同じ設定]（初期値）、[プロトコルごとに設定]	
[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]		
[HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番（初期値：[8080]）	
[HTTPS プロキシサーバー - 認証]	[無効]（初期値）、[有効]	
[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]		
[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]		
[HTTP プロキシサーバー - サーバー名]		
[HTTP プロキシサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番（初期値：[8080]）	
[HTTP プロキシサーバー - 認証]	[無効]（初期値）、[有効]	
[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]		
[HTTP プロキシサーバー - パスワード]		

[メール送受信設定]			
[POP3 サーバー設定]	[POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス]		
	[POP3 サーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [110])	
	[POP3 サーバー - 受信間隔]	[1] ～ [120] 分 (初期値 : [10])	
	[POP3 サーバー - ログイン名]		
	[POP3 サーバー - パスワード]		
	[POP 受信パスワードの暗号化]	[しない (平文)] (初期値)、[する (APOP)]	
[SMTP サーバー設定]	[SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス]		
	[SMTP サーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [25])	
	[送信時の認証方式]	[利用しない] (初期値)、[SMTP AUTH]	
	[送信時の認証ユーザー]	[外部認証のユーザー]、[本体設定] (初期値)	
		[認証失敗時の動作]	[送信を中止する] (初期値)、[本体設定情報で再認証する]
	[SMTP AUTH- ログイン名]		
[SMTP AUTH- パスワード]			
[外部認証サーバー設定]			
[認証システムの設定]	[認証システム]	[kerberos] (初期値)、[LDAP]、[Authentication Agent]	
	[認証応答待ち時間の上限]	[1] ～ [75] 秒 (初期値 : [30])	
	[ユーザー情報検索時間の上限]	[1] ～ [120] 秒 (初期値 : [30])	
[Kerberos サーバー設定]	[Kerberos サーバー 1(標準) ～ [Kerberos サーバー 5]	[プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]	
		[プライマリーサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [88])
		[セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]	
		[セカンダリーサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [88])
		[認証先 (レルム名)]	
	[サーバー証明書の検証]	オン、オフ (初期値)	
[LDAP サーバー設定]	[プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]		
	[プライマリーサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [389])	
	[セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]		
	[セカンダリーサーバー - ポート番号]	[1] ～ [65535] 番 (初期値 : [389])	
	[認証方式]	[直接認証] (初期値)、[ユーザー属性認証]	
	[入力ユーザー名の属性]		
	[認証用ユーザー名の属性]		

	[ユーザー名追加文字列の使用]	[使用しない] (初期値)、[使用する]	
	[ユーザー名の追加文字列]		
	[IC カード認証に使用する属性]		
	[ネットワーク用ユーザー ID 属性]		
	[検索用の認証ユーザー]	[外部認証のユーザー]、[本体設定] (初期値)	
	[検索用ログイン名]		
	[検索用パスワード]		
	[検索起点エントリー (DN)]		
	[起点からの検索範囲]	[起点の階層のみ]、[起点から 1 つ下の階層まで]、[起点から下の階層すべて] (初期値)	
	[検索対象のオブジェクトクラス]		
	[リフェラルの使用]	[使用しない] (初期値)、[使用する]	
	[リフェラルのホップ数上限]	[1] ~ [5] (初期値 : [5])	
[セキュリティ設定]			
[SSL/TLS 設定]	[TLS セキュリティレベル]	[セキュリティ強化モード (推奨)] (初期値)、[互換モード]	
	[本体の証明書 - サーバー]	[設定しない]、[設定あり] (初期値)	
	[HTTP-SSL/TLS 通信]	[HTTP/HTTPS 使用可能] (初期値)、[HTTP のみ使用可能]	
	[HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号]	[1] ~ [65535] 番 (初期値 : [443])	
	[LDAP-SSL/TLS 通信]	[無効] (初期値)、[有効]	
	[SMTP-SSL/TLS 通信]	[無効] (初期値)、[STARTTLS 接続 (利用可能時)]、[STARTTLS 接続]、[SSL/TLS 接続]	
	[ThinPrint-SSL/TLS 通信]	[無効] (初期値)、[有効]	
	[本体の証明書 - クライアント]	[設定しない] (初期値)、[xxxxxx]	
	[相手サーバーの証明書の検証]	[無効] (初期値)、[有効]	
[S/MIME 設定]	[本体の証明書 -S/MIME]		
	[S/MIME 通信]	[無効] (初期値)、[有効]	
	[メッセージダイジェスト方式]	[SHA1] (初期値)、[SHA256]、[SHA384]、[SHA512]	
	[本文の暗号化方式]	[RC2-40]、[RC2-64]、[RC2-128]、[3DES] (初期値)、[AES-128]、[AES-192]、[AES-256]	
	[証明書の自動取得]	[しない] (初期値)、[する]	
[IPsec 設定]	[IPsec 設定] / [IPsec 設定 (LAN1)]	[IKE 認証方式]	[事前共有鍵による認証] (初期値)、[デジタル署名による認証]
		[事前共有鍵]	
		[本体の証明書]	[設定しない]、[xxxxxx]

		[IPsec 通信]	[無効] (初期値)、[有効]
		[IKE SA のライフタイム]	[60] ～ [28800] 分 (初期値: [480])
		[IPsec SA のライフタイム]	[300] ～ [28800] 秒 (初期値: [3600])
		[DH グループ]	[G14] (初期値)、[G19]、[G20]、[G24]
		[PFS 設定]	[無効] (初期値)、[有効]
		[相手アドレス -IPv4]	
		[相手アドレス -IPv6]	
		[非 IPsec 通信]	[禁止]、[許可] (初期値)
[IEEE 802.1x 設定]	[IEEE 802.1x 設定] / [IEEE 802.1x 設定 (LAN1)]、[IEEE 802.1x 設定 (LAN2)]	[IEEE 802.1x 認証の使用]	[使用しない] (初期値)、[使用する]
		[認証方式]	[EAP-TTLS/PAP] (初期値)、[EAP-TTLS/CHAP]、[EAP-TTLS/MS-CHAPv2]、[PEAP/MS-CHAPv2]
		[認証ユーザー名]	
		[認証パスワード]	
		[サーバー証明書の検証]	オン、オフ (初期値)
[証明書失効確認の設定]	[証明書検証レベル]	[低] (初期値)、[中]、[高]	
	[証明書失効確認方式]	[失効リスト (CRL) を取得する] (初期値)、[OCSP で問い合わせる]	
	[失効リスト (CRL) の自動取得]	オン、オフ (初期値)	
	[失効リスト (CRL) 取得時間上限]	[5] ～ [60] 秒 (初期値: [15])	
	[OCSP レスポンダー指定方法]	[証明書に記載の URL を使用] (初期値)、[本体で設定した URL を使用]	
	[OCSP レスポンダー]		
	[OCSP 通信時間上限]	[5] ～ [60] 秒 (初期値: [5])	
[証明書の拡張鍵用途の検証]	オン、オフ (初期値)		
[リモート操作パネル]	[無効]、[有効] (初期値)		
	[一般ユーザーの使用]	[禁止] (初期値)、[許可]	
[その他の設定]	[FIPS140 認定モード]	[無効] (初期値)、[有効]	
[その他の設定]			
[メール受信プロトコル]	[SMTP]、[POP3] (初期値)		
[メールプリントの排出先]	[自動] (初期値)、[排出トレイ]、[フィニッシャートレイ]		
[送受信ドメインの制限]	[制限しない] (初期値)、[送受信許可ドメインの指定]、[送受信拒否ドメインの指定]		
	[ドメイン 1] ～ [ドメイン 50]		
[USB ポート ID 固定機能]	[無効] (初期値)、[有効]		

[認証 / 集計管理]

[集計管理]				
[ユーザー登録 / 集計確認]	[0001- (未登録)] ～ [1000- (未登録)]			
[登録内容の削除 / 集計リセット]	[全ユーザーの登録内容]、[全ユーザーの機能制限]、[全ユーザーの上限ページ数]、[全ユーザーの集計管理データ]、[全ユーザーの権限グループ]、[プリンター集計データ]			
[認証 / 集計の設定]	[認証しない] (初期値)			
	[本体認証 / 集計]			
	[ネット認証 / 集計]			
	[外部認証 / 集計]			
	[各機能の集計]	[文書プリント]	[集計しない]、[集計する] (初期値)	
	[プリンター]	[集計しない]、[集計する] (初期値)		
[集計管理情報の設定]	[User ID の代替表記]			
	[User ID の入力表示]	[そのまま表示する] (初期値)、[隠す]		
	[Account ID の代替表記]			
	[Account ID の入力表示]	[そのまま表示する] (初期値)、[隠す]		
	[認証時の集計情報表示]	オン、オフ (初期値)		
[認証 / セキュリティー設定]				
[機械管理者情報の設定]	[機械管理者 ID]			
	[機械管理者パスワード]			
[認証の設定]	[認証 / 集計の設定]	[認証しない] (初期値)		
		[本体認証 / 集計]		
		[ネット認証 / 集計]		
		[外部認証 / 集計]		
		[各機能の集計]	[文書プリント]	[集計しない]、[集計する] (初期値)
		[プリンター]	[集計しない]、[集計する] (初期値)	
	[アクセス制御]	[仕様設定へのアクセス]	[制限する] (初期値)、[制限しない]	
		[デバイスへのアクセス]	[制限しない] (初期値)、[制限する]	
		[サービスへのアクセス]	[文書プリント]	[制限しない]、[制限する (表示)] (初期値)、[制限する (非表示)]
			[プリンター]	[制限しない]、[制限する] (初期値)
	[ユーザー登録 / 集計確認]	[0001- (未登録)] ～ [1000- (未登録)]		
	[登録内容の削除 / 集計リセット]	[全ユーザーの登録内容]、[全ユーザーの機能制限]、[全ユーザーの上限ページ数]、[全ユーザーの集計管理データ]、[全ユーザーの権限グループ]、[プリンター集計データ]		
	[権限グループ登録]	[00(標準)]、[01] ～ [20]	[グループ名]	
			[強制印字の一時解除]	[許可しない] (初期値)、[許可する]

	[認証情報の設定]	[User ID の代替表記]				
		[User ID の入力表示]	[そのまま表示する] (初期値)、[隠す]			
		[認証失敗の記録]	[しない]、[する] (初期値)			
			[失敗回数]	[1] ～ [600] (初期値：[10])		
		[認証解除時の確認画面表示]	オン、オフ (初期値)			
		[認証時の User ID 文字種]	[大文字小文字を区別しない]、[大文字小文字を区別する] (初期値)			
		[IC カード接続時の認証]	[IC カードのみ] (初期値)、[IC カードまたはパネル入力]			
		[ゲストの使用]	[しない] (初期値)、[する]			
			[ゲストのパスワード]			
		[IC カード認証時のユーザー登録]	[しない] (初期値)、[自動登録する]			
			[自動登録時の初期値]	[ユーザー名]		
			[サービスの利用制限]	[機能制限]	[制限しない] (初期値)、[白黒のみ許可]、[プリンター禁止]	
				[上限ページ数]	[白黒]	[1] ～ [9999999]
					[カラー]	[1] ～ [9999999]
		[IC カードの使用]	[しない] (初期値)、[する]、[する (PKI のみ)]			
			[カードで制御するジョブ]	[プリンター]	オン、オフ (初期値)	
		[IC カード連携モード]	[パスワード入力不要]、[パスワード入力必要] (初期値)			
		[非接触型 IC カード設定]	[カードが離れると認証解除] (初期値)、[パネル指示で認証解除]			
		[外部認証情報の本体保存]	[しない] (初期値)、[する]			
	[保存済み外部認証情報削除]	[手動実行 (今すぐ削除)]				
		[自動実行]	[削除しない] (初期値)、[週単位で削除]、[月単位で削除]			
			[曜日]	[月曜] ～ [日曜]		
			[日]	[1] ～ [31]		
			[時]	[0] ～ [23]		
			[分]	[0] ～ [59]		
[不正使用防止の設定]	[認証回数制限 - 機械管理者]	[しない]、[する] (初期値)				
		[連続失敗回数]	[1] ～ [10] (初期値：[5])			
	[認証回数制限 - 一般ユーザー]	[しない]、[する] (初期値)				
		[連続失敗回数]	[1] ～ [10] (初期値：[5])			

	[パスワードの運用]	[パスワード使用 - パネル入力時]	[しない] (初期値)、[する]			
		[パスワード使用 -IC カード認証時]	[しない]、[する] (初期値)			
		[パスワードの最小桁数]	[指定しない] (初期値)、[指定する]			
			[1] ～ [63] 桁 (初期値：[4])			
		[パスワードの最大桁数]	[1] ～ [63] 桁 (初期値：[12])			
	[リモートからの認証]	[弱いパスワードを許可しない]、 [弱いパスワードを許可する] (初期値)				
	[認証 / プライベートプリントの設定]	[受信時の PJL 命令制御]	[しない] (初期値)、[する]			
		[出力時の PJL 命令制御]	[しない] (初期値)、[する]			
		[受信制御]	[プリンターの認証に従う] (初期値)	[認証成功のジョブ]	[プリント] (初期値)、[プライベートプリントに保存]	
				[認証が不正のジョブ]	[認証プリントに保存]、[ジョブを中止] (初期値)	
				[User ID なしのジョブ]	[プリント]、[認証プリントに保存]、[ジョブを中止] (初期値)	
		[プライベートプリントに保存]	[User ID なしのジョブ]	[User ID なしのジョブ]	[プリント]、[認証プリントに保存]、[ジョブを中止] (初期値)	
				[PJL 命令なしのジョブ]	[常に利用しない] (初期値)、 [User ID があるときは利用する]	
					[User ID があるときの動作]	[プリント]、 [認証プリントに保存]、 [プライベートプリントに保存] (初期値)、 [ジョブを中止]
	[認証プリントに保存]					
[強制印字一時解除]	[しない] (初期値)、[する]					
[ジョブ操作の設定]	[実行中 / 待ちジョブの表示設定]	オン、オフ (初期値)				
	[実行完了ジョブの表示設定]	[常に表示する] (初期値)	[表示情報の制限]	[しない]、[する] (初期値)		
		[認証中は表示する]	[表示対象のジョブ]	[すべて]、[認証ユーザーのジョブのみ] (初期値)		
		[表示しない]				
	[ジョブ操作の制限]	[ストップ / 中止]	[すべてのユーザー] (初期値)、[機械管理者のみ]、[本人と機械管理者]			
		[読み取りの継続]	[すべてのユーザー]、[本人と機械管理者] (初期値)			
		[プリントの継続]	[すべてのユーザー] (初期値)、[本人と機械管理者]			

		[プリントの優先度変更]	[すべてのユーザー] (初期値)、[本人と機械管理者]
[ダイレクトプリント機能の禁止]	[しない] (初期値)、[する]		
[稼動時の改ざん防止]	[しない] (初期値)、[ログ記録のみ]、[する]		

【保守】

【保守レポートの出力】				
【機能別カウンターレポート】				
【ユーザー別集計管理】	【プリンター集計】			
	【プリンター集計管理】	【すべて選択】、【0001-0050】 ～ 【0951-1000】		
【GS1-128 バーコードサンプル】	【A4 バーコードモード OFF】			
	【A4 バーコードモード ON】			
	【A3 バーコードモード OFF】			
	【A3 バーコードモード ON】			
【機械の詳細設定の変更履歴レポート】				
【EP 設置】				
【BB 設置】				
【EPA-Server 設置】				
【初期設定項目】				
【画面 / ボタンの設定】	【初期表示画面】	【ホーム】（初期値）、【セキュリティープリント】、【サンプルプリント】、【時刻指定プリント】、【認証プリント】、【ジョブ情報】、【機械確認（メーター確認）】、【設定】		
	【自動リセット後の画面】	【初期表示画面】、【操作中の機能画面】（初期値）、【ホーム】		
	【コントロールメニューの機能配置】	【1】 ～ 【10】		
【IP アドレス設定】	【IP 動作モード】	【IPv4 モード】、【IPv6 モード】、【デュアルスタック】（初期値）		
	【IPv4-IP アドレス取得方法】	【DHCP から取得】、【BOOTP から取得】、【DHCP/AutoIP から取得】（初期値）、【手動で設定】		
	【IPv4-DHCP からのアドレス取得】	【しない】、【する】（初期値）		
	【IPv6- アドレスの手動設定】	【しない】（初期値）、【する】		
	【IPv6-DHCP からのアドレス取得】	【しない】、【する】（初期値）		
	【プロキシサーバーの使用】	【しない】（初期値）、【する】		
		【すべてのプロトコルに同じ設定】、【プロトコルごとに設定】（初期値）	【プロキシを使用しないアドレス】	
			【HTTP プロキシサーバー - サーバー名】	
	【HTTP プロキシサーバーポート番号】	【1】 ～ 【65535】（初期値：【8080】）		

			[HTTP プロキシ サーバー認証]	[無効] (初期値)、[有効]
			[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]	
			[HTTP プロキシサーバー - パスワード]	
			[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]	
			[HTTPS プロキ シサーバーポー ト番号]	[1] ~ [65535] (初期値： [8080])
			[HTTPS プロキ シサーバー認証]	[無効] (初期値)、[有効]
			[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]	
			[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]	
		[PAC ファイルを 指定]	[PAC ファイルの URL]	
		[自動検出]		
[ホスト名]				
[EP 通信確認]				
[EP 通信確認]				
[ソフトウェアオプションの設定]				
[ソフトウェアオプションの設定]				
[ソフトウェアオプションの設定 - USB]				
[取り消し]、[機能を有効化する]				
[ソフトウェアバージョンアップ]				
[閉じる]、[日時を指定して実行]、[バージョンアップ実行]				
[機械起動時のプログラム診断]				
[しない] (初期値)、[する]				
[IC カード情報の確認]				
[IC カード情報の確認]				
[証明書の一括削除 / 初期化]				
[実行]				
[カスタムトナー / ドラム]				
[使用しない] (初期値)、[使用する]				
[画質調整]				
[階調補正]	[補正種別]	[解像度優先] (初期値)、[階調優先]		
	[濃度]	[低] (初期値)、[中]、[高]		
	[イエロー]	[-6] ~ [6] (初期値：[0])		
	[マゼンタ]	[-6] ~ [6] (初期値：[0])		
	[シアン]	[-6] ~ [6] (初期値：[0])		
	[ブラック]	[-6] ~ [6] (初期値：[0])		
[アライメント調整]	[用紙選択]	[1] (初期値)、[2]、[3]、[4]、[5] (手差し)、[6]		
	[調整値]	[調整面]	[おもて面] (初期値)、[うら面]	

[転写出力調整]	[サンプルプリント番号指定調整]	[用紙サイズ]	[A3□] (初期値)、[A4□]、[11x17"□]、[8.5x11"□]、[B4□]		
		[用紙種類]	[普通紙 (64 ～ 70g/m ²)] (初期値)、[上質紙 (91 ～ 105g/m ²)]、[再生紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[うす紙 (52 ～ 63g/m ²)]、[うら紙 (64 ～ 70g/m ²)]、[厚紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(221 ～ 256g/m ²)]、[厚紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[厚紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[厚紙 3(うら面)(221 ～ 256g/m ²)]、[コート紙 1(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 2(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(257 ～ 300g/m ²)]、[コート紙 1(うら面)(106 ～ 135g/m ²)]、[コート紙 2(うら面)(177 ～ 220g/m ²)]、[コート紙 3(うら面)(257 ～ 300g/m ²)]、[ラベル紙 (106 ～ 176g/m ²)]、[封筒]、[はがき (177 ～ 220g/m ²)]		
		[両面片面]	[片面] (初期値)、[両面]		
[面内ムラ調整]	[カラー]	[イエロー] (初期値)、[マゼンタ]、[シアン]、[ブラック]			
	[形状]	[1] ～ [6] (初期値：[5])			
	[レベル]	[1] ～ [6] (初期値：[4])			
	[傾き]	[-17] ～ [17] (初期値：[0])			
[カラーレジ補正]					
[フィニッシャーの調整]					
[紙折り位置の調整]	[トレイ 1] ～ [トレイ 6]	[初期値] (初期値)、[タイプ 1] ～ [タイプ 10]			
	[紙折り位置 タイプの設定]	[タイプ 1] ～ [タイプ 10]	[名称]		
			[二つ折り]	[用紙選択]	[トレイ 1] (初期値) ～ [トレイ 6]
				[1 束の枚数]	[1] ～ [5] 枚 (初期値：[1])
			[製本]	[用紙選択]	[トレイ 1] (初期値) ～ [トレイ 6]
				[調整方法]	[標準] (初期値)、[枚数指定]
				[1 束の枚数]	[3] ～ [20] 枚 (初期値：[3])
[x 枚束の折り設定]	[左が長い / ホチキス左]、[右が長い / ホチキス左]、[左が長い / ホチキス右]、[右が長い / ホチキス右]				
[パンチユニット設定]	[2/4 穴パンチユニット]、[2/3 穴パンチユニット (US 規格)]				
[折りを補助する筋]	[しない] (初期値)、[片側 1 本]、[片側 2 本]、[片側 3 本]				
[定着器クリーニング]					
[用紙選択]	[1] (初期値)、[2]、[3]、[4]、[5]、[6]				
[枚数]	[1] ～ [5] 枚 (初期値：[1])				

[機械の詳細設定]	
[設定番号]	
[トレイ 5(手差し) ガイド調整]	
[用紙ガイドの位置]	[最小サイズ位置] (初期値)、[最大サイズ位置]

[リセット]

[フォントとフォーム、マクロを削除]
[工場出荷時の設定に戻す]